

普通紙パーソナルファクシミリ

スピークス

speax J226 YCL

取扱説明書

ご使用の前に

設置

電話

ファクシノコピー

留守番

ハンズキャナ

・ALPHA5

・Eメール

ナンバーディスプレイ

キャッチホン/ネット/ダイヤルイン

こんなときは



明日の待ち合わせは何時だったかしら。電話で確認しておかなくちゃ。

「電話」→P.35



私のお気に入りのレストラン、地図をファクスしてみんなに教えてあげようつと。

「ファクス/コピー」→P.64



今日は彼から電話があるはず。出かける前に留守電セットして、と。

「留守番」→P.80



友達から借りたお料理の本、このページだけコピーしておこうかな。

「ハンズキャナ」→P.92



おばあちゃん元気かな... 市外電話がおトクって、嬉しいわよね!

「α-ALPHA5」→P.101



パソコンがなくてもスピークスで電子メールがやりとりできるなんて!

「α-Eメール」→P.113



キャッチホンがあるから長電話も安心してできるわね!

「キャッチホン/Fネット/ダイヤルイン」→P.139



さっきの電話、あの人がらだったんだ! 誰からかかってきたのが分かるから便利ね。




「ナンバー・ディスプレイ」→P.128

注 ●製品をご使用前に必ず本書をお読みください。
意 ●本書はいつでも活用できるように大切に保管してください。

はじめに

このたびはコードレス留守番電話付きファクシミリ「speax(スピークス)J226YCL」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

製品を安全に正しくお使いいただくための表示について
本書では製品を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい事項を表示や図記号で示しています。表示や図記号の意味は次のとおりです。

- | | |
|---|--|
|  | 危険 : 人が死亡するまたは重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。 |
|  | 警告 : 人が死亡するまたは重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
|  | 注意 : 人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

絵表示の例



記号は注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な注意内容(左図の場合は高温注意)が描かれています。



記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中や近傍に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

本製品の故障・誤動作、停電あるいは天災等によって本製品が使用できなくなった場合、それに付随して生じる損害(通信・録音等上に生じる機会損失等)に対しては、当社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本製品を改造しないでください。改造・回路変更等を行った場合、当社は一切責任を負いません。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

ご使用にあたってのお願い

本品をご使用にあたって、NTT東日本またはNTT西日本のレンタル電話機が不要となる場合は、NTT東日本またはNTT西日本へご連絡ください。ご連絡いただいた日をもって、「機器使用料」は不要となります。詳しくは、局番なしの116番(無料)へお問い合わせください。


本製品の日本語かな漢字変換機能は日本電気ホームエレクトロニクス株式会社と使用契約を締結し、使用しているものです。


Copy right © 1991-1999 NEC Home Electronics, Ltd.


取扱説明書の見かた

本書の構成は次のとおりです。

巻頭には

 **安全に正しくご使用いただくために**
本製品を安全に正しくご使用いただくために、守っていただきたいことを説明しています。必ずお読みください。

 **子機をご使用になる際はご注意ください**
コードレス子機をご使用になる際の注意事項を説明しています。


 **本機の特長**
本製品の持っている便利な機能について、その特長をわかりやすく示しています。


 **目次**

本文の構成


本ページ右の一覧をご覧ください。


本文中の記号

 **ご注意**
本機の操作や設定を行う際にご注意いただきたいことを説明しています。


 **こんなときは**
本機の操作や設定を行う際に、「こんなときはどうしよう」と思われることについて、補足的に説明しています。

巻末には


 **操作早わかりガイド**

 **機能設定 / 登録早見表**


 **索引**

 **ご使用の前に**
本製品をご使用になる前に、まず確認していただきたいことを示しています。


ご使用の前に

 **設置**
本製品の組み立てや接続のしかた、必要な設定などについて説明しています。また、お買い上げ時の本製品の動作のしかたについて説明しています。


設置

 **電話**
電話のかけかた / 受けかたや、いろいろな使いかたなどについて説明しています。


電話

 **ファクス / コピー**
コピーのしかたや、ファクスの送信や受信のしかたなどについて説明しています。


ファクス / コピー

 **留守番**
留守番電話やおやすみモードの使いかたについて説明しています。


留守番

 **ハンズキャナ**
ハンズキャナを使ったコピーやファクスの送信のしかたについて説明しています。


ハンズキャナ

 **-ALPHA5**
DDK(第二電電)の -ALPHA5(アルファファイブ)の利用について説明しています。


・ALPHA5

 **-Eメール**
DDK(第二電電)の -Eメールサービスについて説明しています。


・Eメール

 **ナンバー・ディスプレイ**
NTT東日本またはNTT西日本のナンバー・ディスプレイの利用について説明しています。

ナンバー・ディスプレイ

 **キャッチホン / F ネット / ダイヤルイン**
NTT東日本またはNTT西日本のキャッチホンとF ネット、ダイヤルインサービスの利用について説明しています。

キャッチホン / F ネット / ダイヤルイン

 **こんなときは**
原稿や記録紙が詰まったときの対処方法や、記録紙のセット方法などについて説明しています。また、いろいろな疑問などについてQ&A形式で説明しています。

こんなときは

！安全に正しくご使用いただくために - 必ずお読みください -

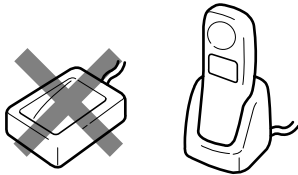
設置についてのご注意

⚠ 危険

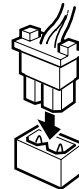
付属の充電器以外を使用しないでください。火災・けがや周囲を汚染する原因となることがあります。



禁止



電池はコネクタの向きを間違えないように機器内に挿入してください。間違えると、電池の破壊・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚染する原因となることがあります。



向きを正しく

⚠ 警告

本機に水が入ったりしないように、またぬらさないようにご注意ください。火災・感電・故障の原因となります。



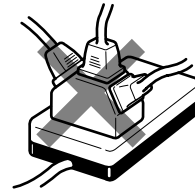
水ぬれ禁止



本体の電源コードはたこ足配線にしないでください。たこ足配線にすると、テーブルタップ等が過熱・劣化し、火災の原因となります。



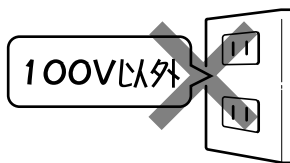
禁止



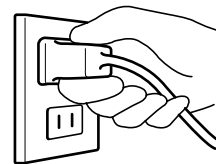
AC 100Vの家庭用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。



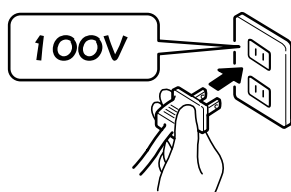
禁止



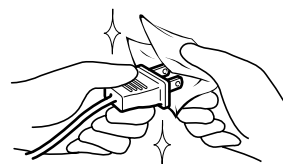
電源プラグおよび子機充電器用ACアダプタはコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属などが触れると、火災・感電の原因となります。



電源プラグはAC 100Vコンセントに差し込んでください。やむを得ず、同じコンセントに他の電気製品の電源プラグを差し込む場合は、電流値の合計がコンセントの最大値を超えないようにしてください。火災の原因となります。



電源プラグおよび子機充電器用ACアダプタの刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合はよく拭いてください。火災の原因となります。

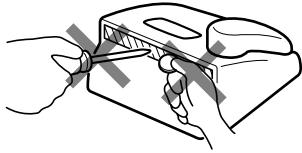


警告

開口部から内部に金属類を差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。



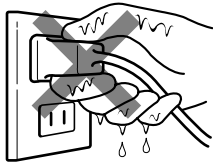
禁止



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。漏電して、感電の原因となります。



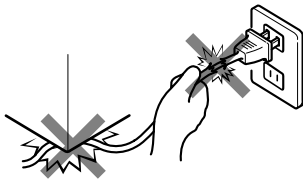
ぬれ手禁止



電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。重いものをのせたり、加熱されたり、ひっぱったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。



禁止



病院内などで使用される場合には、医用電気機器に電波による影響を与えることも考えられますので、医用電気機器の近く(例えば、手術室や集中治療室内など)ではご使用にならないでください。



禁止



充電器にコインなどの金属物を乗せしないでください。発熱・やけどの原因となります。



禁止



電池パックのコードはショートさせないように注意してください。



注意

湿気が多い場所で使用する場合はアース接続をしてください。アース線が取り付けられるところは次の部分です。



必ずアース線を接続せよ

- ・電源コンセントのアース端子
- ・銅片などを65cm以上、地中に埋めたもの
- ・接地工事(D種)が行われている接地端子

次のようなところには絶対にアース線を取り付けしないでください。

- ・ガス管、電話専用アース線、避雷針、水道管や蛇口

子機を壁掛け用に取り付ける場合は機器の重みにより落下しないよう、堅固に取り付け、設置してください。けがの原因となることがあります。



調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

振動、衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となります。



禁止

電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、コードが傷つき、火災・感電の原因となります。



⚠ 注意

直射日光の当たるところや温度が高いところに置かないでください。

- ・ 内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
- ・ 変色の原因となります。
- ・ コピーやファクスの記録のかすれの原因となります。



禁止

移動させる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、電話回線接続コードなど外部の接続線を外したことを確認の上行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



湿気やほこりの多い場所に置かないでください。漏電して、火災や感電の原因となります。



禁止

ファクスを受信すると自動的に記録紙を排出します。装置の上に物を置いたり、布をかけたりしないでください。紙がつまって、故障の原因となります。



禁止

漆等、高温で変色する可能性のある材質の台の上には置かないでください。変色の原因となります。



禁止

使用する際のご注意

⚠ 警告

本機の上や近くに、花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品、水などが入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。



禁止



本機で指定されていない電池は使用しないでください。電池の破壊、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚染する原因となることがあります。



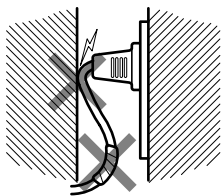
禁止



電源コードを加工したり、無理に曲げたりねじったり、引っ張ったりしないでください。火災・感電の原因となります。



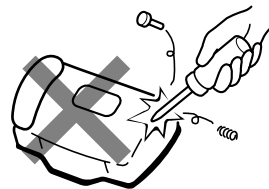
禁止



本機、充電器、および子機充電器用ACアダプタを分解、改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。



分解禁止



子機をねじったり、重い物をのせたり、ポケットに入れたまま椅子などに強く押しつけたりして圧迫しないでください。子機が破損し、火災・けが・やけどの原因となることがあります。



禁止



⚠️ 注意

本機のアンテナを誤って目にささないようにしてください。



電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してからコンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、掃除をしてください。ほこりにより火災・感電の原因となることがあります。



旅行などで長期間本機をご使用にならないときは安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



プリントカートリッジは開封した状態で放置しないでください。インクが固まり、使用できなくなります。



プリントカートリッジ交換および記録紙セットなどで開閉部を閉めるときは、指挟み、指のけがにご注意ください。



プリントカートリッジを交換するときは、インクが目に入ったり皮膚につかないように注意してください。万一、目に入ったり皮膚についたときは、直ちにきれいな水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症をおこす原因となります。



プリントカートリッジを分解しないでください。



プリントカートリッジを強く振らないでください。強く振ったり振り回したりすると、カートリッジからインクが漏れることがあります。



プリントカートリッジは、子供の手の届かないところに保管してください。



ゴミブリなどが入ると、故障の原因となることがあります。



通信やコピー中に電源プラグを抜いたり、本機のカバーを開けたりしないでください。故障の原因となります。



極端に暑い場所(35 以上)や寒い場所(5 以下)では使用しないでください。誤動作・故障の原因となります。



落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。



ハンズキャナを落としたり、固いものにぶつけたりしないでください。ガラスが破損してけがをしたり、故障の原因となります。



ハンズキャナをコードレスでご使用になる場合、ハンズキャナ用コードを強く引っ張った状態でのプラグの抜き差しは危険な場合がありますのでご注意ください。



親機または子機のモニタスピーカに耳を近づけないでください。大音量により耳に負担となる場合があります。



もしもこんなときは

⚠️ 警告

万一、内部に水などが入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入店またはNECサービスステーションにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。



万一、異物が本機の内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入店またはNECサービスステーションにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。特に小さなお子さまのいるご家庭ではご注意ください。



警告

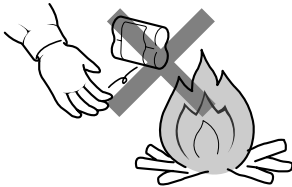
万一、本機を落としたりカバーを破損した場合や、電源コードが傷んだ場合（芯線の露出、断線など）は電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入店またはNECサービスステーションにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。



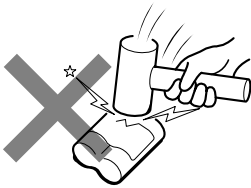
万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから、ご購入店またはNECサービスステーションに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



電池を廃棄する場合は火中に投げ入れないでください。爆発して火災・やけどの原因となることがあります。



電池パックは、水や火の中に入れてたり、加熱や分解をしたりしないでください。



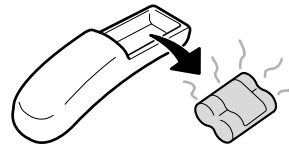
電池パックから液もれしたり異臭がしたりするときは、ただちに火気より遠ざけてください。



万一、電池パックが液もれして、液が目に入ったときは、こすらずにすぐにきれいな水でよく洗ったのち、ただちに医師の治療を受けてください。目に障害を与える恐れがあります。また、もれた液が皮膚や衣服についたときは、きれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となります。



電池パックを使用中や充電中、または保管中に異臭を発したり、発熱したり、変色・変形その他、今までと異なることに気がついたときは、子機から電池パックを取り出し使用を中止してください。



注意

お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。



水滴がついた場合は、乾いた布で拭き取ってください。



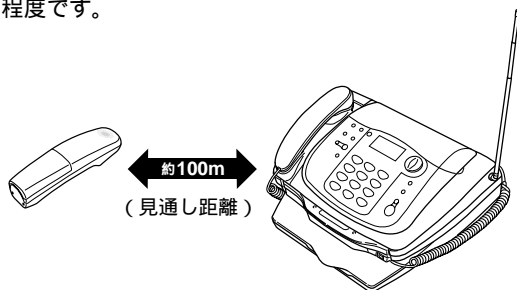
雷が鳴り出したら、電源コードに触れたり、周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷により、感電の原因となります。



！子機をご使用になる際はご注意ください

子機の通話範囲について

子機を親機から離しすぎると、通話できなくなったり子機の呼出ベルが鳴らなくなったりします。使用できるのは、親機と子機の間にはさぎるものがない場合で100m程度です。

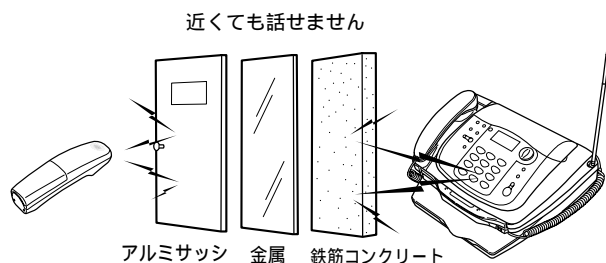


建物内などは、親機と子機の間には何もさぎるものなくても電波の届く範囲が狭くなったり、通話に雑音が入ることがあります。

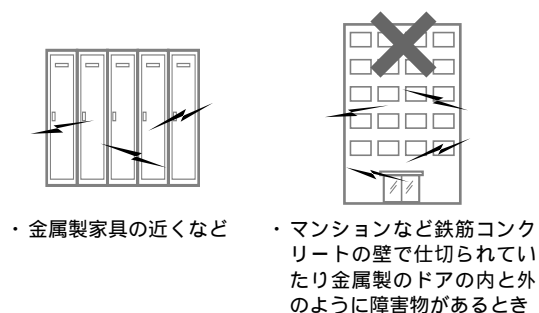
建物内の異なる階層(上下)や屋外を経由するときは通話できないことがあります。

親機のアンテナはまっすぐ立ててお使いください。アンテナを倒した状態では、子機で通話できる範囲が狭くなったり、通話に雑音が入ることがあります。

親機との間に鉄筋コンクリート、金属、アルミサッシ等の障害物がある場合は、電波が届きません。



次のような場合は、電波の届く距離が短くなります。



子機使用上のご注意

コードレス子機は電波を使っているため、特殊な装置により盗聴される恐れがあります。大切な話は親機の受話器を使用するなど、注意してお使いください。

親機からの電波が届かない場所では、電話がかかってきた時に子機の呼出ベルは鳴りません。また、子機で電話をかけることはできません。内線通話等により、あらかじめ子機が使用できる範囲をお確かめください。

通話中に「ピーッ、ピーッ...」という音がした時は、通話圏外まで離れています。親機に近づいてください。通話圏外のまましていると約5秒後に親機側で保留になります。さらに1分経過すると回線が切断されます。

通話中に「ピッピッピッ...」という音がした時は、電池の充電残量が少なくなっています。このまま通話を続けると約3分後に回線が切断されます。

近隣でコードレス電話機をお使いの方がいる場合、まれに誤動作する場合があります。つながらない、通話の途中で切れた等の場合は、いったん切って、もう一度かけなおしてください。

次のような機器の近くに親機を設置したり、近くで子機を使用したりしないでください。雑音や誤動作の原因となることがあります。

- ・ ビジネスホン、モデム、パソコン、ワープロ、無線機、コピー機、他のコードレス電話機など
- ・ 携帯電話、PHSの本体、ポケットベル、充電器、およびACアダプタ
- ・ テレビ、ラジオ、蛍光灯、CDプレーヤー、ヘッドライヤー、電子レンジ、ステレオ、電気こたつなど
- ・ 自動車、オートバイ、ネオンサインなど

車のダッシュボードなど、直射日光の当たるところに放置しないでください。

ふる場やシャワールームなど、湿度の高いところで使用しないでください。

自動車やオートバイが近くを通ったときや、電気製品や蛍光灯のスイッチを「入」切った時など、雑音が入ることがあります。

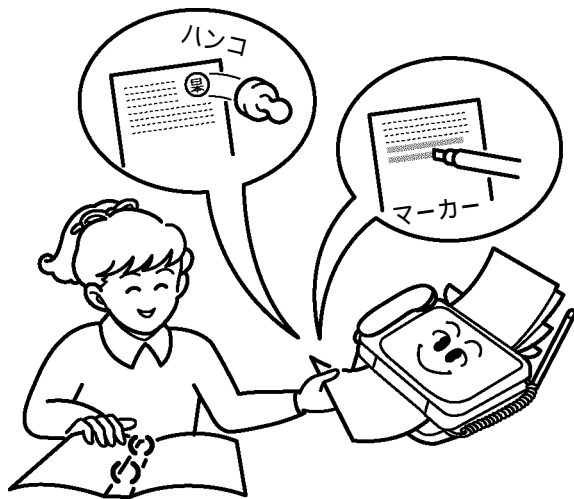
ぬれた手で子機を操作したり、子機に水をかけたりしないでください。本製品の子機には防水機能がありません。故障の原因となります。



本機の特長

インクジェット方式の 普通紙記録

普通紙に記録するので、受信した文書やコピーをそのままファイルに保存できます。時間が経過しても変色しにくく、マーカーで書き込んだり、印鑑を押すことができます。プリントカートリッジの交換も簡単で、記録紙は一度に30枚までセットが可能です。使い終わったプリントカートリッジはゴミ(燃えないゴミとして捨てられます)としてもとても小さく、環境に優しくなっています。



自分だけの着信メロディが作れる (オリジナル着信メロディ)

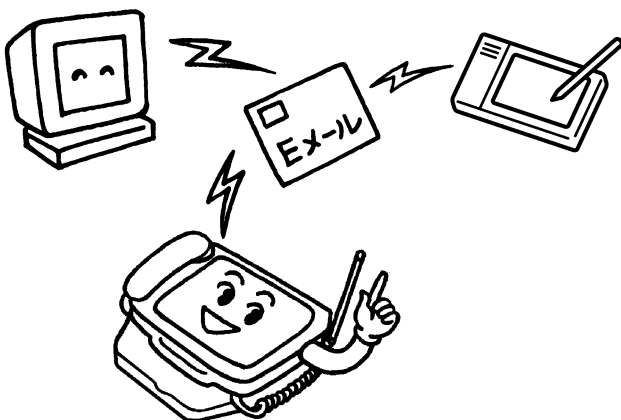
「着信メロディを自分で作る」(P.60)
携帯電話のように、お好みの曲を着信メロディとして登録できます。(電話がかかってくると、ベルのかわりに登録したメロディが流れます。)
市販されている「着メロ本」をご利用いただければ、操作はさらに簡単です。(本機のオリジナル着信メロディの入力のしかた(P.61)は、ドコモの「デジタルムーバ N208 HYPER」および「デジタルムーバ N208S HYPER」と同様です。)
「ムーバ」はドコモの登録商標です。



EメールのやりとりもOK

DDIの「Eメール」サービス(P.113)に加入すると、パソコンや携帯端末等で使用されるEメール(電子メール)を送受信することができます。もちろん、漢字も使用できるので、パソコンがなくてもEメールでのやりとりができます。

DD(第二電電)との契約が必要です。



わかりやすい大型漢字表示

親機の表示を従来の「カナ英字」から、見やすく操作もわかりやすい大型の「漢字」にしました。

例えば、らくらく電話帳(P.39)の名前も漢字で登録できるので、今まで「スズキマサユキ」とちょっとわかりにくかった表示も「鈴木正幸」と実際の電話帳のように一目でわかります。

また、ナンバー・ディスプレイ(P.128)に加入すれば、らくらく電話帳に登録された相手の名前が漢字で表示されるため、とてもわかりやすくなります。



コードレス Handsキャナ 《2WAY》でコピー/ファクス送信

「コードを付けたままでコピーする」(P.94)
 「コードを付けたままで送信する」(P.95)
 「コードレスでコピーする」(P.96)
 「メモリに記憶されている原稿を送信する」(P.97)
 新聞や雑誌の気になる情報、友達のノートだって Handsキャナを使えば簡単にコピーがとれます。コードを外して使うこともできるのでさらに便利。本体から離れた場所にあるものだって読み取ることができます。読み取った内容を、そのままファクスで送ることもできます。



いつもの相手は電話帳に登録 (らくらく電話帳)

「らくらく電話帳」(P.39)
 親機や子機の電話帳によくかける相手の名前と電話番号を登録すれば、簡単な操作で電話がかけられます。親機には名前を漢字で登録できるので、かける相手が一目でわかります。また、親機に登録した電話帳は、「全て」または「1件ごと」に子機に転送することができます。(P.45)



おトクな回線を自動で選ぶ (-ALPHA5)

「 -ALPHA5について」(P.101)
 相手の場所、曜日、時間帯を自動判定して、NTT東日本またはNTT西日本の市外回線とDDIからおトクな回線を自動的に選びます。
 また、 -NEWS中の「えらんでメロディ」を利用すれば、センターにある曲の中から好きなメロディ(1曲)を取り込み、着信メロディとして使うことができます。その他、生活に役立つ情報を簡単な操作で取り出せる -NEWS、郵便番号を本機に登録すれば地域の公共施設の電話番号が自動的に登録される -DIALなどのサービスを利用することができます。

DDK(第二電電)への -ALPHA5のお申し込みが必要です。



相手を確認できる ナンバー・ディスプレイ対応

「ナンバー・ディスプレイについて」(P.128)
 かけてきた相手の電話番号や名前をディスプレイに表示します。
 この電話番号を利用して、その相手に電話を簡単にかけられるなど、さまざまな便利な機能を使うことができます。また、キャッチホンディスプレイに対応していますので、キャッチホンの相手の電話番号や名前をディスプレイに表示することもできます。(ナンバー・ディスプレイとは別にNTT東日本またはNTT西日本との契約が必要です。(有料))
 NTT東日本またはNTT西日本との契約が必要です(有料)。





目次

取扱説明書の見かた	1
安全に正しくご使用いただくために	2
子機をご使用になる際はご注意ください	7
本機の特長	8



ご使用の前に

箱の中身をご確認ください	13
各部の名称	14
ピクト表示の見かた	18
知っておきたいこと	19
記録紙について	20



設置

はじめにご確認ください	21
組立と接続	22
・各部の取り付け	22
・電源の接続とかんたん時刻セット	27
・セッティングの確認	27
・電話回線の接続	28
・子機の増設	28
必ず設定してください	29
・ナンバー・ディスプレイの設定	29
・回線種別の手動設定	30
・時刻セット(再設定のとき)	30
必要に応じて設定してください	31
・回線種別を自動設定する (自分の電話番号の登録)	31
・発信元を相手の記録紙にプリントさせる	32
電話やファクスが入ると speaxはこう動きます	34



電話

電話をかける	35
電話を受ける	36
同じ相手にもう一度かける(リダイヤル)	37
トーン信号に切り替える (ダイヤル回線の場合)	38
らくらく電話帳	39
・親機の電話帳に登録する	39
・親機の電話帳の登録を変更/消去する	41
・子機の電話帳に登録する	42
・子機の電話帳の登録を変更/消去する	44
・親機の電話帳を子機に転送する	45
・親機で電話帳を使って電話をかける	46
・子機で電話帳を使って電話をかける	47

ワイワイトーク(ハンズフリー通話)	48
保留する	49
転送する	50
・親機から子機へ転送する	50
・子機から親機へ転送する	51
・子機から他の子機へ転送する (子機を増設した場合)	52
親機と子機で通話する(内線通話)	53
・親機から子機を呼ぶ	54
・子機から親機を呼ぶ	55
通話録音	56
・通話中の会話を録音する	56
・通話録音した内容を聞く	57
・留守番電話に録音された用件や 通話録音した内容を相手に聞かせる	57
音量調整	58
いろいろな設定を変えて使う	59
・ベルの音色/メロディを変える	59
・保留メロディを変える	59
・着信メロディを自分で作る (オリジナル着信メロディ)	60
・ボイスコールを設定する	62
・子機のベルを優先して鳴らす	62
・子機の送話音量を全体的に大きくする	63
・子機の受話音量を全体的に大きくする	63
・子機のキータッチトーンを設定する	63



ファクス/コピー

ファクス/コピーの前に	64
・読み取りできる原稿とできない原稿	64
・原稿セットのしかた	64
・写真や小さい文字の原稿のとき (画質モード)	65
・色がついた原稿や文字がうすい 原稿のとき(読み取り濃度)	66
・海外へファクスを送るとき	66
ファクスを送る	67
・ファクスを自動で送る(自動送信)	67
・相手と話してから送る(手動送信)	68
・メモリに読み込んでから送る (おまかせ送信)	69
ファクスを受ける	70
・ファクスを自動で受ける (ファクス/電話自動切替)	70
・ファクスを手動で受ける	71
・メモリ代行受信	72

いろいろな設定を変えて使う	73
・着信ベル回数を変える	73
・呼出ベル回数を変える	73
・ファクスの時はベルを鳴らさない (無鳴動着信).....	74
・相手に音声メッセージを流す	74
・いつも電話で受ける(電話モード).....	74
・いつもファクスで受ける (ファクス専用モード).....	75
・ファクスかんたん受信の設定	75
・印字範囲の設定	76
・定型受信の設定	77
・定型コピーの設定	77
コピーをとる	78
ファクス情報サービスを利用する	79

留守番

留守セット / 解除	80
用件の再生 / 消去	82
応答メッセージを録音 / 消去する	83
子機で留守番電話を操作する(留守番リモート)...	84
・留守セット / 解除	84
・用件の再生 / 消去	84
外出先で留守番電話を操作する (外線リモート).....	85
・リモート操作の設定と リモートパスワードの登録	85
・外出先で留守番電話の用件を聞く	86
留守番電話が入ったら 外出先へ通知する(用件転送).....	87
・用件転送先の登録	87
・用件転送の使いかた	88
おやすみモード	89
・おやすみモードのセット / 解除	89
・おやすみモードのタイマ切替	90
トールセイバの設定	91

ハンズキャナ

ハンズキャナご使用の前に	92
・ハンズキャナの取り外しと取り付け	92
・ハンズキャナを使った 原稿の読み取りについて	93
コードを付けたままでコピーする	94
コードを付けたままで送信する	95
コードレスでコピーする(自動プリント).....	96

メモリに記憶されている原稿を送信する	97
メモリに記憶されている原稿をプリントする ...	98
メモリに記憶されている原稿を消去する	99
設定を変えて使う	100
・原稿を拡大 / 縮小する	100
・メロディハンズキャナの設定	100



-ALPHA5

-ALPHA5(アルファファイブ)について ...	101
申し込みと登録のしかた	102
・申し込みからご利用までの流れ	102
・アルファスタートする	103
・自宅の電話番号を登録する	104
・オンライン通信について	105
・ -ALPHA5 の利用を一時中止する	105
・ -ALPHA5 の利用を再開する	105
おトクな市外回線を利用する (DDI市外電話自動選択機能).....	106
料金表示を設定する	107
各種サービスを利用する	108
・メニューを表示する	108
・ -NEWSの情報を利用する	108
・着信メロディを取り込む (えらんでメロディ).....	109
・ -MAILを送信する	110
・受信した -MAILを見る	111
・ -DIALを利用する	112



-Eメール

-Eメールについて	113
申し込みと登録のしかた	114
-Eメールを送信する	115
-Eメールを受信する	119
・ -Eメールを受信する	119
・受信した -Eメールを見る / プリントする / 消去する	120
-Eメールを返信する	121
-Eメールのアドレス帳に登録する	122
自由定型文の登録 / 添付ファイル自動受信の設定	124
メールアドレスを変更する	125
メールアドレスを追加登録する (サインアップ).....	126
-Eメールの各種機能を設定する	127

ナンバー・ディスプレイ

ナンバー・ディスプレイについて	128
ナンバー・ディスプレイ表示の見かた	129
着信データを見る / 消す	130
着信データの相手へ電話をかける (コールバック).....	131
着信データを登録する(かんたん登録).....	132
留守録着信データを確認する	133
設定による使い分け	134
・プライベートコールと着信鳴り分けの設定 ...	134
・とくていコールの設定	135
・番号リクエストの設定	135
・応答メッセージの選択設定	136
・キャッチホン・ディスプレイの設定	136
・着信拒否の設定	137
・着信拒否の登録 / 変更 / 消去	138

キャッチホン/Fネット/ダイヤルイン

キャッチホンを利用する	139
Fネットを利用する(ファクシミリ通信網)....	140
ダイヤルインサービスを利用する	141
・ダイヤルインサービスについて	141
・ダイヤルインの利用例	142
・ダイヤルインの登録.....	143

こんなときは

原稿がつまったとき	144
「記録紙がつまりました」と表示されたとき	145
記録紙をセットするとき	148
停電したとき	149
電池を交換するとき	150
・子機の電池パックの交換	150
・ハンズキャナの電池パックの交換	151
プリントカートリッジを交換するとき	152
エラーコードが表示されたとき	154
設定・登録・カートリッジの状態を 確認するとき	155
ドアホンを使うとき	157
・ドアホン接続の設定	157
・ドアホンから呼び出しがあったとき	158
・通話中にドアホンから呼び出しが あったとき	159
・ドアホンでモニタする	159

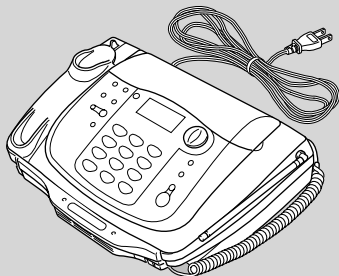
いろいろな機器を接続するとき	160
・パソコンやモデムとの接続	160
・ISDNターミナルアダプタ(TA) との接続	160
省エネルギーモードで使うとき	161
お手入れのしかた	162
・本体の清掃	162
・ハンズキャナの清掃	162
・記録紙カセットの清掃	162
・原稿送り用ローラの清掃	162
・記録紙送り用ローラの清掃	163
・記録紙給紙用ローラの清掃	163
・プリンタ部の清掃	164
・プリントカートリッジの清掃	165
困ったときは(Q&A).....	166
アフターサービス・オプション品・ 消耗品のご案内	172
お客様ご相談窓口のご案内	173
仕 様.....	175
操作早わかりガイド	176
機能設定 / 登録早見表	180
索 引.....	181



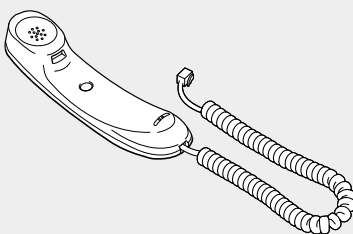
箱の中身をご確認ください

箱を開けたら次のものがすべてそろっているか確認してください。不足していた場合はご購入店にご連絡ください。

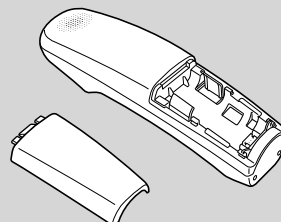
親機(本体) 1台



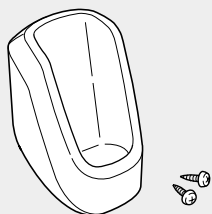
受話器 1個



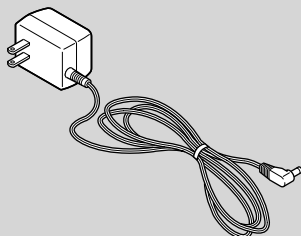
子機 1台
(電池カバー付き)



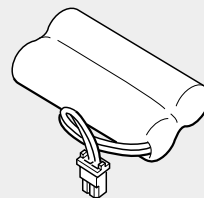
子機充電器 1台
(壁掛け用ネジ2本付き)



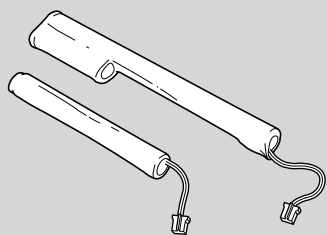
子機充電器用ACアダプタ 1個



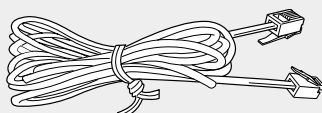
電池パック 1個
(子機用)



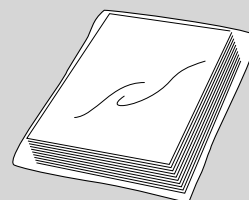
電池パック 1セット
(ハンズキャナ用)



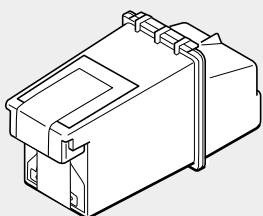
電話回線接続コード
1本(2m)



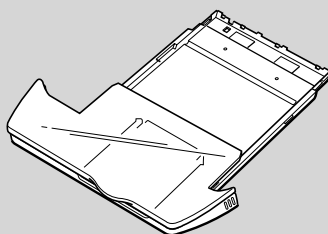
記録紙
(A4サイズ10枚)



プリントカートリッジ 1個



記録紙カセット 1個



DDK(第二電電) -ALPHA5・
-Eメールご利用申込書: 1式
取扱説明書(本書): 1冊
保証書: 1枚

保証書について

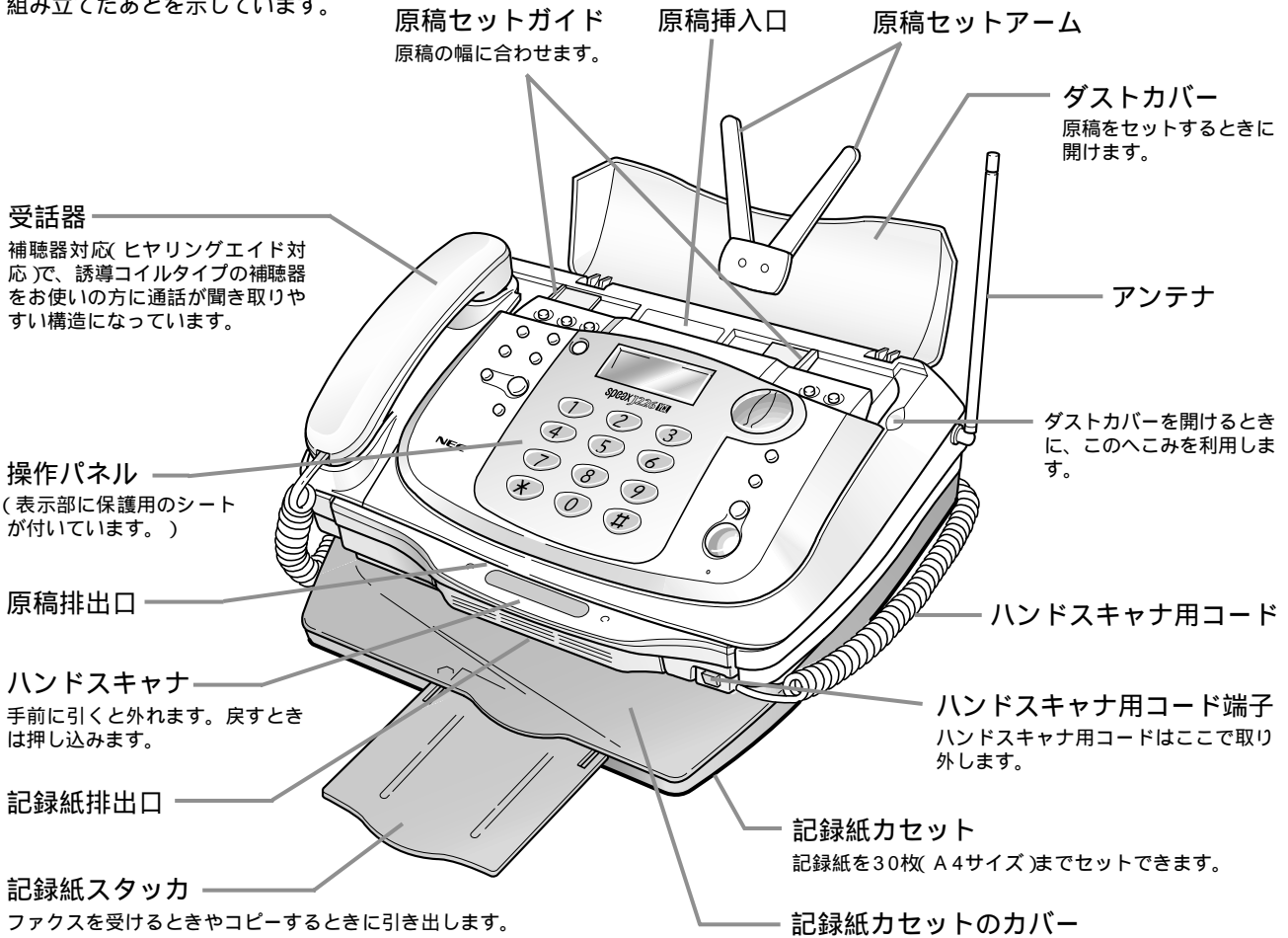
保証書は、販売店で所定の事項を記入いたしますので、必ず保証期間、ご購入店名、記載事項を確認の上、大切に保管してください。



各部の名称

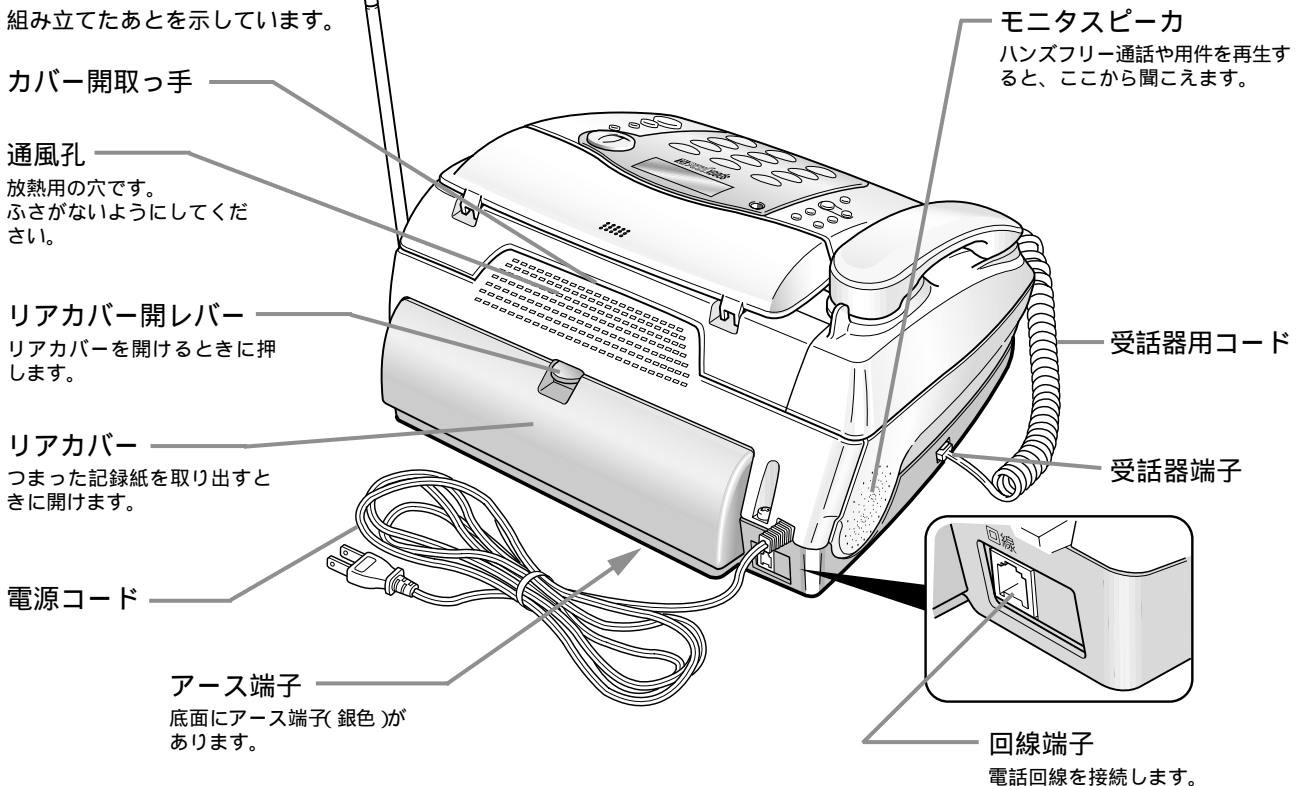
全体(正面)

組み立てたあとを示しています。



全体(背面)

組み立てたあとを示しています。



操作パネル

▶ 再生

用件を再生するときなどに使用します。

音量

ベル音量、受話音量、ワイワイトーク音量、モニタスピーカ音量を調整するときなどに使用します。

画質

画質モードを設定するときを使用します。

5 / -Eメール

-ALPHA5機能や、Eメールを送受信するときを使用します。

-ALPHA5ランプ

-ALPHA5機能が利用できるときは緑色、利用できないときは赤色に点灯します。

ディスプレイ

漢字等の全角は10文字(半角は20文字)×3行まで表示できる文字表示部(上3段)と、動作状態をお知らせするピクト表示部(下段)があります。バックライト付きです。



— 音量 — 通信状態 — 録音残量

(ピクトは全点灯時を表わしています)

電話帳登録/セット

電話帳の登録や各種の設定時に使用します。

機能

各種の登録や設定時に使用します。

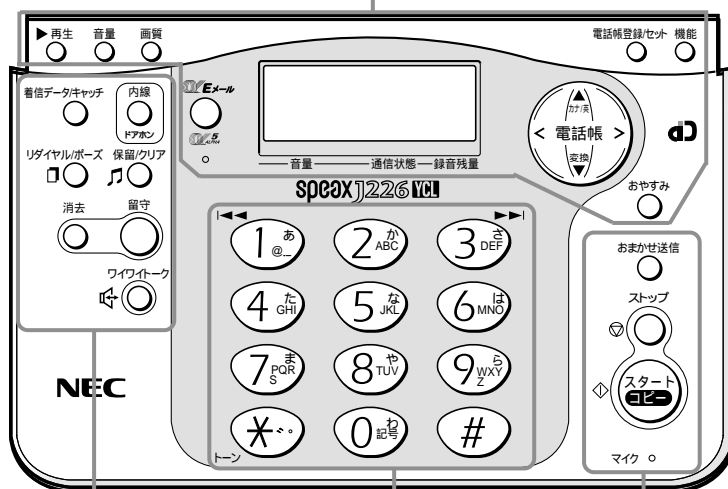
電話帳(▲/▼/◀/▶/加/英/変換)

電話帳で電話をかけたり、電話帳に登録されている相手先を選ぶときなどに使用します。各種の設定時には、ディスプレイのカーソルを左右に移動させます。

文字入力時には、文字種の選択、漢字変換に使用します。

おやすみ

電話がかかってきた時に点滅します。おやすみモードに設定するときなどに使用します。



着信データ/キャッチ

かかってきた相手の電話番号を表示させたり、電話をかけるときなどに使用します。キャッチホンが入った時に使用します。

内線/ドアホン

子機との内線通話や、ドアホン通話などに使用します。

リダイヤル/ポーズ

最後にかけた相手にもう一度かけるときに使用します。ポーズを入れるときに使用します。

保留/クリア

電話を保留するときなどに使用します。各種の登録時、入力内容を消去するときを使用します。

消去

用件を消去するときを使用します。

留守

留守設定にするときなどに使用します。

ワイワイトーク

受話器を持たずに電話するときを使用します。

おまかせ送信

おまかせ送信時に使用します。

ストップ

送信やコピーを途中でやめるとき、登録や設定を途中でやめるときなどに使用します。セットした原稿を排出するときを使用します。

スタート/コピー

ファクスの送信や受信時、コピー時などに使用します。

マイク

ワイワイトークで通話するときを使用します。応答メッセージを録音するときを使用します。

ダイヤルボタン

ダイヤルするときなどに使用します。

◀◀(1)

再生中の用件をもう一度聞くときや、ひとつ前の用件を聞くときに使用します。

▶▶(3)

再生中の用件の次の用件を再生するときを使用します。

トーン(*)

ダイヤル回線を使用の場合、トーン(ブッシュ)信号を送出したいときに使用します。

ハンドスキャナ

親機から取り外したとき

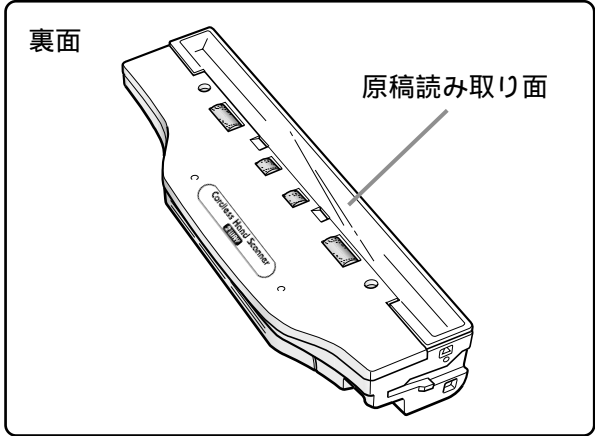
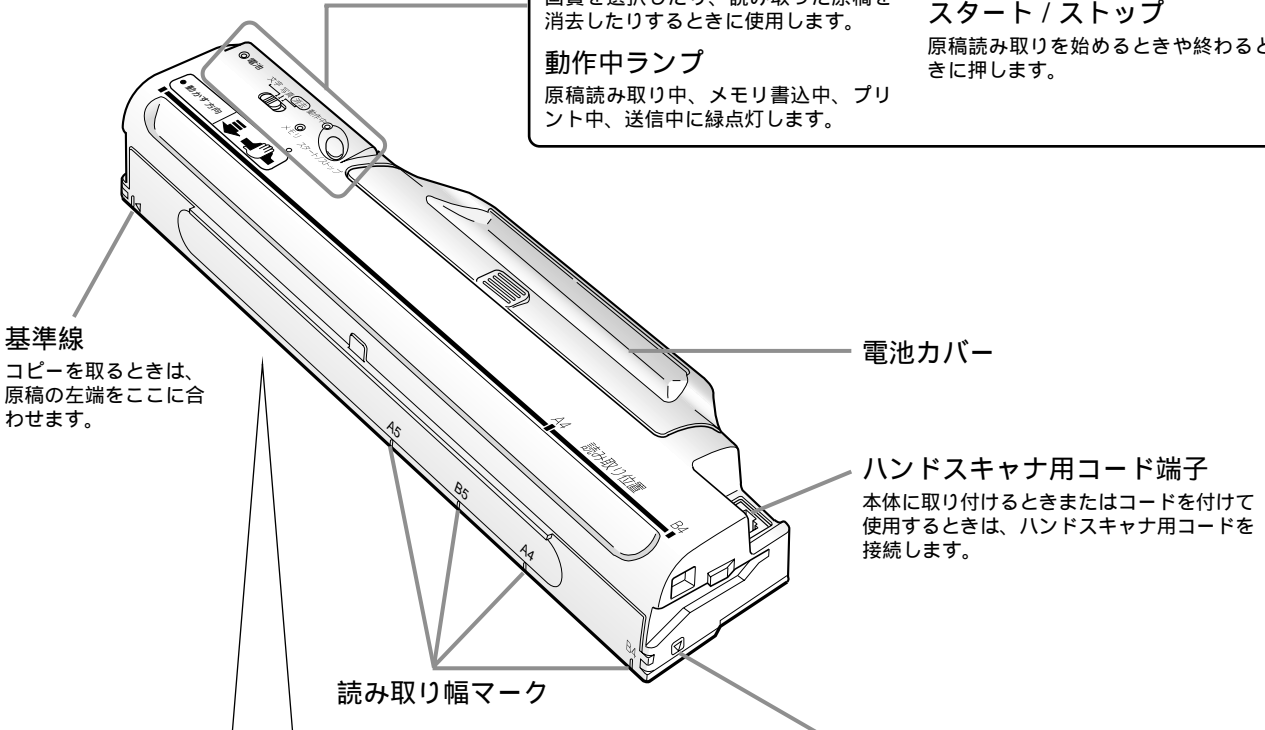
電池ランプ
 ハンドスキャナの電池の状態を示します。

画質選択 / 消去スイッチ
 画質を選択したり、読み取った原稿を消去したりするときに使用します。

動作中ランプ
 原稿読み取り中、メモリ書込中、プリント中、送信中に緑点灯します。

メモリランプ
 読み取ったデータがメモリに入ると緑点灯します。メモリがいっぱいになると緑点滅します。

スタート / ストップ
 原稿読み取りを始めるときや終わるときに押します。

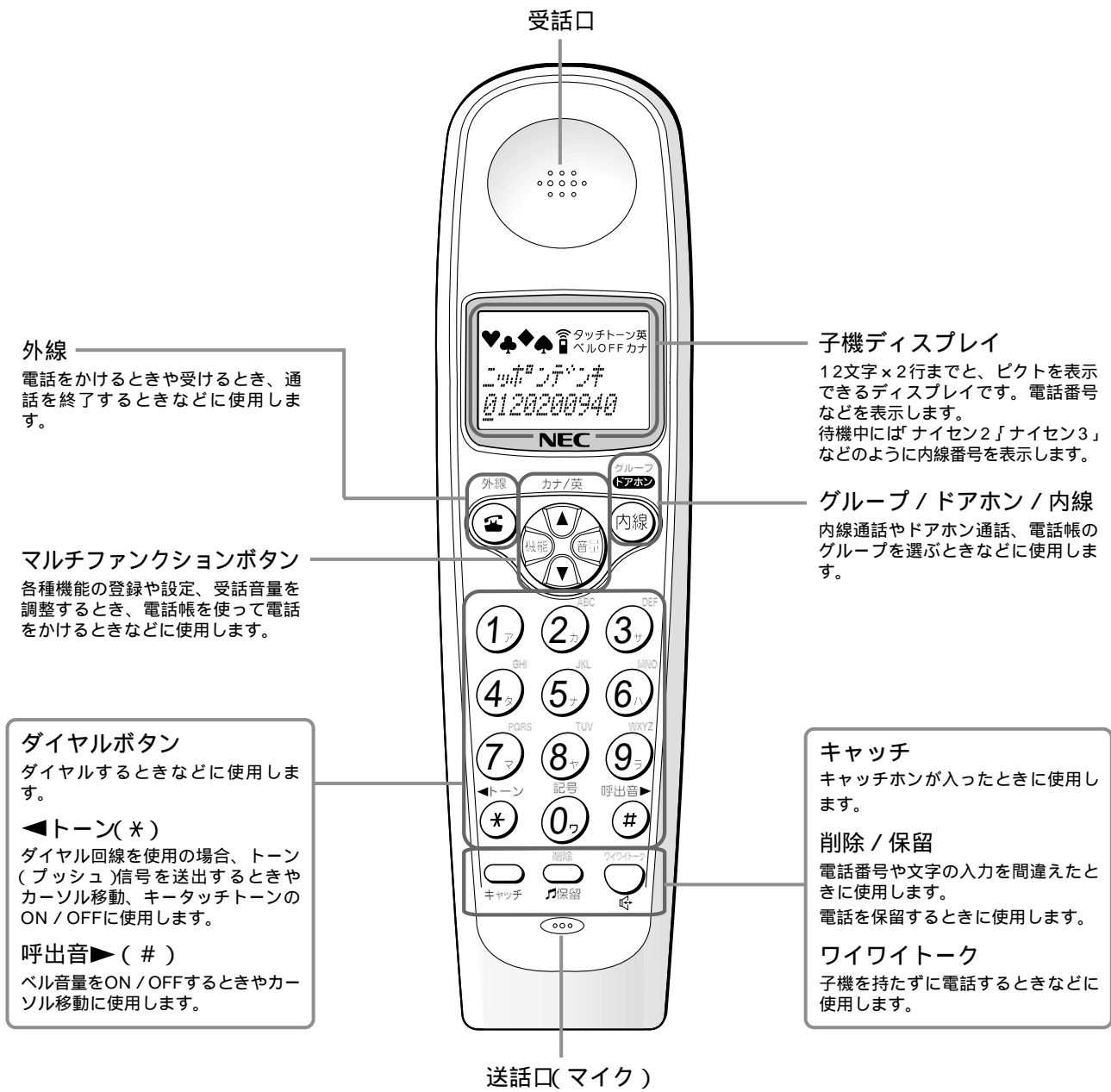


電池ランプについて

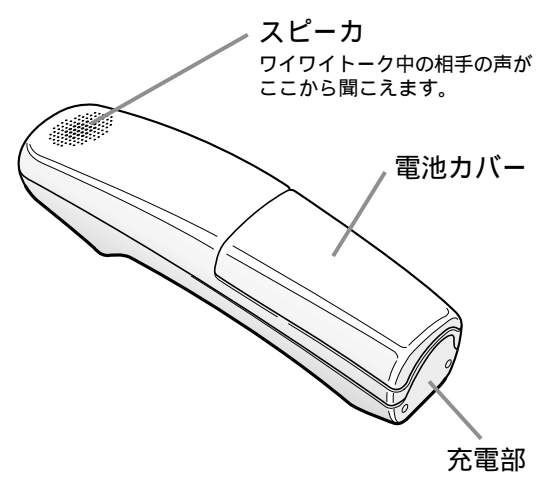
電池ランプはハンドスキャナの電池の状態を示します。

	電池ランプの状態	ハンドスキャナの状態
コードレス時	点 灯	電池が十分にあります。
	点 滅	電池が少なくなってきています。ハンドスキャナ用コードを接続し、充電してください。
	消 灯	電池がなくなっています。ハンドスキャナ用コードを接続し、充電してください。
コード接続時	点 灯	ハンドスキャナが使用できます。
	点 滅	急速充電中です。

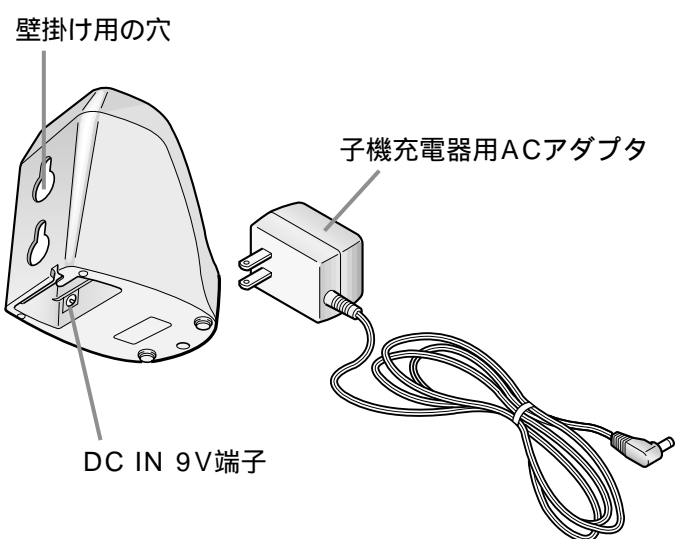
子機(正面)



子機(背面)



子機充電器





ピクト表示の見かた

親機のピクト表示



録音残量表示



録音時の残り時間を示します。



録音ができないとき(用件が30件または残りの録音時間が20秒以内のとき)を示します。

(点滅)

メモリ代行受信 (P.72)したデータや受信した Eメール (P.119)が残っていると録音できる時間は短くなります。

通信状態

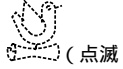


待機中や機能選択時は、2羽のハトが表示されています。



通話中は、1羽ずつ交互に表示されます。

(交互)



自動ダイヤル中やオートリダイヤル待ちのときに点滅します。

(点滅)



ファクス通信中は、1羽ずつ交互に表示されます。

(交互)



おまかせ送信またはハンドスキャナ送信で、原稿を蓄積中に点滅します。

(点滅)



ファクス通信が正常に終了すると約5秒間点滅し、外線通話、通信、コピーをするまで点灯します。



ファクス通信が異常終了した時に約5秒間点滅し、外線通話、通信、コピーをするまで点灯します。



原稿蓄積中にメモリフルになった時、10秒間点滅し、外線通話、通信、コピーをするまで点灯します。

音量表示(親機使用時)



メッセージ出力時のスピーカ音量を示します。



通話時の受話音量を示します。



ワイワイトーク時のスピーカ音量を示します。



ベル音量を示します。

1. バックライトは、機能選択中や、通話、ファクス通信、プリントなどの動作中に点灯し、動作終了後、約3秒で消灯します。
2. バックライトの点灯が約5時間続いたときは、ディスプレイ保護のため消灯します。

子機のピクト表示



ナンバー・ディスプレイをご利用の場合、グループ登録した相手から電話がかかってきたときに、登録したグループのマーク(ハート、クローバー、ダイヤ、スペードのいずれか)が表示されます。



子機でリモコン操作をしているときに表示されます。

タッチトーン
OFF

キータッチトーン(ボタンを押したときに鳴る音)を消しているときに表示されます。

ベルOFF

呼出音を切っているとき(OFFにしているとき)に表示されます。

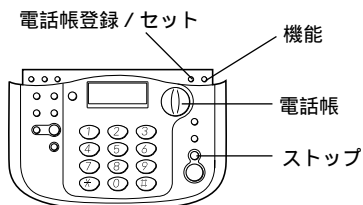
英
カナ

電話帳に文字を入力するときに、入力モードにより英または、カナが表示されます。

知っておきたいこと

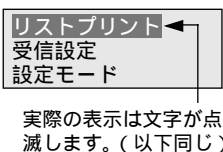
設定操作について

本機の設定や登録は、ディスプレイに表示されるメニューから目的の項目を選択して行います。まずメインメニューから選択し、更に各設定項目を選択して設定を行います。詳しい手順は各設定のページで説明しますが、基本的なメニュー選択の手順をご理解ください。



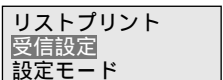
1 ダストカバーを開きます。

2 **機能** を押します。
ディスプレイに設定/登録のメインメニューが表示されます。



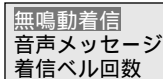
実際の表示は文字が点滅します。(以下同じ)

3 **電話帳** の▲または▼を押して目的のメニュー項目を選択します。



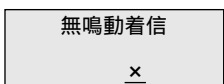
点滅表示されている項目が現在選択されている項目です。
この例では、受信設定が選択されています。
[▲または▼]を繰り返して押すと、メニュー項目が上下にスクロールします。

4 **電話帳登録/セット** を押します。
ディスプレイに手順3で選択したメニューの設定項目が表示されます。



5 **電話帳** の▲または▼を押して目的の設定項目を選択します。

6 **電話帳登録/セット** を押します。
右例は、「無鳴動着信」を選択した場合の表示例です。



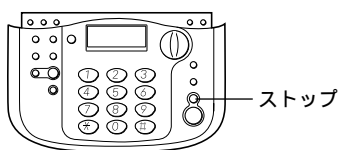
以降は選択した項目の設定操作になります。
(**ストップ** を押せば手順を終了できます。)

! 設定や登録を行う操作の途中で、約90秒以上何も操作をしないと、待機状態に戻ります。

操作を間違えたとき

途中で操作や設定がわからなくなった場合や操作を間違えた場合は、次の操作をしてからもう一度やりなおしてください。

親機の場合



ストップ を押します。
操作/設定がキャンセルされ、待機状態またはひとつ前の状態に戻ります。

子機の場合



ひとつ前の手順に戻りたいときは **機能** を2秒以上押し続けます。

ピッという音がして、ディスプレイがひとつ前の状態に戻ります。(留守番りモード(P.84)時はこの操作はできません。)

すべての操作をやり直すときは、充電器に戻します。

充電器に置いている場合は、いったん充電器からとり、充電器に戻してください。子機が待機状態に戻ります。

自分の電話番号の通知・非通知について

NTT東日本またはNTT西日本のナンバー・ディスプレイを利用している相手に自分の電話番号を通知する、しない、それぞれの場合は、電話をかけるときに次のようにダイヤルしてください。

	「通話ごと非通知」を契約している場合	「回線ごと非通知」を契約している場合
相手に番号を通知する	普通にダイヤルします。	相手の番号の前に「186」をつけてダイヤルします。
相手に番号を通知しない	相手の番号の前に「184」をつけてダイヤルします。	普通にダイヤルします。

ナンバー・ディスプレイの「通話ごと非通知」「回線ごと非通知」についてはNTT東日本またはNTT西日本の窓口等にお問い合わせください。(問い合わせ先 P.128)

電話番号を「通知」して電話した場合、電話勧誘など思わぬ使い方をされることがあります。

通話時間表示について

親機、子機のディスプレイには、通話時間が表示されます。

親機の表示	子機の表示
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 2月 1日(火) 12:00 用件 0件 通話時間 0分35秒 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; text-align: center;"> 0'15 </div>

親機の場合はダイヤル後約10秒経つと、子機の場合は充電器からとると、相手が出ないときでも通話時間が表示されます。

親機では、相手が出ると0秒から表示しなおされます。

通話時間は目安としてご利用ください。

受話器や子機を戻してから、約5秒間通話時間が表示されます。

通話時間が59分59秒を超えたときは、0分00秒から表示されます。

記録紙について

記録紙の状態について

記録紙は記録紙カセットに長期間セットしたままにしたり、湿気を含むと品質が劣化し、先端が波打った状態になります。このままご使用になると、記録紙給紙不良の原因になるので、すみやかに記録紙を交換してください。

ご使用になれる記録紙について

記録紙の種類によっては記録紙給紙不良になる場合があります。特に表面がオーバーコートされた記録紙や、厚い記録紙を使用すると、記録紙給紙不良の原因となります。

しわ、折れのある紙、湿っている紙、一度プリントした紙の裏面などは使用しないでください。

記録紙給紙不良、記録紙づまりの原因となります。

表面に光沢のある紙やOHPフィルムは使用できません。

記録紙の品質はメーカーにより異なります。記録紙の品質によって画像の品位が変わる場合がありますので、記録紙を大量に購入される前に一度テストプリントすることをお勧めします。

記録紙は日光の当たる場所、湿気が多い場所、高温になる場所を避けて保管してください。

記録紙は推奨紙のご使用をお勧めします。

推奨紙以外の記録紙をお使いになる場合も、A4サイズ、紙質55kg～70kg(紙厚0.08mm～0.1mm)で表面にオーバーコート等の処理をしていない普通紙をお使いください。

このページの紙の厚さは約0.09mmです。

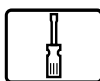
「記録紙がつまりました」と表示された場合

記録紙カセットの奥側斜面がすべりにくくなると、記録紙給紙不良の原因になるので、記録紙カセットの奥側斜面を清掃してください。(P.162)

記録紙給紙用ローラが汚れると、記録紙給紙不良の原因になるので、記録紙給紙用ローラを清掃してください。(P.163)

装置は水平な台の上に設置してください。

装置を傾いた台の上に設置すると、装置がねじれたりして記録紙給紙不良の原因となります。



はじめにご確認ください

本機を組立・接続するまでの全体の流れを示します。まず、作業前の確認を行ってください。

ステップ1 作業前に確認します

- 設置スペースを確認してください。本ページ右
電話コンセントのタイプを確認してください。
本ページ右
電話回線の配線状況を確認してください。
- ・ ブランチ接続(並列接続)はしないでください。
本ページ右
次の機器と接続するときは、参照ページもご確認ください。
 - ・ パソコンやモデムと接続する P.160
 - ・ ISDNターミナルアダプタ(TA)と接続する P.160
 - ・ ドアホンを接続する P.157

ステップ2 組立と接続

- 受話器を取り付けます。 P.22
- 子機へ電池を取り付け、充電器を準備します。
P.22、P.23
- ハンズキャナへ電池を取り付けます。 P.24
- プリントカートリッジを取り付けます。 P.25
- 記録紙をセットします。 P.26
- 電源を接続します。 P.27
- 時刻をセットします。 P.27
- 電話回線に接続します。 P.28
- 子機を増設します。(必要に応じて) P.28

ステップ3 必ず設定してください

- ナンバー・ディスプレイの設定を確認します。
P.29
- 回線種別を設定します。 P.30

ステップ4 必要に応じて設定してください

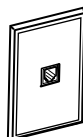
- 自分の電話番号を登録します。 P.31
- 自分の名前(発信元)を登録します。 P.32

設置スペース

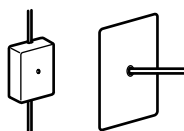
親機(本体)は壁に掛けて使うことはできません。
子機(充電器)は壁掛けできます。
本機の操作や消耗品類の交換、日常点検などを行うため
に、図のスペースを確保してください。なお、本機は水平
な所に設置してください。正常に動作しないことがありま
す。



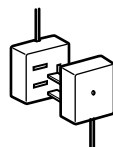
電話コンセント



モジュラ式の時
そのまま接続できます。



直接配線の時(ネジ止め式)
NTT東日本またはNTT西日本の窓口等
にご相談ください。接続工事には、工
事担当者資格が必要です。

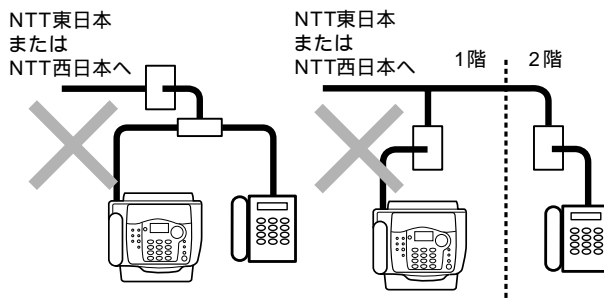


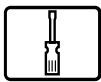
3ピンプラグ式の時
市販のモジュラ付の電話キャップをお
買い求めください。

ブランチ接続はしないでください

ブランチ接続(並列接続)をすると、次のような支障があり正
常に動作できなくなります。

- ・ ファクスを送ったり受けたりしているときに、並列接続さ
れている電話機の受話器を上げるとファクスの画像に異常
が起きます。
- ・ 電話がかかってきた時、並列接続されている電話機のベル
が途中で鳴り止んだり、相手がファクスのとき受信できな
い場合があります。



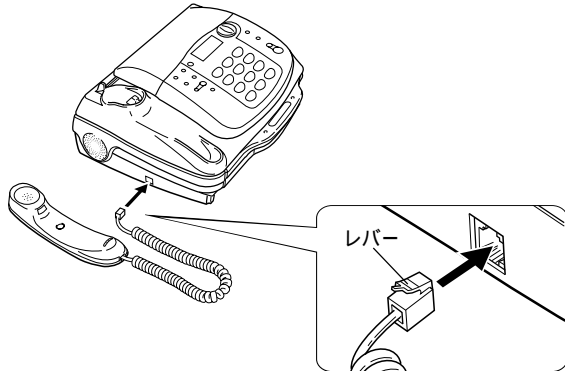


組立と接続

各部の取り付け

受話器の取り付け

親機に受話器用コードを接続します。
カチッと音がするまで差し込んでください。(抜くときはレバーを押さえて引き抜きます。)

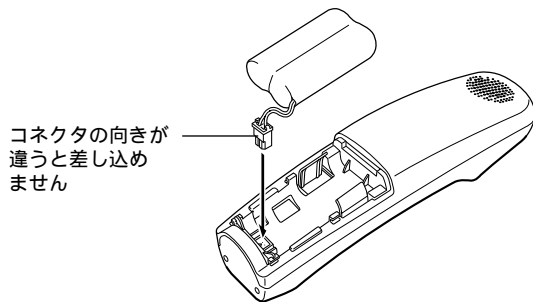


子機の電池パックの取り付け

⚠注意

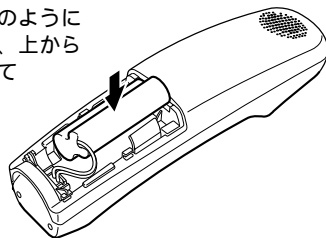
電池パックの取り付けは充電器に置いたままでは行わないでください。故障の原因となります。

1 電池パックのコネクタを差し込みます。

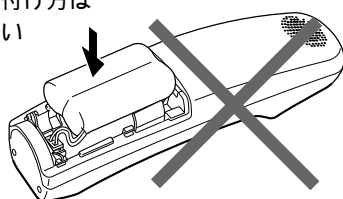


2 電池パックを取り付けます。

電池パックのビニールカバーは、はがさないでください。
電池パックを図のように斜めに差し込み、上から押して取り付けてください。



次のような取り付け方はしないでください

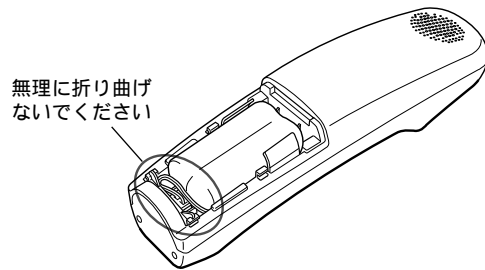


⚠注意

電池パックを上から無理に押し込まないでください。取り付け先のツメが壊れる原因となります。

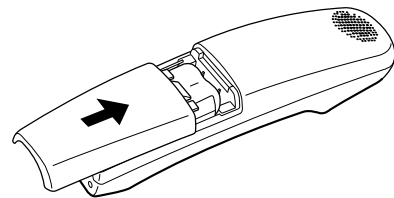
3 コードを収納します。

コードを無理に折り曲げないように注意してください。



4 電池カバーを取り付けます。

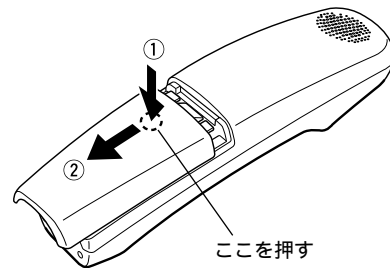
電池カバーを子機の溝に合わせて奥に押し込み、取り付けてください。



⚠注意

電池パックのコードを子機と電池カバーの間にはさまないようにしてください。断線・故障の原因となります。

電池カバーを外すには
電池カバーを下に押しながら手前に引くと外れます。



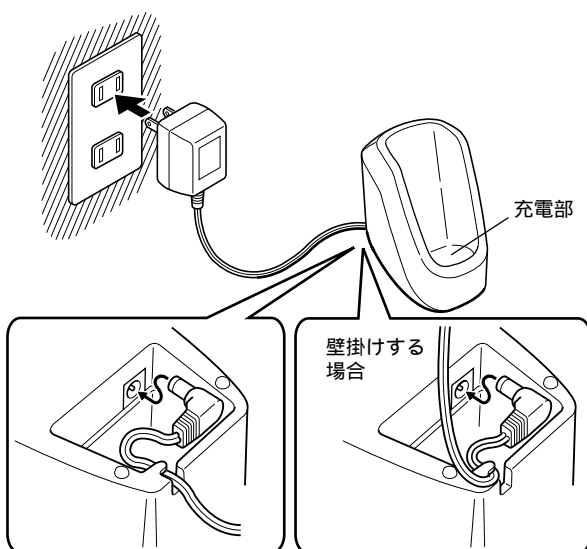
本装置のプラスチック部分には、光の具合によってキズに見える箇所がありますが、これはプラスチックの製作過程で生じるもので、構造上および機能上の問題はありません。安心してお使いください。

子機充電器の取り付け

充電器に子機充電器用ACアダプタを取り付けて、電源コンセントに差し込みます。

テレビやステレオなどと同じコンセントに子機充電器用ACアダプタをつなぐと雑音の原因となることがあります。別のコンセントを使うか、充電器を離してください。子機充電器用ACアダプタは、いつも電気がきているコンセントに接続してください。

充電中に電気が切れたり、子機充電器用ACアダプタをコンセントから抜くと、[外線]ボタンが点灯して、回線がつながったまま(話中の状態)になることがあります。このときは[外線]ボタンを押して[外線]ボタンを消灯してください。回線が切れます。



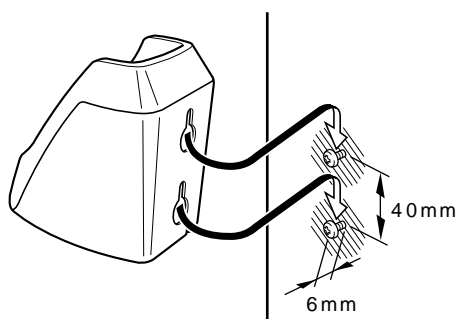
コードは上図のようにしっかり固定してください。

⚠注意

コードを収納する際は無理に折り曲げないでください。コードが傷つき、断線・故障の原因となります。ぬれた手で子機充電器用ACアダプタを抜き差ししないでください。漏電して、感電の原因となります。子機充電器用ACアダプタ、充電器および子機をぬらしたり、水が入らないようにしてください。火災・感電・故障の原因となります。

子機充電器を壁掛けする場合

- 1 付属のネジ2本を壁などに取り付け、ネジの頭を6mm程度出したままにします。
- 2 充電器の壁掛け用穴をネジに引っかけて下に少し引きします。



子機の充電

充電器に子機を置きます。

充電端子のない無接点充電方式を採用しています。

[外線]ボタンと[内線]ボタンが赤色に点灯します。

お買い上げいただいたときは充電されていません。はじめてお使いになる際に、電池パックが十分に充電されていないと次のような現象が見られますが、故障ではありません。

- ・コードレス子機を使おうとすると「ピーツ、ピピツ」という音がして電話が切れる。

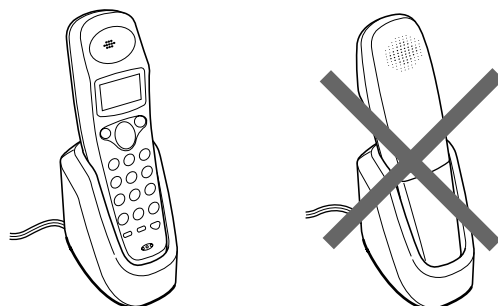
このような場合、しばらくの間充電していただくと通常の動作に戻ります。

なお、はじめてお使いになるときには9時間以上充電されることをお勧めします。

充電が完了しても充電器に置いているあいだは[外線]ボタンと[内線]ボタンは赤色に点灯しますが、過充電になることはありません。

子機は常に操作面を前向きに置いて充電してください。

この置き方では充電されません



⚠注意

充電器の充電部は常にきれいにしておいてください。金属物やゴミなどが付着していると発熱、やけど、充電不良の原因となります。

子機の操作面を後ろ向きに置くと次のような支障があります。

- ・正しく充電されない
- ・充電器から子機をとったとき、すぐ通話できない子機の使用可能時間(フル充電時)
- ・連続通話時：約7時間
- ・連続待受時：約200時間

充電してもすぐに電池がなくなって通話ができないようになったら電池パックの交換が必要です。(交換時期は通常の使用で約2年です。)

子機を使用しないときは、なるべく充電器の上に置いて充電をしてください。

⚠注意

付属の充電器および子機充電器用ACアダプタ(AD910A)以外を使用しないでください。火災・けがや周囲を汚染する原因となることがあります。



子機を次のような状態で放置すると、電池パックが劣化により使えなくなる場合があります。

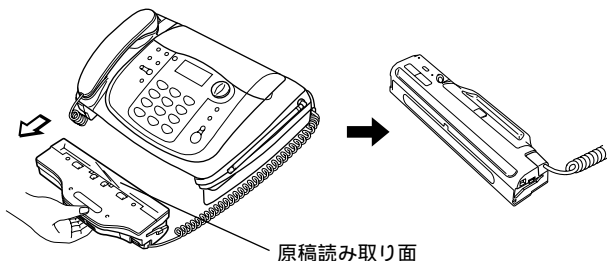
- ・旅行などでしばらくの間子機を使用しないため、充電器の電源コードをコンセントから抜いておいた、あるいは子機を充電器から外しておいた
 - ・引っ越しなどで子機を充電することができない
- このような場合には、子機の電池パックのコネクタを抜いて保管してください。

ハンドスキャナへの電池の取り付け

必ず本体の電源プラグを電源コンセントから外した状態で行ってください。

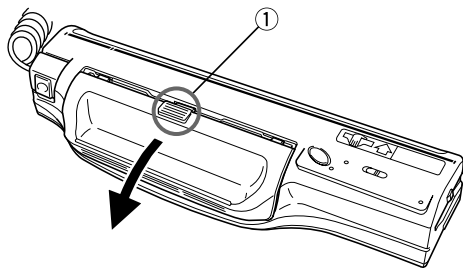
1 ハンドスキャナを外して裏返します。

原稿読み取り面にはさわらないようご注意ください。



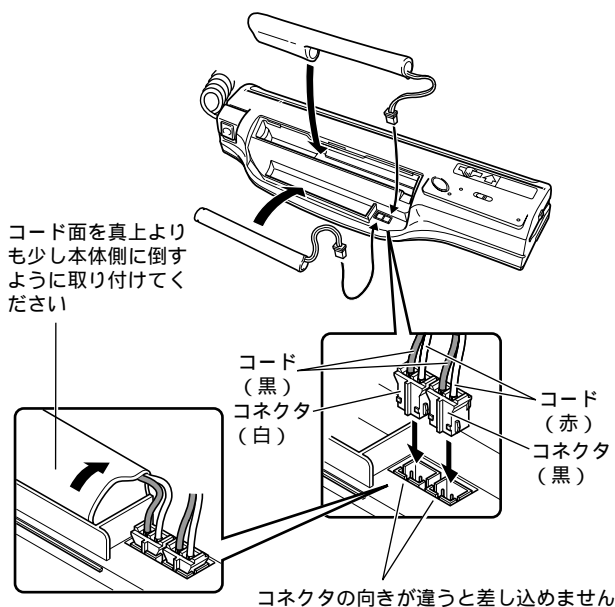
2 電池カバーを取り外します。

この部分を押しながら矢印方向へスライドさせて、カバーを取り外します。



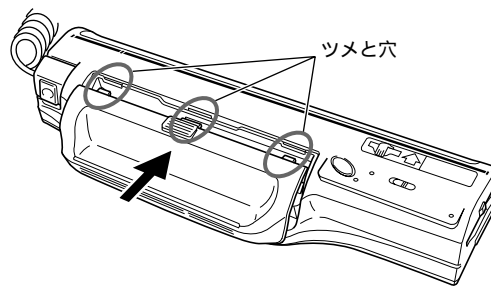
3 ハンドスキャナ用電池パックを取り付けます。

電池パックのコネクタを奥まで確実に差し込んでから入れます。コードをはさまないように注意してください。電池パックのビニールカバーは、はがさないでください。



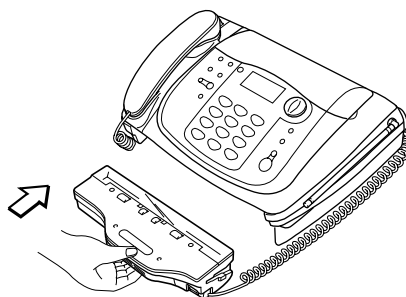
4 電池カバーを取り付けます。

ツメを穴に合わせ、矢印方向にスライドさせてカバーを取り付けます。コードをはさまないように注意してください。



5 ハンドスキャナを戻します。

原稿読み取り面を上に向けて本体に押し込みます。



ハンドスキャナの充電

ハンドスキャナ用コードを取り付けた状態で充電します。本体の電源を接続すると充電されます。

お買い上げいただいたときは充電されていません。ハンドスキャナ用コードをつけたままでも、充電されていなくてもハンドスキャナを使用することができますが、ハンドスキャナをコードレスで使用する場合は、6時間以上充電してからご使用ください。

コードレスで使用時のハンドスキャナの使用可能時間は約1時間です。(フル充電時)

電池パックは消耗品です。充電してもすぐに電池がなくなってしまうようになったら、新しい電池をお買い求めください。電池パックは必ず指定のもの(型名: NB-R72S)をお使いください。ハンドスキャナ用の電池パックは本機をお買い上げの販売店でお買い求めください(交換時期は通常の使用で約2年です)。

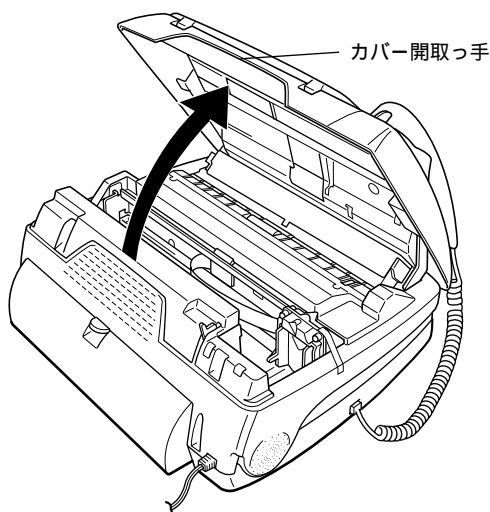


ハンドスキャナを使用しないときは、なるべく本体に取り付けた状態にして、充電を行ってください。ハンドスキャナを長時間充電しないときは、電池パックのコネクタを抜いて保管してください。そのまま放置すると、電池パックが劣化により使えなくなる場合があります。

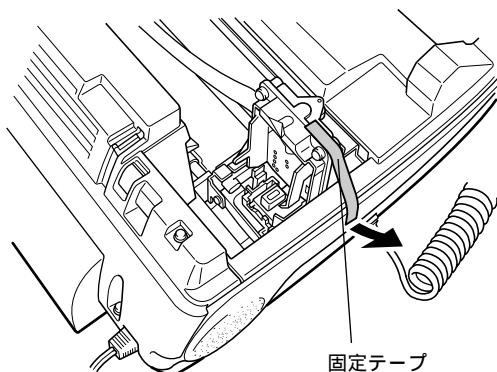
プリントカートリッジの取り付け

1 カバーを開けます。

カバー開取っ手を上げてカバーを開けます。勢いよくカバーを開けると受話器が落ちる場合があります。受話器を手で支えるなどして注意してください。

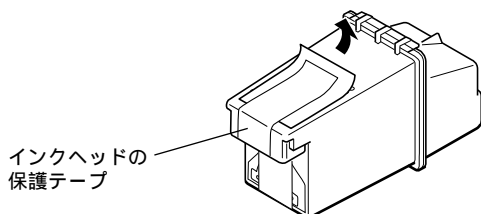


2 固定テープをはがします。



3 新しいプリントカートリッジを用意します。

インクヘッドの保護テープをはがします。開封したプリントカートリッジはすぐに本機に取り付けてください。そのまま放置しておくとインクが固まってプリントできなくなったり、インクが漏れる場合があります。



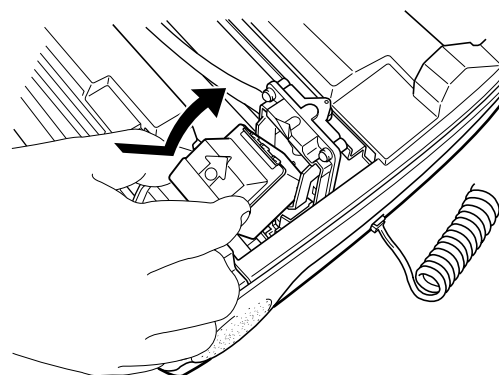
プリント可能枚数のめやす

プリントカートリッジ1個でプリントできる枚数は、次のとおりです。

- ・お買い上げ時に添付のカートリッジ：約500枚 *
- ・消耗品(P.172)のカートリッジ：約750枚 *
- * A4サイズ1枚に700字程度をプリントした場合(プリント内容により枚数は変わります)。

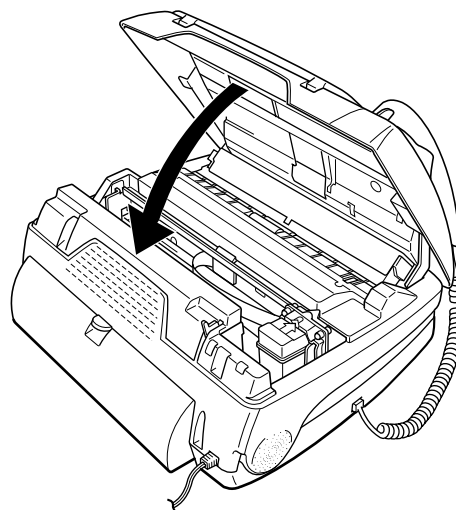
4 プリントカートリッジを取り付けます。

ガイドに沿ってプリントカートリッジを差し込み、矢印の方向に押し込みます。



5 カバーを閉じます。

ダストカバー中央部に矢印の方向にカチッと音がするまで押し込みます。



電源の接続は、必ず固定テープをはがしたあとにしてください。取り付ける前に接続すると故障の原因となります。

プリントカートリッジの先端部には手を触れないでください。画質異常の原因となります。

プリントカートリッジ取り付けにかかわる箇所以外には手を触れないでください。画質異常の原因となります。

カバーはきちんと閉めてください。カバーがきちんと閉まっていないと、電源接続後にディスプレイに「カバー確認」と表示され、本機を使用できなくなります。また、インクが固まる原因となります。

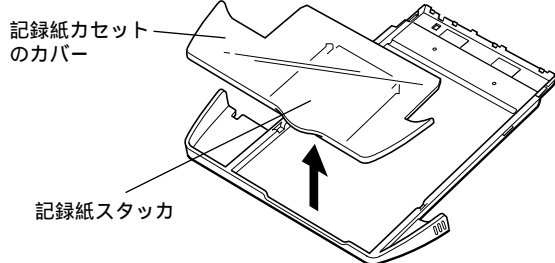
新しいプリントカートリッジを取り付けた直後は、記録にカスレが発生することがありますが、数枚コピーをすることで改善されますのでそのままお使いください。

記録紙のセット

記録紙は推奨紙のご使用をお勧めします。
推奨紙以外の記録紙をお使いになる場合も、A4サイズ、紙質55kg～70kg(紙厚0.08mm～0.1mm)で表面にオーバーコート等の処理をしていない普通紙をお使いください。

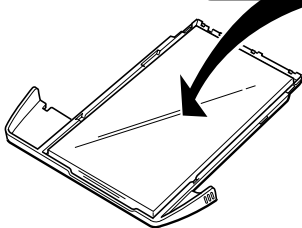
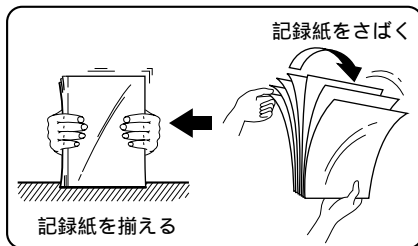
- * このページの紙の厚さは約0.09mmです。
推奨紙
- ・ サンワサプライインクジェットプリンタ用紙 JP-100A(モノクロ用・100枚)
プリント直後は次のことにご注意ください。
 - ・ 数枚続けてプリントすると、プリント直後の印字面および重なる記録紙の裏面が汚れる場合があります。
 - ・ 印字面に触れると、印字面および触れたものが汚れる場合があります。
 - ・ 印字部分をマーカーで書き込むと、にじむ場合があります。

1 記録紙カセットのカバーと記録紙スタックを取り外します。

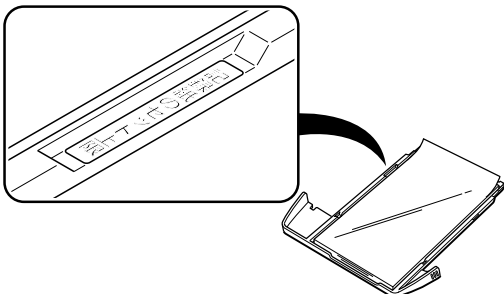


2 記録紙を入れます。

印刷する面を「ウラ向き」にセットしてください。
セットできる枚数は30枚までです。それ以上セットすると記録紙づまりの原因となります。
記録紙をさばかずにセットすると、一度に複数枚の記録紙が送られる場合があります。

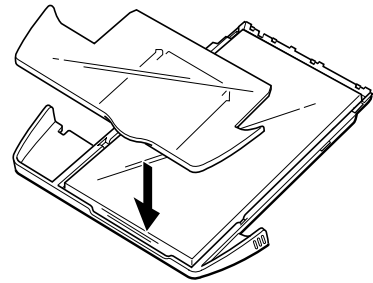


記録紙が30枚以下でも、「記録紙のセット上限」を越えている場合や、記録紙がカールして記録紙カセットのカベより高く浮き上がる場合は、枚数を減らすかカールを取り除いてください。記録紙づまりの原因となります。



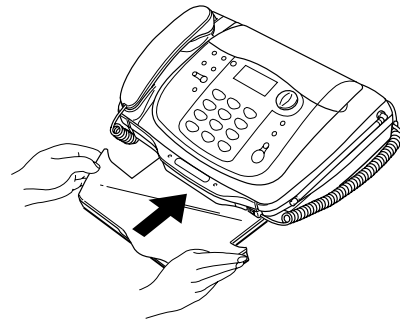
3 記録紙カセットのカバーと記録紙スタックを取り付けます。

記録紙カセットのカバーは必ず取り付けてください。取り付けずにご使用になると記録紙づまりの原因となります。



4 記録紙カセットを取り付けます。

記録紙カセットは本体設置底面に置いた状態で、平行にしっかり奥まで差し込んでください。記録紙づまりの原因となります。



記録紙は記録紙カセットに長期間セットしたままにしたり、湿気を含むと品質が劣化し、先端が波打った状態になります。

このままご使用になると記録紙給紙不良の原因になるので、すみやかに記録紙を交換してください。記録紙の種類によっては記録紙給紙不良になる場合があります。特に表面がオーバーコートされた記録紙や、厚い記録紙を使用すると、記録紙給紙不良の原因となります。

しわ、折れのある紙、湿っている紙、一度プリントした紙の裏面などは使用しないでください。記録紙給紙不良、記録紙づまりの原因となります。

紙面に光沢のある紙やOHPフィルムは使用できません。

記録紙の品質はメーカーにより異なります。記録紙の品質によって画像の品位が変わる場合がありますので、記録紙を大量に購入される前に一度テストプリントをすることをお勧めします。

記録紙は日光の当たる場所、湿気の多い場所、高温になる場所を避けて保管してください。

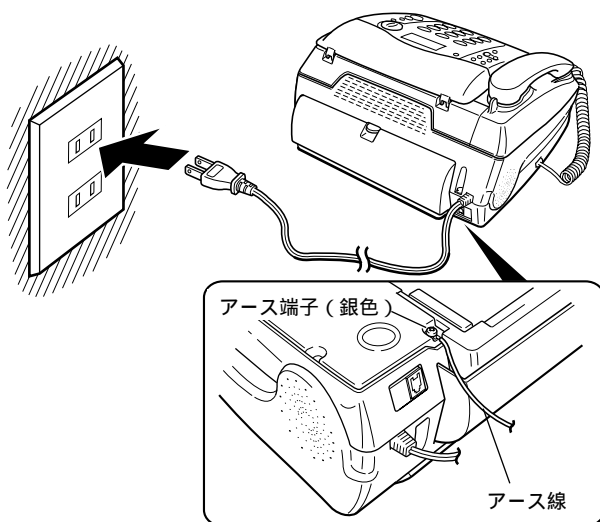
記録紙はセットした分を使い切ってから補充してください。途中で追加すると記録紙づまりや記録紙給紙不良の原因となります。

プリント中に記録紙カセットを取り外さないでください。

電源の接続とかんたん時刻セット

電源を接続したあとは、本機に内蔵されている時計を設定します(かんたん時刻セット)。この時計はファクス送信時刻を相手の記録紙にプリントしたり、留守番電話で用件を録音した時刻を記録したりするときに使用されます。

1 電源プラグを電源コンセントに差し込みます。



⚠注意

湿気の多い場所で使用する場合はアース接続をしてください。底面にアース端子(銀色)があります。アース線は付属していませんのでご用意ください。

ディスプレイに「しばらくお待ち下さい」と表示されます。

2 電話帳登録セット を押します。

ディスプレイの文字の下にある線のことをカーソルと呼びます。カーソルは選択されている項目や、文字が入力される位置を示します。

しばらくお待ち下さい

時刻設定します
セットを押して下さい

時刻設定
'00年01月01日00:00
完了はセットを押す

カーソル

3 年月日、時刻を入力します。

1文字入力するごとにカーソルが移動します。

- ・年 : 西暦下2桁
- ・月日 : 1~9は頭に「0」を付けてください。
- ・時刻 : 24時間制。1~9は頭に「0」を付けてください。

例) 2000年2月1日12:00にする場合
「0002011200」と入力します。
[< 戻る >] でカーソルを移動できます。

時刻設定
'00年01月01日00:00
完了はセットを押す

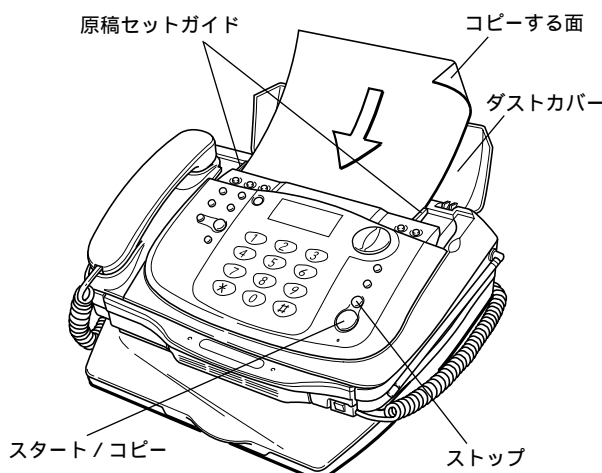
4 電話帳登録セット を押します。

設定しました

セッティングの確認

セッティングが正しくできたか確認するためコピーをしてみましょう。

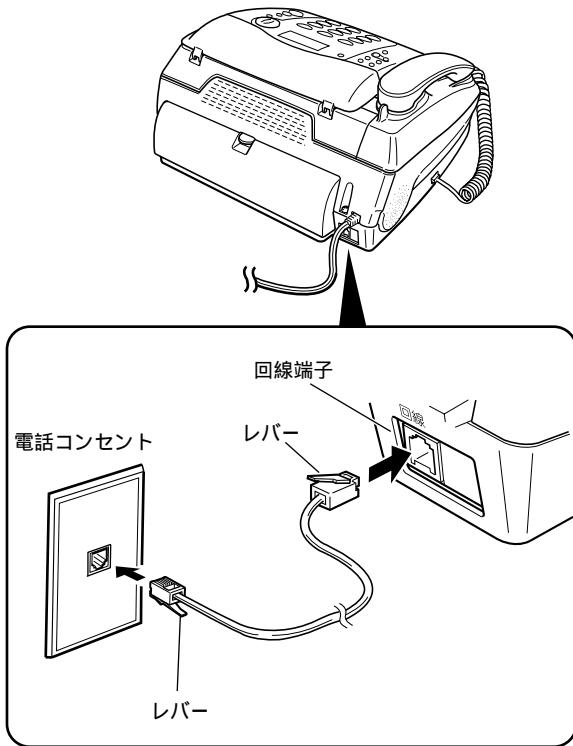
ダストカバーを開けます。
原稿の幅に原稿セットガイドを合わせます。
コピーする面を下に向けて原稿を軽く差し込みます。自動的に約3cm引き込まれます。
[スタート/コピー] ボタンを2回押します。
コピーが終了と「ピー」という音がします。



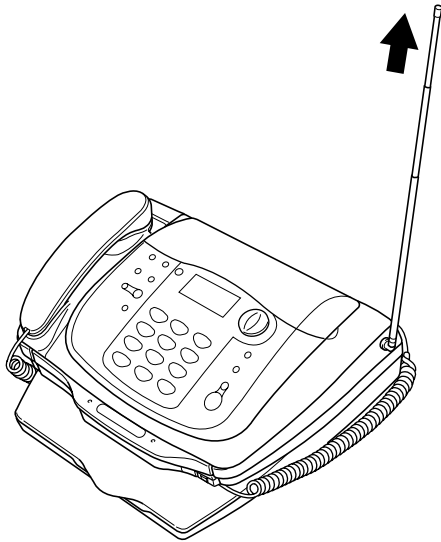
途中でやめるときは、[ストップ] ボタンを押してください。白紙が出てきたときは、コピーする面を上に向けてセットしたことが考えられます。コピーする面を下に向けて、もう一度セットしてください。原稿や記録紙がつまったらときは、P.144、P.145をご覧ください。

電話回線の接続

付属の電話回線接続コードの片方を本機背面の回線端子に、もう片方を電話コンセントに接続します。カチッと音がするまで差し込んでください。(抜くときはレバーを押さえて引き抜きます。)



接続したら、アンテナを立ててのばしてください。



子機の増設

別売の子機を増設できます。子機を増設すると、親機から子機を指定して呼び出したり、子機から子機へ外線を転送したりすることができます。

増設できる子機の型名

speax-ZK7(白、カナ表示)

speax-ZK7H(グレー、カナ表示)

speax-ZK8(白、漢字表示)

増設できる台数

最大3台まで。(付属の子機と合わせて、合計で4台になります。)

お買い求めは

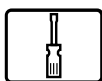
本機をお買い上げいただいた販売店でお買い求めください。

識別番号の登録

増設する子機を使用する前には、子機への識別番号(IDコード)の登録が必要です。登録には、増設する子機と親機(本体)が必要です。親機を販売店にお持ちください。詳しくは販売店にお問い合わせください。



子機間で内線通話をすることはできません。

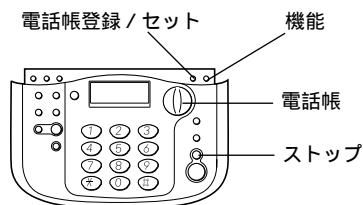


必ず設定してください

ナンバー・ディスプレイの設定

ナンバー・ディスプレイとは、かけてきた相手の電話番号をディスプレイに表示するNTT東日本またはNTT西日本のサービスのことで、

お客様がNTT東日本またはNTT西日本とナンバー・ディスプレイの契約をされているかどうかによって、本機を「ナンバー・ディスプレイを利用する」、あるいは「利用しない」のいずれかに設定します。



1 機能 を押します。

リストプリント
受信設定
設定モード

2 の▼を5回押します。

登録モード
留守電機能
ナンバーディスプレイ

3 を押します。

ナンバーディスプレイ
x
カーソル

4 の◀または▶を押してカーソルを移動します。

- x : ナンバー・ディスプレイを利用する
- x : ナンバー・ディスプレイを利用しない

5 を押します。

「ナンバー・ディスプレイを利用する」と設定した場合は、続いてナンバー・ディスプレイの各設定 (P.134) ができます。(設定をここで終了する場合は、[ストップ]ボタンを押してください。)

「ナンバー・ディスプレイを利用しない」と設定した場合は、「設定しました」と表示され、手順が終了します。



お買い上げ時には、「ナンバー・ディスプレイを利用する」に設定されています。

ナンバー・ディスプレイを契約している場合は、必ず「ナンバー・ディスプレイを利用する」に設定してください。設定しないと電話が受けられなくなります。

ダイヤルインサービスを契約し、ナンバー・ディスプレイを契約していない場合は、必ず「ナンバー・ディスプレイを利用しない」に設定してください。設定しないとダイヤルインサービスが利用できなくなります。

モデムダイヤルインサービスを契約し、ナンバー・ディスプレイを契約していない場合は「ナンバー・ディスプレイを利用する」(お買い上げ時の設定)のままお使いください。

必ず設定してください

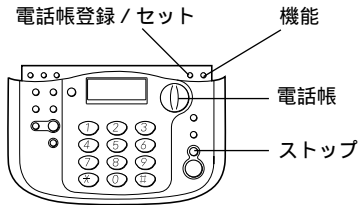
回線種別の手動設定

お使いの電話回線種別(プッシュ回線とダイヤル回線)を手動で設定します。

回線種別が分からないときは自動で設定することもできます。(P.31)

ただし、ISDNターミナルアダプタに本機を接続する場合は自動設定はできません。手動で設定してください。

お買い上げいただいたときは、「ダイヤル回線(20pps)」に設定されています。プッシュ回線の場合は必ず設定してください。



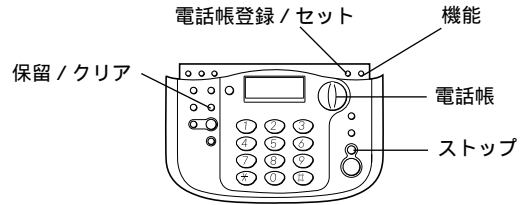
- 1 機能 を押します。 リストプリント
受信設定
設定モード
- 2 の▼を2回押します。 リストプリント
受信設定
設定モード
- 3 を押します。 読み取り濃度
発信元記録
海外通信
- 4 の▼を5回押します。 ファクスかんたん受信
保留メモディ
回線種別
- 5 を押します。 回線種別
回線種別 20P
<>で選択
- 6 の<または>を押して回線種別を選びます。
20P : ダイヤル回線(20pps)
10P : ダイヤル回線(10pps)
PB : プッシュ回線
ISDNターミナルアダプタに本機を接続する場合は、「PB」に設定してください。
- 7 を押します。 設定しました
- 8 を押します。

時刻セット(再設定のとき)

本機に内蔵されている時計を再設定します。

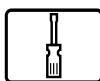
次のような場合に、時刻の再設定をしてください。

- ・電源接続後、「かんたん時刻セット」をしないで、[ストップ]ボタンを押した場合
- ・時刻がずれてきた場合(時計の精度は平均月差±60秒以内)



- 1 機能 を押します。 リストプリント
受信設定
設定モード
- 2 の▼を3回押します。 登録モード
留守電機能
ナンバーディスプレイ
- 3 を押します。 オリジナルメロディ
自分の電話番号
発信元
- 4 の▼を7回押します。 ダイヤルイン
時刻設定
電話帳転送
- 5 を押します。 時刻設定
'00年02月01日12:00
完了はセットを押す
—カーソル
- 6 年月日、時刻を入力します。
1文字入力するごとにカーソルが移動します。
・年 : 西暦下2桁
・月日 : 1~9は頭に「0」を付けてください。
・時刻 : 24時間制。1~9は頭に「0」を付けてください。
例)2000年3月1日12:00にする場合
「0003011200」と入力します。
[<または>]でカーソルを移動できます。
- 7 を押します。 設定しました
- 8 を押します。

? 修正したいとき..[保留/クリア]ボタンを押して入力しなおしてください。
途中で設定をやめるとき..[ストップ]ボタンを押してください。



必要に応じて設定してください

回線種別を自動設定する(自分の電話番号の登録)

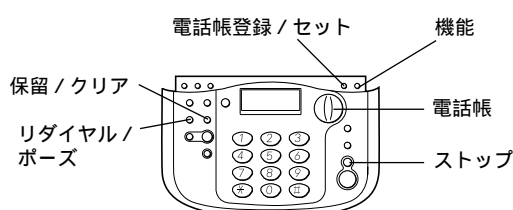
自分の電話番号を登録すると、回線種別の自動選択機能が働き、自動で回線種別の設定ができます。ここで登録した電話番号は、ファクス送信中に相手先のディスプレイに表示させたり、通信管理レポートなどに表示させたりすることができます。(相手機種によっては表示されないことがあります。)

「回線種別の自動選択」機能は、登録した電話番号に自動的にダイヤルする(ビジートーンが返ってくる)ことによって回線種別を設定する機能です。間違えて電話番号を登録すると、その電話番号に電話をかけてしまいますのでご注意ください。

自分の電話番号を登録したくない場合は、回線種別の手動設定を必ず行ってください。(P.30)

ここで登録した電話番号は発信元記録 (P.32) の設定を「発信元をプリントさせる」に設定しても、相手の記録紙にはプリントされません。

ISDNターミナルアダプタに本機を接続する場合は、自動で設定することはできません。手動で設定してください。(P.30)



1 機能 を押します。 リストプリント
受信設定
設定モード

2 の を3回押します。 登録モード
留守電機能
ナンバーディスプレイ

3 を押します。 オリジナルメロディ
自分の電話番号
発信元

4 の を押します。 オリジナルメロディ
自分の電話番号
発信元

5 を押します。 自分の電話番号

6 自分の電話番号を入力します。
市外局番から入力してください(最大20桁)。
[*][#]は入力できません。空白を入力するときは、
[リダイヤル/ポーズ]ボタンを押してください。

7 を押します。 電話回線 確認中
「電話回線確認」と表示され、
「回線を接続してください」というメッセージが流れた場合は、
電話回線接続コードの接続を確認してください。
交互に表示
しばらくお待ち下さい
設定しました

手順7で「回線種別の自動設定はできませんでした。ご自分で設定してください」というメッセージが流れ、ディスプレイに「回線設定して下さい」と表示されたときは... 次の手順で設定してください。

1 電話回線接続コードの接続を確認します。
正しく接続されていなかった場合は接続をしないし、
[ストップ]ボタンを押してから登録をやりなおしてください。

2 正しく接続されていた場合は、 を押します。

3 の または を押して回線種別を選びます。 回線種別
回線種別 20P
<>で選択
20P : ダイヤル回線(20pps)
10P : ダイヤル回線(10pps)
PB : プッシュ回線
ISDNターミナルアダプタに本機を接続する場合は、
「PB」に設定してください。

4 を押します。 設定しました

自分の電話番号を消去するとき

左と同じ手順を行い、手順6で「保留/クリア」ボタンを押してください。

手順6で番号を間違えたとき..[保留/クリア]ボタンを押して入力しなおしてください。
途中で登録をやめるとき..[ストップ]ボタンを押してください。
引越など電話番号が変わったとき...登録しなおしてください。

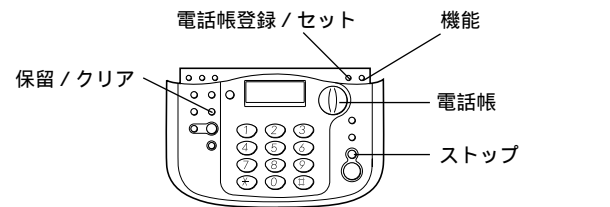
発信元を相手の記録紙にプリントさせる

ファクスを送ったときに、相手の記録紙の各ページの最上部に発信元(自分の名前や電話番号等)を自動的にプリントさせることができます。発信元をプリントさせると、相手側は、どこからのファクスなのかを容易に知ることができます。発信元をプリントさせるには、発信元の登録と発信元記録(発信元をプリントさせる/させない)の設定が必要です。

お買い上げいただいたときは、「発信元記録をする(発信元をプリントさせる)」に設定されています。ただし、プリントされる発信元は何も登録されていません。

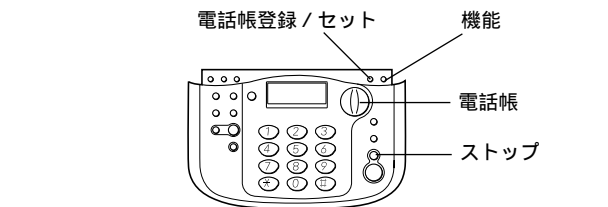
発信元に登録できる文字は全角(漢字、かな、カタカナ、数字、アルファベット、記号)で、最大40文字(空白を含む)です。

発信元(自分の名前や電話番号等)を登録する



- 1 機能 を押します。 リストプリント
受信設定
設定モード
- 2 の▼を3回押します。 登録モード
留守電機能
ナンバーディスプレイ
- 3 を押します。 オリジナルメロディ
自分の電話番号
発信元
- 4 の▼を2回押します。 オリジナルメロディ
自分の電話番号
発信元
- 5 を押します。 >
かな
- 6 登録する名前を入力します。
次ページの表に従って文字を入力します。
「かな(漢字)」「カナ」「英数字」の3つの入力モードを使って入力できます。
ディスプレイの表示が文字を入力する状態に変わります。
入力が確定した文字は、確定エリアに表示されます。
入力モードエリア
入力文字、漢字候補
表示エリア
確定エリア
- 7 を押します。 設定しました

発信元をプリントさせる/させないを設定する

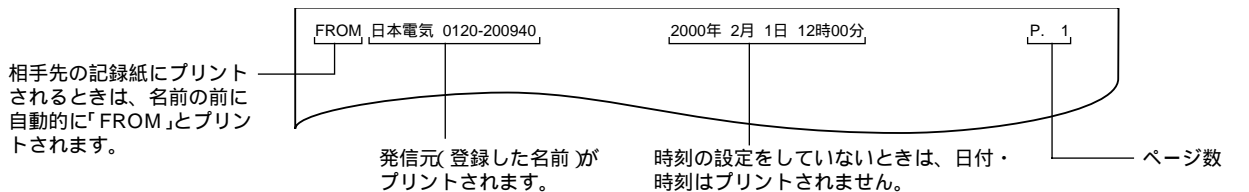


- 1 機能 を押します。 リストプリント
受信設定
設定モード
- 2 の▼を2回押します。 リストプリント
受信設定
設定モード
- 3 を押します。 読み取り濃度
発信元記録
海外通信
- 4 の▼を押します。 読み取り濃度
発信元記録
海外通信
- 5 を押します。 発信元記録
x
- 6 の<または>を押してカーソルを移動します。
— x : 発信元をプリントさせる
— x : 発信元をプリントさせない
- 7 を押します。 設定しました

? 発信元を削除/変更するとき...登録と同じ手順を行い、手順6で 保留/クリア ボタンを押すと、1文字ずつ消去できます。変更時は名前を入力しなおします。

自分の電話番号もプリントさせたいとき...名前と一緒に電話番号を発信元に登録してください。「回線種別を自動設定する(前ページ)で登録した電話番号は、「発信元をプリントさせる」に設定しても相手の記録紙にプリントされません。

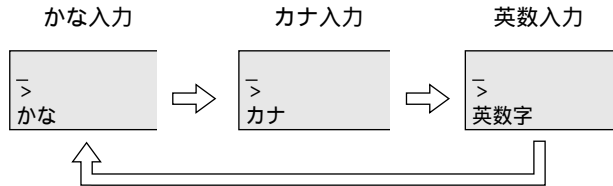
相手先でのプリント例



文字入力のかた(親機)

入力モードの切り替え

[カナ/英]ボタン(電話帳の▲)を押すごとに、「かな」、「カナ」、「英数字」に切り替わります。現在の入力モードは、入力モードエリアに表示されます。



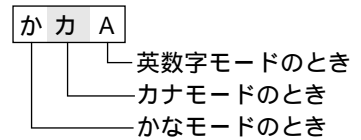
文字入力表

ダイヤルボタン 押す回数	1あ @..	2か ABC	3き DEF	4た GHI	5な JKL	6は MNO	7ま PQR	8や TUV	9ら WXYZ	0お記号	*..
1回	あ ア 1	か カ A	さ サ D	た タ G	な ナ J	は ハ M	ま マ P	や ヤ T	ら ラ W	わ ワ 0	° °
2回	い イ	き キ B	し シ E	ち チ H	に ニ K	ひ ヒ N	み ミ Q	ゆ ユ U	り リ X	を ワ 2	° °
3回	う ウ 1	く ク C	す ス F	つ ツ I	ぬ ヌ L	ふ フ O	む ム R	よ ヨ V	る ル Y	ん ン (
4回	え エ &	け ケ 2	せ セ 3	て テ 4	ね ネ 5	へ ヘ 6	め メ S	や ヤ 8	れ レ Z	。 。)	
5回	お オ	こ コ	そ ソ	と ト	の ノ	ほ ホ	も モ 7	ゆ ユ	ろ ロ 9	、 、 ’	
6回	あ ア			っ ツ				よ ヨ		- - *	
7回	い イ									#	
8回	う ウ										
9回	え エ										
10回	お オ										

注1 「か」「き」のように同じ行の文字を続けて入力するときは、「か」を入力した後[▶]を押してから次の文字を入力します。「あ」「か」のように異なる行の文字を入力するときは、「あ」を入力したあと[▶]を押さなくても次の文字が入力できます。

注2 「が」「ぱ」のように濁点や半濁点が付く文字を入力するときは、まず「か」「や」を入力し、次に[*]を押します。

注3 「ヴ」「う」は入力できません。



漢字変換のかた

「かな」入力モードで読みを入力します。



目的の漢字が表示されるまで、[▼]または[▲]を数回押しします。

[変換]ボタン(電話帳の▼)を押します。



[電話帳登録/セット]ボタンを押します。



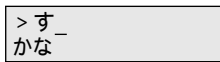
読みに対応した漢字が1文字表示されます。
読みに対応した全漢字の候補数と、現在表示中の漢字の候補番号が表示されます。
該当する漢字がない場合は変換されません。

確定した漢字が、最上行に表示されます。

手順 ~ を繰り返し、名前を入力します。

入力例：鈴木正幸

[3]を3回押しして[電話帳][▶]を押します。



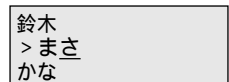
[7]を押します。



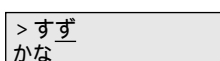
[3]を3回押しします。



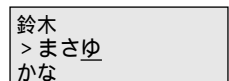
[3]を押します。



[*]を押します。



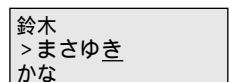
[8]を2回押しします。



[2]を2回押しします。



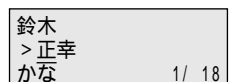
[2]を2回押しします。



[変換][▼]を押します。



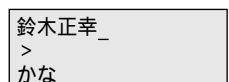
[変換][▼]を押します。



[電話帳登録/セット]ボタンを押します。

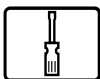


[電話帳登録/セット]ボタンを押します。



文字入力を間違えたとき..[<]または[>]でカーソルを移動し、[保留/クリア]ボタンを押すと、カーソル位置の文字が削除されます。続いて文字入力を行うと、カーソル位置の前に文字が挿入されます。

カーソル位置の文字が削除されます。続いて文字入力を行うと、カーソル位置の前に文字が挿入されます。

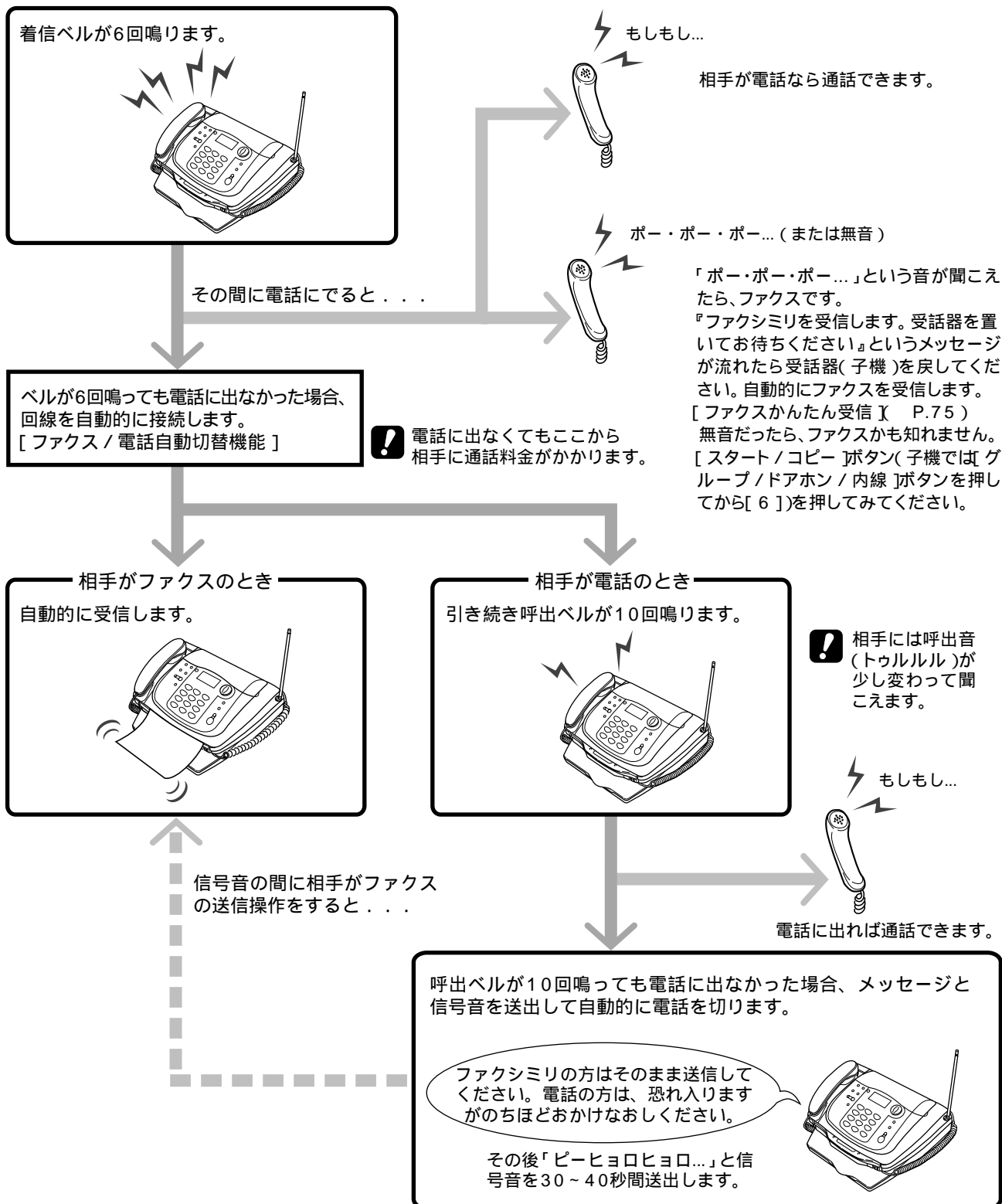


電話やファクスが入るとspeaxはこう動きます

お買い上げいただいたときの状態では、speaxに電話やファクスがかかってくると次のように動作をします(ファクス/電話自動切替)。

留守設定、おやすみモードに設定したときは、動作が異なります。(P.80、P.89)
電話モードやファクス専用モードに設定することもできます。(P.74、P.75)

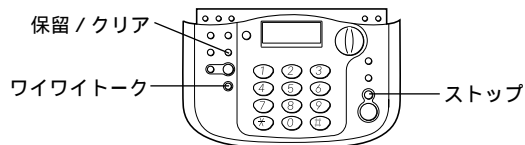
着信ベルの回数、呼出ベルの回数は変更することができます。(P.73)



☎ 電話をかける

親機で電話をかける

子機を使用中のとき(「内線2 使用中」と表示中)やプリン
ト中のときは、電話をかけることができません。



- 1 受話器をとります。
[ワイワイトーク]ボタンを押してかけることもでき
ます。(P.48)
「ツー」という音が聞こえます。
- 2 相手先の番号をダイヤル
します。
- 3 話をします。
音量を調整できます。(P.58)
- 4 話が終わったら受話器を戻します。

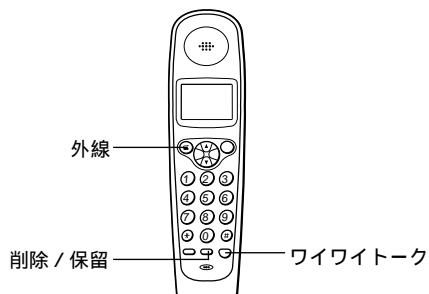
親機の確認ダイヤル


番号を確認してからかけたいときは、上の手順1、手順2の
順番を反対(手順2 手順1)にして操作します。

? 確認ダイヤルで電話番号を押し間違えたとき..[保留
/クリア]ボタンまたは[ストップ]ボタンを押してか
らかけ直します。

子機で電話をかける


親機を使用中(電話中、コピー中等)のときは使用できませ
ん。電話をかけようとする、「ピーピーピー」という音が
します。



- 1 充電器からとります。(充電器に置いていな
いときは  を押します。)
すべてのダイヤルボタンと[外線]ボタンが点灯します。
(点灯しない場合は再度[外線]ボタンを押してくだ
さい。)
「ツー」という音が聞こえます。



- 2 相手先の番号をダイヤルします。
ダイヤルした番号の表示は5秒後に消え
ます。

- 3 話をします。
音量を調整できます。(P.58)


- 4 話が終わったら充電器に戻します。
(または  を押します。)
[外線]ボタンを押した場合は、[外線]ボタンが消灯しま
す。
充電器に戻す際は、操作面を前向きに置いてください。

子機の確認ダイヤル

番号を確認してからかけることもできます。

- 1 充電器からとり、  が点灯するのを確認
した後、  を押します。
[外線]ボタンが消灯します。
子機を充電器に置いていないときは、手順2へ進みま
す。

- 2 相手先の番号をダイヤルします。

- 3  を押します。
ダイヤルした番号の表示は5秒後に消えます。
[外線]ボタンを押すかわりに[ワイワイトーク]ボタンを
押すとワイワイトークで電話をかけることができます。
(P.48)

! 受話音量を大きくすると、音が割れたり、反響音が
大きくなる場合があります。このような場合は、受
話音量をご確認いただき、通常は受話音量「標準」で
お使いください。「大」の設定は、「標準」の設定で音
が小さい場合にお使いください。(P.58)
周囲音が大きいとき、それらの音が受話口から聞こ
え、相手の声が聞きとりにくくなる場合があります。
適度な受話音量に調整してください。(P.58)

? 確認ダイヤルで電話番号を押し間違えたとき..[削除
/保留]ボタンを押すごとに、1文字取り消すことが
できます。

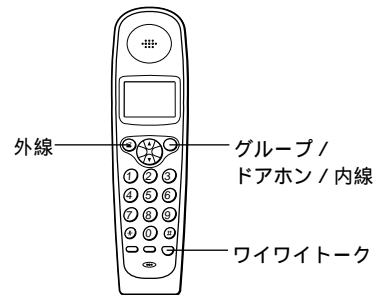
☎ 電話を受ける

親機で電話を受ける



- 1 ベルが鳴ります。
[おやすみ]ボタンが点滅します。
着信中
- 2 受話器をとります。
通話時間 0分05秒
- 3 話が終わったら受話器を戻します。

子機で電話を受ける



- 1 ベルが鳴ります。
[外線]ボタンと[ワイワイトーク]ボタンが点滅します。
親機より少し遅れて鳴り始めます。
着信音
- 2 充電器からとります。(充電器に置いていないときは^{外線}☎を押します。)
子機をとると[外線]ボタンが点灯し、親機に「ナイセン2 ショウチュウ」と表示されます。
- 3 話が終わったら充電器に戻します。(または^{外線}☎を押します。)
[外線]ボタンを押した場合は、[外線]ボタンが消灯します。
充電器に戻す際は、操作面を前向きに置いてください。

☎ 親機の受話器(または子機)を置いたまま電話に出たいとき..[ワイワイトーク]ボタンを押してください。(P.48)
親機を使用中(コピー中等)に電話がかかってきたとき...親機の受話器を取ると通話できます。子機は呼出音は鳴らず、電話にも出られません。

ベルの音を調整したいとき...P.58をご覧ください。
ベルの音を変えたいとき...着信ベルの音色を変えることができます。ベルのかわりにメロディを流すこともできます。(P.59)
キャッチホンの呼出音が聞こえたとき...P.139をご覧ください。

ポー・ポー・ポー...という音が聞こえるとき / 無音のとき

受話器(または子機)をとったら「ポー・ポー・ポー...」という音が聞こえるときは、相手がファクス送信しています。
・お買い上げいただいたときの状態(ファクスかんたん受信 (P.75)を「する」と設定した状態)では、続いて『ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください』というメッセージが流れます。メッセージが聞こえたら、受話器(子機)を戻してください。
・ファクスかんたん受信を「しない」と設定したときは、メッセージは流れません。[スタート/コピー]ボタンを押して受話器を戻してください。子機の場合は[グループ/ドアホン/内線]ボタンを押してから[6]を押してください。

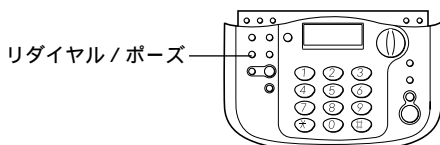
受話器(または子機)をとったら無音のときは、相手がファクスかもしれません。
[スタート/コピー]ボタン(子機では[グループ/ドアホン/内線]ボタンを押してから[6])を押してみてください。(相手が旧型のファクスやコンビニエンスストアなどのファクスの場合、「ポー・ポー・ポー...」という音が聞こえない場合があります。)
コピー/プリント中は、ファクスを受信することはできません。

同じ相手にもう一度かける(リダイヤル)


最後にかけた相手には、ボタンひとつでかけなおすことができます。話中だった相手にもう一度かけなおすときなどにご利用ください。

親機でリダイヤルする

リダイヤルできる桁数は40桁までです。



1 受話器をとります。

2  を押します。

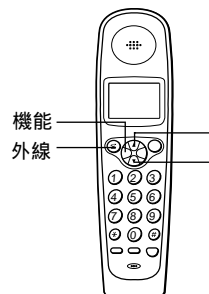
0120200940

ダイヤル中

! 最後にかけた相手には、ファクスを送った相手も含まれます。この中には、相手が話中などでファクスを送れなかった場合も含まれますのでご注意ください。
子機で電話をかけた相手に、親機でリダイヤルすることはできません。


子機でリダイヤルする

リダイヤルできる桁数は32桁までです。




1 充電器からとります。

[外線] ボタンが点灯します。
子機を充電器に置いていないとき([外線] ボタンが消灯して待機中のとき)は、手順2へ進みます。

2  を押し、「リダイヤル」を選びます。


最後にかけた相手の電話番号が表示されます。

リダイヤル
0120200940

3  を押します。


子機のリダイヤルクリア

子機で最後にかけた番号は、次の手順で消すことができます。

1  を押します。

2  (または ) を押し、「デンワチョウ クリア」を選びます。

デンワチョウクリア
ゲンザイ 6カン

3  を押します。

ゴッホンデンキ
0120200940

4  (または ) を押し、「リダイヤル クリア」を選びます。

リダイヤル クリア

すでに消去済みの場合、「リダイヤル クリア」は表示されません。

5  を押します。

消去確認のメッセージが表示されます。
消去をやめたいときは、[]/[] を押し、「チュウシシマス ヨロシイデスカ?」と表示されたところで [機能] ボタンを押します。

クリアシマス
ヨロシイデスカ?

6  を押します。

最後にかけた電話番号が消去されます。

クリアシマシタ


! 親機で電話をかけたたり、ファクスを送ったりした相手に、子機でリダイヤルすることはできません。

C トーン信号に切り替える(ダイヤル回線の場合)


ダイヤル回線を使用している場合でもトーン信号(プッシュ信号「ピッポッパ」)によって、ポケベルへメッセージを送ったり、テレホンサービス、ファクス情報サービスの利用などができます。

プッシュ回線をご利用の場合には、この操作は必要ありません。

親機の場合

- 1 電話をかけます。
- 2  を押します。
トーン
以後はダイヤルボタンを押すとプッシュ信号が送出されます。
- 3 用件が済んだら電話を切ります。
電話を切ると自動的にダイヤル信号に戻ります。

子機の場合

- 1 電話をかけます。
- 2  を押します。
トーン
以後はダイヤルボタンを押すとプッシュ信号が送出されます。
- 3 用件が済んだら電話を切ります。
電話を切ると自動的にダイヤル信号に戻ります。

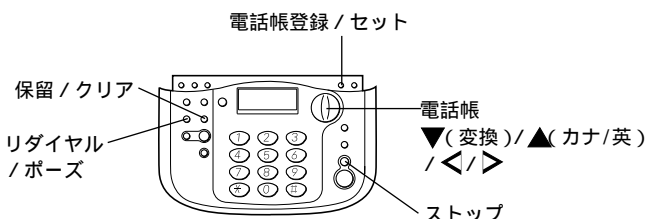
らくらく電話帳

電話帳に相手の名前と電話番号を登録しておく、電話をかけるとき、ディスプレイで相手先名を選んでかけることができます。

親機の電話帳に登録する

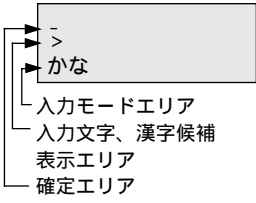
相手先名には、漢字が使用できます。
登録した内容は電話番号リストで確認できます。(P.155)
親機の電話帳の内容は、子機に転送することができます。

登録内容
・登録件数：200件
・相手先名：最大10文字(かな、漢字、カタカナ、英数字)
・読み仮名：最大12文字(カタカナ、英数字)
・電話番号：最大32桁



1 ^{電話帳登録/セット} を押します。
登録：名前？
>
かな

2 相手先の名前を入力します。
次ページの表に従って文字を入力します。
「かな(漢字)」「カナ」「英数字」の3つの入力モードを使って入力できます。
ディスプレイの表示が文字を入力する状態に変わります。
入力が確定した文字は、確定エリアに表示されます。
名前を入力しなかった場合は、手順3で「電話帳登録/セット」ボタンを押した後、手順6へ進みます。



3 ^{電話帳登録/セット} を押します。
「カナ」入力モードとなり、入力文字表示エリアに漢字変換時に入力した「読み」がカタカナで表示されます。
読み仮名：？
スス キマサユキ
カナ

4 読み仮名を確認します。
読み仮名を修正することもできます。そのときは、[<]または[>]を押して、修正したい文字の下にカーソルを移動させ、新しい文字を入力します。
「カナ」「英数字」の2つのモードを使って入力できます。
[保留/クリア]ボタンを押すと、カーソルのある文字が1文字クリアされます。
読み仮名を修正しないときは、手順5へ進んでください。

5 ^{電話帳登録/セット} を押します。
鈴木正幸
電話：？

6 相手先の電話番号を入力します。
ダイヤルボタンを押して入力します。
鈴木正幸
0312345678_

7 ^{電話帳登録/セット} を押します。
続けて登録するときは、手順2から繰り返します。
鈴木正幸
0312345678
登録しました

登録：名前？
>
かな
(登録が200件に達するとこの表示は出ません。)

8 登録を終了するときは ^{ストップ} を押します。

? 途中で登録をやめるときは[ストップ]ボタンを押してください。
ディスプレイに「電話帳がいっぱいです」と表示されたとき...電話帳に200件の相手先が登録されています。不要な相手先を消去してから、新しい相手先を登録してください。(P.41)
ナンバー・ディスプレイの機能を利用するとき...同一市内の番号でも市外局番から登録してください。また、その際、*、 、-(ポーズ)は入力しないでください。

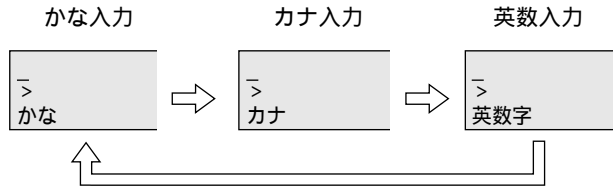
国際電話を利用するとき

国際電話を利用するときは、手順6で国際電話番号を入力した後、[リダイヤル/ポーズ]ボタンを2回押してから(表示は - -) 残りの電話番号を入力してください。[リダイヤル/ポーズ]ボタンを押すと1回約3秒のポーズが入ります。
例：001 - - 1[相手先の番号]

文字入力のかた(親機)

入力モードの切り替え

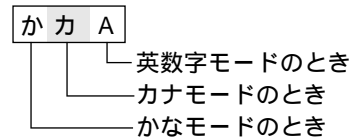
[カナ/英]ボタン(電話帳の▲)を押すごとに、「かな」、「カナ」、「英数字」に切り替わります。現在の入力モードは、入力モードエリアに表示されます。



文字入力表

ダイヤルボタン 押す回数	1あ @...	2か ABC	3さ DEF	4た GHI	5な JKL	6は MNO	7ま PQR	8や TUV	9ら WXYZ	0お 記号	*..
1回	あ ア 1	か カ A	さ サ D	た タ G	な ナ J	は ハ M	ま マ P	や ヤ T	ら ラ W	わ ワ 0	° °
2回	い イ -	き キ B	し シ E	ち チ H	に ニ K	ひ ヒ N	み ミ Q	ゆ ユ U	り リ X	を ヲ 2	° °
3回	う ウ .1	く ク C	す ス F	つ ツ I	ぬ ヌ L	ふ フ O	む ム R	よ ヨ V	る ル Y	ん ン (
4回	え エ &	け ケ 2	せ セ 3	て テ 4	ね ネ 5	へ ヘ 6	め メ S	や ヤ 8	れ レ Z	。 。)	
5回	お オ	こ コ	そ ソ	と ト	の ノ	ほ ホ	も モ 7	ゆ ユ	ろ ロ 9	、 、 ’	
6回	あ ア			っ ッ				よ ヨ		- - *	
7回	い イ									#	
8回	う ウ										
9回	え エ										
10回	お オ										

- 注1 「か」か「き」のように同じ行の文字を続けて入力するときは、「か」を入力した後[▶]を押してから次の文字を入力します。「あ」かのように異なる行の文字を入力するときは、「あ」を入力したあと[▶]を押さなくても次の文字が入力できます。
- 注2 「が」が「ば」のように濁点や半濁点が付く文字を入力するときは、まず「か」や「は」を入力し、次に[*]を押します。
- 注3 「ヴ」が「う」は入力できません。



漢字変換のかた

- 「かな」入力モードで読みを入力します。

> ゆき
かな
- [変換]ボタン(電話帳の▼)を押します。

> 行
かな 1/ 26

読みに対応した漢字が1文字表示されます。
読みに対応した全漢字の候補数と、現在表示中の漢字の候補番号が表示されます。
該当する漢字がない場合は変換されません。

- 目的の漢字が表示されるまで、[▼]または[▲]を数回押します。
- [電話帳登録/セット]ボタンを押します。

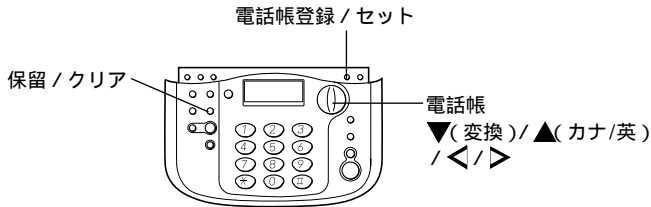
幸
>
かな

確定した漢字が、最上行に表示されます。
- 手順 ~ を繰り返し、名前を入力します。

<p>入力例：鈴木正幸</p> <p>[3]を3回押し[電話帳][▶]を押します。 <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 20px;"> <tr><td>> す</td></tr> <tr><td>かな</td></tr> </table> </p> <p>[3]を3回押します。 <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 20px;"> <tr><td>> すす</td></tr> <tr><td>かな</td></tr> </table> </p> <p>[*]を押します。 <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 20px;"> <tr><td>> すず</td></tr> <tr><td>かな</td></tr> </table> </p> <p>[2]を2回押します。 <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 20px;"> <tr><td>> すずき</td></tr> <tr><td>かな</td></tr> </table> </p> <p>[変換][▼]を押します。 <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 20px;"> <tr><td>> 鈴木</td></tr> <tr><td>かな 1/ 4</td></tr> </table> </p> <p>[電話帳登録/セット]ボタンを押します。 <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 20px;"> <tr><td>鈴木</td></tr> <tr><td>></td></tr> <tr><td>かな</td></tr> </table> </p>	> す	かな	> すす	かな	> すず	かな	> すずき	かな	> 鈴木	かな 1/ 4	鈴木	>	かな	<p>[7]を押します。 <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 20px;"> <tr><td>鈴木</td></tr> <tr><td>> ま</td></tr> <tr><td>かな</td></tr> </table> </p> <p>[3]を押します。 <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 20px;"> <tr><td>鈴木</td></tr> <tr><td>> まさ</td></tr> <tr><td>かな</td></tr> </table> </p> <p>[8]を2回押します。 <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 20px;"> <tr><td>鈴木</td></tr> <tr><td>> まさゆ</td></tr> <tr><td>かな</td></tr> </table> </p> <p>[2]を2回押します。 <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 20px;"> <tr><td>鈴木</td></tr> <tr><td>> まさゆき</td></tr> <tr><td>かな</td></tr> </table> </p> <p>[変換][▼]を押します。 <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 20px;"> <tr><td>鈴木</td></tr> <tr><td>> 正幸</td></tr> <tr><td>かな 1/ 18</td></tr> </table> </p> <p>[電話帳登録/セット]ボタンを押します。 <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 20px;"> <tr><td>鈴木正幸</td></tr> <tr><td>></td></tr> <tr><td>かな</td></tr> </table> </p>	鈴木	> ま	かな	鈴木	> まさ	かな	鈴木	> まさゆ	かな	鈴木	> まさゆき	かな	鈴木	> 正幸	かな 1/ 18	鈴木正幸	>	かな
> す																																
かな																																
> すす																																
かな																																
> すず																																
かな																																
> すずき																																
かな																																
> 鈴木																																
かな 1/ 4																																
鈴木																																
>																																
かな																																
鈴木																																
> ま																																
かな																																
鈴木																																
> まさ																																
かな																																
鈴木																																
> まさゆ																																
かな																																
鈴木																																
> まさゆき																																
かな																																
鈴木																																
> 正幸																																
かな 1/ 18																																
鈴木正幸																																
>																																
かな																																

? 文字入力を間違えたとき..[<]または[>]でカーソルを移動し、[保留/クリア]ボタンを押すと、カーソル位置の文字が削除されます。続いて文字入力を行うと、カーソル位置の前に文字が挿入されます。

親機の電話帳の登録を変更 / 消去する



1 の▼または▲を押して変更/消去したい相手先名を選びます。

登録されている相手先名が表示されます。(表示される順番は、読み仮名で、空白+文字 数字 カナ(50音順) アルファベット 記号 名前を登録していない電話番号の順です。)
ダイヤルボタンを押して、相手先を素早く探すことができます。(P.46)
相手先を早送りしたいときは、[▼ または ▲] を押し続けてください。

鈴木正幸
0312345678
で選択

2 を押します。

鈴木正幸
0312345678
消去 < 変更

3 の<または>を押して「> 変更」または「消去 <」を選びます。

変更する _____

4 を押します。

鈴木正幸
>
かな

5 名前を変更します。

[< または >] を押して、変更したい文字の下にカーソルを移動させ、新しい文字を入力します。
[保留/クリア] ボタンを押すと、カーソルのある文字が1文字クリアされます。
名前を変更しないときは、手順6へ進んでください。

6 を押します。

読み仮名：?
スス キマサユキ
カナ

7 読み仮名を変更します。

[< または >] を押して、変更したい文字の下にカーソルを移動させ、新しい文字を入力します。
[保留/クリア] ボタンを押すと、カーソルのある文字が1文字クリアされます。
読み仮名を変更しないときは、手順8へ進んでください。

8 を押します。

鈴木正幸
0312345678

9 電話番号を変更します。

[< または >] を押して、変更したい番号の下にカーソルを移動させ、新しい番号を入力します。
[保留/クリア] ボタンを押すと、入力中の全ての数字がクリアされます。
電話番号を変更しないときは、手順10へ進んでください。

10 を押します。

変更しました

消去する _____

4 を押します。

消去 < 取り消し

消去をやめる場合、[< または >] を押して「> 取り消し」を選び、[電話帳登録/セット] ボタンを押します。(手順1へ戻ります。)

5 を押します。

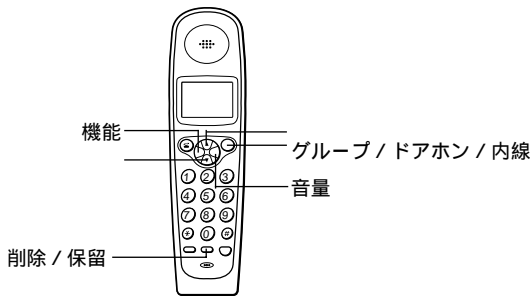
消去しました

子機の電話帳に登録する

子機の電話帳に相手の名前と電話番号を登録しておく、電話をかけるとき、ディスプレイで相手先名を選んでかけることができます。また、グループを選んで登録すれば、より早く相手先を探すことができます。

- 各ボタンは60秒以内に操作してください。
60秒以上何もしないと「ピーピーピー」という音がして登録が中断されます。
- 登録内容
- 登録件数：100件
 - 相手先名：最大12文字
 - 電話番号：最大16桁

- グループについて
- 子機の電話帳では相手先を4種類のグループ(♥♣♦♠)に分けて登録することができます。グループ登録をしておくと、電話帳を使って電話をかけるときにグループで呼び出すことができるので便利です。
- 例：♥...親しい友人 ♣...家族、親戚
♦...会社関係 ♠...公共施設



1 を押します。 デ`ンワ`チョウ`トク`ロク
/`コリ`100`ケン

2 を押します。
名前が入力できる状態になります。 カーソル(点滅)
カ
ナ
`ナ`エ`トク`ロク

3 相手先の名前を入力します。
次ページの表に従って文字を入力します。
[#] を押すと、1文字が決定され、カーソルが右へ1つ移動します。 カ
ナ
ニッポ`ン`デ`ン`キ
カーソル(点滅)

4 を押します。
電話番号が入力できる状態になります。 カ
ナ
ニッポ`ン`デ`ン`キ
バ`ン`ゴ`ウ`ノ`ク`ロク
カーソル(点滅)

5 相手先の電話番号を市外局番から入力します。
12桁を超えたときはスクロール表示されます。 カ
ナ
ニッポ`ン`デ`ン`キ
0120200940
カーソル(点滅)
グループ登録を行わない場合は手順7へ進みます。
ポーズを入れる場合は[音量] ボタンを押します。
入力を間違えたときは[削除 / 保留] ボタンを押して入力しなおしてください。([削除 / 保留] ボタンを2秒以上押すと番号が一度に消えます。)

6 を押して、グループを選びます。 ♠
ニッポ`ン`デ`ン`キ
0120200940

[グループ / ドアホン / 内線] ボタンを押すごとに選べます。 ♥→♣→♦→♠→なし

7 を押します。
残り件数(あと何件登録できるか) 登録した名前と電話番号が順に表示されます。 トク`ロク`マ`ン`タ
/`コリ` 99`ケン

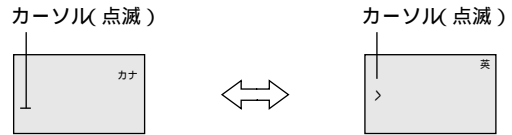
ニッポ`ン`デ`ン`キ
0120200940

? 通話中に電話帳へ登録したいとき...通話中に別の友人の電話番号を聞いたときなど、子機を持ったまま同じ手順で電話帳へ登録することができます。

文字入力のしかた(子機)

「カナ」入力と「英数字」入力の切り替え

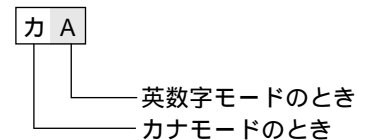
[または]のどちらかを押しごとに切り替わります。カナ入力のときは「_」、英数字入力のときは「>」とカーソルの形が変化します。



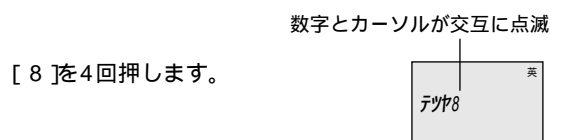
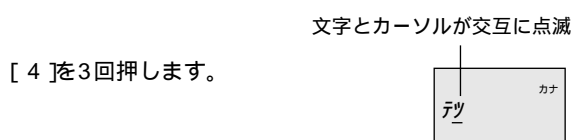
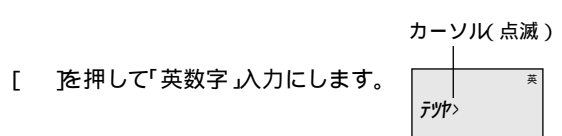
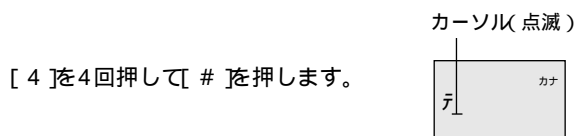
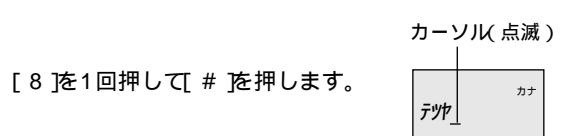
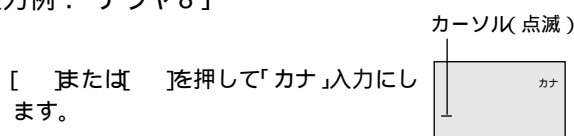
文字入力表

ダイヤルボタン ダイヤル回数	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	*	#	📞
1回	ア 1	カ A	サ D	タ G	ナ J	ハ M	マ P	ヤ T	ラ W	ワ 0	カーソルを左に移動	カーソルを右に移動	空白1文字前に空白が挿入されます)
2回	イ	キ B	シ E	チ H	ニ K	ヒ N	ミ Q	ユ U	リ X	ヲ -			
3回	ウ	ク C	ス F	ツ I	ヌ L	フ O	ム R	ヨ V	ル Y	ン .			
4回	エ	ケ 2	セ 3	テ 4	ネ 5	ヘ 6	メ S	ヤ 8	レ Z	° (
5回	オ	コ	ソ	ト	ノ	ホ	モ 7	ユ	ロ 9	°)			
6回	ア			ツ				ヨ		・			
7回	イ									,			
8回	ウ									*			
9回	エ									#			
10回	オ									&			

「ア」カのように異なる行の文字を入力するときは、「ア」を入力したあとに[#]ボタンを押さなくても次の文字が入力できます。「カ」キのように同じ行の文字を続けて入力するときは、「カ」を入力したあとに[#]ボタンを押してから次の文字を入力します。



入力例:「テツヤ8」

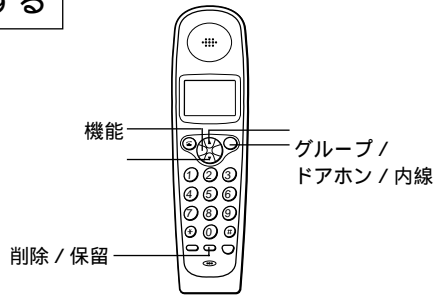


? 名前や電話番号の入力を間違えたとき...[削除 / 保留]ボタンを押して入力しなおしてください。(名前入力時は[*] []を押せばカーソルが移動します。)[削除 / 保留]ボタンを2秒以上押しすと、名前または電話番号の1行が一度に消えます。ひとつ前の手順に戻りたいとき...操作中に[機能]ボタンを2秒以上押し続けると、ディスプレイがひとつ前の状態に戻ります。

ディスプレイに「トウロクデキマセン」と表示されたとき...電話帳に100件の相手先が登録されています。不要な相手先を消去してから、新しい相手先を登録してください。(P.44)
途中で登録をやめるとき...充電器に戻してください。充電器に置いたまま操作している場合は、いったん子機を充電器からとり、充電器に戻してください。
ナンバー・ディスプレイの機能を利用するとき...同一市内の番号でも市外局番から登録してください。また、その際、*、 、 -(ポーズ)は入力しないでください。

子機の電話帳の登録を変更 / 消去する

変更する



1 を押します。 デ`ンワ`チョウ トウロク ノコリ 85ケン

2 を押して「デ`ンワ`チョウ ヘンコウ」を選びます。 デ`ンワ`チョウ ヘンコウ ゲンザイ 15ケン
電話帳に何も登録されていないときは表示されません。

3 を押します。 ア` タロウ 0312345678
電話帳の先頭の相手先が表示されます。

4 または を押して変更したい相手先名を選びます。 ニッポ`ンデンキ 0120200940
登録されている相手先名が、空白 + 文字 数字 カナ (50音順) アルファベット 記号 名前を登録していない電話番号の順に表示されます。ダイヤルボタンを押して、相手先を素早く探すことができます。(P.46)
例) 「ニッポンデンキ」を探すときは、[5(ナ)] を押してください。
この検索はカナで登録された名前のみで、アルファベット等で登録された名前は検索できません。相手先を早送りしたい場合は、[または] を押し続けてください。

文字とカーソルが交互に点滅

5 を押します。 ニッポ`ンデンキ カナ 0120200940

6 名前を変更します。
[* または #] を押して、変更したい文字の下にカーソルを移動させ、文字を入力します。カーソルの位置の文字が置き替わります。(P.43)
[削除 / 保留] ボタンを押すとカーソルの位置の文字がクリアされます。
[削除 / 保留] ボタンを2秒以上押すと、すべての文字が消えます。
名前を変更しないときは、手順7へ進んでください。

7 を押します。 NEC 0120200940
カーソルが点滅

8 電話番号を変更します。
[削除 / 保留] ボタンを押して、番号を入れなおします。
[削除 / 保留] ボタンを2秒以上押すと、すべての番号が消えます。
番号を変更しないときは手順9へ、グループを変更しないときは手順10へ進んでください。

9 を押して、グループを変更します。 グループ ドアホン NEC 0120123456
[グループ / ドアホン / 内線] ボタンを押すごとにグループが選べます。(P.42)
グループを変更しないときは手順10へ進んでください。

10 を押します。 ヘンコウシマシタ ゲンザイ 15ケン
変更した名前と電話番号が表示されます。

消去する

1 を押します。 デ`ンワ`チョウ トウロク ノコリ 85ケン

2 (または) を押して「デ`ンワ`チョウ クリア」を選びます。 デ`ンワ`チョウ クリア ゲンザイ 15ケン

3 を押します。 ア` タロウ 0312345678
電話帳の先頭の相手先が表示されます。

4 または を押して削除したい相手先名を選びます。 ニッポ`ンデンキ 0120200940
登録されている相手先名が、空白 + 文字 数字 カナ (50音順) アルファベット 記号 名前を登録していない電話番号の順に表示されます。ダイヤルボタンを押して、相手先を素早く探すことができます。(P.46)
例) 「ニッポンデンキ」を探すときは、[5(ナ)] を押してください。
この検索はカナで登録された名前のみで、アルファベット等で登録された名前は検索できません。相手先を早送りしたい場合は、[または] を押し続けてください。

5 を押します。 クリアシマシタ ヨロシイデスカ?
確認のメッセージが表示されます。

6 を押します。 クリアシマシタ ゲンザイ 14ケン

? 電話帳の内容をすべて一度に消去するとき...手順4で [または] を押し「イッセイ クリア」を選び、[機能] ボタンを押します。
「スベテクリアシマシタ ヨロシイデスカ?」と表示されたら再度 [機能] ボタンを押せば消去されます。
消去をやめたいとき...手順5で [または] を押し「チュウシマシタ ヨロシイデスカ?」を選び、[機能] ボタンを押します。

親機の電話帳を子機に転送する

転送した内容は、子機の電話帳に追加されます。相手先名には、親機で登録した読み仮名が子機に転送されます。電話帳を一度に転送すること(一斉転送)も、1件ずつ転送すること(個別転送)もできます。子機にも同じ相手先名、電話番号が登録されている場合は転送されません。(いずれかが異なれば転送されます。)

17桁以上の電話番号が登録されている場合は転送されません。

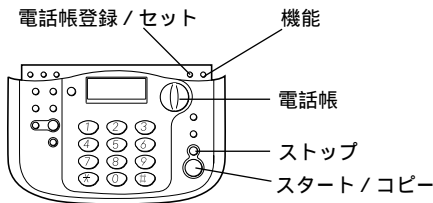
表示例
電話帳転送
正常終了しました
10件 転送できません

子機の電話帳がすでに100件登録済みの場合は転送されません。また、子機の登録数が100件になったところで、転送は終了します。

表示例
内線2
電話帳がいっぱいです
10件 転送できません

転送中に着信があった場合や、エラーが発生したときはそこで転送を終了します。

表示例
電話帳転送
異常終了しました
10件 転送できません



1 機能 を押します。

リストプリント
受信設定
設定モード

2 の を3回押します。

登録モード
留守機能
ナンバーディスプレイ

3 電話帳登録セカ を押します。

オリジナルメロディ
自分の電話番号
発信元

4 の を8回押します。

ダイヤルイン
時刻設定
電話帳転送

5 電話帳登録セカ を押します。

転送方法
一斉 < 個別

すべての登録を一度に転送するとき(一斉転送)

6 の を押して「一斉 <」を選びます。

7 電話帳登録セカ を押します。
増設子機を使用している場合は、[< または >] を押して転送先の子機の内線番号を選びます。

転送内線番号
内線2
< > で選択

8 電話帳登録セカ を押します。

転送を開始します
スタートを
押して下さい

9 を押します。
転送件数 / 登録件数が数字で表示されます。

内線2
電話帳転送中
1/45件

電話帳転送
正常終了しました

一件ずつ転送するとき(個別転送)

6 の を押して「 > 個別」を選びます。

7 電話帳登録セカ を押します。
増設子機を使用している場合は、[< または >] を押して転送先の子機の内線番号を選びます。

転送内線番号
内線2
< > で選択

8 電話帳登録セカ を押します。

日本電気
0120200940
で選択

9 の または を押して転送したい相手先を選択します。
相手先を素早く探すこともできます。(P.46)

10 電話帳登録セカ を押します。

転送を開始します
スタートを
押して下さい

11 を押します。
他の登録も転送したいときは、手順9に戻って転送を繰り返します。

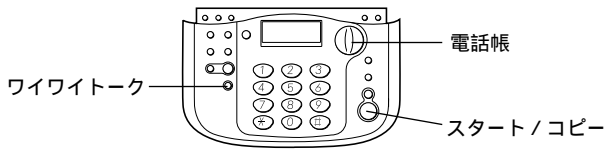
内線2
電話帳転送中


電話帳転送
正常終了しました

12 個別転送を終了するときは を押します。

転送中、相手の子機には「テンソウチュウ」と表示され、使用できません。個別転送を繰り返し行う場合、その間相手の子機の表示は「テンソウチュウ」のままとなります。(親機に「正常終了しました」と表示されれば、転送を続けて行うことができます。)電波状況により転送が正常に行われない場合があります。転送終了後、子機の電話帳の内容(相手先名、電話番号)を確認してください。

親機で電話帳を使って電話をかける



1  の▼または▲を押して相手先を選びます。

登録されている相手先名が表示されます。(表示される順番は、読み仮名で、空白+文字 数字 カナ(50音順) アルファベット 記号 名前を登録していない電話番号の順です。)
 ダイヤルボタンを押して、相手先を素早く探すことができます。(本ページ右)
 例)「日本電気」を探すときは、[5(な)]を押してください。
 相手先を早送りしたい場合は、[▼]または[▲]を押し続けてください。

日本電気
0120200940

2 受話器をとります。
ダイヤルが始まります。

日本電気
0120200940
ダイヤル中

3 話が終わったら受話器を戻します。

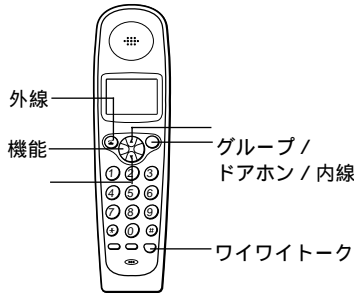
相手先を素早く探すには

ディスプレイに相手先名が表示されているときにダイヤルボタンを押すと、ボタンに割り当てられている読み仮名の行の先頭に飛ぶことができます。
 (例：親機の場合、[3(さ)]を押すと「佐藤」)
 また、ダイヤルボタンを押すたびに、その行の相手先名が順番に表示されます。(親機のみ)
 (例：[3(さ)]を押すたびに「佐藤」「進藤」「鈴木」...)
 該当する行に相手先名が登録されていないときは、相手が表示されません。
 相手先名が表示されている状態から[▼]または[▲]を押すと、電話帳に登録されている相手先名(親機の場合は読み仮名)の順番(カナ アルファベット 記号)で表示されます。
 相手先が表示されている状態から頭文字が記号の相手先を探す場合は[0]を押し、その後[▼]を押してください。
 相手先を早送りしたい場合は、[▼]または[▲]を押し続けてください。

! 親機で子機の電話帳は使えません。また、子機で親機の電話帳は使えません。
 手順1の前に受話器をとっても電話をかけることはできます。この場合は相手先を選んだ後「スタート/コピー」ボタンを押します。「スタート/コピー」ボタンを押すまでにかかる時間によっては電話をかけることができなくなる場合があります。

? ワイワイトークで話したいとき...受話器をとるかわりに「ワイワイトーク」ボタンを押します。

子機で電話帳を使って電話をかける



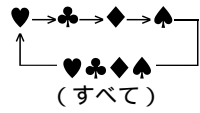
相手先を50音順に探してかける

- 1 充電器からとり、 が点灯するのを確認した後、 を押します。
[外線] ボタンが消灯します。
子機を充電器に置いていないときは、手順2へ進みます。
- 2 または を押して相手先を選びます。
- 3 を押します。
ダイヤルが始まります。
- 4 話が終わったら充電器に戻します。
(または を押します。)

相手先をグループで探してかける

- 1 充電器からとり、 が点灯するのを確認した後、 を押します。
[外線] ボタンが消灯します。
子機を充電器に置いていないときは、手順2へ進みます。
- 2 を押します。
- 3 を押して、グループを選びます。

[グループ/ドアホン/内線] ボタンを押すごとに選べます。
選んだグループの先頭の相手先が表示されます。
グループ登録がない場合は「トウロクサレテイマセン」と表示されます。



- 4 または を押して相手先を選びます。
- 5 を押します。
ダイヤルが始まります。
- 6 話が終わったら充電器に戻します。
(または を押します。)

相手先を素早く探してかける

- 1 充電器からとり、 が点灯するのを確認した後、 を押します。
[外線] ボタンが消灯します。
子機を充電器に置いていないときは、手順2へ進みます。
- 2 を押します。
- 3 相手先の頭文字の行のダイヤルボタンを押します。
押したボタンに割り当てられているカナの行の先頭に登録されている相手先が表示されます。
(例: [1(ア)]を押すと「アベ」)
この検索はカナで登録された名前のみで、アルファベット等で登録された名前は検索できません。

- 4 または を押して相手先を選びます。
- 5 を押します。
ダイヤルが始まります。
- 6 話が終わったら充電器に戻します。
(または を押します。)

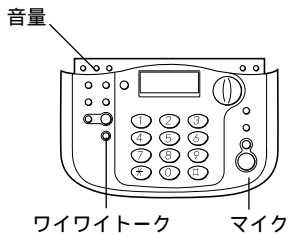
相手先を早送りしたいとき...[▼]または▲を押し続けてください。
ワイワイトークで話したいとき...かけたい相手先を表示させてから、[外線] ボタンの代わりに[ワイワイトーク] ボタンを押します。

ワイワイトーク(ハンズフリー通話)

受話器や子機を持たずに電話ができます。両手がふさがっているときや、みんなで話をしたいときに便利です。子機の場合、ダイヤルしたあとは子機を立てて使うこともできます。ワイワイトークは周囲の雑音がない静かな場所で行ってください。

親機の受話器を持たずに話をする

相手の声は左側面にあるモニタスピーカから聞こえます。モニタスピーカをふさがないように壁などから20cm以上離して設置してください。



- 1 **ワイワイトーク** ボタンを押します。
[ワイワイトーク ボタンが点灯します。]
- 2 相手先の番号をダイヤルします。
0120200940_
- 3 マイクに向かって話します。
通話時間 0分05秒
マイクから約50cm以内の範囲でお話してください。
- 4 話が終わったら **ワイワイトーク** ボタンを押します。
[ワイワイトーク ボタンが消灯します。]

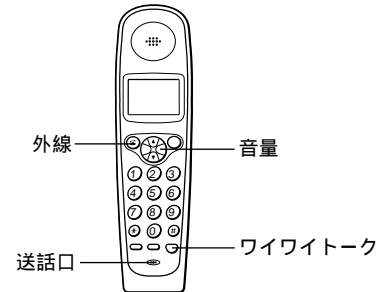


話し始めた時や相手が話している間、または周囲の雑音が大ききときは、相手に声が聞こえにくくなります。このようなときは、マイク(子機の場合は送話口)に近づいて話をしてください。



ワイワイトーク中に受話器で(または子機を持った)通話に切り替えたいとき...受話器をとってください。子機の場合はワイワイトーク ボタンを押してください。充電器に置いてあるときは、充電器からとると切り替わります。受話器で(または子機を持った)通話中にワイワイトークに切り替えたいとき...[ワイワイトーク ボタン

子機を持たずに話をする



- 1 **ワイワイトーク** ボタンを押します。
[ワイワイトーク ボタンと外線 ボタンが点灯します。充電器に置いてあるときはワイワイトーク ボタンのかわりに外線 ボタンを押すこともできます。]
- 2 相手先の番号をダイヤルします。
ダイヤルした番号の表示は5秒後に消えます。
0'08
0120200940
- 3 送話口に向かって話します。
送話口から約50cm以内の範囲でお話してください。
0'14
- 4 話が終わったら **外線** ボタンを押します。
(または充電器に戻します。)
[ワイワイトーク ボタンが消灯します。充電器に戻す際は、操作面を前向きに置いてください。]

次のようなときは異常音(ハウリング音)が起こりやすくなります。ご注意ください。

- ・ワイワイトーク中のモニタスピーカ音量を大きくしすぎたとき
- ・モニタスピーカやマイクに手などを近づけたとき
- ・反響音大きい所に設置したとき
- ・相手から音声以外の信号(保留音やトーン信号等)が入ってきたとき

を押してから受話器を戻してください。子機の場合はワイワイトーク ボタンを押してください。

スピーカの音量を調整したいとき...[音量 ボタンを押してください。(P.58)子機の場合は、ワイワイトーク音量の設定を「標準」でご使用ください。ワイワイトーク音量を「大」にすると、音が割れたり、歪んだりすることがあります。

異常音が発生したとき

ワイワイトーク中に会話以外の「ピー」、「キー」等の異常音(ハウリング音)が聞こえたときや、スピーカの音量が不安定になったときは次のようにしてください。

親機の場合

- ・[音量 ボタンを押してスピーカの音量を小さくする
- ・受話器をとって、受話器での通話に切り替える

子機の場合

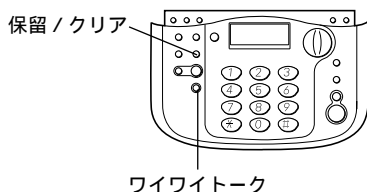
- ・[音量 ボタンを押してワイワイトーク音量を「標準」にする
- ・[ワイワイトーク ボタンを押して、子機を持って話す

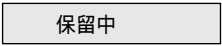
C 保留する

話をしている途中で相手に待っていてほしいときなどに、メロディ音を流すことができます。メロディ音が流れている間は、こちらの声は相手に聞こえません。

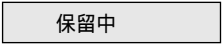
メロディ音(保留メロディ)は、2つの中から選ぶことができます。(P.59)

親機で保留する

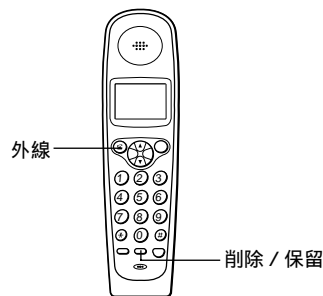


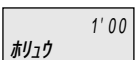
- 1 通話中です。
- 2 ^{保留/クリア} を押します。 
メロディ音が流れます。
受話器を戻しても電話は切れません。
- 3 もう一度話をするときは^{保留/クリア} を押します。
受話器を戻していたときは、受話器をとるだけで話ができます。
- 4 話が終わったら受話器を戻します。
ワイワイトークのときは、ワイワイトーク ボタンを押してください。

親機で保留のあと子機で話をするとき

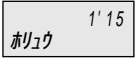
- 1 保留中です。 
- 2 親機の受話器を戻します。
戻していたときは次の手順3へ進んでください。
- 3 子機を充電器からとります。
(充電器に置いていないときは^{外線} を押します。)
子機で話ができます。

子機で保留する



- 1 通話中です。
- 2 ^{外線} を押します。 
メロディ音が流れます。
充電器に戻しても電話は切れません。
保留中は、外線 ボタンが点滅します。
- 3 もう一度話をするときは^{外線} を押します。
充電器に戻していたときは、充電器からとるだけで話ができます。
- 4 話が終わったら受話器に戻します。
(または^{外線} を押します。)

子機で保留のあと親機で話をするとき

- 1 保留中です。 
- 2 子機を充電器に戻すか^{外線} を押します。
親機の保留になります。
- 3 親機の受話器をとります。
親機で話ができます。



10分以上保留にしたまましていると電話は切れます。
外線通話は保留できません。

転送する

外からの電話「外線」と呼びます)を親機から子機、または子機から親機へ転送できます。

内線番号について

親機や子機には内線番号が割り当てられています。転送する時にダイヤルします。

- ・ 親機：1
- ・ 付属の子機(内線2)：2

・ 増設子機(1台目 - 内線3)：3

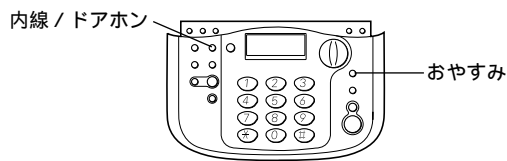
・ 増設子機(2台目 - 内線4)：4

・ 増設子機(3台目 - 内線5)：5

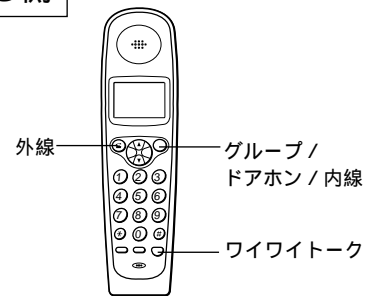
増設子機(別売)使用の場合は、子機から他の子機へ転送できません。

親機から子機へ転送する



転送する側



転送される側



1 受話器で外線と通話中です。

2   を押します。 内線2 を呼出中
 [おやすみ]ボタンが点滅します。
 外線が保留になり、相手にはメロディ音が流れます。


3 呼出音が止まったらメッセージを言います。 ボイスコール中
 「ボイスコールしない」と設定した場合(P.62)は手順4に進んでください。

4 子機が出たら外線を転送することを伝えます。 内線2 と通話中

5 受話器を戻します。 内線2 使用中

1 ベルが2～3回鳴ります。 ナゲ / チャクン
 [グループ/ドアホン/内線]ボタンと [ワイワイトーク]ボタンが点滅します。
 ベルが鳴り終わると自動的に着信します。
 「ボイスコールしない」に設定しているときは手順3の操作をするまでベルが鳴り続けます。

2 メッセージがスピーカから聞こえます。 ボイスコール
 そのままでもワイワイトークで親機と話ができます。
 [グループ/ドアホン/内線]ボタンが点灯に変わります。

3 充電器からとります。 ナゲ
 (充電器に置いていないときは  を押します。)

4 親機と話をします。

5 外線と話します。
 転送する側が受話器を戻すと、外線と話ができます。
 [グループ/ドアホン/内線]ボタンが消灯し、[外線]ボタンが点灯します。

? 子機側が出ないとき...[内線/ドアホン]ボタンを押すともう一度外線と話ができます。

一人で転送したいとき...保留し、受話器を戻してから子機で出てください。(P.49)

増設子機(別売)使用の場合

手順2では次のボタンを押してください。

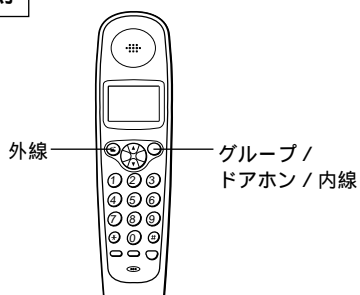
- ・ 子機(内線2)呼出：[内線/ドアホン I 2]
- ・ 子機(内線3)呼出：[内線/ドアホン I 3]
- ・ 子機(内線4)呼出：[内線/ドアホン I 4]
- ・ 子機(内線5)呼出：[内線/ドアホン I 5]
- ・ 子機一斉呼出： [内線/ドアホン I *]

子機一斉呼出ではボイスコールはできません。

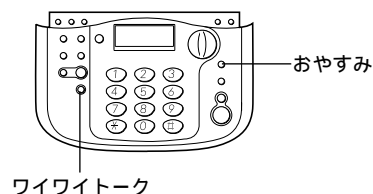
子機間では話はできません。また、三者通話もできません。

子機から親機へ転送する

転送する側



転送される側



1 外線と通話中です。

2 ^{グループ/ドアホン} 内線 ① を押します。
 [外線] ボタンと [グループ/ドアホン/内線] ボタンが点滅します。
 外線が保留になり、相手にはメロディ音が流れます。

0'15 ナイセン ヨビダシ

1 ベルが2~3回鳴ります。
 [おやすみ] ボタンが点滅します。
 ベルが鳴り終わると自動的に着信します。
 「ボイスコールしない」に設定しているときは手順3の操作をするまでベルが鳴り続けます。

内線2 から着信中

ボイスコール中

3 呼出音が止まったらメッセージを言います。
 「ボイスコールしない」と設定した場合は手順4に進んでください。

0'20 ナイセン

2 メッセージがスピーカから聞こえます。
 [ワイワイトーク] ボタンが点滅します。
 ワイワイトークで子機と話ができます。

4 親機が出たら外線を転送することを伝えます。

3 受話器をとります。

内線2 と通話中

5 充電器に戻します。(または ^{外線} ② を押します。)

4 子機と話をします。

5 外線と話をします。
 転送する側が充電器に戻るか、[外線] ボタンを押すと、外線と話ができます。

? 親機が出ないとき..[グループ/ドアホン/内線] ボタンを押すともう一度外線と話ができます。

一人で転送したいとき...保留し、子機の[外線] ボタンを押すか充電器に戻してから親機で出てください。(P.49)

〔 親機と子機で通話する(内線通話) 〕

親機と子機で話ができます。親機と子機を別々の部屋に置いている場合、別の部屋にいる人と話をするときや呼び出すときに便利です。

親機や子機を呼び出す時に、ベルを2～3回鳴らしたあと自動的に着信させ、スピーカから音声で呼び出すことができます。(ボイスコール)

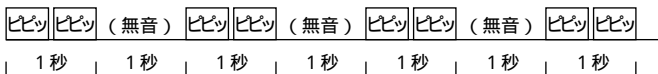
ボイスコールしないように設定することができます。(P.62)

外線で使用中のときは内線通話することはできません。内線を呼出中に外線(外からの電話)がかかってくると、内線の呼出を中止して外線のベルが鳴ります。

内線通話中に外線から電話がかかってくると、内線通話は切れ、外線のベルが鳴ります。

内線通話時は保留できません。

内線ベルの鳴りかた



内線番号について

親機や子機には内線番号が割り当てられています。呼び出す時にダイヤルします。

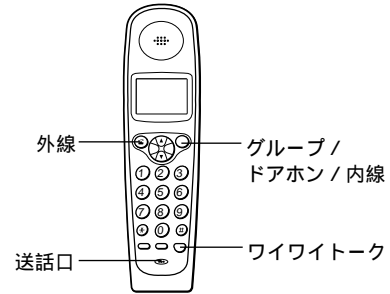
- ・親機：1
- ・付属の子機(内線2)：2
- ・増設子機(1台目 - 内線3)：3
- ・増設子機(2台目 - 内線4)：4
- ・増設子機(3台目 - 内線5)：5

子機同士で内線通話することはできません。また、三者通話はできません。

親機または子機がワイワイトークで内線通話をしているときに、親機と子機が近すぎると、「ピー」、「キー」等の異常音(ハウリング音)がすることがあります。このようなときは、子機を親機から離してください。

親機から子機を呼ぶ

ボイスコールをする設定のとき(お買い上げ時)



- 1 を押します。 内線2 を呼出中 . . . 1 ベルが2~3回鳴ります。 ナイセン チャクシ
[おやすみ]ボタンが点滅します。
[グループ/ドアホン/内線]ボタンと [ワイワイトーク]ボタンが点滅します。ベルが2~3回鳴ると自動的に着信します。
- 2 呼出音が止まったらマイクに向かってメッセージを言います。 ボイスコール中 . . . 2 メッセージがスピーカから聞こえます。 ボイスコール
[ワイワイトーク]ボタンが点灯します。受話器をとって言うこともできます。
[グループ/ドアホン/内線]ボタンが点灯に変わります。
- 3 相手が出たら話をします。 3 送話口に向かって話をします。
子機が [グループ/ドアホン/内線]ボタンまたは [ワイワイトーク]ボタンを押すか、充電器からとると、表示が「内線2と通話中」に変わります。
子機を耳にあてて話をするときは、[グループ/ドアホン/内線]ボタンを押してください。充電器に置いてあるときは充電器からとり、耳にあててお話しください。(表示が「ナイセン」に変わります。)
- 4 話が終わったら を押します。 4 子機をとって話をしていたときは、 を押します。(または充電器に戻します。)
(または受話器を戻します。)
[グループ/ドアホン/内線]ボタンが消灯します。

ボイスコールをしない設定のとき

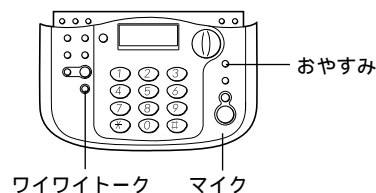
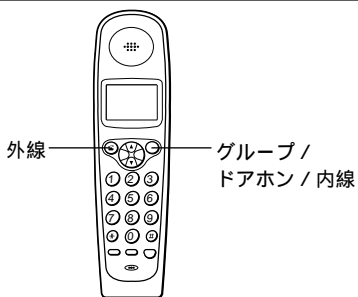
- 1 を押します。 内線2 を呼出中 . . . 1 ベルが鳴ります。 ナイセン チャクシ
[おやすみ]ボタンが点滅します。
[グループ/ドアホン/内線]ボタンと [ワイワイトーク]ボタンが点滅します。
- 2 相手が出たらマイクに向かって話をします。 内線2 と通話中 2 充電器からとります。(充電器に置いていないときは を押し
[ワイワイトーク]ボタンが点灯します。受話器をとって話すこともできます。
ます。)
[ワイワイトーク]ボタンを押して出ることもできます。[グループ/ドアホン/内線]ボタンが点灯に変わります。
- 3 話が終わったら を押します。 3 話をします。 3 話をします。
(または受話器を戻します。)
- 4 話が終わったら充電器に戻します。 ナイセン
(または を押します。)
[グループ/ドアホン/内線]ボタンが消灯します。

増設子機(別売)使用の場合

- 子機を呼び出すとき(手順1)は、次のボタンを押してください。
- ・子機(内線2)呼出:[内線/ドアホン]Ⅱ
 - ・子機(内線3)呼出:[内線/ドアホン]Ⅲ
 - ・子機(内線4)呼出:[内線/ドアホン]Ⅳ
 - ・子機(内線5)呼出:[内線/ドアホン]Ⅴ
 - ・子機一斉呼出:[内線/ドアホン]Ⅵ
- 子機一斉呼出ではボイスコールはできません。子機間では話はできません。また、三者通話もできません。

子機から親機を呼ぶ

ボイスコールをする設定のとき(お買い上げ時)



1 充電器からとり、 が点灯するのを確認後、 を押します。

[外線] ボタンが消灯します。
子機を充電器に置いていないときは、手順2へ進んでください。

2 **1** を押します。

[グループ / ドアホン / 内線] ボタンが点滅します。
充電器に置いたまま [グループ / ドアホン / 内線] 1 を押すとワイワイトークで話ができます。

1 ナイセン 30' ダシ

ベルが2~3回鳴ります。
[おやすみ] ボタンが点滅します。

内線2 から着信中

ボイスコール中

3 呼出音が止まったら話をしてください。.....2

[グループ / ドアホン / 内線] ボタンが点灯に変わります。

メッセージがスピーカから聞こえます。
マイクに向かって話をしてください。
[ワイワイトーク] ボタンが点滅します。
受話器をとって話すこともできます。

4 話が終わったら充電器に戻します。.....3
(または を押します。)

[グループ / ドアホン / 内線] ボタンが消灯します。

受話器で話をしていたときは、受話器を戻します。

ボイスコールをしない設定のとき

1 充電器からとり、 が点灯するのを確認後、 を押します。

[外線] ボタンが消灯します。
子機を充電器に置いていないときは、手順2へ進んでください。

2 **1** を押します。

[グループ / ドアホン / 内線] ボタンが点滅します。
充電器に置いたまま [グループ / ドアホン / 内線] 1 を押すとワイワイトークで話ができます。

1 ナイセン 30' ダシ

ベルが鳴ります。
[おやすみ] ボタンが点滅します。

内線2 から着信中

3 相手が出たら話をします。
[グループ / ドアホン / 内線] ボタンが点灯に変わります。

2 ナイセン

受話器をとって話をします。
[ワイワイトーク] ボタンを押して出ることもできます。

内線2 と通話中

4 話が終わったら充電器に戻します。.....3
(または を押します。)

[グループ / ドアホン / 内線] ボタンが消灯します。

受話器を戻します。

ご使用の前に

設

置

電

話

ファクス/コピー

留守番

ハンズフリー

ALPHAS

Eメール

ナンバーディスプレイ

キャッチホン/ネット/ダイヤルイン

こんなときは

C 通話録音

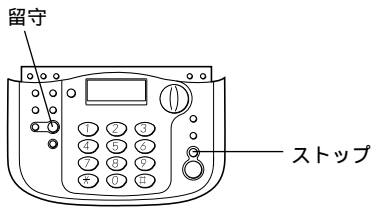
通話中の会話を録音する

親機の受話器または子機で通話中に、会話を録音することができます。注文受けやインタビューなど、通話中にちょっとメモを取りたいときなどにご利用ください。録音した用件を相手に聞かせることもできます。

録音できる時間は最大30分です。ただし、通話録音するメモリと、留守番電話の自分で録音した応答メッセージや用件、受信した文書を記憶するメモリは同じものです。そのためメモリ内に用件や受信文書が残っていると録音できる時間が少なくなります。また、留守番電話の用件と合

わせて合計が30分を超えない限り最大30件録音できます。通話録音1件は留守番電話の用件1件分としてカウントされます。

親機の場合



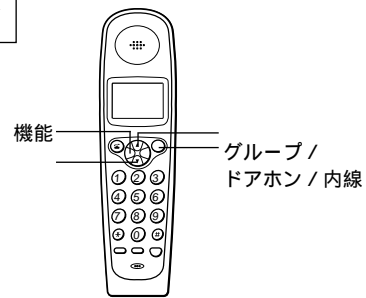
1 受話器で通話中です。

2 **留守** を押します。
「ピ-」という音がして、録音を開始します。相手にも「ピ-」という音が流れます。

通話録音中

3 録音を終了するときは **ストップ** を押します。

子機の場合



1 子機をとって通話中です。

2 **機能** を押します。

デフォルト
メモリ 85件

3 **機能** を押して「リモコン ソウサ」を選びます。

リモコン ソウサ

4 **機能** を押します。

リモコン チュウ
ツウワロクオン 5

5 **5** を押します。
または **5** / **5** を押して「ツウワロクオン 5」を選び、**機能** ボタンを押します。
「ピー」という音がして、録音を開始します。相手にも「ピー」という音が流れます。

リモコン チュウ
ツウワロクオン 5

6 録音を終了するときは **#** を押します。

呼出音

または **5** / **5** を押して「ヨウケンテイシ #」を選び、**機能** ボタンを押します。

リモコン チュウ
ヨウケンテイシ #

7 リモコンを終了するときは **内線** を押します。(または ***** を押します。)

グループ
ドアホン

内線

トーン

1'35

または **5** / **5** を押して「リモコン オワリ *」を選び、**機能** ボタンを押します。

! ワイワイトークで通話中は、通話録音できません。内線通話は通話録音できません。

留守番電話の用件が30件録音されているときや、残りの録音時間が約20秒以内のときは通話録音できません。通話録音中は保留できません。保留するときは、通話録音を終了させてください。

? メモリがいっぱいになったとき...『メモリがいっぱいです』というメッセージが流れ、親機のディスプレイ

に「メモリがいっぱいです」と表示されます。録音は中断されます。

通話録音した内容を聞く

通話録音した内容は、留守番電話の用件の場合と同じ操作で再生したり、消去したりできます。
(P.82、P.84)

留守番電話の用件が録音されていれば、録音された順に用件や通話録音内容が再生されます。通話録音した内容だけを再生する操作はありません。

留守番電話に録音された用件や通話録音した内容を相手に聞かせる

親機の受話器または子機で通話中に、留守番電話に録音された用件や通話録音した内容を再生して、相手に聞かせることができます。

ワイワイトークで通話中は操作できません。

親機の場合

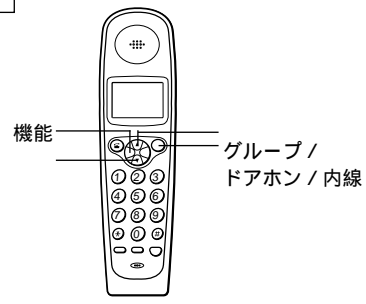


- 1 受話器で通話中です。
- 2 を押します。
録音内容が再生されます。
再生中のボタン操作については、P.82をご覧ください。



- 3 再生を終了するときは を押します。

子機の場合



- 1 子機をとって通話中です。
- 2 を押します。
デノリ 85ケン
- 3 を押して「リモコン ソウサ」を選びます。
リモコン ソウサ
- 4 を押します。
リモコン チュウ ヅクワクオン 5
- 5 を押します。
または []/[] を押して「ヨウケンサイセイ 2」を選び、[機能] ボタンを押します。
録音内容が再生されます。
再生中のボタン操作については、P.84をご覧ください。
リモコン ヨウケンサイセイ 2
- 6 再生を終了するときは を押します。
または []/[] を押して「ヨウケンテイシ #」を選び、[機能] ボタンを押します。
リモコン チュウ ヨウケンテイシ #
- 7 リモコンを終了するときは を押します。(または を押します。)
または []/[] を押して「リモコン オワリ *」を選び、[機能] ボタンを押します。
1'35

ご使用の前に
設置
電話
ファクス/コピー
留守番
ハンズスキャナ
ALPHAS
Eメール
ナンバーディスプレイ
キャッチホン/ネット
ダイヤル
こんなときは

音量調整

親機の音量を調整する

ダストカバー内の [音量] ボタンを押して調整します。

ベル音量

待機中(電話とファクスのどちらも使用していない状態)に [音量] ボタンを押します。1回押すと現在の音量でベルが鳴ります。鳴っている間にもう1回押すと音量が変わります。



「切」に設定したときは次のようになります。

- ・ 外線のベル：鳴らない
- ・ 内線のベル：鳴らない
- ・ ドアホンのベル：鳴る

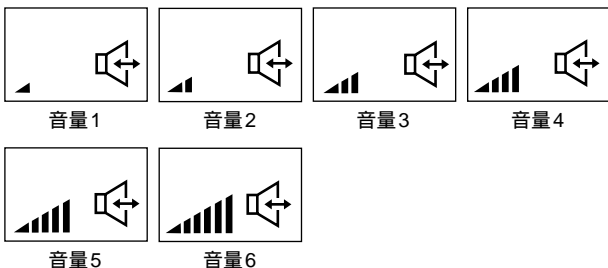
受話音量

受話器で通話中に [音量] ボタンを押します。



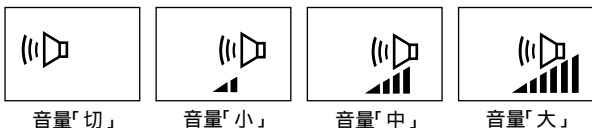
ワイワイトーク音量

ワイワイトーク中に [音量] ボタンを押します。スピーカの音量を調整できます。




モニタスピーカ音量、留守番電話の再生音量


用件再生中などに [音量] ボタンを押します。

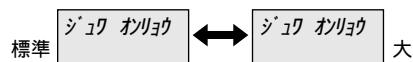


子機の音量を調整する


受話音量

1 充電器からとります。(充電器に置いていないときは  を押します。)

2  を押します。



[音量] ボタンを押す度に、標準 大と切り替わります。

3 充電器に戻します。(または  を押します。)



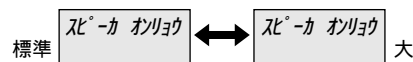
通話中に受話音量を調整したいとき...子機をとって通話中の場合は、[音量] ボタンを押す(手順2)だけで調整できます。

音量を「大」にしても相手の声が小さくて聞き取りにくいとき...受話音量を全体的に大きくすることができます。(P.63)

ワイワイトーク音量

ワイワイトークで通話中に調整します。(標準/大)


1  を押します。

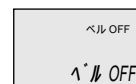



[音量] ボタンを押す度に、標準 大と切り替わります。

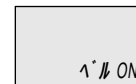
ベルのON / OFF

待機中に設定します。ベル音は鳴る(ON)/鳴らない(OFF)のいずれかに設定できます。

1  を2秒以上押します。
「ピー」という音が鳴り、呼び出し音が鳴らない設定になります。



2 鳴るように設定したい場合は、もう一度  を2秒以上押します。



「ピッ」という音が鳴り、呼び出し音が鳴る設定になります。



「OFF」に設定したときは次のようになります。

- ・ 外線のベル：鳴らない
- ・ 内線のベル：鳴る
- ・ ドアホンのベル：鳴る

いろいろな設定を変えて使う

ベルの音色 / メロディを変える

着信ベルの音色を変えることができます。ベルのかわりにメロディを流すこともできます。親機のベル音を変えると、子機のベル音も変わります。

自分の好きなオリジナル着信メロディを入力して鳴らすこともできます。


-ALPHA5サービスをご利用の場合は、メロディを取り込んで鳴らすこともできます。

お買い上げのとき...「ベル(標準)」に設定されています。

1 ダストカバーを開け、を押します。

2 の▼を押します。


リストプリント
受信設定
設定モード

3 を押します。

無鳴動着信
音声メッセージ
着信ベル回数

4 の▼を5回押します。

呼出ベル回数
ファクス専用
ベル音・メロディ

5 を押します。

ベル音・メロディ
ベル(標準)
<>で選択


6 の<または>を押して選びます。

- ・ベル(標準): 通常のベル音
- ・ベル(鳴り分け): 「標準」とは違う音
- ・アイネ クライネ ナハト ムジーク
- ・春
- ・トルコ行進曲
- ・オリジナルメロディ(P.60)
- ・(えらんでメロディで取り込んだ曲) (P.109)


[音量] ボタンを押すと、表示されているベルやメロディを聞くことができます。この時 [音量] ボタンを押して音量を調整できます。(P.58)

ベルやメロディは5秒間鳴りますが、[ストップ] ボタンを押せば音は止ります。

-ALPHA5サービスにより着信メロディを取り込んでいないときは、「えらんでメロディで取り込んだ曲」は表示されません。

7 を押します。

設定しました

8 を押します。



ナンバー・ディスプレイを契約(有料)し、着信鳴り分け(P.134)を設定した場合、その相手からの電話は着信鳴り分けで設定した着信音が鳴ります。



着信ベルを確認するとき...設定終了後、親機の[音量] ボタンを押すとベルの音色 / メロディを確認することができます。子機の[音量] ボタンを押してもメロディの確認はできません。オリジナル着信メロディを登録していないとき...オリジナル着信メロディを選択すると、「ドレミファソラシド」が鳴ります。

保留メロディを変える

電話を保留した時に相手に流すメロディ音を選ぶことができます。


保留メロディは「聖者の行進」と「茶色の小瓶」の2種類です。

お買い上げのとき...「聖者の行進」に設定されています。

1 ダストカバーを開け、を押します。

2 の▼を2回押します。


リストプリント
受信設定
設定モード

3 を押します。

読み取り濃度
発信元記録
海外通信

4 の▼を4回押します。


ファクスかんたん受信
保留メロディ
回線種別

5 を押します。


保留メロディ
聖者の行進
<>で選択

6 の<または>を押して選びます。

「聖者の行進」または「茶色の小瓶」

7 を押します。

設定しました

8 を押します。







設定した保留メロディを確認するとき...手順8の後 [ワイワートーク] ボタンを押し、[保留 / クリア] ボタンを押すとメロディが流れます。確認後 [保留 / クリア] ボタンを押すとメロディが止まり、[ワイワートーク] ボタンを押すと確認が終わります。

着信メロディを自分で作る(オリジナル着信メロディ)





好みのメロディ(オリジナル着信メロディ)を登録して、着信メロディとして利用できます。



オリジナル着信メロディは、1曲だけ登録することができます。
 オリジナル着信メロディは、「ベルの音色/メロディを変える」(P.59) 着信鳴り分けの設定(P.134)で着信メロディとして使用することができます。


1曲の長さは、音符(休符も含む)の数で128音まで登録できます。
 本機のオリジナル着信メロディの入力のしかた(P.61)は、ドコモの「デジタルムーバ N208 HYPER」および「デジタルムーバ N208S HYPER」と同様です。
 「ムーバ」はドコモの登録商標です。


- 1 ダストカバーを開け、を押します。
- 2 の▼を3回押します。
登録モード
留守電機能
ナンバーディスプレイ
- 3 を押します。
オリジナルメロディ
自分の電話番号
発信元
- 4 を押します。
何も登録されていないとき(お買い上げのとき、オリジナル着信メロディを消去したとき)は、直接「登録する」の手順7に進みます。
オリジナルメロディ
登録< 消去

登録する





- 5 の<または>を押して、「登録<」を選びます。
- 6 を押します。
オリジナルメロディ
テンポ：120
音001：
- 7 オリジナル着信メロディを入力します。
1 音符(または1休符)ずつ入力します。
次ページの表に従って、音程と音の長さを入力します。
テンポを変更しないときは、手順10へ進んでください。
オリジナルメロディ
テンポ：120
音001：ド 4分
交互に表示
オリジナルメロディ
テンポ：120
音001： 4分
- 8 の を押し、オリジナル着信メロディのテンポを入力します。
テンポは60~186まで入力できます。数が小さいと遅く、大きいと速くなります。
テンポはダイヤルボタンで入力します。60~99を入力するときは、頭に0を入力してください。
テンポを修正するときは「保留/クリア」ボタンを押して入力しなおしてください。
オリジナルメロディ
テンポ：120
音001：ド 4分


- 9  または  の を押します。
オリジナルメロディ
テンポ：060
音001：ド 4分

- 10  を押します。 設定しました

- 11  を押します。

消去する

- 5 の<または>を押して、「>消去」を選びます。
- 6 を押します。 オリジナルメロディ
消去< 取り消し
- 7 の<または>を押して、「消去<」を選びます。
消去をやめたいときは、「>取り消し」を選んでから「電話帳登録/セット」ボタンを押します。(手順4の表示に戻ります。)
- 8 を押します。 消去しました
すでに登録したオリジナル着信メロディが全て消去されます。

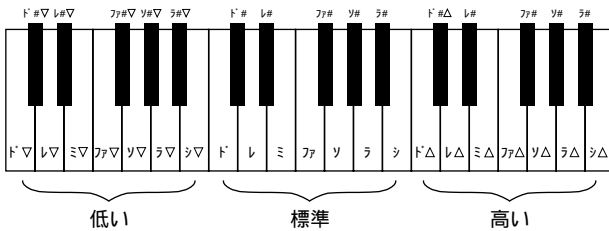
- 9  を押します。

? 入力途中でメロディを確認したいとき...「音量」ボタンを押すと、入力中のメロディが繰り返し再生されます。再生を止めるときは「電話帳登録/セット」ボタンまたは「ストップ」ボタンを押してください。
 入力途中で音程や音の長さを修正したいとき...次ページ「音程入力表」の注2をご覧ください。
 登録されているメロディを確認したいとき...「登録する」の手順5の「音量」ボタンを押すと、登録されているメロディが繰り返し再生されます。(再生を止めるときは「電話帳登録/セット」ボタンまたは「ストップ」ボタンを押してください。)
 登録されているオリジナル着信メロディを修正したいとき...「登録<」を選ぶと、すでに登録されているオリジナル着信メロディを修正(音符の挿入や削除)をすることができます。次ページ「音程入力表」の注2をご覧ください。
 新しいオリジナル着信メロディを登録したいとき...「>消去」を実行して、すでに登録されているオリジナル着信メロディを消去してから登録しなおしてください。

メロディ入力のしかた

使用できる音程

入力できる音程は、低い「ド」(ド) から高い「シ」(シ) まで3オクターブです。
ただし、再生できる音程は低い「ソ」(ソ) から上3オクターブの範囲となります。低い「ド」から「ファ#」を入力した場合は、自動的に入力した音程を転調して再生します。(入力した「ド」~「ファ#」の範囲のうち、最も低い音が「ソ」となるように、メロディ全体を転調します。)



音程入力表

ダイヤルボタン 押す回数	1 (あ)	2 (か)	3 (せ)	4 (た)	5 (な)	6 (は)	7 (ま)	0 (お)
1回	ド	レ	ミ	ファ	ソ	ラ	シ	(休符)
2回	ド#	レ#	ミ	ファ#	ソ#	ラ#	シ	
3回	ド	レ	ミ	ファ	ソ	ラ	シ	
4回	ド#	レ#		ファ#	ソ#	ラ#		
5回	ド	レ		ファ	ソ	ラ		
6回	ド#	レ#		ファ#	ソ#	ラ#		

- 注1 「ド」「ド#」のように同じ行の音符を続けて入力するときには、「ド」を入力した後に「>」を押してから次の音符を入力します。
「ド」「ミ」のように異なる行の音符を入力するときには、「ド」を入力した後に「>」を押さなくても次の音符「ミ」を入力できます。
- 注2 音程や音の長さを修正することができます。[<] または [>] を押して修正したい音を表示させ、[保留/クリア] ボタンを押して削除します。挿入するときは新しい音程を入力します。また、音の長さを修正するときは、以下の「音の長さの入力」を参照して新しい音の長さを入力します。

音の長さの入力

音の長さは、[*] [#] および[9] を押すことで指定できます。下表の音符(休符)が使用できます。

[*] を押すたびに以下の順で長さが変わります。

「4分」「8分」「16分」「全」「2分」

[#] を押すたびに以下の順で長さが変わります。

「4分」「2分」「全」「16分」「8分」

付点音符(休符)を指定したいときは[9] を押します。現在の音の長さにかかわらず、以下の順で長さが変わります。

「付4」「付8」「付2」

([*] [#] を押しても付点音符(休符)は指定できません。)

音符(休符)	ディスプレイ表示	押すボタン
全音符(休符)	全	[*]
2分音符(休符)	2分	
4分音符(休符)	4分	
8分音符(休符)	8分	
16分音符(休符)	16分	[#]
付点2分音符(休符)	付2	
付点4分音符(休符)	付4	
付点8分音符(休符)	付8	[9]

入力例

テンポ120でド#(16分音符) ミ(8分音符) ヲ(4分音符) ド#(付点8分音符) 2分休符を入力します。

[1] を2回押します。

テンポ: 120
音001: ド# 4分

[*] を2回押します。

テンポ: 120
音001: ド# 16分

[3] を押します。

テンポ: 120
音002: ミ 4分

[*] を押します。

テンポ: 120
音002: ミ 8分

[5] を押します。

テンポ: 120
音003: ソ 4分

[1] を4回押します。

テンポ: 120
音004: ド# 4分

[9] を2回押します。

テンポ: 120
音004: ド# 付8

[0] を押します。

テンポ: 120
音005: 4分

[#] を押します。

テンポ: 120
音005: 2分

[電話帳登録/セット] ボタンを押します。

交互表示と_(カーソル)表示について

ディスプレイに音程と_が交互に表示されているときは、その音の入力はまだ未確定状態です。同じダイヤルボタンを押して音程入力表の同じ行の音に変更したり、音の長さを変更することができます。異なるダイヤルボタンを押すと、表示されていた音の入力が確定し、ボタンを押した音の入力状態となります。

入力が確定した音は、_(カーソル)が表示されます(例:レ)。

音001: レ 2分

交互に表示

音001: レ 2分



入力したオリジナル着信メロディは、オリジナルメロディリストとして記録紙にプリントすることができます。(P.155)このリストは、同じ曲を再度登録する場合などに使うと便利です。

オリジナルメロディリストには、テンポ、入力した音程と音の長さ、および入力時に押したボタンの種類と回数がプリントされます。

- ・[#] を押して音の長さを入力した箇所は、その長さを[*]によって入力した場合に換算し、その回数分だけ[*] がプリントされます。
([#] を1回押して4分音符から2分音符に変更した場合、[* * * *] とプリントされます。)

- ・[9] を押して付点音符の長さを入力した箇所は、押された回数分だけ[9] がプリントされます。
([9] を3回押して4分音符から付点2分音符に変更した場合、「999」とプリントされます。)


- ・音程入力表の同じ行の音を続けて入力した箇所は、音の区切りに入力した[>] がプリントされます。
(ソの音を続けて入力した場合、「5」>「5」とプリントされます。)

ボイスコールを設定する


転送や内線通話のときに、親機や子機を音声で呼び出す(ボイスコール)かどうかを設定できます。

お買い上げのとき、「ボイスコールする」に設定されています。「ボイスコールしない」に設定すると、電話に出るまでベルが鳴り続けます。


1 ダストカバーを開け、^{機能} を押します。

2  の▼を2回押します。 リストプリント
受信設定
設定モード

3 ^{電話帳登録セカ} を押します。 読み取り濃度
発信元記録
海外通信

4  の▼を8回押します。 Fネット
ドアホン接続
ボイスコール

5 ^{電話帳登録セカ} を押します。 ボイスコール
x

6  の<または>を押してカーソルを移動します。
x : ボイスコールする
x : ボイスコールしない

7 ^{電話帳登録セカ} を押します。 設定しました

8 ^{ストップ} を押します。

子機のベルを優先して鳴らす



電話がかかってきた時に親機より先に子機だけベルを5回鳴らすことができます(子機優先着信)。ベルが5回鳴ってもだれも電話に出ないときは、あらかじめ設定してある動作をします。


次の場合、優先着信の設定は解除されます。

- ・着信があった場合(内線やドアホンを含む。電話に出なくても解除されます。)
- ・子機で電話をかけた場合(内線およびリモコン操作を含む)
- ・親機の電話帳を子機に転送した場合

子機の待機中に操作します。

1  を押します。 デノリョクトウロク
ノリ 95ケン

2  (または ) を押して「ユウセン チャクシン」を選びます。 ユウセン チャクシン

3  を押します。
「ピー」と鳴り、ディスプレイに「チャクシン ヨヤクチュウ」と表示され、優先着信が設定されます。 チャクシン ヨヤクチュウ

解除するときは、もう一度手順1~3を行います。「チャクシン ヨヤクチュウ」の表示が消え、優先着信が解除されます。



子機のベル音量を「OFF」に設定していると、優先着信の設定をしてもベルが鳴りません。

増設子機(別売)使用の場合は、1台の子機だけ設定できます。


優先着信を設定している子機のベルだけが鳴っているときでも、ベルが鳴っていない親機や他の子機で電話に出ることができます。

ファクスやコピーなどのプリント中は子機優先着信はできません。

子機の送話音量を全体的に大きくする


相手側でこちら側の子機の声が聞こえにくいときは、送話音量を「大きい」に設定すると、相手側で聞き取りやすくなります。(親機で操作します。)

お買い上げのとき...「標準」に設定されています。


1 ダストカバーを開け、を押します。

2 の▼を2回押します。


リストプリント
受信設定
設定モード

3 を押します。

読み取り濃度
発信元記録
海外通信

4 の▼を10回押します。


子機の受話音量
子機の送話音量
省エネルギー

5 を押します。


子機の送話音量
標準
<>で選択


6 の<または>を押して選びます。

標準： 標準の送話音量
大きい： 標準よりも大きい送話音量

7 を押します。


設定しました

8 を押します。


 この設定ではワイワイトーク時および内線通話時の音量は変更されません。

4 の▼を9回押します。


子機の受話音量
子機の送話音量
省エネルギー

5 を押します。


子機の受話音量
標準
<>で選択


6 の<または>を押して選びます。

標準： 標準の受話音量
大きい： 標準よりも大きい受話音量

7 を押します。

設定しました


8 を押します。

 この設定ではワイワイトーク時および内線通話時の音量は変更されません。

子機のキータッチトーンを設定する

ボタンを押したときに「ピッ」と鳴る音をキータッチトーンといいます。ボタン操作が確実に実行されていることがこの音で確認できますが、子機ではこのキータッチトーンを鳴らないように設定することができます。

子機の待機中に操作します。


を2秒以上押します。

タッチトーン
OFF
タッチトーン OFF

「ピー」という音がして、キータッチトーンが鳴らないように設定されます。

キータッチトーンを鳴るように設定するときは、もう一度 * 隣を2秒以上押します。「ピッ」という音がして、キータッチトーンが鳴るように設定されます。

タッチトーン ON

 キータッチトーンを「OFF」に設定すると、エラーを知らせる音や設定終了を知らせる音も鳴らなくなります。(ただし、ベルのON/OFFを設定したときの音は鳴ります。)(P.58)

子機の受話音量を全体的に大きくする


子機の受話音量を全体的に大きめにしたいときは、受話音量を「大きい」に設定します。(親機で操作します。)

お買い上げのとき...「標準」に設定されています。

1 ダストカバーを開け、を押します。

2 の▼を2回押します。

リストプリント
受信設定
設定モード

3 を押します。

読み取り濃度
発信元記録
海外通信



ファクス/コピーの前に

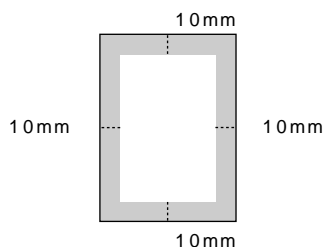
読み取りできる原稿とできない原稿

読み取りできる原稿のサイズおよび厚さ
1枚だけセットする場合と複数枚セットする場合は、読み取れる原稿の長さや厚さが異なります。

	1枚だけセットする場合 (幅×長さ)	複数枚セットする場合 (幅×長さ)
最大	257×1000mm	257×364 mm (B4サイズ)
最小	128×128 mm	128×128 mm
厚さ	0.05～0.15 mm	0.065～0.10mm

*このページの紙の厚さは約0.09mmです。

読み取りできる範囲
原稿の縁から10mm以内の範囲にある文字などは、読み取れない場合があります(の部分)。

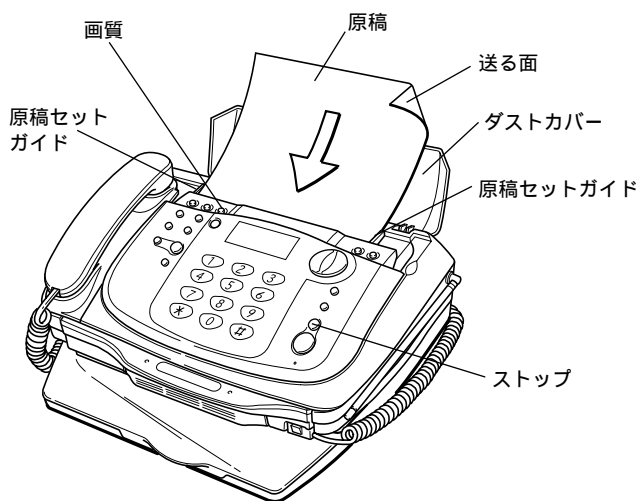


そのままでは読み取れない原稿
次のような原稿は、普通紙に複写機でコピーするか、ハンドスキャナ(P.92)を使って送信/コピーしてください。

読み取れない原稿	複写機でコピーした原稿	ハンドスキャナ
フィルムやトレーシングペーパーのような透明なもの		*
破れたり、しわが入ったり、丸まった紙		
感圧紙、感熱紙、裏カーボン紙などの化学処理した紙		
小さすぎる紙 (128×128 mm未満)		*
薄すぎる紙 (0.05 mm未満)		*
厚すぎる紙 (0.15 mmを超える)		
ノリやテープで貼り合わせた紙		×

*白い紙などの上に原稿を置いて読み取ってください。

原稿セットのしかた



- 1 ダストカバーを開けます。
- 2 長い原稿をセットするときは、原稿セットアームを立てます。
- 3 原稿の幅に原稿セットガイドを合わせます。
複数枚のときは先端と幅をそろえてください。
一度にセットできる原稿枚数(同じ紙質・大きさの場合) : 10枚まで
- 4 送る面を下に向けて、原稿を軽く差し込みます。
自動的に約3cm引き込まれます。
複数枚セットしたときは一番下の原稿が引き込まれます。
ディスプレイに画質モードが表示されます。画質モードは、[画質]ボタンで変えられます。(次ページ)

! 原稿セットガイドは原稿の幅にきちっと合わせてください。合わせないと原稿が斜めに入ったり、つまったりする原因となります。
幅や厚さが異なる原稿をいっしょにセットしないでください。原稿がつまったり、送信もれが出たりする原因となります。
クリップやホチキスの針は必ず取り除いてください。故障の原因となります。

インクや修正液、ノリなどが付いた原稿は、完全に乾かしてからセットしてください。
11枚以上送りたいときは、何回かに分けて送信してください。途中で原稿を追加しないでください。
「省エネルギーモードにする(P.161)に設定した場合、ファクスやコピーの際の原稿セット時に原稿を自動的に引き込むのが3秒程度遅くなります。(「しばらくお待ち下さい」と表示後に原稿が引き込まれます。)

セットした原稿を取り除きたいときは

[ストップ]ボタンを押すと、原稿が排出されます。
原稿は無理に引き抜かないでください。原稿読み取り部に傷がつく原因となります。

写真や小さい文字の原稿のとき(画質モード)

文字が小さい原稿や、写真のように濃淡のある原稿でも、鮮明に送ったりコピーをとったりすることができます。送信やコピーの前に画質モードを設定してください。

画質モードの決めかた

下の例の文字の大きさをめやすに、画質モードを決めてください。

ふつう: **文字がこのくらいの大き**

小さい: **文字がこのくらいの大きさのとき**

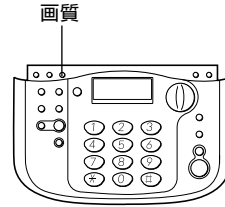
細かい: **文字がこのくらいの大きさのとき**

写真: **写真のとき(64階調ハーフトーン)**

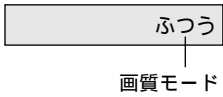


お買い上げいただいたときは「ふつう」に設定されています。

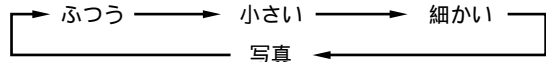
画質モードの選びかた



1 原稿をセットします。
ディスプレイに画質モードが表示されます。



2 **画質** ボタンを押して選びます。
ボタンを押すごとにディスプレイの表示が変わります。



原稿をセットしていない状態で画質 ボタンを押したときは、2秒以内にボタンを押して選んでください。2秒を過ぎると時刻表示になり、最後に表示されていた画質モードになります。

! 「細かい」、「写真」に設定すると、「ふつう」や「小さい」に比べ送信に時間がかかります。原稿の内容に合わせた設定をしてください。
色地の原稿を「細かい」、「写真」で送ると、送信時間が極端に長くなることがあります。色地の原稿を送るときは、「ふつう」または「小さい」に設定してください。
黒い部分が多い原稿や色地の原稿、縦の罫線のある原稿では送信に時間がかかります。

「細かい」に設定した場合、相手機種によっては「小さい」で送信することがあります。
「写真」に設定した場合、原稿によっては原稿の白い部分にゴマ模様の記録が出る場合があります。その場合には、読み取り濃度を「うすく読み取る」または「よりうすく読み取る」に設定してください。(次ページ)
コピーのときは、「小さい」、「細かい」、「写真」の中から選んでください。「ふつう」に設定しても「小さい」でコピーされます。


? 写真や濃淡のある原稿を送信するときやコピーするとき、「写真」に設定してください。よりきれいに送信やコピーができます。

色がついた原稿や文字がうすい原稿のとき(読み取り濃度)


用紙に色がついているとき、原稿の文字がうすいときなどは、相手を読みやすいように読み取り濃度を調整することができます。

送信やコピーの前に設定してください。

お買い上げのとき...「普通で読み取る」に設定されています。


1 ダストカバーを開け、を押します。

: 濃く読み取る
(鉛筆書き原稿)


2 の▼を2回押します。

リストプリント
受信設定
設定モード


: より濃く読み取る
(うすい原稿)

3 を押します。


読み取り濃度
発信元記録
海外通信


6 を押します。

設定しました

4 を押します。

読み取り濃度

7 を押します。

5 の<または>を押して選びます。

- : よりうすく読み取る
(濃い原稿)
- : うすく読み取る
(色地原稿や新聞)
- : 普通で読み取る
(コピーや黒ペン書き原稿)



設定した状態は次に変更するまで変わりません。送信やコピーが終わったら「普通()」に設定を戻してください。

次のような原稿は鮮明に読み取れないことがあります。

- ・青色のサインペンやボールペンなどで書かれた原稿(ブルーブラック、紺色に近い青は問題ありません。)
- ・うすい鉛筆、蛍光マーカーで書かれた原稿
赤は黒と同様に鮮明に読み取れます。(赤色地に黒で書かれた原稿は真っ黒になってしまいます。)




読み取りの具合を確認したいとき...コピーをとって確認してください。

海外へファクスを送るとき


海外にファクスを送るときは、「海外通信する」に設定すると、海外へ送るときに起こりやすい通信ミスが少なくなります。

お買い上げのときは...「海外通信しない」に設定されています。

1 ダストカバーを開け、を押します。


5 を押します。

海外通信

2 の▼を2回押します。

リストプリント
受信設定
設定モード


カーソル

3 を押します。


読み取り濃度
発信元記録
海外通信

6 の<または>を押してカーソルを移動します。


- x : 海外通信する
- x : 海外通信しない

4 の▼を2回押します。

読み取り濃度
発信元記録
海外通信

7 を押します。

設定しました

8 を押します。



海外通信の設定は、ファクスを受信するときは関係ありません。
海外へ送信完了後は、「海外通信しない」に戻してください。
国際ダイヤル通話を利用して海外にファクスを送る場合、国際電話番号(001、0061、0041など)をダイヤルしたあと国番号と相手先電話番号をダイ

ルしても、話中になり通信できないことがあります。このようなときは、国際電話番号のあとに[リダイヤル/ポーズ]ボタンを2、3回押し(約6秒~9秒のポーズが入ります)それから残りの電話番号をダイヤルしてください。それでも通信できない場合は、受話器をとって回線の接続具合を確認しながらダイヤルしてください。
例: 001 - - 1[相手先の番号]

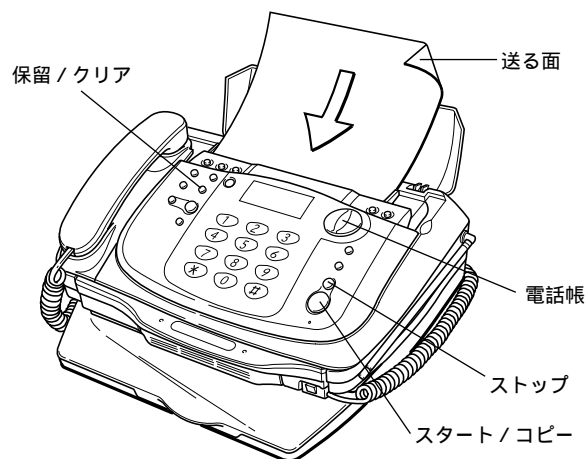
ファクスを送る

ファクスを自動で送る(自動送信)

相手先と話さないで直接ファクスを送ることができます。相手先がファクス専用のときやファクス/電話自動切替になっているときなどに便利です。

受話器やワイワイトークで相手と話してからファクスを送る場合は、手動送信してください。(次ページ)

相手機がA4サイズの記録紙を使用している場合、B4サイズの原稿を送ると、自動的にA4サイズに縮小して送信されます。



1 原稿をセットします。 (P.64) 画質モードが表示されます。(P.65)

2 相手先の番号をダイヤル します。
受話器を置いたままダイヤルします。
リダイヤルも使えます。
電話帳を使って相手先を選ぶこともできます。
(本ページ右)

3 を押します。
送信が終わると、「ピーツ」という音がします。



電話帳で送るときは

相手先が電話帳に登録されていると、簡単な操作でファクスを送ることができます。
あらかじめ登録が必要です。(P.39)

手順2のときに、 の▼または▲を押して相手先を選びます。

登録されている相手先名が表示されます。(表示される順番は、読み仮名で、空白+文字 数字 カナ(50音順) アルファベット 記号 名前を登録していない電話番号の順です。)
相手先を素早く探すことができます。(P.46)
例)「日本電気」を探すときは、[5 (な)] を押してください。
相手先を早送りしたい場合は、[▼ または ▲] を押し続けてください。

! 原稿は自動的に排出されます。一時的に止まる場合がありますが、無理に引き抜かないでください。

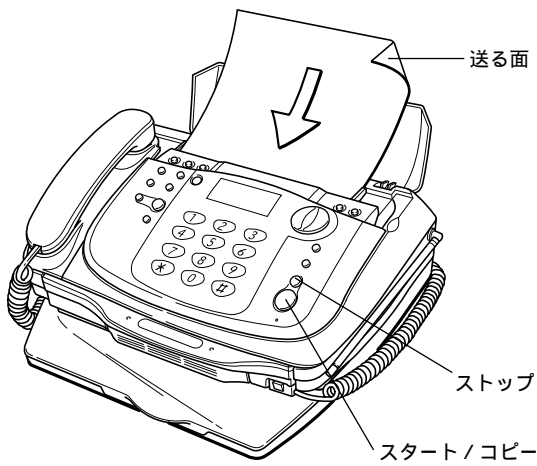
通信中はディスプレイに相手先の名前(電話帳に登録した名前)や電話番号が表示されます。ディスプレイには名前は全角10文字、番号は20桁まで表示されます。(番号を20桁以上登録してある場合は、最後の20桁が表示されます。)

? 相手が話中のとき...ディスプレイに「再発呼待ち1回目」と表示されたときは、相手先が話中です。この場合、1分間隔で5回まで自動的にかけなおします(オートリダイヤル)。そのままお待ちください。5回かけなおしても送信できないときは不達レポートがプリントされます(P.69)。送信をやめるときは [ストップ] ボタンを押して原稿を排出してください。

番号を間違えたとき... [保留/クリア] ボタンを押して最初からダイヤルしなおしてください。
途中で送信をやめるとき... [ストップ] ボタンを押してください。もう一度押すと原稿が排出されます。排出されないときは、もう一度押してください。
写真や小さい文字の原稿、色がついた原稿などを送る場合... 画質モードや読み取り濃度を設定してください。(P.65、P.66)

相手と話してから送る(手動送信)

相手先と話してからファクスを送ることができます。相手先が手動受信の場合や相手先のファクス信号音(ピーヒョロヒョロ)を確認してから送信するときに便利です。



1 原稿をセットします。 ふつう
 (P.64) ↑ 画質モード
 画質モードが表示されます。(P.65)

2 受話器をとって電話をかけ、話をします。
 ワイワイトークでかけることもできます。
 子機でかけた場合も、親機による操作(この操作)で手動送信できます。

3 相手に受信の操作をしてもらいます。
 相手が操作すると「ピーヒョロヒョロ」という音が聞こえます。

4 を押し、受話器を 送信中
 戻します。
 送信が終わると、「ピーッ」という音がします。 送信中 P01
通信終了

! 原稿は自動的に排出されます。一時的に止まる場合がありますが、無理に引き抜かないでください。

こちらが先に「スタート/コピー」ボタンを押しても、相手が受信の操作をすれば送信できます。

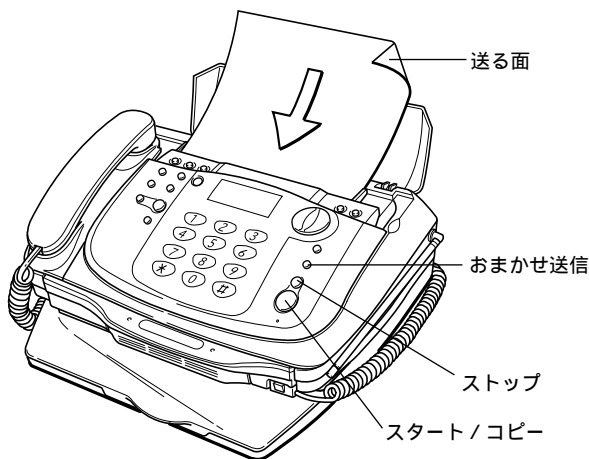
? 途中で送信をやめるとき..[ストップ]ボタンを押してください。原稿が排出されます。排出されないときは、もう一度押してください。

ファクスを送ったあとも相手と話したいとき...受話器を戻さないでください(相手も)

メモリに読み込んでから送る(おまかせ送信)

セットした原稿を一旦読み取ってメモリに記憶してから送ることができます。

メモリには、画質モード(P.65)が「小さい」のときA4判(700字程度)原稿を約10枚記憶できます。



1 原稿をセットします。 (P.64)
 画質モードが表示されます。(P.65)

2 相手先の番号をダイヤル 0120200940_
 します。

受話器を置いたままダイヤルします。
 おまかせ送信ではリダイヤルできません。
 電話帳を使って相手先を選ぶこともできます。
 (P.67)

3 おまかせ送信 を押します。

自動的に原稿を読み取ります。
 読み取りが終了すると自動的に送信します。
 送信が終わると、「ピーッ」という音がします。

原稿読取中 P01

発呼待ち

0120200940

ダイヤル中

メモリ送信中

メモリ送信中 P01

通信終了

? 相手が話中のとき...1分間隔で5回まで自動的にかけなおします(オートリダイヤル)。送信できないときは不達レポートがプリントされます。(下記)

途中で送信をやめるとき..[ストップ]ボタンを押してください。

原稿の読み取り中にメモリがいっぱいになったとき

「ピーピーピー...」という音が出て、「メモリフル」と読み取り中のページが表示されます。
 5秒後(または [ストップ] ボタンを2回押すと)読み取りが終わったページまでを送信する旨が表示されます。
 読み取りが終わったページまでを送信するときは、[スタート/コピー] ボタンを押してください。
 送信をやめるときは、[ストップ] ボタンを押してください。

何もしないまま60秒経つと自動的に送信します。読み取れなかった原稿は、原稿挿入口に残ったままです。原稿を排出するときは、送信が終了してから[ストップ] ボタンを押してください。
 1枚目の原稿を読み取り中にメモリフルになった場合は、おまかせ送信はできません。手動送信 (前ページ)を行ってください。

送信できなかったときは

自動的に不達レポートがプリントされます。

不達レポートのプリント例

不達 レポート

2000年 2月 1日 18時55分

NEC

通信開始日時	通信時間	相手先	モード	枚数	通信結果
2月 1日 18時45分		0120200940	G3	0	話し中

- 話し中：
- ・ 相手先が話中
 - ・ 回線が混み合っている
- 呼び出し：
- ・ 相手先から通話予約などで呼び出しを受けている
 - ・ 相手先の記録紙がなくなっているか、つままっている

- 無応答：
- ・ 相手先が受信できない状態になっている
 - ・ 相手先が電話に出ない
 - ・ 電話回線が正しく接続されていないか、電話回線接続コードが断線している恐れがある
- × ×(2桁の英数字)：エラーコード(P.154)



ファクスを受ける

ファクスを自動で受ける(ファクス/電話自動切替)

電話がかかってきたときにだれも電話に出ないと、本機が回線を自動的に接続して相手が電話かファクスかを判別し、ファクスならば自動的に受信します。相手が電話ならば、呼出ベルが鳴ります。

ご注意

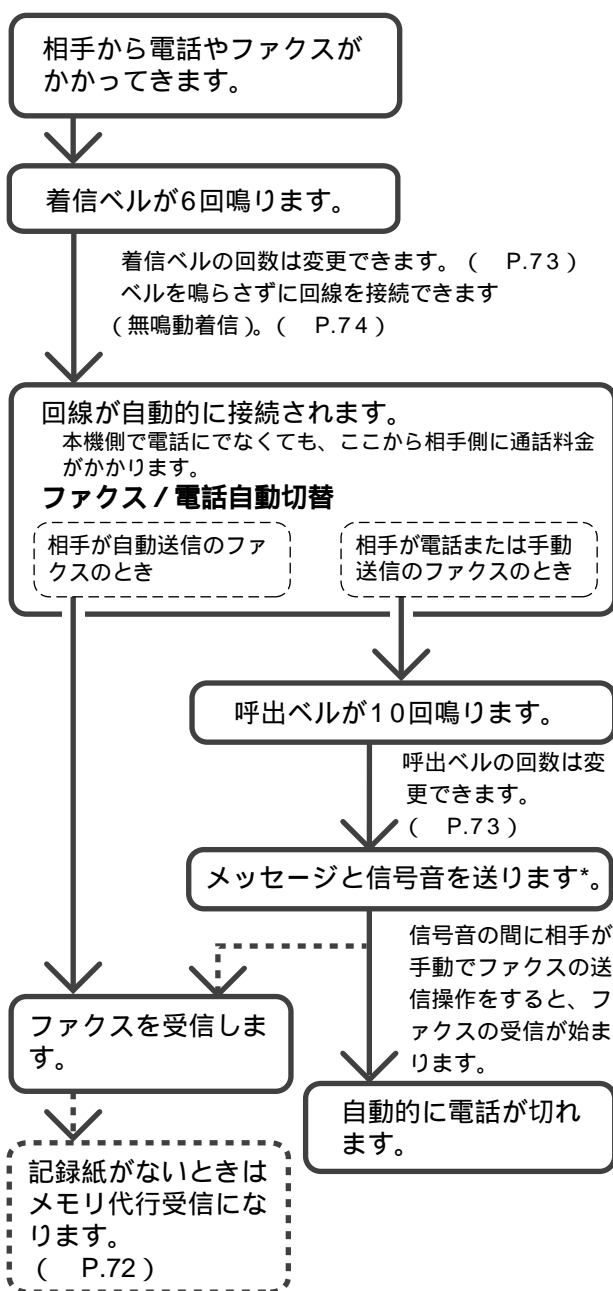
回線が接続されると、電話に出なくても相手に通話料金がかかります。

自動切替のしかたやベルの鳴りかたは、設定によって変えることができます。

留守設定にしたときやおやすみモードにしたときは、接続のしかたやベルの鳴りかたが異なります。

お買い上げのとき...ファクス/電話自動切替をするように設定されています。

ファクス/電話自動切替のしくみ



回線が接続されたことを相手に伝えたい...音声メッセージを「流す」に設定すると、相手が電話の場合、回線が接続されたときに『お呼び出しいたしますのでしばらくお待ちください』とメッセージが流れます。(P.74)

自動切替をやめるには

電話モードやファクス専用モードを「する」に設定すると、ファクス/電話自動切替が働かなくなります。

いつでも必ず電話で受けたい(電話モードにする)
着信ベルの回数を「*」に設定します。(P.74)

- ・ファクスがかかってきたときも、着信ベルが鳴り続けます。
- ・相手がファクスのときは、手動で受信することができます。(着信ベル9回以内に電話に出てください。相手ファクスが切れてしまうことがあります。)
- ・ファクス専用モードの設定は無効になります。
- ・無鳴動着信を設定している場合は、無鳴動着信が優先され、電話モードにはなりません。

いつでもファクスで受けたい(ファクス専用モードにする)

- ファクス専用モードを「する」に設定します。(P.75)
- ・着信ベルが設定した回数だけ鳴ると、ファクス受信を開始します。
 - ・電話がかかってきたときもファクス受信に切り替わり、相手と話すことはできません。

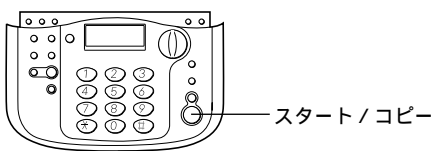
* 『ファクシミリの方はそのまま送信してください。電話の方は恐れ入りますが後ほどおかけなおしてください』というメッセージが流れ、そのあと「ピーヒョロヒョロ」という信号音を30~40秒送ります。

ファクスを手動で受ける

電話に出たら「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえるときは、相手がファクスを送信しています。こんなときは手動で受信操作します。
お買い上げ時の状態では、ファクスかんたん受信が働き、「ポー・ポー・ポー…」のあと『ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください』というメッセージが流れます。このときは自動でファクスを受信しますので、受話器を戻してください。電話で話したあと、そのまま電話を切らずにファクスを受信したいときや、ファクスかんたん受信を「しない」に設定したとき (P.75)は、以下の操作で受信してください。

こちらから相手に電話をかけ、ファクスを送ってもらうこともできます。その場合は必ず以下の手順で受信してください。(ファクスかんたん受信はできません。)

親機で受ける



話をしたあとに受けたいときは、相手に送信の操作をしてもらいます。

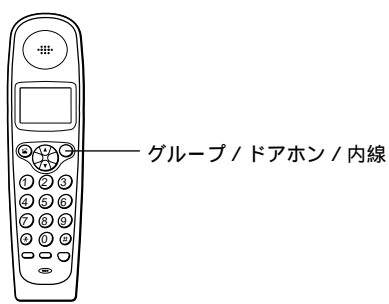
「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえたら、**スタート**を押し、受話器を戻します。

ファクスの受信が開始されます。受信が終わると、「ピーッ」という音が聞こえ、約3秒間「通信終了」と表示されます。

! 相手機種によっては「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえないことがあります。このときも上の手順でファクスを受信できます。
子機の場合、ファクスかんたん受信を「する」に設定していると、[ワイワイトーク]ボタンを押して電話に出たときは「ポー・ポー・ポー…」という音のあとメッセージは流れず、無音になります。このあと自動的にファクスを受信します。
印字直後に印字面に触れないでください。インクが手等につく場合があります。もし皮膚についた場合は、直ちにきれいな水で洗い流してください。受信した文書は記録紙スタッカに10枚以上ためないでください。記録紙づまりの原因になります。

? こちらが先に[スタート/コピー]ボタン(または[グループ/ドアホン/内線]ボタンを押したあと[6])を押したとき...相手が送信の操作をすれば受信できません。

子機で受ける



話をしたあとに受けたいときは、相手に送信の操作をしてもらいます。

「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえたら、**グループ/ドアホン/内線**を押したあと**6**を押します。

親機でファクスの受信が開始されます。子機は待機状態になります。充電器に戻してもそのままでもかまいません。

インクがなくなると「インク交換して下さい」と表示されます。ただし、インクが少なくなるとこの表示が出る前にもプリントにかすれが発生する場合があります。このようなときは新しいプリントカートリッジに交換してください。(P.152)
メモリがいっぱいのときは着信ベルが鳴り続け、受信はできません。
記録紙カセットのカバーにシール等を貼り付けしないでください。記録紙づまりの原因になります。
推奨環境 (温度: 15 ~ 30、湿度: 35 ~ 70%) 以外でご使用になると記録にかすれや汚れが発生する場合があります。

ファクスを受信したあと相手と話したいとき...受話器を戻さないでください(相手も)。ただし、子機ではもう一度話することはできません。

メモリ代行受信

記録紙がなくなっているときや紙づまりのときなどにファクスがかかってくると、メモリへ受信文書を記憶する機能です。メモリに記憶された文書は、あとで記録紙にプリントできます。

こんなときにメモリ代行受信になります。

- ・ 記録紙が無いとき
- ・ 記録紙がつまっているとき
- ・ カバーが開いているとき
- ・ インクが切れているとき
- ・ プリントカートリッジがセットされていないとき

受信中に記録紙が無くなるとそのページからメモリ代行受信になります。

メモリ代行受信されるとディスプレイは次のようになります。

表示例

記録紙がありません

1秒おきに表示

メモリ受信文書あり

記憶できる文書量

相手が画質モードを「普通」で送信したとき、A4(700文字程度)原稿を約45枚(最大30文書)記憶できます。ただし、原稿の内容によっては少なくなることがあります。

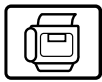
- ・ 留守設定のときに録音された用件や、受信したEメールなどが残っていると、記憶できる枚数は少なくなります。

記憶された文書のプリント

メモリに記憶された文書は、新しい記録紙をセットしたり、紙づまりをなおすと自動的にプリントされます。



メモリがいっぱいのときは着信ベルが鳴り続け、メモリ代行受信はできません。



いろいろな設定を変えて使う

ご使用の前に

設置

電話

ファクス/コピー

留守番

ハンドスキャナ

・ALPHA5

・Eメール

ナンバーディスプレイ

キャッチホン/フレッツ
ダイヤルイン

こんなときは

着信ベル回数を変える

ファクス/電話自動切替 (P.70)で、自動的に回線を接続するまでに鳴らすベルの回数を設定できます(1 ~ 19 回)。また、電話モードの設定もできます。

相手ファクスが自動送信の場合、10回以上に設定していると、受信できないことがあります。

無鳴動着信で使用していた場合は、まず「無鳴動着信しない」に設定してください(P.74)。それから着信ベル回数を設定してください。

DDK (第二電電) -ALPHA5(P.101)を利用する場合は、オンライン通信するために10回以下に設定してください。

お買い上げのとき...「6回」に設定されています。

1 ダストカバーを開け、を押します。

2 の▼を押します。

リストプリント
受信設定
設定モード

3 を押します。

無鳴動着信
音声メッセージ
着信ベル回数

4 の▼を2回押します。

無鳴動着信
音声メッセージ
着信ベル回数

5 を押します。

着信ベル回数
06回
カーソル

6 着信ベルの回数を入力します。

1 ~ 9は頭に「0」を付けてください。
[*]を入力すると電話モードになります。

7 を押します。

設定しました

8 を押します。



留守設定の間は、「トールセイバをする」に設定している場合、着信ベル回数の設定に関わらず、トールセイバのベル回数(2回または5回)でつながります。留守設定の間もここで設定したベル回数で回線を接続したいときは、「トールセイバをしない」に設定してください。(P.91)

子機は親機より遅れてベルが鳴り始めるため、設定された着信ベル回数より少ない回数で着信する場合があります。



手順6で回数を間違えたとき...[保留/クリア]ボタンを押して入力しなおしてください。

呼出ベル回数を変える

ファクス/電話自動切替(P.70)で、自動的に回線を接続したあとに鳴らすベルの回数を設定できます(1 ~ 19回)。

お買い上げのとき...「10回」に設定されています。

1 ダストカバーを開け、を押します。

2 の▼を押します。

リストプリント
受信設定
設定モード

3 を押します。

無鳴動着信
音声メッセージ
着信ベル回数

4 の▼を3回押します。

呼出ベル回数
ファクス専用
ベル音・メロディ

5 を押します。

呼出ベル回数
10回
カーソル

6 呼出ベルの回数を入力します。
1 ~ 9は頭に「0」を付けてください。

7 を押します。

設定しました

8 を押します。




手順6で回数を間違えたとき...[保留/クリア]ボタンを押して入力しなおしてください。

ファクスの時はベルを鳴らさない(無鳴動着信)


相手先からファクスが送られてきた場合、着信ベルを鳴らさずにすぐにファクスを受信することを無鳴動着信といいます。

無鳴動着信に設定しても相手が電話の場合は、回線が接続されてから約5秒後に呼出ベルが鳴り始めます。
無鳴動着信に設定した場合でも、手動送信で送られてきたときは、呼出ベルが鳴ります。一度受話器をとって電話を受けてから、[スタート/コピー]ボタンを押して手動受信してください。
お買い上げのとき、「無鳴動着信しない」に設定されています。


1 ダストカバーを開け、を押します。

2 の▼を押します。


リストプリント
受信設定
設定モード

3 を押します。


無鳴動着信
音声メッセージ
着信ベル回数

4 を押します。


無鳴動着信
x
カーソル

5 の<または>を押してカーソルを移動します。

x : 無鳴動着信する
x : 無鳴動着信しない

6 を押します。

設定しました


7 を押します。

! 留守設定にすると、無鳴動着信の設定は無効になり、留守設定動作をします。(P.80)

相手に音声メッセージを流す


ファクス/電話自動切替 (P.70)で、自動的に回線を接続した時、相手が電話のときは音声メッセージを流すことができます。

『お呼び出しいたしますのでしばらくお待ちください』と流れます。(これは変更できません)
お買い上げのとき、「音声メッセージを流さない」に設定されています。

1 ダストカバーを開け、を押します。

2 の▼を押します。


リストプリント
受信設定
設定モード

3 を押します。


無鳴動着信
音声メッセージ
着信ベル回数

4 の▼を押します。


無鳴動着信
音声メッセージ
着信ベル回数

5 を押します。


音声メッセージ

6 の<または>を押してカーソルを移動します。

x : 音声メッセージを流す
x : 音声メッセージを流さない


7 を押します。

設定しました

8 を押します。

いつも電話で受ける(電話モード)

ファクス/電話自動切替 (P.70)をしたくない場合(ファクスを自動受信したくない場合や、電話に出なくても相手に通話料金がかかるのを防ぎたい場合)は、電話モードをご利用ください。電話モードにすると、普通の電話機と同じようになり、ファクスは手動で[スタート/コピー]ボタンを押して)受信できます。


「着信ベル回数を変える(P.73)の手順を行い、手順6でを入力します。


! 無鳴動着信で使用していた場合は、まず「無鳴動着信しない」に設定してください(本ページ左)。それから着信ベル回数を設定してください。
電話モードでも、留守設定時は自動的にファクスを受信します。ただし、「トールセイバしない」に設定しているときは留守番機能が働かず、自動受信もできません。(P.91)


いつもファクスで受ける(ファクス専用モード)


着信ベルが設定した回数だけ鳴ると、自動的にファクス受信に切り替えることができます。相手からかかってくるのが、ファクスだけであることがわかっているときにご利用ください。


着信ベルの回数は変更できます。(P.73)
電話モードにしてあると、ファクス専用モードを「する」に設定しても電話モードが優先されファクス専用モードになりません。着信ベルの回数を1~19回に設定して電話モードを解除してください。
お買い上げのとき...「ファクス専用モードにしない」に設定されています。


1 ダストカバーを開け、を押します。

2 の▼を押します。 リストプリント
受信設定
設定モード


3 を押します。 無鳴動着信
音声メッセージ
着信ベル回数

4 の▼を4回押します。 呼出ベル回数
ファクス専用
ベル音・メロディ

5 を押します。 ファクス専用
x
カーソル

6 の<または>を押してカーソルを移動します。
— x : ファクス専用モードにする
— x : ファクス専用モードにしない

7 を押します。 設定しました


8 を押します。


! 相手が電話の場合は、設定した回数だけベルが鳴るとファクス受信動作になり、電話を受けることはできません。
留守設定にするとファクス専用モードの設定は無効になり、留守設定動作をします。(P.80)
無鳴動着信を「する」に設定すると着信ベルが1回も鳴らずにファクス受信動作になります。(P.74)


ファクスかんたん受信の設定


お買い上げいただいたときは、「かんたん受信をする(電話に出て相手がファクスの場合、自動で受信する)」に設定されています。ただし、相手が電話の場合でも、声質や音によって、ファクスの受信状態になることがあります。ひんぱんに起こる場合は、「ファクスかんたん受信をしない」に設定してください。
また、いたずらファクスでお困りのときなどは、「ファクスかんたん受信をしない」に設定してください。


「ファクスかんたん受信をしない」に設定した場合は、相手がファクスだったら[スタート/コピー]ボタン(親機)または[グループ/ドアホン/内線]を押したあと[6]【子機】を押して受信してください。
「ファクスかんたん受信をする」に設定した場合の動作については、P.34をご覧ください。


1 ダストカバーを開け、を押します。


2 の▼を2回押します。 リストプリント
受信設定
設定モード


3 を押します。 読み取り濃度
発信元記録
海外通信

4 の▼を3回押します。 ファクスかんたん受信
保留メロディ
回線種別

5 を押します。 ファクスかんたん受信
x
カーソル

6 の<または>を押してカーソルを移動します。
— x : ファクスかんたん受信をする
— x : ファクスかんたん受信をしない

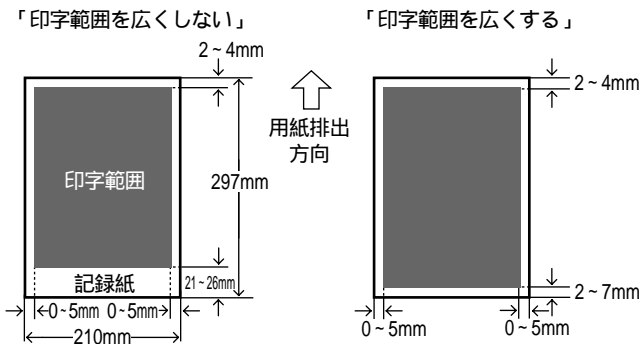
7 を押します。 設定しました

8 を押します。

印字範囲の設定

コピーや受信したファクスを印字するときの印字範囲を通常より広く設定できます。

設定によって印字範囲は次のようになります。



コピーやファクスの原稿サイズと印字範囲の関係については、「定型受信の設定」、「定型コピーの設定」(次ページ)をご覧ください。

「印字範囲を広くする」に設定すると、通常よりも広い範囲にプリントしますが、その際に記録紙の下端部分がしっかりと押さえられなくなるため、プリントがやや汚れたり、白いスジや隙間が入ることがあります。

お買い上げのとき...「印字範囲を広くしない」に設定されています。

1 ダストカバーを開け、^{機能}●を押します。

2 の▼を8回押します。 アルファ設定
ハントスキャナ
プリント設定

3 ^{電話帳登録セカ}●を押します。 定型受信
定型コピー
印字範囲

4 の▼を2回押します。 定型受信
定型コピー
印字範囲

5 ^{電話帳登録セカ}●を押します。 印字範囲広い

x
カーソル

6 の◀または▶を押してカーソルを移動します。

- x : 印字範囲を広くする
- x : 印字範囲を広くしない

7 ^{電話帳登録セカ}●を押します。 設定しました

8 ^{ストップ}●を押します。

定型受信の設定

受信したファクスを印字範囲(前ページ)に合わせて自動縮小(定型受信)するか、しないかを設定できます。

「定型受信する」に設定すると、次のようになります。

- ・ A4またはそれより大きいサイズ of 原稿を受信したとき... 印字範囲におさまるように、縦方向に最大85%まで自動縮小してプリントします。それでおさまりきらない場合、記録紙複数枚に分けて等倍でプリントします。
- ・ A4より小さいサイズの原稿を受信したとき...等倍でプリントします。ただし、原稿が印字範囲より大きい場合は、印字範囲に合わせて自動縮小してプリントします。

「定型受信しない」に設定すると、受信した原稿を原寸大でプリントします。

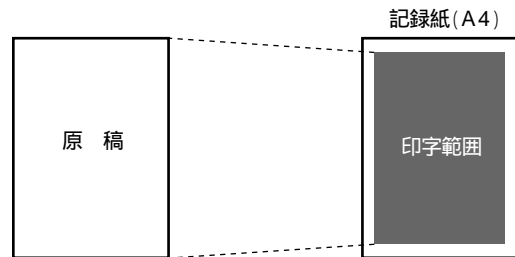
「定型受信する」「定型受信しない」いずれの場合でも、印字範囲を縦方向にはみ出した部分は次の記録紙にプリントされます。

お買い上げのとき...「定型受信する」に設定されています。

定型コピーの設定

コピーをとる際に、原稿の下端の部分の文字などが切れてしまうときは、原稿をやや小さく自動縮小し、全体が印字範囲(前ページ)の中におさまるようにコピーする(定型コピー)ことができます。

「定型コピーする」に設定すると、A4の大きさ of 原稿全体が、指定されている印字範囲の大きさにおさまるように自動縮小されます。(この縮小率は固定ですので、原稿がA4より小さい場合でも、同じように縮小されます。)



「定型コピーしない」にすると、A4の原稿はA4(等倍)で、B4の原稿はA4に縮小してコピーします。この場合、指定されている印字範囲からはみ出した部分はコピーされません。

ここで変更した定型コピーの設定は、ハンズキャナでコピーする場合にも共通に適用されます。

お買い上げのとき...「定型コピーしない」に設定されています。

1 ダストカバーを開け、^{機能}を押します。

2 ^{電話帳}の▼を8回押します。 アルファ設定
ハンズキャナ
プリント設定

3 ^{電話帳登録セカ}を押します。 定型受信
定型コピー
印字範囲

4 ^{電話帳登録セカ}を押します。 定型受信
x
カーソル

5 ^{電話帳}の<または>を押してカーソルを移動します。

- x : 定型受信する
- x : 定型受信しない

6 ^{電話帳登録セカ}を押します。 設定しました

7 ^{ストップ}を押します。

1 ダストカバーを開け、^{機能}を押します。

2 ^{電話帳}の▼を8回押します。 アルファ設定
ハンズキャナ
プリント設定

3 ^{電話帳登録セカ}を押します。 定型受信
定型コピー
印字範囲

4 ^{電話帳}の▼を押します。 定型受信
定型コピー
印字範囲

5 ^{電話帳登録セカ}を押します。 定型コピー
x
カーソル

6 ^{電話帳}の<または>を押してカーソルを移動します。

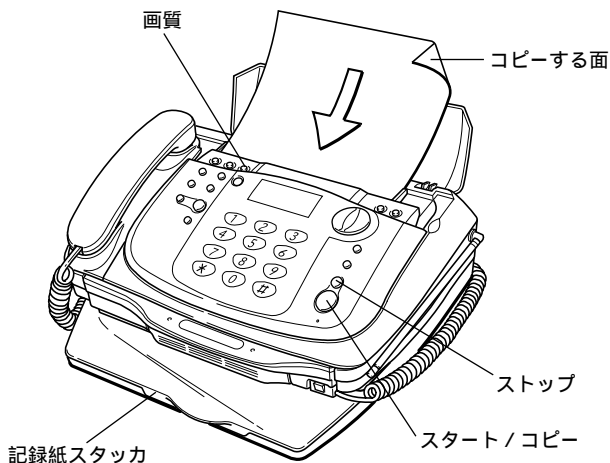
- x : 定型コピーする
- x : 定型コピーしない

7 ^{電話帳登録セカ}を押します。 設定しました

8 ^{ストップ}を押します。



コピーをとる




- 1 記録紙スタッカを引き出します。
- 2 原稿をセットします。
(P.64)
画質モードが表示されます。(P.65)
- 3 原稿にあわせて、画質モードを選択します。
[画質] ボタンを押して選びます。(P.65)



印字直後に印字面に触れないでください。インクが手等につく場合があります。もし皮膚についた場合は、直ちにきれいな水で洗い流してください。B4の原稿は自動的にA4に縮小してコピーします。原稿は自動的に排出されます。無理に引き抜かないでください。A4 / B4の定型を超える長さの原稿をコピーすると、超えた部分はプリントされません。ハンドスキャナを使って縮小コピーを行ってください。(P.94、P.96、P.100)
記録紙スタッカに、コピーした記録紙を10枚以上ためないでください。記録紙づまりの原因となります。




白紙が出たとき
・原稿はコピーする面を下に向けてセットしましたか？
・テストプリント(P.155)を行ってプリントカートリッジの状態を確認してみてください。
途中でコピーをやめるとき..[ストップ] ボタンを押してください。「排出中」と表示され、原稿が排出されます。

- 4  を押します。
ここでは常にコピー部数は「01」と表示されます。
この状態で約5秒間何もしていないと、自動的にコピーを開始します。

コピー部数 : 01
コピー部数

シングルコピー(1部コピーする)


- 5  を押します。
コピーが終わると「ピー」という音がします。

コピー中 P01

マルチコピー(複数部コピーする)

- 5 ダイヤルボタンを押して、
コピー部数を入力します。
2 ~ 30部まで入力できます。
この状態で約5秒間何もしていないと、自動的に原稿の読み取りを開始します。

コピー部数 : 03
コピー部数

- 6  を押します。
コピーが終わると、「ピー」という音がします。

原稿読取中 P01
コピー中 P01

プリント中に記録紙カセットを引き抜かないでください。記録紙づまりの原因となります。インクがなくなると「インク交換して下さい」と表示されます。ただし、インクが少なくなるとこの表示が出る前にもプリントにかすれが発生する場合があります。このようなときは新しいプリントカートリッジに交換してください。(P.152)
記録紙カセットのカバーにシール等を貼り付けないでください。記録紙づまりの原因となります。
推奨環境(温度: 15 ~ 30、湿度: 35 ~ 70%)以外でご利用になると記録にかすれや汚れが発生する場合があります。インクの乾きが遅い場合、上に重なる原稿が汚れることがありますのでご注意ください。

原稿の下端の部分が欠けてコピーされたとき...「定型コピーする」に設定します。(P.77)
拡大 / 縮小コピーするとき...ハンドスキャナをお使いください(P.94、P.96、P.100)。拡大 / 縮小の設定はハンドスキャナ使用時のみできます。
写真や小さい文字の原稿、色がついた原稿などをコピーするとき...画質モードや読み取り濃度を設定してください。(P.65、P.66)

コピーしてはいけないもの

簡単にコピーがとれるからといって自由に何をコピーしてもよいという訳ではありません。例え個人で使用することが目的であっても、法律でコピーが禁止されているものもあります。
・貨幣、紙幣、公債証券、政府発行の有価証券、郵便切手、印紙などは、外国で発行されたものも含め、法律でコピーが禁止されています。これらの中には、コピーしたものを持っているだけで法律に触れるものもあります。絶対にコピーしないでください。

- ・書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画、写真の著作物は個人的、または家庭内などの限られた範囲内で使用する場合など、著作権法で認められている場合を除き、基本的にコピーすることが禁止されています。
- ・パスポートや免許証、民間発行の有価証券(株券、手形、小切手など)、定期券、回数券、通行券、身分証明書、食券などのコピーも政府の指導により注意が呼びかけられています。



ファクス情報サービスを利用する

ファクス情報の内容や情報の提供方式については、各サービスの提供元にお問い合わせください。

ポーリング受信について
あらかじめ相手先に用意されている原稿を、こちら(受信側)から操作して受信する機能をポーリング受信といいます。

ポーリング方式のとき

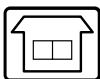
- 1 ダストカバーを開け、^{機能}●を押します。
- 2 の▼を9回押します。 ファクス情報サービス
- 3 ^{電話帳登録セカ}●を押します。 宛先指定して下さい
- 4 相手先の番号をダイヤルします。
受話器は置いたままでダイヤルしてください。
- 5 を押します。 ダイヤル中

? 前回ファクス情報サービスを利用した相手先へダイヤルしたいとき...手順4で「リダイヤル/ポーズ」ボタンを押します。

ガイダンス方式のとき

- 1 受話器をとります。
- 2 相手先の番号をダイヤルします。
- 3 ガイダンスに従って操作します。
ガイダンス後の「ピー」という音のあとでコードを入力してください。
ガイダンスがない場合は次の手順4へ進んでください。
- 4 を押します。 受信中
- 5 受話器を戻します。

? ダイヤル回線をご使用のとき...コードをトーン(プッシュ)信号で入力する必要があるときは、ダイヤルしたあとに「*」(トーン)ボタンを押してください。以後のダイヤルはプッシュ信号が送出されます。(P.38)
受話器を置いたまま操作したいとき...手順1で「ワイワイトーク」ボタンを押してください。



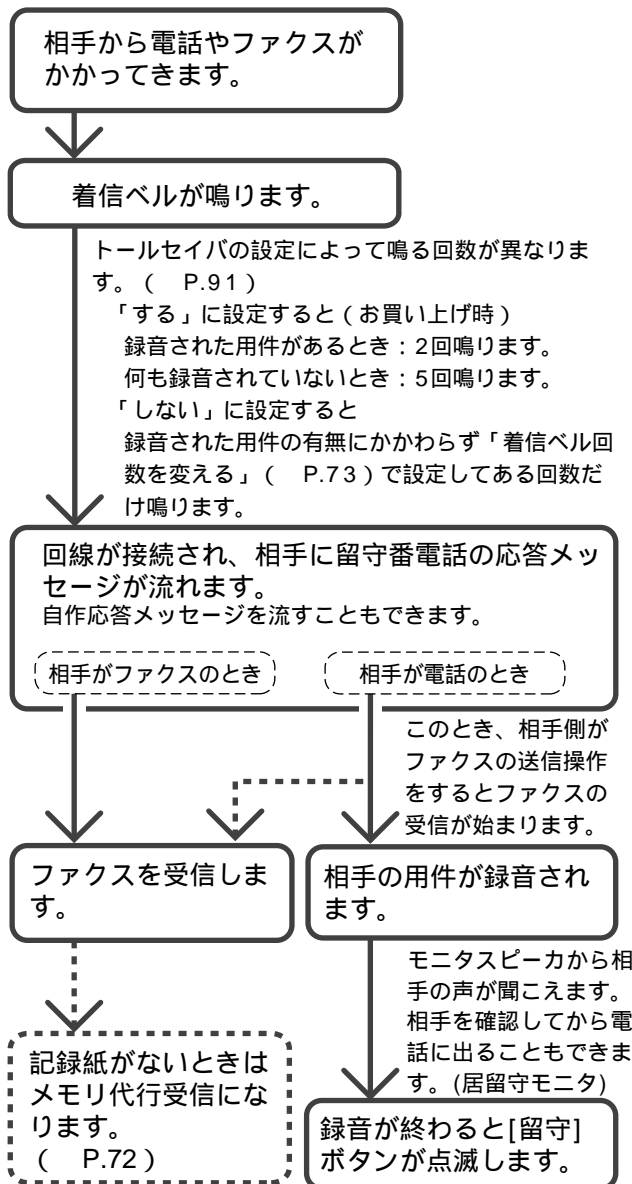
留守セット / 解除

留守設定にセットすると、電話に出られないときなどに相手の用件を録音することができます。相手がファクスのときは自動的に受信します。

録音できる時間は、1件につき最大3分、合計で約30分まで録音できます(自分で録音した応答メッセージの時間も含まれます)。用件を録音中に3分になると、相手に「ピー」という音が流れ、電話が切れます。なお、1件の録音時間が少ないときは、合計が30分を超えない限り最大30件録音できます。通話録音(P.56)の時間と件数も含まれます。留守設定時でも、電話をかけたなり、受けたりすることができます。

メモリ代行受信(P.72)したデータや受信した Eメールなどが残っていると録音できる時間は短くなります。留守設定にセットすると...無鳴動着信やファクス専用モードに設定していても、以下の「留守設定にセットすると」の動作となります。(P.74、P.75)
電話モードでお使いの場合...「トールセイバする」(P.91)に設定してください。「トールセイバしない」に設定すると、留守番機能が働きません(留守番電話が応答しません)。

留守設定にセットすると



応答メッセージについて

応答メッセージは、電話がかかってきたときの本機の状態によって異なります。

通常

『ただいま留守にしております。電話の方はピーという音のあとにお名前とご用件をお話してください。ファクシミリの方はそのまま送信してください』
自分で応答メッセージを録音した場合は、そのメッセージが流れます。

用件は録音できないが、ファクスは受信できる
とき(用件がいっぱいするとき)*1

『ただいま留守にしております。ファクシミリの方はそのまま送信してください。電話の方は恐れ入りますが、のちほどおかけなおしてください』

用件は録音できるが、ファクスは受信できない
とき*1

『ただいま留守にしております。電話の方はピーという音のあとにお名前とご用件をお話してください。ファクシミリの方は恐れ入りますが、のちほどおかけなおしてください』

用件の録音も、ファクスの受信もできないとき
(メモリがいっぱいするとき)*1

『ただいま留守にしております。恐れ入りますが、のちほどおかけなおしてください』

*1自分で自作応答メッセージを録音していても、これらの場合は本機の固定応答メッセージが流れます。

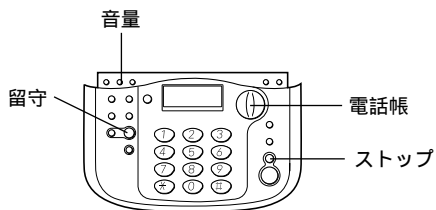


「リモート操作する」に設定すると、外出先から留守設定することもできます。(P.85、P.86)
外出先から録音された用件を、再生したり消去したりできます。(P.86)

録音された用件を、あらかじめ指定した先に転送することができます。(P.87)

ナンバー・ディスプレイを利用すると、相手に応じてベル音や応答メッセージを変えることができます。(P.134、P.136)

留守設定のしかた



1 留守 を押します。

応答メッセージ固定

留守設定

応答メッセージが流れ、[留守] ボタンが点灯します。用件が残っているときは点滅します。
自分で2種類の応答メッセージを録音している場合、応答メッセージが流れている間に [< または >] を押して応答メッセージを選びます。

留守解除のしかた

用件が録音されているときは、[留守] ボタンが点滅しています。用件がないときは点灯しています。

2月1日(火) 12:00
用件 5件
留守設定
用件件数

1 留守 を押します。

[留守] ボタンが消灯します。
『用件は 件です』というメッセージが流れ、用件が再生されます。用件がないときは『用件はありません』というメッセージが流れます。
1件再生されるごとに、用件が録音された月日と時間が流れます(この機能をタイムスタンプといいます)。
用件が全部再生されると、『用件は以上です』というメッセージが流れ、1秒ごとに「*」が増えていきます。
用件が全部再生されると、自動的に止まります。
再生を途中で止めたいときは、[ストップ] ボタンを押してください。

用件再生

再生中 1 / 5

再生中の用件
・
・

再生中 5 / 5

再生終了***

! [留守] ボタンを押したときに応答メッセージが聞こえないときは、留守設定時の音量が「切」になっていることがあります。☺が表示されているときに [音量] ボタンを押してください。(P.58)
回線が接続され、応答メッセージが流れると、相手がメッセージを入れなくても用件1件となります。

ナンバー・ディスプレイご利用のときは、電話帳に登録されている相手から電話があったときは自作応答メッセージ、登録されていない相手のときは固定応答メッセージを流すことができます。(P.136)
また、用件再生時には、登録されている名前が表示されません。

? 応答メッセージを本機の固定応答メッセージにしたとき...自分で録音した自作応答メッセージを2種類とも消去してください。(P.83)

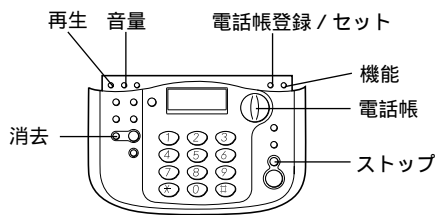
留守設定をしようとして次のようなメッセージが流れたとき
・『用件がいっぱいです。不要な用件を消去してください』
..... 留守設定ができません。
・『メモリ残量が少なくなっています。不要な用件を消去してください』
..... すぐに用件がいっぱいになってしまいます。
いずれの場合も、不要な用件や受信した Eメールを消去してから留守設定をしてください。(P.82、P.84、P.120)

用件の再生 / 消去

録音された用件は消去しない限り残っていますので、何回でも聞くことができます。用件再生時には、通話録音した内容があるとそれも再生されます。
ただし、用件を残したままだと録音できる時間が短くなるので、用済みになった用件は消去してください。

用件を再生する

留守設定をしている場合でも再生できます。
録音された用件を、通話中の相手に聞かせることができます。(P.57)



- 再生ボタンを押します。
『用件は 件です』というメッセージが流れ、用件が再生されます。用件が全部再生されると、『用件は以上です』というメッセージが流れます。用件が全部再生されると自動的に止まります。
- 再生中 1 / 5
再生中の用件 用件件数
- 再生終了***

! モニタスピーカ音量が「切」になっていると聞こえません。ご注意ください。[再生]ボタンを押しても用件が聞こえないときは、[音量]ボタンを押してください。(P.58)

再生中のボタン操作について

ボタン	本機の動き
再生	高速で再生します。高速再生中に押すと通常の再生速度になります。
1	1回押すと、再生中の用件を初めから再生します。続けて2回押すと、ひとつ前の用件を再生します。
3	1回押すと、次の用件を再生します。続けて押すと、さらに次の用件を再生します。
ストップ	再生を止めます。([ストップ] ボタンを押してから、もう一度 [再生] ボタンを押すと1件目から再生します。)
消去	再生中の用件を消去します。その用件を再生終了後、『消去しました』というメッセージが流れます。

特定の用件だけを消去する

- 消去したい用件を再生します。
再生中 5 / 5
- 消去ボタンを押します。
その用件を再生終了後、『消去しました』というメッセージが流れます。続いて次の用件が再生されます。
再生中 4 / 4
- ストップボタンを押します。

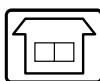
用件を聞いてから一度に消去する

- 用件を再生します。
『用件は以上です』というメッセージが流れ、1秒ごとにディスプレイに「*」が増えていきます(6秒間)。
再生終了***
- 「*」が表示されている6秒以内に消去ボタンを押します。
『再生済みの用件を消去しました』というメッセージが流れます。

すべての用件を消去する(全用件消去)

- 機能ボタンを押します。
- 電話帳登録/セットボタンの▼を4回押します。
登録モード
留守電機能
ナンバーディスプレイ
- 電話帳登録/セットボタンを押します。
全用件消去
応答メッセージ録音
応答メッセージ消去
- 電話帳登録/セットボタンを押します。
全用件消去
- 電話帳登録/セットボタンを押します。
消去を取り消す場合、[<] または [>] を押して「> 取り消し」を選び、[電話帳登録/セット] ボタンを押します。
全用件消去
消去 < 取り消し
- 電話帳登録/セットボタンを押します。
『消去しました』というメッセージが流れます。
消去しました

! 用件を聞いてから一度に消去する場合、早送りして一度も再生しなかった用件は消去されません。最後まで聞き終わらなくても、少しでも再生した用件は消去されます。
全用件消去の場合、一度も再生していない用件もすべて消去されます。



応答メッセージを録音 / 消去する

留守設定時 (P.80) に相手に流す応答メッセージを自分で録音 / 消去できます。

2種類の自作応答メッセージを録音できます。録音時間は、それぞれ最大20秒までです。

録音したメッセージは、留守設定時に選択すれば相手に流すことができます。(P.81)

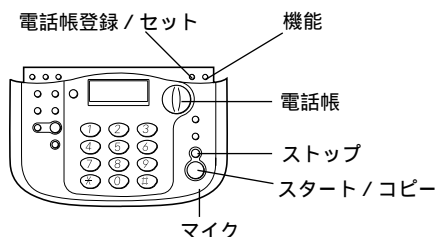
自分で録音しない場合、本機の固定応答メッセージが流れます。(P.80)

ナンバー・ディスプレイをご利用の場合、電話帳に登録されている相手から電話があったときは自作応答メッセージ、登録されていないときは固定応答メッセージを流すことができます。(P.136)

マイクは人間の声の音域に合わせた設定になっています。自作応答メッセージといっしょに音楽を録音することはおすすりできません。

留守設定時でも自作応答メッセージを録音できます。

録音のしかた



1 機能 を押します。

2 の▼を4回押します。

登録モード
留守電機能
ナンバーディスプレイ

3 を押します。

全用件消去
応答メッセージ録音
応答メッセージ消去

4 の▼を押します。

全用件消去
応答メッセージ録音
応答メッセージ消去

5 を押します。

応答メッセージ録音
応答メッセージ 1
<>で選択

6 の<または>を押して1、2のいずれかを選びます。

応答メッセージ
(1と2があります)

7 を押します。

『応答メッセージを録音します。スタートボタンを押してください』というメッセージが流れます。

録音開始
スタートを押して下さい

8 を押してから応答メッセージをマイクに向かって吹き込みます。

録音中 20秒

残り時間

ほかの音を入れないようにして、マイクから20cm程度に近づいてお話しください。録音の残り時間が「0」になると自動的に録音が止まります。この場合は、短いメッセージで録音しなおしてください。

9 終わったら を押します。

応答メッセージ再生中

「ピー」という音がして録音が止まり、録音した自作応答メッセージが再生されます。再生が終わると、「ピー」という音がします。

録音中に電話がかかってきたとき...録音が中断されます。もう一度ははじめからやりなおしてください。録音しなおすと...もう一度ははじめからやりなおしてください。録音しなおすと、前に録音された自作応答メッセージは消去されます。メモリがいっぱいするとき...手順7で『用件がいっぱいです。不要な用件を消去してください。』というメッセージが流れます。不要な用件を消去してから録音してください。(前ページ)

消去のしかた

1 機能 を押します。

2 の▼を4回押します。

登録モード
留守電機能
ナンバーディスプレイ

3 を押します。

全用件消去
応答メッセージ録音
応答メッセージ消去

4 の▼を2回押します。

全用件消去
応答メッセージ録音
応答メッセージ消去

5 を押します。

応答メッセージ消去
応答メッセージ 1
<>で選択

6 の<または>を押して1、2のいずれかを選びます。

7 を押します。

消去を取り消す場合、[< または >] を押して「> 取り消し」を選び、[電話帳登録/セット] ボタンを押します。

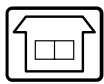
応答メッセージ消去
応答メッセージ 1
消去 < 取り消し

8 を押します。

『消去しました』というメッセージが流れます。

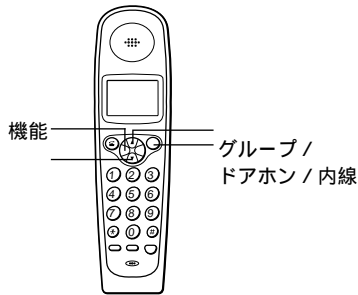
消去しました

本機の固定応答メッセージを消去することはできません。



子機で留守番電話を操作する(留守番リモート)

留守セット / 解除



待機中に操作します。

1 を押します。

2 を押して「リモコン ソウサ」を選びます。

3 を押します。

留守設定するには _____

4 を押します。
または / を押して「ルスセッテイ 7」を選び、 ボタンを押します。
20秒以内に押してください。
受話口から『留守設定をしました』というメッセージが流れます。応答メッセージは再生されません(応答メッセージの選択はできません)。

5 を押します。(または充電器に戻します。)

留守解除するには _____

4 を押します。
または / を押して「ルスカイジヨ 9」を選び、 ボタンを押します。
20秒以内に押してください。
受話口から『留守設定を解除しました』というメッセージが流れます。

5 を押します。(または充電器に戻します。)

『用件がいっぱいです...』というメッセージが流れたとき...留守設定ができません。用件を消去してから留守設定をしてください。
『メモリ残量が少なくなっています...』というメッセージが流れたとき...すぐに用件がいっぱいになってしまいます。用件を消去してから留守設定をしてください。

用件の再生 / 消去

用件の再生

待機中に操作します。

1 を押します。

2 を押して「リモコン ソウサ」を選びます。

3 を押します。

4 を押します。(または を押します。)

20秒以内に押してください。

受話口から用件が再生されます。[ワイワイトーク] ボタンを押すとモニタスピーカから再生されます。親機のモニタスピーカからは聞こえません。

5 を押します。
(または充電器に戻します。)

特定の用件だけを消去する

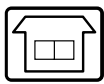
消去したい用件を再生中に を押します。その用件の再生終了後、『消去しました』というメッセージが流れ、その用件だけが消去されます。

用件を聞いてから一度に消去する

用件を再生し、『用件は以上です』というメッセージが流れたあと、「ビッピッピッ」という音が6秒間聞こえます。この間に を押すと、『再生済みの用件を消去しました』というメッセージが流れ、再生済みの用件がすべて消去されます。

再生中のボタン操作について

ボタン	本機の動き
	1回押すと、再生中の用件を初めから再生します。続けて2回押すと、ひとつ前の用件を再生します。
	高速で再生します。高速再生中に押すと通常の再生速度になります。
	1回押すと、次の用件を再生します。続けて押すと、さらに次の用件を再生します。
	再生中の用件を消去します。その用件を再生終了後、『消去しました』というメッセージが流れます。
	再生を止めます。([#] を押してから、もう一度 [2] を押すと1件目から再生します。)



外出先で留守番電話を操作する(外線リモート)

リモート操作の設定とリモートパスワードの登録

留守設定中に録音された用件を、外出先で聞くことができます。そのために、あらかじめリモート操作の設定とリモートパスワードの登録をします。
パスワードは大切な番号ですので他人に知られないようにしてください。

トールセイバを設定しておく、外出先から用件の有無がわかります。(P.91)
リモートパスワードは4桁の数字を登録します。 お買い上げのとき...「リモート操作しない」に設定されています。

1 ダストカバーを開け、機能 を押します。

9 を押します。

設定しました

2 の▼を3回押します。 登録モード
留守電機能
ナンバーディスプレイ

10 を押します。

3 を押します。 オリジナルメロディ
自分の電話番号
発信元

4 の▼を4回押します。 おやすみタイマ切替
リモート操作
用件転送

? パスワードを間違えたとき..[保留 / クリア] ボタンを押して入力しなおしてください。
すでにパスワードが登録されているとき...新しいパスワードを入力すると前のパスワードは消去されます。

5 を押します。 リモート操作
x

6 の<または>を押してカーソルを移動します。
x : リモート操作する
x : リモート操作しない
「リモート操作しない」にしたときは手順9へ進んでください。

7 を押します。 リモートPW入力
-

8 リモートパスワード(4桁の数字)を入力します。

ご使用の前に
設
置
電
話
フ
ァ
ク
ス
ノ
コ
ピ
ー
留
守
番
ハ
ン
ド
ス
キャ
ナ
・
A
L
P
H
A
5
・
E
メ
ー
ル
ナ
ン
バ
ー
デ
ィ
ス
プ
レ
イ
キ
ャ
ッ
チ
ホ
ン
ノ
E
ネ
ッ
ト
ノ
ダ
イ
ヤ
ル
イ
ン
こ
ん
な
と
き
は

外出先で留守番電話の用件を聞く

あらかじめリモート操作の設定とリモートパスワードの登録が必要です。(P.85)
 外出する前に、[留守] ボタンを押して、留守設定にしておきます。

ブッシュ信号(ピッポッパ)が出せる電話機で操作してください。

- 1 外出先から電話をかけます。
電話がつながると応答メッセージが流れます。
- 2 **#** を押します。
応答メッセージが流れている間、メッセージのあとに押してください。
応答メッセージが止まります。止まらないときは、もう一度 **#** を押してください。
- 3 リモートパスワード(4桁の数字)を入れ、最後に **#** を押します。
『パスワードが一致しました。用件は 件です』というメッセージが流れ、用件が再生されます。
- 4 用件を聞きます。
ナンバー・ディスプレイをご利用の場合は、用件の後に相手の番号を音声で流します。
再生中に早送りや巻き戻しを行いたいときは、リモート操作コードを押してください。
- 5 受話器を戻します。

! 用件再生終了後もしないで20秒経つと電話が自動的に切れます。
リモート操作で用件を聞いても、留守番電話の用件は消去されません。

? 手順3で『パスワードを入れなおしてください』というメッセージが流れたとき..[#] [パスワード] [#] と入れなおしてください。3回間違えると電話が切れます。
再生以外の操作をしたいとき...手順3で [パスワード] [#] [リモート操作コード] と押してください。

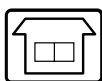
留守設定をしないで外出したときは

電話をかけて呼出音の音色が高くなったら(ファクス / 電話自動切替によって回線が接続されたら) [#] [パスワード] [#] と押してください。
『パスワードが一致しました』、続いて『留守設定をしました』というメッセージが流れ、留守設定になります。
 ・ 電話モード設定時は、外出先から留守設定することはできません。
 ・ ダイヤルインをご利用の場合は、ファクス用の番号に電話をかけて上記の操作をしてください。

リモート操作コード表

項目	リモート操作コード	本機の動き
巻き戻し	# 1 #	再生中に押すとひとつ前の用件を再生します。 (先頭の用件を再生中の場合は、再生中の用件を再生します。)
用件再生	# 2 #	用件を先頭から再生します。 再生中に押すと高速で再生します。 高速再生中に押すと通常の再生速度になります。
早送り	# 3 #	再生中に押すと、次の用件を再生します。続けて押すと、さらに次の用件を再生します。
用件転送設定	# 6 1 #	用件転送を設定します。『用件転送を設定しました。転送先は × × × です』というメッセージが流れます。転送先が登録されていないときは、『用件転送は使用できません』というメッセージが流れます。
用件転送解除	# 6 2 #	用件転送を解除します。『用件転送を解除しました』というメッセージが流れます。
留守設定	# 7 #	留守設定をします。『留守設定をしました』というメッセージが流れます。
用件消去	# 8 #	再生中に押すと、再生中の用件が消去され、『消去しました』というメッセージが流れます。 用件を再生し、『用件は以上です』というメッセージが流れたあと、「ピッピッピッ」という音がしている間(約6秒間)に押すと、『再生済みの用件を消去しました』というメッセージが流れ、再生済みの用件がすべて消去されます。
留守設定解除	# 9 #	留守設定を解除します。『留守設定を解除しました』というメッセージが流れます。

リモート操作コード表を持ち歩きたいときは、P.179の「外線リモート(外出先の電話機)」の表をハンドスキャナでコピーしてご活用ください。



留守番電話が入ったら外出先へ通知する(用件転送)

留守設定中に用件を録音したら、あらかじめ登録した携帯電話やポケベル、外出先の電話機へ通知することができます。

用件転送先の登録

用件転送先は1ヵ所だけ登録できます。
用件転送先につながらなかったのために、用件転送を行う回数(転送回数)を指定できます。(最大10回まで)
あらかじめリモート操作の設定とリモートパスワードの登録が必要です。(P.85)

ブッシュ信号(ピッポッパ)が出せる電話機やファクスを用件転送先としてください。
お買い上げのとき...「用件転送しない」に設定されています。

1 ダストカバーを開け、機能 を押します。

7 を押します。

転送先番号入力

2 の▼を3回押します。

登録モード
留守電機能
ナンバーディスプレイ

8 用件転送先の電話番号を入力します。

最大40桁までです。
ポケベルにメッセージを表示させたいときは、「ポケベルにメッセージを表示させるには」(下記)を参照してください。

3 を押します。

オリジナルメロディ
自分の電話番号
発信元

9 を押します。

転送回数
10回

4 の▼を5回押します。

おやすみタイム切替
リモート操作
用件転送

10 転送回数を入力します。

1~10までを入力できます。
1~9は頭に「0」を付けてください。

5 を押します。

用件転送
x
カーソル

6 の<または>を押して

カーソルを移動します。

— x : 用件転送する
x : 用件転送しない
「用件転送しない」にしたときは手順11へ進みます。

11 を押します。

設定しました

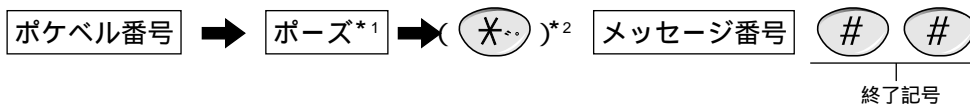
12 を押します。

? 手順8で番号を間違えたとき...[<または >]でカーソルを移動するか、[保留 / クリア] ボタンを押して入力しなおしてください。

登録した電話番号および転送回数を修正したいとき...同じ手順で登録しなおしてください。

ポケベルにメッセージを表示させるには

ポケベルのディスプレイにメッセージを表示させたいときは、手順8で次のように入力してください。



- *1. NTTDoCoMoの場合は、[リダイヤル / ポーズ] ボタンを4回~5回、テレメッセージの場合は、[リダイヤル / ポーズ] ボタンを3回押しします。
- *2. ダイヤル回線をご使用の場合は * を押してください。以後がブッシュ信号に切り替わります。ブッシュ回線をご使用の場合は * を押す必要はありません。

ご注意

- ポーズ(待ち時間)は、ポケベルのサービス会社につながった時に流れる音声メッセージが終わるまでの待ち時間を作るために必要です。音声メッセージの長さは、お使いのポケベルのサービス会社へお問い合わせください。なお、[リダイヤル / ポーズ] ボタンを1回押すと約3秒間のポーズが入力できます。
- メッセージ番号については、ポケベルの説明書をご覧ください。
- 登録できる番号は、ポケベル番号、ポーズ、メッセージ番号の合計が40桁までです。なお、ポーズは[リダイヤル / ポーズ] ボタンを1回で1桁に数えます。

ご使用の前に

設置

電話

留守番

ファクス/コピー

留守番

留守番

ハンズフリー

ALPHAS

EMAIL

ナンバーディスプレイ

キャッチホン/ネットダイヤルイン

こんなときは

用件転送の使いかた

「用件転送先の登録」をすると、留守セット / 解除と同時に用件転送がセット / 解除されます。

あらかじめリモート操作の設定とリモートパスワードの登録が必要です。(P.85)

用件転送のセット

1 を押します。

留守設定 & 転送

用件転送を表しています


用件転送の解除

1 を押します。


用件転送先での受けかた

1 ベルが鳴ったら受話器をとります。

『用件転送をします。パスワードを入れてください』というメッセージが繰り返し流れます。(メッセージが途中から聞こえることがあります。)
メッセージが5回流れてもパスワードが入力されないと、自動的に電話が切れます。

2 を押します。

『用件転送をします。パスワードを入れてください』というメッセージが流れている間か、メッセージのあと3秒以内に押してください。
メッセージが止まります。止まらないときは、もう一度 [#] を押してください。

3 リモートパスワード(4桁の数字)を入れ、最後に を押します。

『パスワードが一致しました。用件は 件です』というメッセージが流れ、用件が再生されます。

4 用件を聞きます。

5 受話器を戻します。



用件転送先がPHSの場合、電波が届く範囲が狭いため用件転送できないことがあります。

録音した用件が6秒未満のときは、用件転送されません。

おやすみモードになっているときは、用件転送されません。

用件が録音されてから用件転送するまでの間に、停電等で本機の電源が切れた場合は、用件転送されません。

用件転送を受ける際、パスワードを入れる前に電話を切った場合、回線によってはその後も繰り返し用件転送されることがあります。このときは、「用件転送先での受けかた」の手順を最後まで行ってください。



手順3で『パスワードを入れなおしてください』というメッセージが流れたとき..[#] パスワード [#] と入れなおしてください。3回間違えると電話が切れます。

再生中に早送りや巻き戻しを行いたいとき...リモート操作コードを押してください。(P.86)

再生以外の操作をしたいとき...手順3で [パスワード] [#] リモート操作コード] と押してください。(P.86)

用件転送先が話中のときやだれも電話に出なかったとき...設定した回数まで自動的にかけなおします。(5回までは1分間隔、以降は30分間隔)

それでもつながらなかつたときは、用件転送されません。

また、用件転送先が話中で、自動的にかけなおそうとして待機している間に別の用件を録音したときは、最初に録音した用件の残りの回数分だけかけなおします。

🏠 おやすみモード

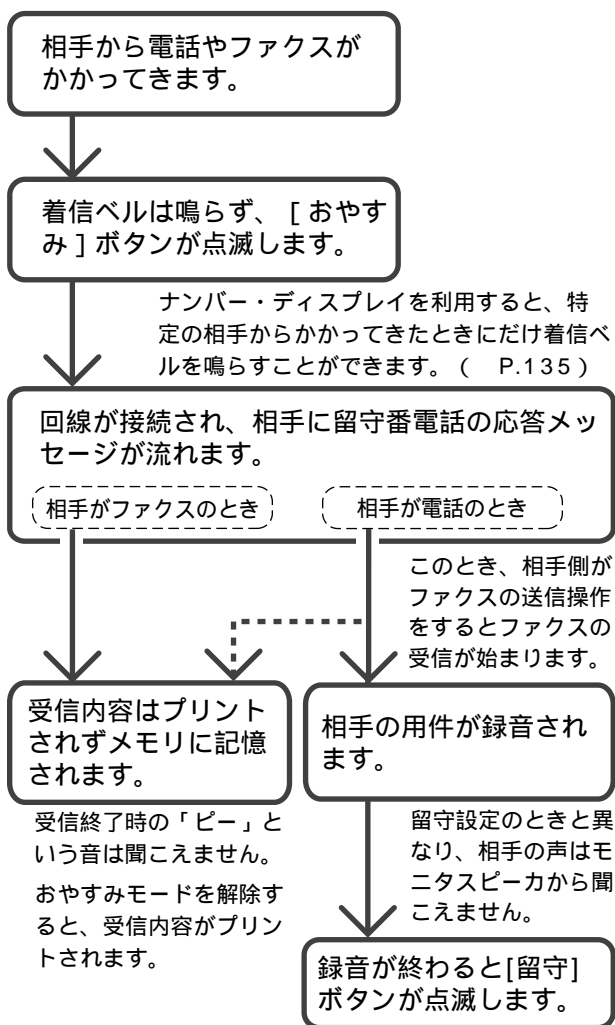
電話やファクスが入った時のベルを鳴らしたくないときや、ファクスの動作音が気になるときは、おやすみモードをご利用ください。

おやすみモードにすると、留守設定時の動作になります。なお、ベルは鳴りません。ファクスを受信するとプリントされずにメモリに記憶されます。おやすみモードのときは、ベル音、留守電着信時のモニタ音、ファクス受信終了時の「ピー」という音は出ません。

おやすみモードにする時間帯をあらかじめ設定しておく、毎日自動的におやすみモードに切り替えることができます。(P.90)
プリントカートリッジの自動クリーニングは、おやすみモード中でも動作します。

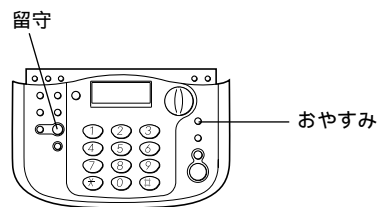
おやすみモードのセット / 解除

おやすみモードにすると

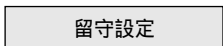


! メモリが残り少ないときに、メモリ残量を超える量の文書が送られてくると、超えた分は受信できません。おやすみモードにセットしても、子機優先着信が設定されている場合、子機の着信ベルが5回だけ鳴ります。(P.62)

おやすみモードの設定のしかた



- 1 **おやすみ** を押します。
[おやすみ]ボタンと留守ボタンが点灯します。



おやすみモードの解除のしかた

用件が録音されているときやファクスの受信文書があるときは、[留守]ボタンが点滅しています。

- 1 **おやすみ** を押します。
[おやすみ]ボタンと留守ボタンが消灯します。用件が録音されているときは用件が再生されます。ファクスを受信しているときはプリントされます。

? 留守設定をしたあとに、おやすみモードにしたとき... おやすみモードを解除しても、留守設定は解除されません。[留守]ボタンを押すと、おやすみモードと留守設定の両方が解除されます。おやすみモードにしようとして、『用件がいっぱいです。不要な用件を消去してください』というメッセージが流れたとき...すでに用件が30件入っているか、残りの録音時間が20秒以内なので、不要な用件を消去してからおやすみモードにしてください。(P.82)
おやすみモードにしようとして、『メモリ残量が少なくなっています。不要な用件を消去してください』というメッセージが流れたとき...すでに用件が27件~29件入っているか、録音できる時間が21秒~2分なので、不要な用件を消去してからおやすみモードにしてください。(P.82)


おやすみモードのタイマ切替

おやすみモードにする時間帯を設定しておく、毎日自動的におやすみモードに切り替えることができます。


- おやすみモード開始時刻と終了時刻は別々に設定します。
- 設定した開始時刻と終了時刻になると、自動的におやすみモードを設定/解除します。
- 開始時刻だけ設定すると、自動的におやすみモードを設定します。解除は手動で行います。
- 終了時刻だけを設定すると、自動的におやすみモードを解除します。設定は手動で行います。

- 留守録の用件がいっぱい(メモリフル)のときはおやすみモードに切り替わりません。不要な用件を消去してください。(P.82)
- 次の場合は、おやすみモードを自動的に解除した時、留守設定になります。
- 留守設定してからおやすみモードにしたとき
- 用件が録音されているとき
- お買い上げのとき...おやすみモードのタイマ切替は設定されていません。


1 ^{機能}ダストカバーを開け、●を押します。

2  の▼を3回押します。
登録モード
留守電機能
ナンバーディスプレイ

3 ^{電話帳登録セカ}●を押します。
オリジナルメロディ
自分の電話番号
発信元

4  の▼を3回押します。
おやすみタイマ切替
リモート操作
用件転送


5 ^{電話帳登録セカ}●を押します。
おやすみ開始タイマ
x
カーソル

6  の<または>を押してカーソルを移動します。
x : 開始時刻を登録する
x : 開始時刻を登録しない
「開始時刻を登録しない」にしたときは手順9へ進みます。

7 ^{電話帳登録セカ}●を押します。
おやすみ開始時刻入力
00:00

8 開始時刻を入力します。
24時間制。0~9は頭に「0」を付けてください。

9 ^{電話帳登録セカ}●を押します。
おやすみ終了タイマ
x

10  の<または>を押してカーソルを移動します。
x : 終了時刻を登録する
x : 終了時刻を登録しない
「終了時刻を登録しない」にしたときは手順13へ進みます。

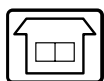
11 ^{電話帳登録セカ}●を押します。
おやすみ終了時刻入力
00:00

12 終了時刻を入力します。
24時間制。0~9は頭に「0」を付けてください。

13 ^{電話帳登録セカ}●を押します。
設定しました

14 ^{ストップ}●を押します。

? 時刻を間違えて入力したとき..[保留 / クリア] ボタンを押して入力しなおしてください。



トールセイバの設定

トールセイバとは、留守番電話が応答するまでのベルの回数が、用件が録音されているときは2回、録音されていないときは5回になる機能です。トールセイバを利用すると、留守設定時(P.80)に外出先から用件の有無を簡単に確かめることができます。用件が録音されていないときは、呼出音を3回聞き終わってから電話を切れば、通話料金がかかりません。

一度聞いた用件でも残っていると(消去しない限り)、トールセイバが働きます。

電話モード(P.74)でお使いの場合で、留守番機能を使用するときは、「トールセイバする」に設定してください。

「トールセイバしない」に設定すると、留守設定しても留守番機能が動きません(留守番電話が応答しません)。

用件の有無によって着信ベル回数を変えたくないときは「トールセイバしない」に設定してください。留守番電話が応答するまでのベルの回数は設定された着信ベル回数(P.73)と同じになります。

お買い上げのとき...「トールセイバする」に設定されています。

1 ダストカバーを開け、^{機能} を押します。

2 の▼を4回押します。 登録モード
留守電機能
ナンバーディスプレイ

3 ^{電話帳登録セカ} を押します。 全用件消去
応答メッセージ録音
応答メッセージ消去

4 の▼を3回押します。 トールセイバ

5 ^{電話帳登録セカ} を押します。 トールセイバ
x
カーソル

6 の<または>を押してカーソルを移動します。
— x : トールセイバする
— x : トールセイバしない

7 ^{電話帳登録セカ} を押します。 設定しました

8 ^{ストップ} を押します。

! 子機は親機より遅れてベルが鳴り始めるため、「トールセイバする」に設定していて留守番電話の用件が録音されている場合、子機が鳴る前に着信して留守応答になることがあります。



ハンズキャナご使用の前に

本などの綴じられた原稿や、厚すぎて原稿挿入口にセットできない原稿でも、ハンズキャナを使ってコピーしたりファクス送信ができます。さらに、コードを取り外してコードレスハンズキャナとして使うこともできます。また、拡大や縮小もすることができます。

ハンズキャナの取り外しと取り付け

ハンズキャナは、本体の原稿読み取り面としても働きます。使用後は、必ず本体に戻してください。本体に戻すときは、ハンズキャナのコードをはさまないように注意してください。断線の原因となります。

コードレスで使用したあとは、動作中ランプが消灯しているのを確認し、ハンズキャナ用コードを接続してから本体に取り付けてください。接続しないままだとファクスやコピーなどの機能が使えなくなるほか、ハンズキャナの充電もされません。

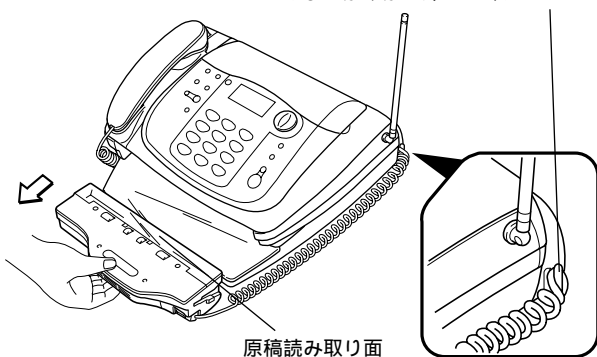
ハンズキャナを落としたり、固いものにぶついたりしないようにご注意ください。

原稿読み取り面は汚さないでください。汚れたら清掃してください。(P.162)

取り外しかた

1 ハンズキャナを矢印方向に引き抜きます。

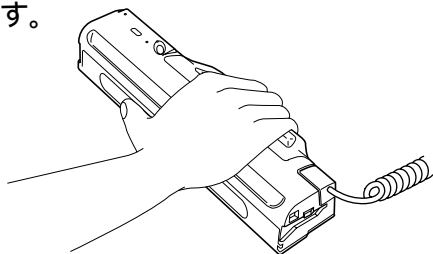
離れたところで使うときは、コードをひっかけから外してください



原稿読み取り面

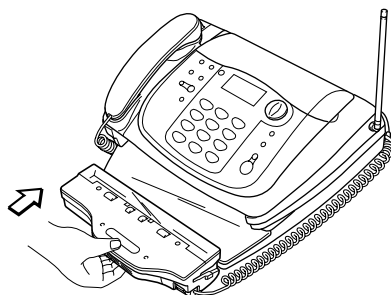
原稿読み取り面には手を触れないでください。

2 裏返して原稿読み取り面を下にして、原稿にのせます。



取り付けかた

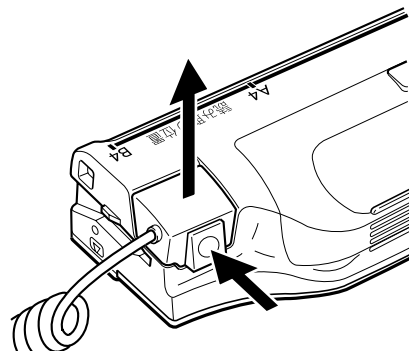
原稿読み取り面を上に向けて、本体に押し込みます。



コードレスで使うとき

コードを外す

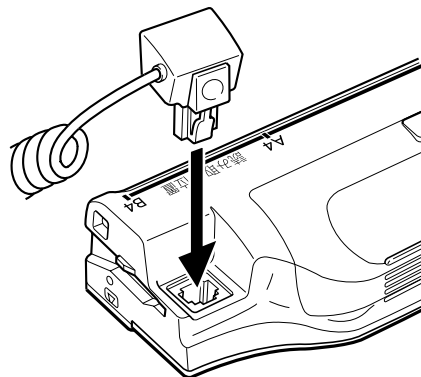
のボタンを押しながら 方向へ引き抜き、ハンズキャナ用コードを外します。



コードを取り付ける

本体に戻す前に動作中ランプが消灯しているのを確認し、ハンズキャナ用コードを取り付けます。

「カチッ」と音がするまで差し込んでください。



コードを取り付けると、新しく読み取った原稿が自動的にプリントされます。

原稿を拡大/縮小したい場合は、コードを外す前に設定をしてください。(P.100)

ハンドスキャナを使った原稿の読み取りについて

本機の記録紙はA4サイズのため、B4サイズ原稿をコピーする時は縮小してください。(P.100)

- 「コード付き」と「コードレス」はこんなところが違います。
- ・コード付き データをメモリに入れないので、記録紙がある限り枚数を意識しないで読み取ることができます。
また、読み取りとほぼ同時に記録されるため、確認がすぐにできます。
 - ・コードレス 設置した場所から離れている場所で読み取ることができます。
読み取ったデータは消去をしない限り保存されます。保存しておく必要のない原稿は消去してください。(P.99)

コードが付いている場合は、ハンドスキャナを使って原稿を読み取る時、ハンドスキャナを動かすスピードをあらわすメロディ音が流れます(流さないようにすることもできます)。(P.100)

コードレスで使用する場合は、メロディ音が流れません。コードレスで読み取った原稿は、ハンドスキャナのメモリに記憶されます。記憶できる容量は、画質モードが「文字」のときはA4標準原稿(文字が約700文字程度の原稿)で約12枚、「写真」のときはA4サイズで約1枚です。(原稿の状態によって読み取れる枚数は変わります。)
コピーしてはいけないものがあります。P.78をご覧ください。

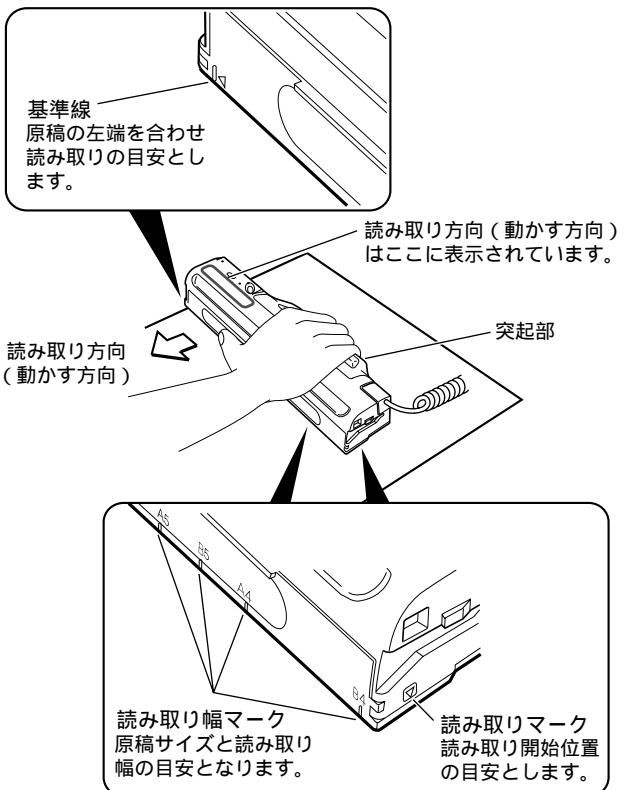
読み取り幅と読み取り長さについて

		コピーするとき	ファクスを送信するとき
最大読み取り幅		250mm(B4サイズ)	250mm(B4サイズ)
最大読み取り長さ	コード付使用時	無制限(記録紙がなくなるまで)	無制限* (メモリがいっぱいになるまで)
	コードレス使用時	無制限*(メモリがいっぱいになるまで)	

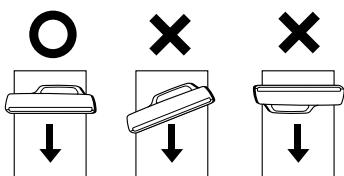
*原稿の色や文字の量、画質モードの設定によって変わります。

原稿の読み取りかたについて

原稿の左端にハンドスキャナの基準線を合わせ、上端に読み取りマークを合わせます。

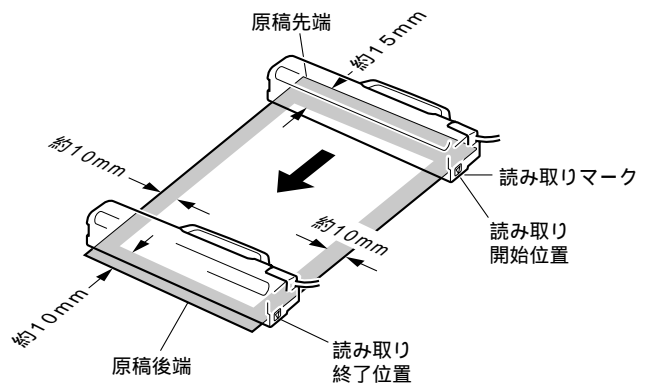


ハンドスキャナは読み取り方向にまっすぐ動かしてください。斜めや逆に動かすとうまく読み取れません。



原稿の読み取り制限について

読み取りマークを原稿の先端に合わせて読み取りをしても、図の ■■■ 部分は読み取れないことがあります。端の部分に読み取りたい文字などがあるときは、その分外側に合わせてください。



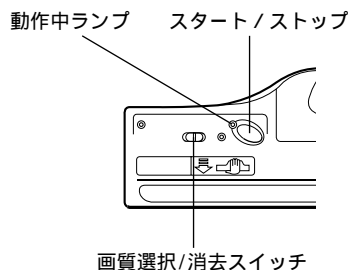
色がついた原稿や文字がうすい原稿などの場合は、ハンドスキャナを外す前に読み取り濃度を設定してください。(P.66)

次のような原稿には使わないでください。読み取り結果や装置に不具合が発生することがあります。

- ・表面に凹凸のある原稿
 - ・コーティングなどで表面が滑りやすい原稿
 - ・表面が汚れている原稿
 - ・インクや修正液、ノリなどが乾いていない原稿
- フィルムやトレーシングペーパーのように透明な原稿は、原稿を白い紙の上に置いてから読み取るようにしてください。



コードを付けたままでコピーする



1 ハンドスキャナを外して裏返します。(P.92)

拡大 / 縮小するときは、P.100をご覧ください。



2 読み取る原稿にあわせて画質選択 / 消去スイッチを切り替えます。

文字：文字原稿のとき

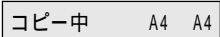
写真：写真のとき(64階調ハーフトーン)

このとき本体の「画質」ボタンは効きません。

3 ハンドスキャナを原稿の上に置きます。

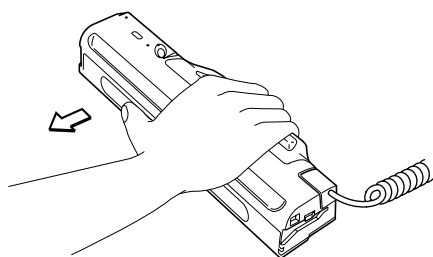
4 ハンドスキャナのスタート/ストップ または本体のスタートを押します。

ハンドスキャナの動作中ランプが点灯します。



5 ハンドスキャナを読み取り方向に動かします。

動かすと、メロディ(本ページ右)が流れます。



6 読み取りが終わったらハンドスキャナのスタート/ストップ または本体のストップを押します。

プリントが終わるまでしばらくお待ちください。ハンドスキャナの動作中ランプが消灯したあと、プリントが完了します。

7 ハンドスキャナを戻します。(P.92)

原稿読み取り面を上に向けて本体に押し込みます。



ブザーが鳴り、「メモリフル」と表示された時は読み取りができません。しばらくするとコピーが可能となります。

ハンドスキャナを20秒以上動かさずにいると、読み取りを中断します。

[スタート/ストップ]ボタンを押さずにハンドスキャナを本体に戻すと、ハンドスキャナのローラが回り、記録紙の後端に原稿と異なるものをプリントする場合があります。

「定型コピーする」(P.77)に設定されていると、読みとった原稿が、指定されている印字範囲の大きさにおさまってプリントされるように、「原稿を拡大 / 縮小する」(P.100)で指定した倍率よりやや小さく自動縮小してコピーします。

ただし、読みとった原稿が縦方向に長く、印字範囲をはみ出す場合、その部分は次の記録紙にプリントされます。

「定型コピーしない」に設定されていると、「原稿を拡大 / 縮小する」で指定した倍率そのままでもコピーします。このとき、印字範囲を縦方向にはみ出した部分は次の記録紙にプリントされ、横方向にはみ出した部分はプリントされません。

ハンドスキャナ使用後は必ず本体に戻してください。コピー、送信等の機能が使えなくなります。

メロディについて

ふつうの速さのメロディの時...正常に読みとれます。もっと速くハンドスキャナを動かします。

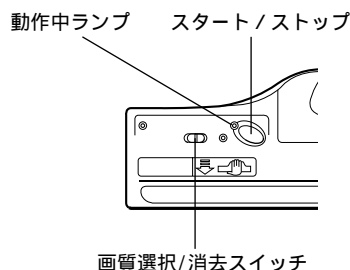
速いメロディの時...正常に読み取れます。これ以上速くハンドスキャナを動かすと、正常に読み取れなくなります。

「ピッピッピッ...」という音の時...正常に読み取れず、画像が欠落したり、線が入ったりすることがあります。

メロディを流したくないとき...P.100の設定をしてください。



コードを付けたままで送信する



1 ハンドスキャナを外して裏返します。(P.92)

スキャナ A4 A4


2 読み取る原稿にあわせて画質選択/消去スイッチを切り替えます。

文字：文字原稿のとき
写真：写真のとき(64階調ハーフトーン)
このとき本体の画質ボタンは効きません。

3 相手先の番号をダイヤルします。

受話器を置いたままダイヤルします。
電話帳を使って相手先を指定することもできます。

4 ハンドスキャナを原稿の上に置きます。

5 本体の  を押します。

ハンドスキャナの動作中ランプが点灯します。


コピー中 A4 A4

6 ハンドスキャナを読み取り方向に動かします。

動かすと、メロディが流れます。(P.94)
読み取った原稿は、メモリに記憶しながら同時にプリントされます。
「ピー、ピー、ピー…」という音がした時はメモリがいっぱいです。読み取ったところまでプリントされます。

7 読み取りが終わったら

1:送信 2:消去 3:継続


ハンドスキャナの 

または本体の  を押します。

プリントが終わるまでしばらくお待ちください。ハンドスキャナの動作中のランプが消灯したあと、プリントが終わります。

8 プリント内容を確認します。

もう一度読み取りなおしたいときは、[2] (消去) を押し、「消去しました」「読取待ち A4 A4」と表示されたら、手順4からやりなおしてください。
複数枚の原稿を送信したいときは、[3] (継続) を押し、「読取待ち A4 A4」と表示されたら、手順4に戻って読み取り操作をしてください。2枚目以降の読み取り時は手順5で [スタート/ストップ] ボタンを押すこともできます。
送信をやめたいときは、[ストップ] ボタンを押してください。

9  を押します。
送信を開始します。

ダイヤル中

メモリ送信中

メモリ送信中 P01

10 ハンドスキャナを戻します。(P.92)

原稿読み取り面を上に向けて本体に押し込みます。ハンドスキャナを戻しても送信は中断されません。



B4サイズの原稿を等倍で送信することはできません。相手機がB4サイズの記録紙を使用している場合でも、B4サイズの原稿はA4サイズに縮小して送信されます。

ハンドスキャナを20秒以上動かさずにいると、読み取りを中断します。

送信が終わるとメモリの内容は消去されます。

ハンドスキャナを使う場合、電話で話をしたあと、続けて送ることはできません。

送信中に通信異常のアラームが表示された場合、メモリの内容は消去されます。

ハンドスキャナ使用後は必ず本体に戻してください。他の機能が使えない場合があります。

記録紙がセットされていない場合や、記録紙づまり等でプリントが正常に終了しなかった場合は送信はできません。



読み取り中のメロディを流したくないとき...P.100をご覧ください。

相手先が話中のとき...1分間隔で5回まで自動的にかけなおします(オートリダイヤル)。5回かけなおしても送信できなかったときは、読み取った原稿が消去され、不達レポートがプリントされます。(P.69)
途中で送信をやめるとき...[ストップ] ボタンを押してください。



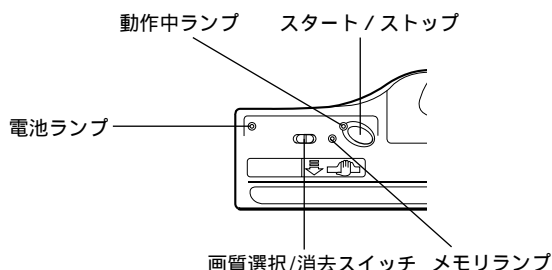
コードレスでコピーする(自動プリント)

コードレスで使用可能な時間は約1時間です。
(フル充電時)

電池ランプが点滅したら、電池の容量が少なくなっています。作業を終了し、ハンドスキャナ用コードを接続してください。

電池ランプが点灯しないときはコードレスでコピーできません。コードを付けたままコピーしてください。

コードレスでコピーした原稿はメモリに記憶され、消去操作(P.99)を行わない限り消去されません。



1 ハンドスキャナを外して裏返します。(P.92)

拡大/縮小するときは、ハンドスキャナ用コードを取り外す前に設定してください。(P.100)

スキャナ A4 A4


2 ハンドスキャナ用コードを外します。(P.92)

コードレス スキャナ


3 読み取る原稿にあわせて画質選択/消去スイッチを切り替えます。

文字：文字原稿のとき
写真：写真のとき(64階調ハーフトーン)

4 ハンドスキャナを原稿の上に置きます。

5  を押します。
動作中ランプが点灯します。

6 ハンドスキャナを読み取り方向に動かします。
コードレスで使用しているときはメロディが流れません。「ピッピッピッ...」という音が鳴ったら、正常に読み取れず、画像が欠落したり、線が入ったりすることがあります。

7 読み取りが終わったら  を押します。
メモリへの書き込みが終わると、動作中ランプが消灯します。
続いて、次の原稿を読み取る時は手順3に戻って操作してください。

8 動作中ランプが消灯したら、ハンドスキャナ用コードを取り付けます。(P.92)

しばらくお待ち下さい

新規読取データ:01

動作中ランプが点灯し、新しく読み取った原稿が自動的にプリントされます。(自動プリント)
動作中ランプが消灯したあと、プリントが終わりです。プリントを確認したら、メモリを消去してください。(P.99)
動作中ランプが点灯しているときにコードを取り付けると、最後に読み取った原稿がメモリに記憶されず、コピーできません。

プリント中

9 ハンドスキャナを本体に戻します。(P.92)
原稿読み取り面を上に向けて本体に押し込みます。

! ハンドスキャナを20秒以上動かさずにいると、読み取りを中断します。
画質モードを選ぶ際には、画質選択/消去スイッチをカチッとロックされる位置にあわせてください。
読み取りを行い、speax本体の電源プラグをコンセントから抜いた状態でハンドスキャナにコードを取り付けた場合、電源プラグをコンセントに差し込んでから約10秒後に自動プリントされます。(読み取りデータがない場合、「新規読取データ:00」と表示後、[ストップ]ボタンを押すか、3秒待たば待機状態に戻ります。)

「定型コピーする」(P.77)に設定されていると、読み取った原稿が、指定されている印字範囲の大きさにおさまってプリントされるように、「原稿を拡大/縮小する」(P.100)で指定した倍率よりやや小さく自動縮小してコピーします。
ただし、読み取った原稿が縦方向に長く、印字範囲をはみ出す場合、その部分は次の記録紙にプリントされます。「定型コピーしない」に設定されていると、「原稿を拡大/縮小する」で指定した倍率そのままでもコピーします。このとき、印字範囲を縦方向にはみ出した部分は次の記録紙にプリントされ、横方向にはみ出した部分はプリントされません。

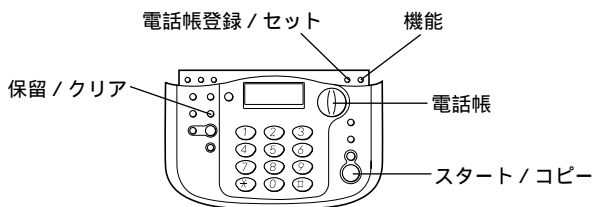
? 「ピー」という音が鳴って、メモリランプが点滅したとき...ハンドスキャナのメモリがいっぱいになり、原稿を読み取ることができません。メモリに記憶され

ている原稿を消去してから、再度読み取ってください。(P.99)



メモリに記憶されている原稿を送信する

コードレスでコピーした原稿は、メモリに記憶されています。このメモリに記憶された原稿をファクス送信できます。メモリ内の原稿は消去操作(P.99)を行わない限りメモリ内に残っているので、以前に読み取った原稿もメモリに記憶されていれば送信できます。



1 機能 を押します。

2 の▼を7回押します。 アルファ設定
HANDSCANNER
プリント設定

3 を押します。 メモリ出力
メモリ消去

4 を押します。 新規ページ
全ページ
指定ページ
送信ページを選択するメニューが表示されます。
新規ページ：直前に読み込んだ原稿を送信します
全ページ：メモリに記憶されている原稿をすべて送信します
指定ページ：メモリに記憶されている原稿を1ページだけ指定して送信します
新規に読み込んだ原稿が無いときは、「新規ページ」は表示されません。

5 の▼または▲を押して、送信するページを選択します。

6 を押します。 出力先
プリント< 送信
「指定ページ」を選んだ場合は、右の「ページ指定のしかた」により、原稿を選んでください。

7 の<または>を押して、「>送信」を選択します。

8 を押します。 01ページ出力します
宛先指定して下さい

9 相手先のファクス番号をダイヤルします。
受話器を置いたままダイヤルします。
電話帳を使って相手先を指定することもできます。

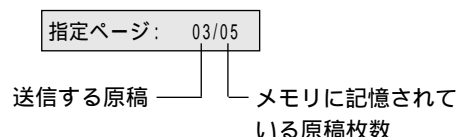
10 を押します。 ダイヤル中
送信を開始します。
送信を確認したらメモリを消去してください。(P.99) メモリ送信中

メモリ送信中 P01

ページ指定のしかた

手順5で「指定ページ」を選んだときは、手順6のあとメモリに記憶されている原稿のうち何枚目の原稿を送信するかを指定する必要があります。

手順6のあと次のような画面になります。原稿は先に読み込んだ順に01, 02, 03...の番号が振られています。たとえば5枚の原稿がメモリに記憶されていて、その3枚目を送信する場合は、次のように原稿を指定します。



例：3ページ目を指定するとき

6-1 を押します。

6-2 を押します。
押したあと、手順7の操作をします。
メモリに記憶されている原稿枚数より多い数を指定した場合、表示がもとに戻ります。

ハンドスキャナのメモリに何も記憶されていないときは、手順4のあと「読取ページなし」と表示されます。
B4サイズの原稿を等倍で送信することはできません。相手機がB4サイズの記録紙を使用している場合でも、B4サイズの原稿はA4サイズに縮小して送信されます。



メモリに記憶されている原稿をプリントする

HANDSCANNERのメモリに記憶されている原稿をプリントすることができます。すべてをプリントしたり、ページを指定してプリントしたりすることもできます。



1 機能 を押します。

2 の▼を7回押します。

アルファ設定
HANDSCANNER
プリント設定

3 を押します。

メモリ出力
メモリ消去

4 を押します。

プリントするページを選択するメニューが表示されます。

新規ページ：直前に読み込んだ原稿をプリントします

全ページ：メモリに記憶されている原稿をすべてプリントします

指定ページ：メモリに記憶されている原稿を1ページだけ指定してプリントします

新規に読み込んだ原稿が無いときは、「新規ページ」は表示されません。

新規ページ
全ページ
指定ページ

5 の▼または▲を押して、プリントするページを選択します。

6 を押します。

「指定ページ」を選んだ場合は、右の「ページ指定のしかた」により、原稿を選んでください。

出力先
プリント< 送信

7 の<または>を押して、「プリント<」を選択します。

8 を押します。

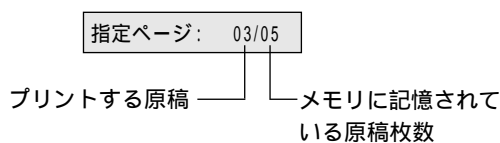
プリントが始まります。
プリントを確認したらメモリを消去してください。
(P.99)

プリント中

ページ指定のしかた

手順5で「指定ページ」を選んだときは、手順6のあとメモリに記憶されている原稿のうち何枚目の原稿をプリントするかを指定する必要があります。

手順6のあと次のような画面になります。原稿は先に読み込んだ順に01, 02, 03...の番号が振られています。たとえば5枚の原稿がメモリに記憶されていて、その3枚目をプリントする場合は、次のように原稿を指定します。



例：3ページ目を指定するとき

6-1 の3を押します。

6-2 を押します。

押したあと、手順7の操作をします。
メモリに記憶されている原稿枚数より多い数を指定した場合、表示がもとに戻ります。



HANDSCANNERのメモリに何も記憶されていないときは、手順4のあと「読取ページなし」と表示されます。

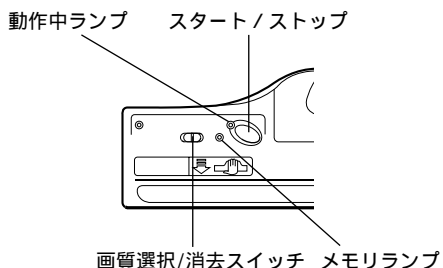


メモリに記憶されている原稿を消去する

コードレスで読み取った原稿は、プリントや送信が終わっても自動的に消去されません。保存しておく必要のない原稿は、次の手順で消去してください。消去はハンドスキャナ / 親機どちらでもできます。


ハンドスキャナで消去する

コードを接続した状態、コードレスの状態、どちらでもできます。コードを接続した状態のときは親機が待機中に操作してください。



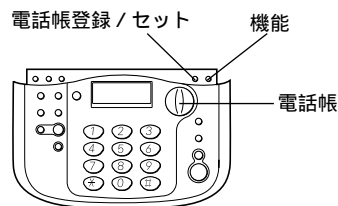
1 画質選択 / 消去スイッチを「消去」にします。

2 ハンドスキャナの  を「ピッ」さらに「ピー」と音がするまで押し続けます。

「ピー」と音が鳴ると消去が完了します。動作中ランプとメモリランプが消灯します。
親機の  ボタンでは、本操作はできません。
ハンドスキャナを使用しないときは本体に戻してください。

親機で消去する


ハンドスキャナのコードを接続し、本体に取り付けた状態で操作してください。



1  を押します。


2  の▼を7回押します。

アルファ設定
ハンドスキャナ
プリント設定

3  を押します。


4  の▼を押します。

メモリ出力
メモリ消去

5  を押します。

メモリ消去確認

OK?

6  を押します。
2、3秒後に『消去しました』というメッセージが聞こえます。

消去しました



読み取りデータの消去を実行すると、読み取ったすべての原稿のデータが消去されます。ページごとには消去できません。

メモリランプはハンドスキャナのメモリの状態を示します。

メモリランプの状態	メモリの状態
消灯	メモリに何も記憶されていません。
点灯	メモリに記憶されている原稿があります。
点滅	メモリがいっぱいです。



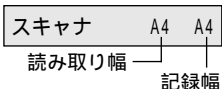
設定を変えて使う


原稿を拡大 / 縮小する

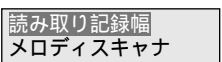
ハンドスキャナを使って送信やコピーをするときに、読み取り幅とプリント(記録)幅を設定すると、原稿を拡大や縮小して送信やコピーができます。


コードレス時に拡大 / 縮小したい場合は、ハンドスキャナからコードをはずす前に本設定をしてください。

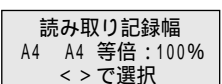
- 1 ハンドスキャナを外します。(P.92)





- 2 ダストカバーを開け、機能  を押します。




- 3  を押します。



- 4  の<または>を押して倍率を選択します。
- A4 A4 等倍 : 100%
B5 A4 拡大 : 115%
A5 A4 拡大 : 141%
B4 A4 縮小 : 82%


- 5  を押します。
「設定しました」と表示され、約2秒後に手順2の画面に戻ります。

- 6  を押します。
設定した倍率で、送信やコピーをすることができます。

メロディハンドスキャナの設定

コードを付けたまま原稿を読み取る時、読み取る速さに合わせてメロディ音が流れます。

ハンドスキャナをコードレスで使うときはメロディが流れません。

メロディ音が流れている時に  ボタンを押すと、音量の調整ができます。


メロディの音量はモニタスピーカ音量(P.58)と同じ設定になります。この音量を「切」にするとメロディ音も鳴らなくなります。

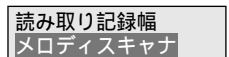
お買い上げのとき、「メロディ音を流す」に設定されています。


- 1 ハンドスキャナを外します。(P.92)

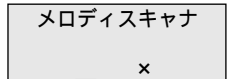



- 2 ダストカバーを開け、機能  を押します。


- 3  の▼を押します。




- 4  を押します。



- 5  の<または>を押してカーソルを移動します。
— x : メロディ音を流す
— x : メロディ音を流さない

- 6  を押します。
「設定しました」と表示され、約2秒後に手順3の画面に戻ります。

- 7  を押します。



-ALPHA 5(アルファファイブ)について

ご使用の前に

設置

電話

話

ファクス/コピー

留守番

ハンドスキャナ

ALPHA 5

Eメール

ナンバーディスプレイ

キャッチホン/ネット/ダイヤルイン

こんなときは

DDI(第二電電)の -ALPHA5(アルファファイブ)に加入(無料)すると、DDIが提供するさまざまな機能を利用できるようになります。おトクな市外回線を自動で選ぶDDI市外電話自動選択機能のほかに、料金表示、メッセージの送受信、ディスプレイ表示に従っての情報取り出しなどの機能を利用できます。

-ALPHA5には次のようなサービスが用意されています。

- ・ -NEWS(アルファニュース)..便利で役立つ情報を簡単な操作で取り出せます。(P.108)
着信メロディを取り込むこともできます。(P.109)
- ・ -MAIL(アルファメール)..文字メッセージを送受信できます。(P.110、P.111)

- ・ -DIAL(アルファダイヤル)..DDIテレホンサービス「Talkin'ダイヤル」の電話番号や、お住まいの地域の「公共施設」の電話番号が本機に自動的に登録されます。(P.112)

利用申し込みにあたって

「 -ALPHA5」の各機能をご利用いただくには、DDI(第二電電株式会社)への -ALPHA5のご利用申し込みと、DDI市外電話サービスのご利用が必要です。(登録料、基本料は無料です。)

利用料金の請求および支払いについて

DDIを利用した通話については、DDIから通話料金が請求されます。

窓口振り込み(コンビニ等を含む)か、口座振替が利用できます。

口座振替は手続きが必要となりますので、DDIカスタマサービスセンターへご連絡ください。

NTT東日本またはNTT西日本を利用した通話料は、従来通りNTT東日本またはNTT西日本から請求されます。



次のようなときはDDIカスタマサービスセンターにご連絡ください。

- ・ すでにDDIをご利用の場合

- ・ 他の電話会社とご契約されている場合
- ・ NTT東日本またはNTT西日本や他の電話会社の料金割引サービスをご利用されている場合

利用するときの制限事項

他の電話機をブランチ(並列)接続したとき...DDIからのデータを受信できない場合があります。
DDIカスタマサービスセンターにご連絡ください。

ISDN回線を利用されている場合

- ・ ターミナルアダプタの種類によってはDDIからのデータが受けられない場合があります。
- ・ ターミナルアダプタの桁間タイマの設定時間が短いと電話がかけられない場合があります。



申し込みと登録のしかた

申し込みからご利用までの流れ

-ALPHA5ランプが赤色に点灯しているとき

(本機に電話番号が登録されていないとき：お買い上げ時)

- 1 アルファスタートします。(P.103)
- 2 「 -ALPHA5ご利用申込書 」を送付します。
「 DDI割引サービス 」に同時にお申し込みいただけます。
- 3 -ALPHA5ランプが緑色に点灯後、 -ALPHA5がご利用になれます。

-ALPHA5ランプが消灯または緑色に点灯しているとき

(移転などで本機に登録されている電話番号が変更になるとき)

- 1 自宅の電話番号を登録します。(P.104)
- 2 DDIカスタマサービスセンターへご連絡ください。



DDIカスタマサービスセンター
0077-772(無料)
受付時間 9:00~21:00
(土日祝も受付)

アルファスタート、自宅電話番号登録について

-ALPHA5をご利用いただくためには、下記のどちらかの操作が必要です。

アルファスタート(P.103)

この操作で、DDIへの -ALPHA5利用の申し込みとなります。この操作後、約1時間後にご利用可能となります。(割引サービスなどへの申し込みは除きます。)

自宅の電話番号を登録する(P.104)

-ALPHA5利用のDDIへの利用準備操作です。

この操作後、本機が自動的にDDIに電話をかけ、約1時間後にご利用可能となります。

この際、NTT東日本またはNTT西日本のナンバー・ディスプレイによりお客様の電話番号がDDIへ通知されます。

この場合、「通常非通知(回線ごと非通知)」でNTT東日本

またはNTT西日本とご契約されているお客様の電話番号も「186」が付加されDDIへ通知されますので、ご了承ください。

その後、DDIから本機にお客様がお使いになる地域の料金・地域データなどが送信されます。(オンライン通信といえます。)

この通信が正常終了すると、-ALPHA5ランプが緑色に点灯し、-ALPHA5機能をご利用開始となります。

これらの操作は、お客様が本機をお使いになる地域の料金・地域データなどを受け取るために必要な操作であり、他の目的に利用するものではありません。

「 -ALPHA5ご利用申込書 」の送付について

本機に添付の「 -ALPHA5ご利用申込書 」に必要事項を記入し、DDIにファクスします。

店頭でお申し込み済みの場合、本申込書の送付は不要です。

この申込書で、「DDI割引サービス」も同時にお申し込みいただけます。

ファクス送付先



DDI(第二電電株式会社)
0077-2322-9555(無料)
(24時間受付中)

ご利用にあたって

-ALPHA5ご利用の際DDIより提供されるサービスは、DDI電話サービス契約約款によります。

アルファスタートの操作を行うことで、-ALPHA5利用のDDIへのお申し込みとなります。

ご移転等に伴い本機に登録されている電話番号を変更される際は、アルファスタートはご利用できません。この場合は、ご利用準備として「自宅の電話番号を登録する」操作を行った後、DDIカスタマサービスセンターへご連絡ください。

通話料金の請求のため、必要に応じてお客様の電話番号、住所、氏名等について、DDIはNTT東日本またはNTT西日本より情報の提供を受けることがあります。

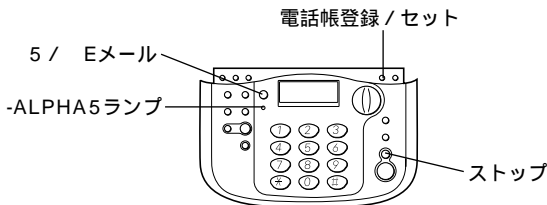
ピンク電話・共同電話・着信専用電話等のご利用になれません。

アルファスタートする

-ALPHA5を利用するための申し込み操作です。

アルファスタートは -ALPHA5ランプが赤色に点灯しているときのみ操作可能です。
この登録操作をされた場合も必ず利用申込書をファクスしてください。

申し込みのときの通信料は無料です。
すでにDDIの電話サービスをご利用の場合は、この登録操作によって、-ALPHA5のサービスの利用申し込みが登録されます。



- 1** を押します。
- | |
|----------|
| アルファスタート |
| 1: する |
| 2: しない |
- 次に[2] [しない]を押すと「自宅の電話番号を登録する」(P.104)の手順3に移ります。この操作をやめたい場合は、[ストップ]ボタンを押します。

- 2** を押します。
- | |
|------|
| 郵便番号 |
| - |

- 3** 7桁の郵便番号を登録します。
- この郵便番号に基づき「公共施設」の電話番号が自動登録されます。
郵便番号がご不明などで、この登録操作をしない場合は、お客様が利用申込書に記入されたご住所から郵便番号を判断し、「公共施設」の電話番号を本機に自動登録します。

- 4** を押します。
- | |
|----------|
| 設定しました |
| 約1時間後 |
| オンライン通信中 |
- 本機が自動的にDDIに電話をかけ登録を行います。(無料)
郵便番号が7桁未満の場合、「郵便番号エラー」と表示されます。正しい郵便番号を登録しないおしてください。
ここで、[ストップ]ボタンを押すと、約1時間後にオンライン通信が始まります。
-ALPHA5ランプは次のように変化します。
・本登録を行う前 「赤点灯」
・本登録が終わりデータ送信が行われるまで 「消灯」
・本機へのデータ送信正常終了後 「緑点灯」
-ALPHA5ランプが緑色に点灯すると、-ALPHA5はすぐご利用いただけます。

- !** ダイアルイン追加番号に本機を設置した場合は、アルファスタートできません。手順2で[2]を押し、電話番号を登録してください。(P.104) また、DDIカスタマサービスセンター(P.102)にご連絡ください。契約者回線番号とダイアルイン追加番号については、NTT東日本またはNTT西日本にお問い合わせください。(P.141)

登録後、DDIから利用準備または確認の連絡が入ることがあります。

郵便番号について

郵便番号をご登録いただく場合は必ず7桁にて入力してください。
大口事業所の個別郵便番号は入力できません。


郵便番号がご不明等で入力されない場合、「公共施設」の電話番号は自動登録されません。
ただし、お申込書をご提出いただいている場合は、お客様のお申し込み住所の郵便番号に基づき「公共施設」の電話番号を本機に登録いたします。

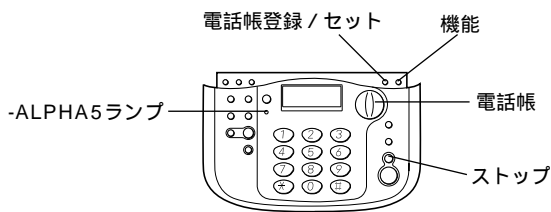
自宅の電話番号を登録する


本機にすでに登録されている電話番号を変更する場合、またはダイヤルイン子番号に本機を設置する場合には、電話番号に本機を設置後、下記の方法で利用準備操作をしてください。


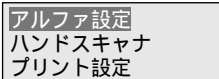
-ALPHA5ランプが消灯または緑点灯のときに操作できます。
「アルファスタートする」(P.103)の手順2で「2」を押すと、下記の手順3と同じ表示となります。
電話番号、郵便番号が変更になった場合は、最初から登録をやり直してください。登録済みの内容が自動的に書き換えられます。


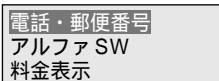
自宅の電話番号登録後、DDIカスタマサービスセンターへ連絡してください。


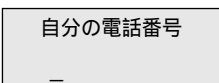
 DDIカスタマサービスセンター
0077-772(無料)
受付時間 9:00~21:00
(土日祝も受付)




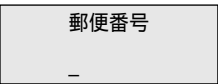
1  を押します。

2  の▼を6回押します。



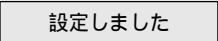
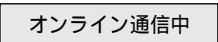
3  を押します。



4  を押します。


5 自宅の電話番号を登録します。
電話番号は市外局番から登録してください。
[*][#]は使えません。
携帯電話、PHSの電話番号は登録しないでください。
電話番号のみ登録し、郵便番号を登録せずにここで、[ストップ]ボタンを押すと、約1時間後にオンライン通信が始まります。

6  を押します。
「電話番号エラー」と表示される場合は、手順5に戻ります。正しい電話番号を登録しなおしてください。


7 7桁の郵便番号を登録します。
この郵便番号に基づき「公共施設」の電話番号が自動登録されます。
郵便番号がご不明などで、この登録操作をしない場合は、お客様が利用申込書に記入されたご住所から郵便番号を判断し、「公共施設」の電話番号を本機に自動登録します。

8  を押します。
本機が自動的にDDIに電話をかけ登録を行います。(無料)
郵便番号が7桁未満の場合、「郵便番号エラー」と表示され、手順6に戻ります。正しい郵便番号を登録しなおしてください。

約1時間後

-ALPHA5ランプは次のように変化します。
・本登録を行う前.....「消灯または緑点灯」
・本登録が終わりデータ送信が行われるまで.....「消灯」
・本機へのデータ送信正常終了後.....「緑点灯」
-ALPHA5ランプが緑色に点灯すると、-ALPHA5はすぐご利用いただけます。

 **移転等により電話番号の変更が生じる場合**
・ご移転後に新しい電話番号を登録してください。
・上記操作を行っていただけない場合、-ALPHA5機能が正しく動作しないことがあります。

登録後、DDIから利用準備または確認の連絡が入ることがあります。

オンライン通信について

オンライン通信とは、お客様が -ALPHA5機能をご利用いただくための料金・地域データ等がDDIから電話回線を通じて本機に送られてくることをいいます。(通信料無料)

やりとりされるデータには次のようなものがあります。

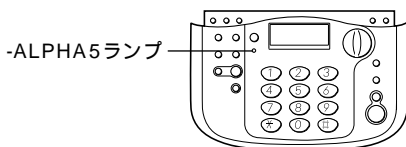
- ・ -ALPHA5の機能をご利用いただくときの料金データ
 - ・ 公共施設の電話番号情報を得るための地域データ(郵便番号の登録を行った場合) (P.103、P.104)
- ALPHA5ランプ緑点灯時に停電が36時間以上続いた場合などで時計情報が初期状態に戻ったときは、電源が復旧した後約1分後に本機が自動的にDDIに電話をかけ、その後データ送信が行われます。

アルファスタート、自宅の電話番号の登録操作後、および上記のような場合、DDIから電話回線を通じてデータが送られてきます。(オンライン通信)

オンライン通信は自動的に行われます。
-ALPHA5ランプが消灯し、次のような表示になります。

オンライン通信中

-ALPHA5ランプが消灯から緑点灯に変わり、
-ALPHA5が利用できるようになります。



! 料金改定等に際し、必要に応じてDDIより自動的にオンライン通信を行う場合があります。(お客様が何も操作をしなくても、DDIからオンライン通信の電話がかかってきます。)

オンライン通信時は、受話器を取ると「ピポピポ...」という音のあとに「こちらはDDIです。ただいまからデータを送信します。ありがとうございました」とメッセージが聞こえます。受話器を戻して「オンライン通信中」の表示が消えるまでお待ちください(約4分間)。

自動的にオンライン通信をするために、ファクス/電話自動切替での着信ベルの回数を10回以下に設定してください。(P.73)

次のようなときは、オンライン通信の電話を受けられません(「ピポピポ...」という音が数回聞こえ電話が切れます)。このようなときは、DDIカスタマサービスセンターより確認の連絡が入ることがあります。

- ・ 本機と同じ電話回線に並列に接続した他の電話機で電話をとったとき
 - ・ 登録中やコピー中などに電話をとったとき
- 本機の時刻を合わせていなくても、オンライン通信が終了すると、自動的にDDIの標準時刻が登録されます。

受話器周辺に雑音等があると、オンライン通信できないことがあります。

オンライン通信中は電話をかけられません。

-ALPHA5の利用を一時中止する

-ALPHA5の利用を中止すると、-ALPHA5ランプが消灯します。料金も表示されません。

- 1 ダストカバーを開け、を押します。
- 2 の▼を6回押します。
- 3 を押します。
- 4 の▼を押します。
- 5 を押します。
- 6 の<または>を押してカーソルを「x」の下に移動します。
- 7 を押します。
- 8 を押します。
緑点灯していた -ALPHA5ランプが消灯します。

! 「-Eメール」サービスにご登録の場合、-ALPHA5の利用を一時中止すると、-Eメールも利用できなくなります。ただし、-Eメールサービスの解約は別途DDIカスタマサービスセンターへのご連絡が必要です。

-ALPHA5の利用を再開する

- 1 上記手順の1～5を操作したのち、手順6でカーソルを「」の下に移動します。
- 2 を押します。
- 3 を押します。
消灯していた -ALPHA5ランプが緑点灯し、-ALPHA5が利用できることを知らせます。



おトクな市外回線を利用する(DDI市外電話自動選択機能)

-ALPHA5を利用すると、曜日、時間帯、かけた先の場所を自動判定し、DDIとNTTの通常通話料金を比較しておトクな市外回線を自動的に選び、通話料金を節約することができます。

1 市外へ電話やファクスをします。

4 受話器を戻すと回線が切れます。

ワイワイトークのときは[ワイワイトーク]ボタンを押します。

2 DDIが選ばれると -ALPHA5ランプが約5秒間点滅します。

3 回線が接続されている間、通話料金を確認できません。

10分35秒 250円

通話料金を表示させない設定にすることもできます。
(次ページ)
ファクス送信のときは、送信終了後に約5秒間料金が表示されます。



DDIの通話料とNTT東日本またはNTT西日本の通話料が同額の場合、-ALPHA5はDDIを選択します。
緑点灯していた -ALPHA5ランプが赤点灯に変わったときは、DDIカスタマサービスセンターにご連絡ください。
本機に間違った日付・時刻を登録したときや、登録した日付・時刻に誤差が生じた場合は、-ALPHA5が正しく働かないことがあります。正しい時刻を登録してください。また、月に一回程度は時刻を確認してください。

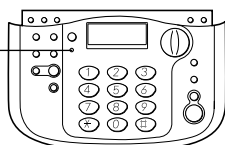
ブランチ接続している場合、本機から電話をかけたときのみ -ALPHA5機能が働きます。
NTT東日本またはNTT西日本や他電話会社の料金割引サービス等を利用する場合は、DDIカスタマサービスセンター(P.102)へご連絡ください。



-ALPHA5を一時的に働かせたくないとき...市外のNTT東日本またはNTT西日本の回線で市外電話をかけるときは、相手先の番号の前に「0000」をダイヤルしてください。なお、市内に電話をかけるときは必要ありません。

-ALPHA5ランプの見かた

-ALPHA5ランプ



- 赤点灯 -ALPHA5は利用できません。
 - ALPHA5の登録(電話番号の登録)がされていないとき
 - データが正常に入っていないとき
- 緑点灯 -ALPHA5を利用できます。
- 緑点滅 DDIを選択しました(約5秒間点滅します)。
- 消灯
 - オンライン通信中
 - ALPHA5登録から利用できるようになるまでの期間中
 - ALPHA5を利用しないに設定しているとき



料金表示を設定する

本機にておトクな市外回線を自動で選んで電話やファクスをしたとき、また国際電話(DDI)を利用したときの通話料金をディスプレイに表示させることができます。また、子機で通話したときの通話料金を親機のディスプレイに表示させることもできます。

お買い上げのとき、「料金表示をしない」に設定されています。ただし、ALPHA5が利用できるようになった時点で、自動的に「料金表示をする」に設定が変更されます。料金を表示したくない場合は以下の設定をしてください。

表示される通話料金は、おおよその目安です。各電話会社からの請求金額との差異等、表示内容に係わる異議が生じた場合、当社ではその責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

DDIの国際電話サービスについての詳細は、DDIカスタマサービスセンター(P.102)へご連絡ください。

1 ダストカバーを開け、機能^{機能}を押します。

9 電話帳登録セカ^{電話帳登録セカ}を押します。

設定しました

2 電話帳^{電話帳}の▼を6回押します。

アルファ設定
ハンズキャナ
プリント設定

10 ストップ^{ストップ}を押します。

3 電話帳登録セカ^{電話帳登録セカ}を押します。

電話・郵便番号
アルファ SW
料金表示

4 電話帳^{電話帳}の▼を2回押します。

電話・郵便番号
アルファ SW
料金表示

5 電話帳登録セカ^{電話帳登録セカ}を押します。

料金表示
x
カーソル

6 電話帳^{電話帳}の<または>を押してカーソルを移動します。

- x : 料金表示をする
- x : 料金表示をしない

「料金表示をしない」にしたときは手順9へ進んでください。
「料金表示をする」とした時点で、子機でかけた場合は子機に料金表示をします。子機の料金表示は通話終了後になります。

7 電話帳登録セカ^{電話帳登録セカ}を押します。
現在の設定が表示されます。

料金表示
親機
<>で選択

8 電話帳^{電話帳}の<または>を押して選択します。

親機 : 親機でかけたときのみ親機に料金表示をする
親機 + 子機 : 親機でかけたときも子機でかけたときも親機に料金表示をする

! 料金が50,000円以上になると、「*****円」と表示されます。
ISDN回線を利用している場合は、お使いのターミナルアダプタによっては料金表示できないことがあります。
料金表示をしているときにキャッチホンを受けた場合、はじめに話していた相手が電話を切っても料金表示はそのまま継続します。
子機の通話料金表示は通話終了後になります。

次のときは通話料金が表示されません

- 通常の加入者局番(市内、市外)以外への通話料金(以下は例)
- ・フリーダイヤル(0120)、携帯電話/PHS(090、070)、ダイヤルQ2(0990)、伝言ダイヤル、ナビダイヤル(0570)
 - ・117、104、110などの1から始まる3桁番号
 - ・かかってきた電話
 - ・-NEWS利用料
 - ・Talkin 'ダイヤル
 - ・E-メールセンタ -Eメール利用料
 - ・その他、エンジェルノート(0190)などの特殊電話サービス

ご使用の前に

設置

電話

話

ファクス/コピー

留守番

ハンズキャナ

ALPHA5

Eメール

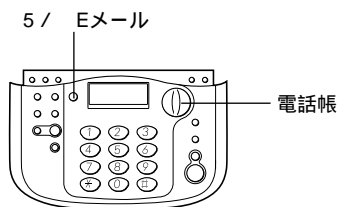
ナンバーディスプレイ

キャッチホン/ネット/ダイヤル

こんなときは

メニューを表示する

本機で利用できる -ALPHA5のサービスメニューを確認できます。



- 1 を押します。

1: Eメール
2: アルファニュース

- 2 の▼または▲を押してメニューを確認します。

3: アルファメール

メニューが表示される順番や内容は変わることがあります。

! 手順1で「アルファ機能使用不可」と表示されたときは、利用を再開する設定をしてください。
(P.105)

-NEWSの情報を利用する

便利で生活に役立つ情報をファクスや表示を使って知ることができます。

メニュー内容は予告なく変更される場合があります。
ご利用にはDDI通話料がかかります。(2000年2月現在)

- 1 を押します。

1: Eメール
2: アルファニュース

- 2 「アルファニュース」のメニュー番号を押します。

接続中

この例では 2 を押します。
しばらくの間DDIとの通信状態が表示されます(「接続中」など)。
ここから通話料がかかります。

アルファニュース
1. メニューイチラン

- 3 「メニューイチラン」のメニュー番号を押します。

1. トラベル
2. グルメ

この例では 1 を押します。
メニューが表示される順番や内容は変わることがあります。

- 4 の▲または▼を押してメニューを確認し、希望する項目のメニュー番号を押します。

- 5 ディスプレイ表示に従って操作します。
情報がファクスで送られてきたり、ディスプレイに表示されたりします。

情報をファクスで取り出すとき

手順4で選んだメニューの情報をファクスで取り出すときは次のメニューが表示され、ファクス受信後の本機の動作を選択することができます。

FAX 受信後
1. メインメニュー

() の または を押します)

2. 継続
0. 終了

- [1] を押すとファクス受信後、「アルファニュース」のメニューに戻ります。
- [2] を押すとファクス受信後、同じメニューを継続します。
- [0] を押すとファクス受信後、-NEWSを終了します。
DDIのご利用明細書には、「0077-3-XXXX (例: 0077-3-7788)」と記載されます。

? 途中で操作を中断するとき..[ストップ] ボタンを押します。
途中で操作を中断したとき...メニュー内容によっては通話料金がかかることがあります。


! -NEWSの情報がファクスで送られてくる場合、受信したファクスはメモリ受信となります。受信したファクスは -NEWSの利用が終わったあとにプリントされます。受信中は中断できません。

着信メロディを取り込む(えらんでメロディ)

-NEWSサービスから着信メロディを取り込みます。(えらんでメロディ)

取り込んだメロディは、「ベルの音色/メロディを変える」(P.59)「着信鳴り分けの設定」(P.134)で着信メロディとして使用することができます。

着信メロディの選択時に、「えらんでメロディで取り込んだ曲」が選択可能となり、これを選択すると、着信メロディとして利用できるようになります。

1  を押します。


1: Eメール
2: アルファニュース

2 「アルファニュース」のメニュー番号を押します。

接続中

この例では 2 を押します。しばらくの間DDIとの通信状態が表示されます(「接続中」など)。ここから通話料がかかります。

アルファニュース
1. メニューイチャラン

3  の▲または▼を押してメニューを確認します。

2. えらんでメロディ
0. 終了


メニューが表示される順番や内容は変わることがあります。

4 「えらんでメロディ」のメニュー番号を押します。

検索中
しばらくお待ち下さい

この例では 2 を押します。

えらんでメロディ
01. メロディ(1)

5  の▲または▼を押して検索し、取り込みたいメロディの番号(2桁)をダイヤルボタンで入力します。


検索中
しばらくお待ち下さい

メロディ再生中

メロディが再生され、再生が終了すると曲が登録されます。

えらんでメロディ
01. メロディ(1)

6 操作を終了するときはダイヤルボタンで [00] と入力します。

 曲の内容等は予告なく変更される場合があります。取り込める着信メロディは1曲です。新たに取り込みを行うと、新しい着信メロディが上書きされ、古い着信メロディは消去されます。ご利用にはDDI通話料がかかります。手順2以降は、約3分間何も操作しないと自動的に回線を切断し、待機状態に戻ります。

-MAILを送信する

トーン信号を送出できる電話機（一般電話、公衆電話、携帯電話、PHS）から本機へ、アルファベット、数字、カタカナによる文字メッセージを最大60文字まで送ることができます。この機能は「-Eメール（ P.113 ）とは異なります。

文字メッセージを送信すると、利用した時間に相当する通話料がかかります。
-MAILは回線状況によって正しく送受信できないことがあります。

-MAILはトーン信号が送受できる電話機（一般電話、公衆電話、携帯電話、PHS）から本機に送信できます。

1 本機へ電話をかけます。

2 本機応答後10秒以内に、トーン信号送出的状態で **[*] [] [*] []** を押します。

ダイヤル回線のときトーン信号に切り替えてください。（ P.38 ）
ファクス専用のダイヤルイン番号にかけた場合、または本機がファクス専用モードの場合、応答後20秒以内に、最初の信号音の後の本機が無音状態の時に操作します。
留守設定時、応答メッセージ再生中に、ファクス/電話自動切替が動いて回線が接続された時は、呼出音の音色が高くなった時に操作します。この時は最初の **[*]** 入力で、応答メッセージや呼出音が止ります。止まらない時はもう一度 **[*]** を押してください。

3 「ピポ」と聞こえたら、10秒以内にメッセージの入力を開始します。

右表を参考にしてメッセージを入力します。
1ケタ入力してから10秒以内に次の1ケタを入力しないと電話が切れます。

4 メッセージの入力が終わったら **[]** を2回押します。

この操作がメッセージ終了の合図になります。

5 「ピポ」と聞こえたら電話を切ります。

! 次の場合 -MAILを送信することはできません。
・本機がコピー等の動作中のとき

? 入力を間違えたとき.. **[*]** を2回押し、「ピポ」と聞こえた後入力を最初からやりなおします。

定型文リスト

コード番号	メッセージ
# 0 1	T E Lシテクダサイ
# 0 2	F A Xシテクダサイ
# 0 3	ケイタイニT E Lシテクダサイ
# 0 4	サキニイキマス
# 0 5	サキニイッテテクダサイ
# 0 6	スグニイキマス
# 0 7	オクレマス
# 0 8	アリガトウ!
# 0 9	チュウシニナリマシタ
# 1 0	リョウカイシマシタ

文字コードリスト

- ・表中の各文字の下にあるコード番号をダイヤルボタンで入力します。
（例「ユ」を入力するときは[8]、[3]と押す）
- ・表中の太枠で囲まれた文字を本機から送信しても、相手の電話機では表示されなかったり別の文字が表示されることがあります。

	1 ¹	2 ²	3 ³	4 ⁴	5 ⁵	6 ⁶	7 ⁷	8 ⁸	9 ⁹	0 ⁰
1	ア 11	イ 12	ウ 13	エ 14	オ 15	A 16	B 17	C 18	D 19	E 10
2	カ 21	キ 22	ク 23	ケ 24	コ 25	F 26	G 27	H 28	I 29	J 20
3	サ 31	シ 32	ス 33	セ 34	ソ 35	K 36	L 37	M 38	N 39	O 30
4	タ 41	チ 42	ツ 43	テ 44	ト 45	P 46	Q 47	R 48	S 49	T 40
5	ナ 51	ニ 52	ヌ 53	ネ 54	ノ 55	U 56	V 57	W 58	X 59	Y 50
6	ハ 61	ヒ 62	フ 63	ヘ 64	ホ 65	Z 66	? 67	! 68	— 69	/ 60
7	マ 71	ミ 72	ム 73	メ 74	モ 75	空白 76	& 77	空白 78	空白 79	空白 70
8	ヤ 81	(82	ユ 83) 84	ヨ 85	* 86	# 87	空白 88	空白 89	空白 80
9	ラ 91	リ 92	ル 93	レ 94	ロ 95	1 96	2 97	3 98	4 99	5 90
0	ワ 01	ヲ 02	ン 03	。 04	。 05	6 06	7 07	8 08	9 09	0 00

入力例

「アリガトウ! キクオ」と入力する場合
 [#][0][8][8][8][2][2][2][3][1][5]
 [#][0][8]: 定型文「アリガトウ!」
 [8][8]: 空白
 [2][2][2][3][1][5]: キクオ

受信した E-MAILを見る

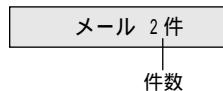
本機が受信した文字メッセージはメモリに記憶され、表示させたりプリントしたりできます。


-ALPHA5に対応した機種、PHS、公衆電話などトーン信号が出せる機器からのメッセージを受信できます。


文字メッセージは60文字×5件まで記憶されます。5件記憶されている状態では受信できませんので、確認後は消去してください。

表示する

-MAILを受信すると、次のように点滅表示されます。




- 1  を押します。

1: Eメール
2: アルファニュース
- 2  の▼または▲を押し てメニューを確認します。


3: アルファメール

メニューが表示される順番や内容は変わることがあります。
- 3 「アルファメール」のメ ニュー番号を押します。

1) 2/ 1 13:30 レラククダサイ

この例では 3 を押すと、メッ セージが表示されます。
メッセージがないときは「受信メールありません」と表示 され手順2の表示に戻ります。
- 4  の▼または▲を押 して、別のメッセージを 確認します。

2) 2/ 1 15:00 0123456 TELシテ


1件のメッセージを一度に表示できない場合は、続く行 のメッセージが表示されます。
- 5 待機状態に戻るときは  を押します。

プリントする

記憶されているメッセージを記録紙へプリントすることができます。

- 1 「表示する」の手順1～4 に従ってメッセージを表 示させます。

1) 2/ 1 13:30 レラククダサイ

- 2  を押します。


受信されたすべてのメッセージがプリントされます。
正常にプリントされたメッセージは自動的に消去されま す。

消去する

不要になったメッセージを消去することができます。


- 1 「表示する」の手順1～4 に従って消去したいメッ セージを表示させます。


1) 2/ 1 13:30 レラククダサイ

- 2  を押します。

表示されているメッセージが消 去されます。

消去しました
2秒後

1: Eメール
2: アルファニュース
- 3 待機状態に戻るときは  を押します。

 定型文 (P.110)を受信した場合、表示される文字 とプリントされる文字が若干異なる場合があります。

-DIALを利用する

DDIに登録すると、本機の電話帳とは別にDDIのテレホンサービス「Talkin 'ダイヤル」などや地域の公共施設の電話番号が自動的に登録されます(各最大10件ずつ)。登録された電話番号は、電話帳と同じように利用できます。




Talkin 'ダイヤル

- ・通話料だけで利用できるDDIのテレホンサービスです。音楽ダイヤル、占いダイヤルなどがあり、一部のダイヤルではファクスによる取り出しもできます。
- ・通話料は東京(03)までのDDI料金がかかります。
- ・このサービスは24時間利用できます。
- ・ダイヤル内容は予告なく変更、または終了する場合があります。




公共施設の電話番号

- ・アルファスタート(P.103)または自宅の電話番号を登録する(P.104)ときに、郵便番号の登録が必要です。
- ・登録された7桁の郵便番号に基づき、その地域の都道府県庁、水道局、電気の窓口などの公共施設の電話番号が自動登録されます。
- ・自動登録されるダイヤル内容は予告なく変更されることがあります。

Talkin 'ダイヤルを利用する

- 1  の▼または▲を押して「Talkin 'ダイヤル」を表示させます。
Talkin 'ダイヤル
で選択
- 2 ダストカバーを開け、 を押します。
- 3  の▼または▲を押して利用したいサービスを表示させます。
タロット占い
00771234567
で選択
表示される内容や順番は変わることがあります。
- 4 受話器を取ります。
ダイヤルが始まります。
タロット占い
00771234567
ダイヤル中
- 5 音声ガイドに従って操作します。
ダイヤル回線のととき※ * を押してトーン信号に切り替えます。
- 6 サービスが終了したら受話器を戻します。

「公共施設」にダイヤルする

- 1  の▼または▲を押して「公共施設」を表示させます。
公共施設
で選択
- 2 ダストカバーを開け、 を押します。
区役所
0000111122
で選択
- 3  の▼または▲を押して利用したい公共施設を表示させます。
保健所
0000111133
で選択
表示される内容や順番は変わることがあります。
- 4 受話器を取ります。
ダイヤルが始まります。
保健所
0387654321
ダイヤル中
- 5 話が終わったら受話器を戻します。



公共施設の電話番号が予告なく変更された場合、登録された電話番号をダイヤルしてもつながることがあります。DDIカスタマサービスセンター(P.102)へ連絡してください。

Talkin 'ダイヤルおよび公共施設のダイヤル内容をお客様が変更/消去することはできません。

Talkin 'ダイヤルおよび公共施設のダイヤル内容は子機へ電話帳転送することはできません。

-Eメール(アルファEメール)を利用すると、パソコンがなくても本機でインターネット上のパソコンなどとEメール(電子メール)の送受信ができます。

-Eメールには次のようなサービスが用意されています。
 メール送信...ダイヤルボタンで入力した文字をEメール送信することができます。また、手書きメッセージなどのファクス文書もEメールの添付ファイルとして送信することができます。
 メール受信...受信したEメールをディスプレイで確認したり、プリントすることができます。
 また、Eメールに添付されたファイルは、ファクス文書として受信することができます。
 本機1台(加入した1つの電話番号)につき、メールアドレスを3つまで所有することができます。(1つのメールアドレス毎に月額基本料がかかります。)

着信通知...センターに自分のアドレス宛のメールが届くと、センターから本機にメールで着信を知らせるサービスです。(無料)(P.127) サービス開始時は「着信通知: ON」に設定されています。
 メール自動受信...センターに自分のアドレス宛のメールが届くと、自動的にセンターから本機にメール本文・添付ファイルを送信するサービスです。(P.127)
 ユーザ設定機能...本機を使って、着信通知やメール自動受信の設定、ニックネーム(メールアドレス)の変更などを行うことができます。(P.127)

利用申し込みにあたって

-EメールはDDIが提供するサービスです。-Eメールをご利用いただくには、DDIへの-ALPHA5と-Eメールのお申し込みが必要です。
 -Eメールは-ALPHA5ランプが緑色に点灯しているときのみご利用できます。
 事前にDDIへの-ALPHA5のご利用お申し込みを行ってください。(P.102)
 -Eメールのご利用には、月額料・接続料がかかります(登録料は無料です)(2000年2月現在)
 詳しくは、DDIカスタマサービスセンターにお問い合わせいただくか、本機に添付の案内書をご覧ください。

利用料金の請求について

-Eメールサービスを申し込む申込者と、その電話番号ですでにDDI電話サービスを契約されているご契約者が異なる場合、当サービスにかかる料金はDDIご契約者に請求されます。
 -Eメールサービスのご利用料金はDDI電話サービスのご利用料金と合算して請求されます。
 ただし、お支払いの方法などにより合算請求とならない場合があります。
 毎月の料金計算の締め切り日は、DDI電話サービスと異なる場合があります。

お問い合わせ先



DDIカスタマサービスセンター【-Eメール係】

イイメールオクログ

フリーコール

電話番号: 0077-23-110096(無料)

受付時間: 9:00~21:00(土日祝も受付)

お客様サポートアドレス

e-mail: support@ae2.dion.ne.jp



次のようなときは、必ずDDIカスタマサービスセンターへご連絡ください。

- ・すでにDDI電話サービスをご利用の場合
- ・移転などによりご利用の電話番号が変更になる場合
- ・本機をダイヤルイン子番号に設置してご利用の場合

- ・本機を取り外したり機種変更する場合
- ・本サービスを解約する場合
- ・複数のメールアドレスを利用して、アドレスを一部変更/削除する場合

-Eメールご利用にあたって

-Eメールの契約はDDIの「総合オープン通信網サービス契約約款」によります。なお、約款の内容は予告なく変更することがあります。

当サービスはDDIと-ALPHA5契約している電話番号でのみご利用可能となります。

-Eメールサービス(メールの送受信等)をご利用中は、本機から電話をかけたりすることはできません。
 移転などにより-ALPHA5に登録している電話番号が変更になる場合、DDIでのデータ変更などの処理が必要とな

ります。そのままでは-Eメールのご利用はできなくなりますので、必ずDDIカスタマサービスセンターへご連絡ください。

-ALPHA5の利用を一時中止すると-Eメールも利用できなくなります。ただし、-Eメールサービスの解約は別途DDIカスタマサービスセンターへのご連絡が必要です。
 ダイヤルインサービス、二重電話番号サービスをご利用の場合は、本機を主番号(契約者回線番号)にてご利用ください。

相手先のメールアドレスを指定して、漢字のメールまたは半角アルファベットのメールを送ることができます(接続料がかかります)。また、ファクス文書を添付ファイルとして同時に送信することができます。

1メール文書あたり漢字等の全角で約1000文字、半角アルファベットで約2000文字まで送信することができます。宛先および同報先は、合わせて10アドレスまで指定できます。

ファクス文書は最大10枚まで添付できます。あらかじめ原稿をセットしてください。(P.64) 添付ファイルがある場合は、以下の手順21の後にメールに添付して送信されます。

添付ファイルはTIFFイメージファイル(非圧縮タイプ)として送られます。このTIFFファイルはイメージビューアソフト等で表示することができます。

パソコン側でのTIFFファイルの表示方法についてはDDIカスタマサービスセンター【 -Eメール係 X P.113 】にお問い合わせください。

入力したメール文は、記録紙にプリントすることができます。

1 を押します。

1 : Eメール
2 : アルファニュース

2 の▲または▼を押して「 Eメール」を表示させます。

3 「 Eメール」のメニュー番号を押します。

1 : (アドレス)
2 : サインアップ

利用しているサービスの数によりメニュー番号が異なります。ここでは、[1]を押します。

1 : (アドレス)の部分には、ユーザ登録されているメールアドレスが表示されます。

4 メールを送るメールアドレスの番号を押します。

1 : Eメール通信
2 : 受信メール検索
3 : 登録

ユーザ登録されている番号を押してください。

5 を押します。

1 : 送信
2 : 受信
3 : ユーザ設定

6 を押します。

漢字モード?
1 : YES
2 : NO

7 送るメールの文字種を選びます。

宛先 (To:)?

漢字のメールを送る場合は[1]を、アルファベットのメールを送る場合は[2]を押します。

8 宛先のメールアドレスを入力します。

文字入力の方法は、P.117を参照してください。アドレス帳を使って宛先を選択することもできます。[または]を押して、アドレスを入力します。

9 を押します。

(To:) 01
CCCCC@abc.

10 複数の宛先に送るときは手順8に戻り、2件目以降の宛先を入力します。

11 を押します。

同報宛先 (Cc:)?

12 同報先のメールアドレスを入力します。

同報先を指定しない場合は [電話帳登録/セット] ボタンを押します。(手順15へ進みます。)

アドレス帳を使って同報先を選択することもできます。[または] を押して、アドレスを入力します。

13 を押します。

(Cc:) 02
dddd@abc.

14 複数の同報先に送るときは手順12に戻り、2件目以降の同報先を入力します。

15 を押します。

題名(Subject)?

16 メールの題名を入力します。

文字入力の方法は、P.117、P.118を参照してください。漢字モードの場合は10文字まで、アルファベットの場合は20文字まで入力できます。

題名を入力しない場合は、[電話帳登録/セット] ボタンを押します。(手順17へ進みます。)

17 を押します。

本文を入力して下さい

18 メールの本文を入力します。

文字入力の方法は、P.117、P.118を参照してください。自由定型文(P.124)を登録してある場合は、本文の前に登録した定型文が挿入されます。(漢字モードのみ)本文を入力しない場合は、[電話帳登録/セット] ボタンを押します。(手順19へ進みます。)

19 を押します。

プリントしますか?
1 : YES
2 : NO

20 入力したメールを確認したい場合は、 を押します。

1 : 送信開始
2 : 修正
3 : 送信キャンセル

入力したメールの本文がプリントされます。プリントの必要がない場合は[2]を押します。子機で通話中のときは、通話を終了してから[1]を押します。

21 を押してメールを送信します。

宛先、本文などを修正したい場合は[2]を押してください。(詳細はP.116を参照してください。)
送信をキャンセルする場合は、[3]を押します。センターに接続できなかった場合は、1分間隔で5回まで再発呼します。送信できなかった場合は、Eメール不達レポートをプリントします。(P.118)

送信する -Eメールを修正する

送信する前に、「宛先 (To:、Cc:)」、「題名 (Subject:)」、「本文」を修正することができます。

「宛先 (To:、Cc:)」を追加することもできます。(宛先および同報先は、合わせて10アドレスまで指定できます。)

1 「 -Eメールを送信する」 (To:) 01 CCCCC@abc. (P.115)の手順21で、 を押します。

2 宛先 (To:)を修正するときは、 の<または>を押して修正したい宛先を選択し、 を押します。
宛先を修正する必要がないときは、手順5へ進みます。
宛先を追加したいときは、[保留 / クリア] ボタンを押さずに手順3へ進みます。
1つしか入力していない宛先を修正するときは、[保留 / クリア] ボタンだけを押し、表示されている宛先が削除されます。

3 新しい宛先を入力します。
文字入力の方法は、P.117を参照してください。
アドレス帳を使って宛先を選択することもできます。

4 を押します。
宛先を追加したいときは、手順3に戻り追加したいアドレスを入力します。

5 を押します。 同報宛先 (Cc:) ?

6 を押します。 (Cc:) 02 d d d d d @ a b c .
同報先を追加したいときは、手順8へ進みます。

7 同報先 (Cc:)を修正するときは、 の<または>を押して修正したい同報先を選択し、 を押します。
同報先を修正する必要がないときは、手順10へ進みます。

8 新しい同報先を入力します。
文字入力の方法は、P.117を参照してください。
アドレス帳を使って同報先を選択することもできます。

9 を押します。
同報先を追加したいときは、手順8に戻り追加したいアドレスを入力します。

10 を押します。 題名(Subject:)?

11 を押します。 パーティーのお知らせ > かな

12 題名を修正するときは、 の<または>を押して修正したい文字にカーソルを移動し、 を押します。
題名を修正する必要がないときは、手順14へ進みます。

13 修正する文字を入力します。
文字入力の方法は、P.117、P.118を参照してください。
他の文字も修正するときは、手順12～13を繰り返します。

14 を押します。 本文を入力して下さい

15 を押します。 明日の打合わせ > かな

16 本文を修正するときは、 の<または>を押して修正したい文字にカーソルを移動し、 を押します。
本文を修正する必要がないときは、手順18へ進みます。

17 修正する文字を入力します。
文字入力の方法は、P.117、P.118を参照してください。
他の文字も修正するときは、手順16～17を繰り返します。

18 を押します。 プリントしますか? 1: YES 2: NO

19 修正したメールを確認したい場合は、 を押します。
修正した本文がプリントされます。
プリントの必要がない場合は [2] を押します。

20 を押して修正したメールを送信します。 接続中
再度修正したいときは、[2] を押して手順2から繰り返します。
送信をキャンセルする場合は、[3] を押します。

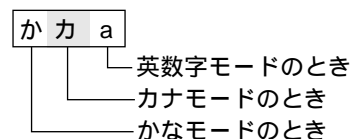
-Eメールの文字入力のしかた

-Eメール使用時の文字入力では、入力項目によって文字入力表が異なります。
各項目の文字入力表に従って操作してください。

-Eメールアドレス(英数字)および全角文字の題名、本文、自由定型文文字入力表
[カナ/英]ボタン(電話帳の)を押すごとに入力モードが「かな」、「カナ」、「英数字」に切り替わります。
本文入力時は[#]を押すと改行できます。

ダイヤルボタン 押す回数	1あ @...	2か ABC	3さ DEF	4た GHI	5な JKL	6は MNO	7ま PQR	8や TUV	9ら WXYZ	0わ 記号	*...
1回	あア1	かカa	さサd	たタg	なナj	はハm	まマp	やヤt	らラw	わワO	° °
2回	いイ@	きキb	しシe	ちチh	にニk	ひヒn	みミq	ゆユu	りリx	をヲ1° °	
3回	うウ.	くクc	すスf	つツi	ぬヌl	ふフo	むムr	よヨv	るルy	んン(
4回	えエ,	けケA	せセD	てテG	ねネJ	へへM	めメs	やヤT	れレz	。 。)	
5回	おオ_	こコB	そソE	とトH	のノK	ほホN	もモP	ゆユU	ろロW	、 、 *	
6回	ぁア-	C	F	っツI	L	O	Q	ょヨV	X	- - #	
7回	いイ&	2	3	4	5	6	R	8	Y	((;	
8回	うウ^						S		Z)) :	
9回	えエ\$						7		9	? ? /	
10回	おオ%									! ! ?	
11回										「 「 !	
12回										」 」 ¥	
13回										+	
14回										=	
15回											
16回										[
17回]	
18回										"	
19回										'	
20回										<	
21回										>	
22回										{	
23回										}	

注 アドレス入力時、実際のデータは半角で入力されますが、表示は全角になります。



入力例

漢字変換のしかたはP.33を参照してください。

入力例：チケット予約

[カナ/英]▲を押して[カナ]モードに切り替え、[4]を2回押します。	チ > カナ	[8]を押します。	チケット >よ かな
[2]を4回押します。	チケ > カナ	[2]を3回押します。	チケット >よ かな
[4]を6回押して[電話帳]OKを押します。	チケッ > カナ	[変換]▼を押します。	チケット >予約 かな 1/ 1
[4]を5回押します。	チケット > カナ	[電話帳登録/セット]ボタンを押します。	チケット予約 > かな
[カナ/英]▲を2回押して[かな]モードに切り替え、[8]を3回押して[電話帳]OKを押します。	チケット >よ かな		

-Eメールを送信する

半角文字の題名、本文文字入力表

本文入力時は [#] を押すと改行できます。

ダイヤル ボタン 押す回数	1 <small>あ @_</small>	2 <small>か ABC</small>	3 <small>さ DEF</small>	4 <small>た GHI</small>	5 <small>な JKL</small>	6 <small>は MNO</small>	7 <small>ま PQR S</small>	8 <small>や TUV</small>	9 <small>ら WXY Z</small>	0 <small>わ 記号</small>
1回	1	a	d	g	j	m	p	t	w	0 /
2回	@	b	e	h	k	n	q	u	x	'
3回	.	c	f	i	l	o	r	v	y	(
4回	,	A	D	G	J	M	s	T	z)
5回	_	B	E	H	K	N	P	U	W	*
6回	-	C	F	I	L	O	Q	V	X	#
7回	&	2	3	4	5	6	R	8	Y	;
8回	^						S		Z	:
9回							7		9	/
10回										?
11回										!

-Eメールが送信できなかったとき

-Eメール送信時には、1分間隔で5回までセンターへの接続を試みます。それでも送信できなかった場合は、次のような「Eメール不達レポート」がプリントされます。

Eメール不達レポートの例

Eメール不達レポート	
2000年 2月 1日 13時43分 NEC	
文書作成日時	題名
2月 1日 13時35分	パーティーのお知らせ

相手から届いたEメールは、センターのお客様のメールボックスに保存されています。
本機からセンターに接続して、このメールを本機に受信することができます。

受信したメールは、30件以内(3アドレス合計)で本機のメモリに蓄積可能な容量まで保存しておくことができます。メモリ代行受信(P.72)した文書や留守設定時に録音された用件が残っていると、蓄積できる件数は少なくなります。受信したメールは、次ページの手順でディスプレイに表示したり、記録紙にプリントすることができます。「着信通知」や「メール自動受信」など、「ユーザ設定」による便利な機能があります。(P.127)
メール自動受信(接続料がかかります)を利用すると、自動的にセンターから自分宛のメールを本機に送信してもら

ことができます。(P.127)
メールにファイルが添付されていたときは、メールセンターからメールを受信したときに自動的にその添付ファイルをメモリ受信し、全メール受信後にプリントされます(プリントされた添付ファイルはメモリ内に残りません)。添付ファイルを自動的に受信しないようにすることもできます。(P.124)
複数のメールアドレスが登録してある場合、ディスプレイに表示されるEメール件数は、全てのメールアドレス宛のメールの全件数を示します。

-Eメールを受信する

センターから着信通知(P.127)があるとき右のような表示になります。
センターにメールが届いていますので次の操作でメールを受信してください。

1 を押します。
 1 : Eメール
 2 : アルファニュース

2 の▼または▲を押して「Eメール」を表示させます。

3 「Eメール」のメニュー番号を押します。
 1 : (アドレス)
 2 : サインアップ
 利用しているサービスの数によりメニュー番号が異なります。
 ここでは、[1]を押します。
 「着信通知」(P.127)を利用している場合は、着信通知が届いているメールアドレスの右側に が表示されます。

4 メールを受信するメールアドレスの番号を押します。
 1 : Eメール通信
 2 : 受信メール検索
 3 : 登録
 ご自分がお使いになっているアドレスの番号を押してください。

5 を押します。
 1 : 送信
 2 : 受信
 3 : ユーザ設定

6 を押します。
 センターに接続します。
 メールの着信があると、そのメールを受信します。
 受信したメールに添付文書があると、記録紙にプリントされます。

センターに受信したメールは、30日を過ぎると本機に受信しなくても自動的に消去されます。センターに接続した際に受信メールがなかった場合も、センターまでの接続料がかかります。センターのメールボックスの容量が一杯になると、新規のメールを受信できないことがあります。なるべくこまめにセンターから本機へメールを受信してください。
留守設定時に録音された用件や、受信したEメールが残っているなどで、本機のメモリが不足している場合や、メールの容量が本機のメモリに蓄積可能な容量を越える場合、正常に受信できないことがあります。
添付ファイルのファイル形式によっては、記録紙にプリントできないことがあります。その場合、記録紙にはプリントできない旨のメッセージがプリントされます。
送信相手の状況(海外からのメール等)によっては正確に表示できない場合があります。

添付ファイルについて

Eメールで添付ファイルとして受信できるファイルの形式は、下記の通りです。ただし、ファイルのデータサイズやメールボックスの空き容量により受信できない場合もあります。

- ・ビットマップイメージファイル(*.bmp)
- ・JPEGイメージファイル(*.jpgまたは*.jpeg)
- ・TIFFイメージファイル(*.tifまたは*.tiff) 非圧縮タイプに限ります。LZW圧縮タイプは利用できません。
- ・MS-WORD文書ファイル(*.doc) 「Microsoft® Word for Windows® 98」で読込/印刷可能なものに限ります。
- ・MS-EXCELワークシートファイル(*.xls) 「Microsoft® Excel for Windows® 97」で読込/印刷可能なものに限ります。
- ・PDFファイル(*.pdf) 「Adobe® Acrobat® Reader3.0J」で読込/印刷可能なものに限ります。

上記のファイル形式以外の添付ファイルは受信できません。


テキスト形式(*.txt)のファイルも添付ファイルとして利用できますが、この場合、添付ファイル内の文字もメール本文として受信します。
左記のファイル形式の添付ファイルであっても、回線の状態などによっては受信できない場合があります。
添付ファイルがA4サイズより大きな用紙サイズで作成されている場合、印刷イメージが異なってプリントされることがあります。
添付ファイルを受信の際は、センターにて送信側の添付ファイルをFAX用データに変換するため、解像度が落ちる場合があります。そのため、細かい線等が抜けてしまったり、絵や文字が薄く見える場合があります。


* Microsoft®, Windows®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
* Adobe®, Acrobat®は、Adobe System Incorporated(アドビ システムズ社)の登録商標または商標です。

受信した Eメールを見る / プリントする / 消去する

本機に保存されたメールを検索し、メールをプリントしたり不要になったメールを消去します。


メモリがいっぱいになると次のメールが受信できなくなります。内容を確認したメールは、なるべく消去するようにしてください。


1  を押します。
1 : Eメール
2 : アルファニュース


2  の▼または▲を押して「Eメール」を表示させます。


3 「Eメール」のメニュー番号を押します。
1 : (アドレス)
2 : サインアップ
利用しているサービスの数によりメニュー番号が異なります。
ここでは、[1] を押します。


4 メールを検索するメールアドレスの番号を押します。
1 : Eメール通信
2 : 受信メール検索
3 : 登録

5  を押します。
1 : 検索
0 : 全メール消去

6  を押します。
メモリ内に保存されている受信メールの、「受信日」、「発信元アドレス」、「題名」が表示されます。
[] を押すと、次のメールが表示されます。
未読メールは、右上に「」が表示されます。
検索を終了するときは、[ストップ] ボタンを押してください。

7  の▼または▲を押して見たいメールのタイトルを表示させます。


 受信メールがないときは、手順5のあとで「受信メールありません」と表示されます。
一部の半角記号(<、>、\$、%、¥、”、+、=、[、] 等)は全角で表示されます。
半角カタカナの小文字(ア、ユ、ツなど)は、大文字(ア、ユ、ツなど)で表示されます。
特殊文字などの表示できない文字は、スペースの表示となります。

8  を押すと、メールの本文をディスプレイで見ることができます。

「」または「」を押して、表示をスクロールさせることができます。
メール本文はディスプレイの1行目と2行目に表示されます。3行目に表示される や は、それぞれ下、上に本文の続きがあることを示します。本文の最終行が表示されている場合、3行目には「(END)」と表示されます。
メール本文はディスプレイの行数で2000行まで表示できます。2000行を越える長いメールや重要なメールなどはプリントしてご確認ください。
別のメールを確認するときは、[ストップ] ボタンを押してください。手順5の表示に戻ります。


メールをプリントする


手順7、手順8により、プリントしたいメールを表示させます。


9  を押します。
Eメールプリント中
メールの内容が記録紙にプリントされます。
プリント終了後、手順5の表示に戻ります。

メールを消去する

手順7、手順8により、消去したいメールを表示させます。

9  を押します。
1 : 返信
2 : 消去
3 : カンタン登録

10  を押します。
消去しました
選択したメールが消去されます。
消去終了後、手順5の表示に戻ります。

 全てのメールを消去したいとき...手順6で[0] を押します。「消去しました」と表示され、そのアドレス宛の全てのメールが消去されます。

Eメールを送ってきた相手に対して、返信のメールを送ります。メモリ内に保存されたメールを検索して返信することができます。

1 メールを検索して、返信したいメールを表示させます。

前ページの手順1から8の操作をします。

2 を押します。

1: 返信
2: 消去
3: カンタン登録

3 を押します。

漢字モード?
1: YES
2: NO

4 送るメールの文字種を選びます。

(To:) 01
b b b b b @ a a a .

漢字のメールを送る場合は [1] を、アルファベットのメールを送る場合は [2] を押します。相手先のメールアドレスが表示されます。

5 「 -Eメールを送信する (P.115) の手順 10以降と同じ操作手順でメールを送信します。



返信時に引用されるのは発信元アドレスのみです。題名、本文の引用は行いません。受信したメールの相手のアドレスを登録する場合、相手のアドレスに、本機で入力できない文字が含まれていると、「アドレスが取り出せません」と表示され、登録できません。

頻繁にEメールを送る相手先をアドレス帳に登録すると、電話帳と同様に、メール送信時に簡単に相手を指定することができます。

アドレス帳には、最大20アドレスまで登録することができます。
アドレス帳は3アドレス(ユーザ)に共通です。

相手先の名前も登録できますので、メール送信時に相手名でメールアドレスを指定できます。
受信したメールから、その相手のアドレスを簡単に登録することができます。

自分で入力して登録する

- 1 を押します。

1: Eメール
2: アルファニュース
- 2 の▼または▲を押して「Eメール」を表示させます。
- 3 「Eメール」のメニュー番号を押します。

1:(アドレス)
2: サインアップ

利用しているサービスの数によりメニュー番号が異なります。ここでは、[1]を押します。
- 4 自分のメールアドレスの番号を押します。

1: Eメール通信
2: 受信メール検索
3: 登録
- 5 を押します。

1: アドレス帳
2: 自由定型文
3: 添付ファクス受信
- 6 を押します。

1: 登録
2: 編集
3: 登録リスト出力
- 7 を押します。

名前?
>
かな
- 8 登録する相手の名前を入力します。
文字入力の方法は、P.33を参照してください。
- 9 ダストカバーを開け、 を押します。

アドレス?
-

- 10 登録する相手のメールアドレスを入力します。
文字入力の方法は、P.117を参照してください。

- 11 を押します。

登録しました

「登録しました」と表示され、手順7の表示に戻ります。
続けてアドレスを登録する場合は、手順8から11を繰り返します。

名前?
>
かな

- 12 登録を終了するときには を押します。

受信したメールの相手のアドレスを登録する(カンタン登録)

- 1 メールを検索して、登録したい相手からのメールを表示させます。
P.120の手順1から8の操作をします。
- 2 を押します。

1: 返信
2: 消去
3: カンタン登録
- 3 を押します。

登録しました

そのメールを送ってきた相手のアドレスがアドレス帳に登録されます。
約2秒後に手順2の表示に戻ります。
- 4 登録を終了するときには を押します。

!すでに同じアドレスが登録済みの場合は「既に登録済みです」と表示され、登録できません。
すでにアドレス帳に20件登録されている場合は、「全て登録済みです」と表示され、登録できません。

受信したメールの相手のアドレスを登録する場合、名前の登録はできません。次ページの手順で修正を行ってください。
受信したメールの相手のアドレスを登録する場合、相手のアドレスに、本機で入力できない文字が含まれていると、「アドレスが取り出せません」と表示され、登録できません。

登録を編集(消去/変更)する

1 「自分で入力して登録する」の手順1から6を操作します。

- 1: 登録
- 2: 編集
- 3: 登録リスト出力

7 を押します。

アドレス?
aaaaa@nec.

2 を押します。
何も登録されていないときは「未登録です」と表示されます。

日本電気
aaaaa@nec.

8 アドレスを変更します。
変更しない場合は、手順9へ進みます。

9 を押します。
「変更しました」と表示され、手順1に戻ります。

変更しました

3 の▼または▲を押して編集したいアドレス登録を表示させます。

10 編集を終了するときは を押します。

4 ダストカバーを開け、
 を押します。

- 1: 消去
- 2: 変更

登録リストをプリントする

5 消去する場合は を、変更する場合は を押します。

[1] を押した場合は、「消去しました」と表示され、手順1に戻ります。
[2] を押した場合は、ディスプレイに登録名とカーソルが表示されます。

日本電気
>
かな

1 「自分で入力して登録する」の手順1から6を操作します。

- 1: 登録
- 2: 編集
- 3: 登録リスト出力

2 を押します。

2月1日(火)12:00
Eメール 2件 用件 0件
レポートプリント中

6 登録名を変更します。
変更しない場合は、手順7へ進みます。

登録リストのプリント例

Eメール登録リスト		
2000年 2月 1日 19時59分		
NEC		
相手先	アドレス	
伊藤	ito@abc2.defg.co.jp	
加藤	kato@abc3.defg.co.jp	
田中	tanaka@abc4.defg.co.jp	
~~~~~		
~~~~~		
ユーザ名	自由定型文	添付ファクス受信
0312345678aaa@ae2.dion.ne.jp	お世話になります。	する
hiroshi@ae2.dion.ne.jp	ごきげんいかがですか?	しない
takako@ae2.dion.ne.jp	お返事ください。	する

登録リストは3アドレス(ユーザ)共通になります。

本リストには各アドレス(ユーザ)の自由定型文と添付ファイル設定もプリントされます。

自由定型文を登録しておく、メールの本文入力時に自動的に先頭に挿入されます(漢字モード時のみ)。また、メールにファイルが添付されているとき、添付ファイルを自動受信しないように設定することができます。

自由定型文を登録する

自由定型文は、漢字で20文字まで登録できます。ご自分のメールアドレス、住所、電話番号などを登録しておく、毎回入力する手間がはげます。

- 1 を押します。

1: Eメール
2: アルファニュース
- 2 の▼または▲を押して「Eメール」を表示させます。
- 3 「Eメール」のメニュー番号を押します。

1:(アドレス名)
2: サインアップ

利用しているサービスの数によりメニュー番号が異なります。ここでは、[1]を押します。
- 4 自分のメールアドレスの番号を押します。

1: Eメール通信
2: 受信メール検索
3: 登録

ユーザ登録されている番号を押してください。
- 5 を押します。

1: アドレス帳
2: 自由定型文
3: 添付ファクス受信
- 6 を押します。

>
かな

文字入力表示になります。
- 7 定型文を入力します。

文字入力の方法は、P.117、P.118を参照してください。
- 8 ダストカバーを開け、 を押します。

登録しました

1: アドレス帳
2: 自由定型文
3: 添付ファクス受信
- 9 登録を終了するときは を押します。

添付ファイル自動受信を設定する

お買い上げのとき、「添付ファイル自動受信をする」に設定されています。

- 1 を押します。

1: Eメール
2: アルファニュース
- 2 の▼または▲を押して「Eメール」を表示させます。
- 3 「Eメール」のメニュー番号を押します。

1:(アドレス名)
2: サインアップ

利用しているサービスの数によりメニュー番号が異なります。ここでは、[1]を押します。
- 4 自分のメールアドレスの番号を押します。

1: Eメール通信
2: 受信メール検索
3: 登録

ユーザ登録されている番号を押してください。
- 5 を押します。

1: アドレス帳
2: 自由定型文
3: 添付ファクス受信
- 6 を押します。

添付ファクス受信
— x
- 7 の<または>を押して選びます。
 - x: 添付ファイル自動受信をする
 - x: 添付ファイル受信をしない

「x」を指定すると、添付ファイルを見ることはできません。この場合、センターからメールを受信した際に添付ファイルは削除されます。
- 8 ダストカバーを開け、 を押します。

設定しました

1: アドレス帳
2: 自由定型文
3: 添付ファクス受信
- 9 操作を終了するときは を押します。



メールアドレスを変更する

オンラインで、Eメール申し込み時にDDIから提供されたメールアドレス(電話番号アドレス)をお客様が指定するメールアドレス(ニックネームアドレス)に変更します。

メールアドレス変更は、電話番号アドレスからニックネームアドレスへ1回だけ変更することができます。変更したニックネームアドレスを再度変更することはできません。

既に他のお客様が設定しているニックネームアドレスは登録できません。ディスプレイの表示に従って、再度別のアドレスを登録してください。

1 を押します。

1 : Eメール
2 : アルファニュース

2 の▼または▲を押して「Eメール」を表示させます。

3 「Eメール」のメニュー番号を押します。
利用しているサービスの数によりメニュー番号が異なります。ここでは、[1]を押します。

1 : (アドレス)
2 : サインアップ

4 を押します。

1 : Eメール通信
2 : 受信メール検索
3 : 登録

5 を押します。

1 : 送信
2 : 受信
3 : ユーザ設定

6 を押します。

接続中

7 ディスプレイの表示にしたがって、ユーザー名を変更します。

パスワードは、お買い上げのときには「0000」に設定されています。このパスワードは「ユーザ設定」により変更することができます。(P.127)
文字、数字を入力する際には、次ページの文字入力表にしたがってダイヤルボタンを押してください。
ニックネームアドレスは、アルファベット小文字(数字を含む)で4~15文字としてください。
記号は「_(アンダーバー)」または「-(ハイフン)」のみ、合計2回まで使用できます。
ニックネームアドレスの1文字目は必ずアルファベット(小文字)としてください。
入力を確定するときは「電話帳登録/セット」ボタンを押します。



この操作にはDDIのセンターまでの接続料がかかります。
アドレスの追加登録はP.126を参照してください。
アドレスの変更とは操作が異なります。

次のようなときは、必ずDDIカスタマサービスセンターへご連絡ください。
・本サービスを解約する場合
・複数のメールアドレスを利用して、アドレスを一部変更/削除する場合

ご使用の前に

設

置

電

話

ファクス/コピー

留守番

ハンズキャナ

ALPHAS

Eメール

ナンバーディスプレイ

キャッチホン/ネット/ダイヤルイン

こんなときは



メールアドレスを追加登録する(サインアップ)

本機からセンターに接続(オンラインといいます)して、追加メールアドレスを登録します。(サインアップといいます。接続料は無料です。)

-Eメールのメールアドレスは、本機1台(DDIに登録した1つの電話番号)で3つまで登録できます。

追加メールアドレスは、サインアップ時に自由なニックネームアドレスを指定することができます。ただし、指定できるのはメールアドレスの「ユーザ名」です。「ドメイン名」はセンターから提供されます。(P.114)

サインアップで追加し登録したメールアドレスは、即時に使用可能となります。

1 を押します。

1: Eメール
2: アルファニュース

2 の▼または▲を押して「Eメール」を表示させます。

3 「Eメール」のメニュー番号を押します。

1:(アドレス)
2:サインアップ

利用しているサービスの数によりメニュー番号が異なります。ここでは、[1]を押します。サインアップが可能なユーザに対して「サインアップ」と表示されます。

4 を押します。

アドレスが表示されていない番号を押します。

サインアップ
1:する
2:しない

5 を押します。

接続中

6 ディスプレイの表示にしたがって、サインアップを行います。

文字、数字を入力する際には、右の文字入力表にしたがってダイヤルボタンを押してください。

ニックネームアドレスは、アルファベット小文字(数字を含む)で4~15文字としてください。

記号は「_(アンダーバー)」または「-(ハイフン)」のみ、合計2回まで使用できます。

ニックネームアドレスの1文字目は必ずアルファベット(小文字)としてください。

入力を確定するとき[電話帳登録/セット]ボタンを押します。

文字入力表

ダイヤルボタン 押す回数	1 <small>あ</small>	2 <small>か</small>	3 <small>さ</small>	4 <small>た</small>	5 <small>な</small>	6 <small>は</small>	7 <small>ま</small>	8 <small>や</small>	9 <small>ら</small>	0 <small>わ</small>	* <small>ろ</small>
1回	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	°
2回	ア	a	d	g	j	m	p	t	w	ワ	°
3回	イ	b	e	h	k	n	q	u	x	ヲ	
4回	ウ	c	f	i	l	o	r	v	y	ン	
5回	エ	A	D	G	J	M	s	T	z	空白	
6回	オ	B	E	H	K	N	P	U	W	(
7回	@	C	F	I	L	O	Q	V	X)	
8回	.	カ	サ	タ	ナ	ハ	R	ヤ	Y	*	
9回	,	キ	シ	チ	ニ	ヒ	S	ユ	Z	#	
10回	_	ク	ス	ツ	ヌ	フ	マ	ヨ	ラ	;	
11回		ケ	セ	テ	ネ	ヘ	ミ		リ	:	
12回	&	コ	ソ	ト	ノ	ホ	ム		ル	/	
13回	^						メ		レ	?	
14回							モ		ロ	!	



メールアドレスを追加登録すると、メールアドレスごとに月額基本料がかかります。メールアドレスが追加されると開通メールがEメールで届きます。他のお客様が既に設定しているニックネームアドレスはご登録いただけません。ディスプレイの表示に従って、再度別のアドレスを登録してください。サインアップによってニックネームアドレスを取得した場合、ユーザ設定(P.127)によるアドレスの変更はできません。

本機からセンターに接続して、-Eメールの各種機能を設定することができます。
(「ユーザ設定」といいます。)

ユーザ設定では、以下のサービスおよび機能を設定できます。

- ・着信通知
センターのお客様のメールボックスにメールが残っていない状態で、新たにセンターにメールを着信した場合、その旨をお知らせするサービスです(無料)。-Eメールサービス開始時には「ON」に設定されています。
- ・メール自動受信
センターに着信したメールを、本機が自動的に受信するサービスです。
- ・着信拒否時間設定
「着信通知」または「メール自動受信」をご利用の場合、センターからの通知を拒否する時間帯を設定します。夜間などの特定の時間帯にはメールの着信通知や自動受信を受けない場合に設定してください。
「着信拒否時間」で設定した時間内にセンターに着信したメールは、次のメール着信時に着信通知または自動受信されます。
- ・拒否メールアドレス
受信したくない相手のメールアドレスを最大10件まで登録することができます。
相手のメールアドレス(例えば、funky-yamamoto@ae2.dion.ne.jp)を設定すると、そのメールアドレスからの着信を拒否します。

「*」とドメイン名(例えば*@ae2.dion.ne.jp)を設定すると、そのドメイン名が付いた全てのメールアドレスからの着信を拒否します。

なお、着信拒否した相手には、受信できない旨のメールをセンターから自動的に返信します。

- ・メール転送
お客様のメールボックスに着信したメールの転送先メールアドレスを1箇所設定することができます。
- ・メールアドレス変更
本機に登録されている電話番号アドレスをニックネームアドレスに変更します。(P.125)
- ・パスワード変更
4桁の数字のパスワードの設定変更を行います。
- ・現在の設定確認
現在設定されているユーザ設定の内容をディスプレイに一覧表示します。

着信通知を受ける際には本機の着信ベルが鳴ります。メール自動受信をする際には本機の着信ベルが鳴ります。以下の場合、正常に「着信通知」または「メール自動受信」を受けることができません。この場合、次のメール着信時に着信通知または自動受信されます。

- ・話し中などで本機が対応できなかった場合
「着信通知」と「メール自動受信」を同時に利用することはできません。

1 を押します。

1: Eメール
2: アルファニュース

2 の▼または▲を押して「Eメール」を表示させます。

3 「Eメール」のメニュー番号を押します。

1:(アドレス)
2: サインアップ

利用しているサービスの数によりメニュー番号が異なります。
ここでは、[1] を押します。

4 設定するメールアドレスの番号を押します。

1: Eメール通信
2: 受信メール検索
3: 登録

「ユーザ設定」で設定できる機能の内容は、予告なく追加・変更されることがあります。

5 を押します。

1: 送信
2: 受信
3: ユーザ設定

6 を押します。

接続中

7 ディスプレイの表示にしたがって設定を変更します。

パスワードは、お買い上げのときには「0000」に設定されています。このパスワードは「ユーザ設定」により変更することができます。
入力を確定するときは「電話帳登録/セット」ボタンを押します。

「ユーザ設定」には接続料がかかります。詳しくはDDIカスタマサービスセンター【-Eメール係】にお問い合わせください。

DDIカスタマサービスセンター【-Eメール係】
イイメールオクログ
電話番号: 0077-23-110096(無料)
受付時間: 9:00 ~ 21:00(土日祝も受付)

ナンバー・ディスプレイについて

NTT東日本またはNTT西日本とナンバー・ディスプレイを契約(有料)することによって、相手の電話番号を電話に出る前にディスプレイに表示させることができます。さらに本機では、かけてきた相手を電話帳に登録したり、かけてきた相手によって応答のしかたを変えたりといった使いかたができます。

NTT東日本またはNTT西日本との契約が必要です。(有料)
次の契約とは重複して契約できません。

転送でんわ(ボイスワープを除く)、ダイヤルQ2(情報提供側)、テレドーム(情報提供側)、ノーリング通信サービス(センター回線)

ナンバー・ディスプレイを契約しても次の場合は相手の電話番号は表示されません。

- ・ 国際通話
- ・ オペレーター扱いの通話(100番、106番)
- ・ 相手が番号非通知にしたとき
- ・ 相手が公衆電話からかけてきたとき
- ・ 電話回線の雑音などでデータを正常に受信できなかったとき
- ・ ISDN回線をご利用のとき...接続されているターミナルア

ダブタの機種によっては、ナンバー・ディスプレイを利用できないことがあります。ナンバー・ディスプレイ対応のアナログポートがあるターミナルアダプタなどを接続してください。

お買い上げのとき...ナンバー・ディスプレイは「利用する」に設定されています。「利用しない」に設定するとナンバー・ディスプレイを利用できません。設定方法についてはP.29をご覧ください。

お問い合わせ先

NTT東日本・NTT西日本
ナンバー・ディスプレイ カスタマーセンター



フリーダイヤル：0120-848521
受付時間：9:00～17:00(月曜～土曜)

ナンバー・ディスプレイでできること

ナンバー・ディスプレイを利用すると相手番号を表示する以外にも、次のようなことができます。

相手の名前も知りたい...電話帳に登録されている相手のときは、番号とともに相手の名前も表示します。

キャッチホンの相手も表示したい...キャッチホンとキャッチホン・ディスプレイ(有料)に加入し、キャッチホン・ディスプレイの設定(P.136)を「利用する」にすれば、通話中に入ったキャッチホンの相手の電話番号も表示します。

着信データを利用する...本機はかけてきた相手の番号(着信データ)を記憶しています。簡単な操作でその番号へ電話をかけることができます。(P.131)

相手によって親機と子機を鳴り分けたい...プライベートコールを設定します。電話帳に登録してある相手に限り親機や子機を個別に鳴らすことができます。(P.134)

相手によってベルの音を変えたい...着信鳴り分けを設定します。電話帳に登録してある相手に限りベルやメロディを鳴り分けることができます。(P.134)

おやすみ中も特定の人からのベルを鳴らしたい...とくていコールを「する」にします。電話帳に登録されている相手のときは、おやすみモードのときでもベルを鳴らします。設定により、公衆電話や圏外(サービス地域以外)からの電話でもベルを鳴らすことができます。(P.135)

非通知の相手からのときは出たくない...番号リクエストを「する」にします。相手が非通知のときはメッセージを流してから電話が切れます。(P.135)

特定の人には自作応答メッセージを流したい...応答メッセージ選択を「する」にします。電話帳に登録されている相手のときは自作応答メッセージを流し、登録されていない相手には固定応答メッセージを流します。(P.136)

特定の相手のときは出たくない...着信拒否を「する」にします。着信拒否に登録されている相手に限り、メッセージを流してから電話を切ります(P.137)。

キャッチホン・ディスプレイについて

通話中にキャッチホンが入ったら、かけてきた相手の電話番号を表示させることができます。

このサービスはナンバー・ディスプレイのオプションで、NTT東日本またはNTT西日本との契約が必要です。(有料)

このサービスを契約した場合、本機のナンバー・ディスプレイ設定メニューにある「キャッチホン」を「(利用する)」に設定する必要があります。(P.136)



「キャッチホン・ディスプレイ」は、NTT東日本またはNTT西日本のサービス開始後にご利用になれます。ただし、本機はNTT東日本またはNTT西日本発行の調査用資料「電話網における情報通信系サービスのインタフェース(1997年8月)」に準拠していますが、NTT東日本またはNTT西日本側でインタフェース方式が変更された場合にはご利用になれないことがあります。

ダイヤルインサービスを同時に使用する場合は、それまでのダイヤルインサービスをモデムダイヤルインサービスに変更する必要があります。上記の「ナンバー・ディスプレイ カスタマーセンター」または最寄りのNTT東日本またはNTT西日本の窓口にご相談ください。

ブランチ接続をしている場合は本機のナンバー・ディスプレイ機能を利用できません。

NTT東日本またはNTT西日本の「転送でんわ」を契約している方は、必ずナンバー・ディスプレイを「利用しない」に設定してください。「利用する」のままご利用になると本機はベルを鳴らさずに回線を切ってしまう。

ナンバー・ディスプレイ表示の見かた

ナンバー・ディスプレイを利用すると、電話に出る前に相手を確認できます。

1 電話やファクスがかかってきます。

2 相手の電話番号が表示されます。

0312345678

親機の表示

0312345678

子機の表示

・電話帳に登録してある相手からのときは相手の名前が表示されます。

日本電気
0312345678

親機の表示

ニッポンデンワ
0312345678

子機の表示

・相手が非通知のときは「非通知」(「ヒツウチ」)と表示されます。

非通知

親機の表示

ヒツウチ

子機の表示

・相手が公衆電話のときは「公衆電話」(「コウシュウデンワ」)と表示されます。

公衆電話

親機の表示

コウシュウデンワ

子機の表示

・一時的な電話回線の雑音などによりデータが正常に受信できなかったときや、ドアホン通話中に電話がかかってきたときは「受信エラー」(「ジュシンエラー」)と表示されます。

受信エラー

親機の表示

ジュシン エラー

子機の表示

・海外からの通信など、相手が圏外からかけてきたときは「表示圏外」(「ヒョウジケンガイ」)と表示されます。

表示圏外

親機の表示

ヒョウジケンガイ

子機の表示

! 同じ電話番号を親機、子機で各々異なる名前で登録した場合は、各々の登録した名前を表示します。

着信データをプリントする

親機に記憶された着信データは、記録紙にプリントできます。(P.155)

子機に記憶された着信データの内容は、プリントできません。

キャッチホン・ディスプレイをご利用のとき

通話中にキャッチホン(P.139)の着信があると、親機、子機ともにキャッチホンの相手の電話番号が約30秒間表示されます。

表示のしかたは、左のナンバー・ディスプレイ表示と同じです。

電話帳に登録してある相手の場合は、相手の名前が表示されます。

着信拒否リストに登録されている電話番号の場合でも、キャッチホン着信してその番号が表示されます。

番号リクエストの設定が「する」に設定されていても、非通知の相手もキャッチホン着信して「非通知」(子機は「ヒツウチ」)が表示されます。

プライベートコールに指定されている番号の場合も表示されます。



キャッチホンの相手の表示は、約30秒間表示されます。

キャッチホンに回答する前に相手が電話を切っても、約30秒間表示されます。

キャッチホンに回答したときは、その時点で通話時間表示に戻ります。応答しなくても約30秒経過したときは通話時間表示に戻ります。

キャッチホンが着信すると、キャッチホン着信音「ブルルル・プップ」の後に「ピポ」という音が聞こえ、相手の電話番号を受信する間(約1秒間)通話が途切れます。

子機で通話中の場合、親機から電話番号情報を転送する間「ザッ」というノイズが聞こえます。

次の場合、キャッチホンが着信しても相手の番号が表示されないことがあります。

- ・通話録音中または通話再生中
- ・親機を使用中(コピー中、登録操作中)
- ・大声で通話したとき
- ・周囲の雑音が大きいとき
- ・NTT東日本またはNTT西日本の交換機とお客様宅との距離が遠いとき

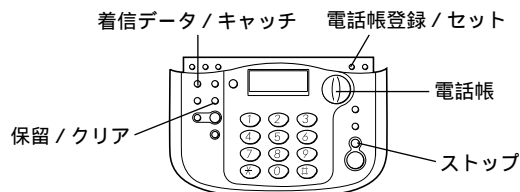
着信データを見る / 消す

電話にかかってきた日時と相手の情報は、親機と子機それぞれに着信データとして自動的に記憶されます。着信データは親機に20件、子機に10件まで記憶され、これらの件数を超えると古いものから消されていきます。待機状態であれば着信データを見たり消したりできます。

親機にかかってきた場合は、すべて着信データとして記憶されます。
子機にかかってきた場合は、電話番号等が表示されたとき

に、着信データとして記憶されます。(子機が電波の届かない場所に置かれていると、着信データは記憶されません。)

親機の着信データを見る / 消す



- 1** **着信データ/キャッチ** を押します。
着信した順番 (新しい順) 着信した日時
最新の着信データが表示されます。
着信データがないときは「データはありません」と表示されます。

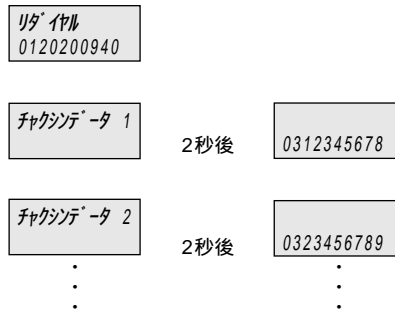
01)	2月 1日 23:59
	日本電気
	で選択
 - 2** **電話帳** の▼または▲を押して着信データを見ます。
相手先を早送りしたい場合は、[▼または▲]を押して続けてください。
着信データの消去をしない場合は手順5へ進みます。

02)	1月31日 21:24
	0312345678
	...
20)	1月28日 20:14
	公衆電話
 - 3** **保留/クリア** を押します。
消去を取りやめる場合は<または>を押して「>取り消し」を選び、[電話帳登録/セット]ボタンを押します。(手順2に戻ります。)

20)	1月28日 20:14
	公衆電話
	消去< 取り消し
 - 4** **電話帳登録/セット** を押します。
2秒後に次の着信データが表示されます。

消去しました
 - 5** **ストップ** を押します。
- !** 電話やファクスを使用しているときは着信データを見ることはできません。

[] を押すと、前のデータの表示に戻ります。



- 2** 充電器に戻すと表示が消えます。

! 手順1の後、20秒間何もなかった場合、「ピーピー」という音が鳴り、待機状態に戻ります。

子機の着信データを消す

子機に記憶されている着信データをすべて消去します。

待機中に操作します。

- 1** **機能** を押します。
- 2** **デンワチョウクリア** (または **ケンガイ**) を押して「デンワチョウ クリア」を選びます。

デンワチョウクリア
ケンガイ 20秒
- 3** **機能** を押します。
電話帳が表示されます。

番号 0120200940
- 4** **デンワチョウクリア** (または **ケンガイ**) を押して「チャクシンデータクリア」を選びます。

チャクシンデータクリア
- 5** **機能** を押します。
消去確認のメッセージが表示されます。
消去をやめたいときは、[]/[]を押して、「チュウシマス ヨロシイデスカ?」と表示されたところで **機能** ボタンを押します。

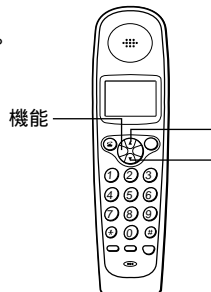
クリアシマス
ヨロシイデスカ?
- 6** **機能** を押します。
子機の着信データがすべて消去されます。

クリアシマス

! 子機の着信データは1件ずつ消去することはできません。

子機の着信データを見る

待機中に操作します。



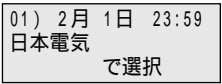
- 1** **機能** を数回押します。
最後にかけた相手の電話番号(リダイヤル)がまず表示され、そのあと[]を押すたびに着信データが表示されます。

着信データの相手へ電話をかける(コールバック)

着信データに電話番号が含まれている場合、その相手に電話をかけることができます。

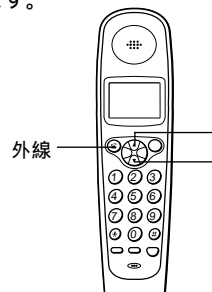
親機からかける

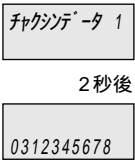


- 1 **着信データキャッチ** を押します。
最新の着信データが表示されます。
着信データがないときは「データはありません」と表示されます。

- 2 **電話帳** の▼または▲を押して、かけたい相手を選びます。
相手を早送りしたいときは、[▼ または ▲] を押し続けてください。
- 3 かけたい相手が表示されている時に受話器をとります。(または、**ワイワイトーク** を押します。)
- 4 話が終わったら受話器を戻します。(または、**ワイワイトーク** を押します。)

子機からかける

待機中に操作します。



- 1 **▼**(または**▲**)を数回押してかけたい相手先を選びます。

- 2 かけたい相手先が表示されているときに充電器からとります。(充電器に置いていないときは**外出**を押します。)
- 3 話が終わったら充電器に戻します。(または、**外出**を押します。)



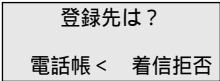

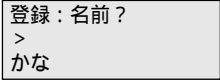
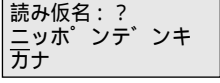
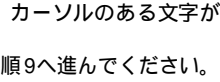
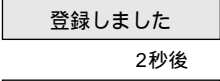
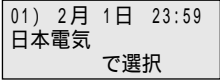
ファクスを送信するときは

おまかせ送信...手順3のとき、[おまかせ送信]ボタンを押します。あらかじめ原稿はセットしておく必要があります。
自動送信...手順3のとき、受話器をとる代わりに[スタート/コピー]ボタンを押します。あらかじめ原稿はセットしておく必要があります。

着信データを登録する(かんたん登録)

電話番号が含まれている着信データは、電話帳や着信拒否に登録できます。
子機の着信データは、子機の電話帳に登録できます。

親機の着信データを電話帳に登録する

- 着信データキャッチを押します。
最新の着信データが表示されます。
着信データがないときは「データはありません」と表示されます。

- 電話帳登録セレクトの▼または▲を押して登録する相手を表示します。
相手を早送りしたいときは、[▼]または[▲]を押し続けてください。

- ダストカバーを開け、電話帳登録セレクトを押します。
登録先は？
電話帳 < 着信拒否

- 電話帳登録セレクトの<または>を押して「電話帳 <」を選びます。

- 電話帳登録セレクトを押します。
登録：名前？
>
かな

- 相手の名前を入力します。(P.40)
- 電話帳登録セレクトを押します。
読み仮名：？
ニッポ ンテ ンキ
万ナ

- 読み仮名を修正します。
[<]または[>]を押して、修正したい文字の下にカーソルを移動させ、新しい文字を入力します。
[保留/クリア]ボタンを押すと、カーソルのある文字が1文字クリアされます。
読み仮名を修正しないときは、手順9へ進んでください。

- 電話帳登録セレクトを押します。
登録しました
2秒後

- ストップを押します。
01) 2月 1日 23:59
日本電気
で選択


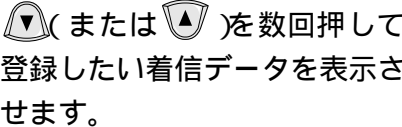
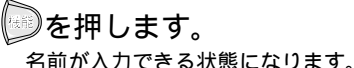
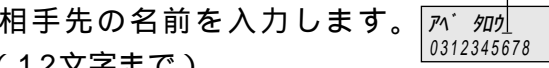

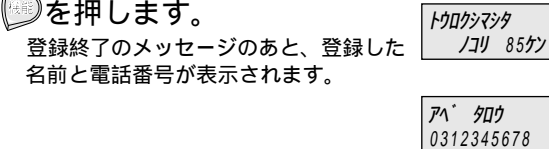
着信拒否に登録する

手順4で「着信拒否」を選択して[電話帳登録/セット]ボタンを押すと、手順2で選択した相手の電話番号は着信拒否に登録されます。
着信拒否に登録する場合は、相手の名前は入力できません。
着信拒否に登録した相手から電話がかかってきた場合、ベルを鳴らさずにメッセージだけを流して電話を切ることができます。(P.137)

「全て登録済みです」が表示されたとき...電話帳または着信拒否から不要な電話番号を消去してください。(P.41、P.138)

子機の着信データを電話帳に登録する

待機中に操作します。

- ▼(または▲)を数回押して登録したい着信データを表示させます。
チャクシンデータ 1
2秒後
0312345678
カーソル(点滅)

- 電話帳登録セレクトを押します。
名前が入力できる状態になります。
0312345678
カーソル(点滅)

- 相手先の名前を入力します。(12文字まで)
P.43の表に従って文字を入力します。
[#]を押すと、1文字が決定され、カーソルが右へ1つ移動します。
カーソル(点滅)
アハ タロウ
0312345678

- 電話帳登録セレクトを押します。
カーソル(点滅)
アハ タロウ
0312345678

- 電話帳登録セレクトを押します。
登録終了のメッセージのあと、登録した名前と電話番号が表示されます。
トークンマシナ
ノリ 85ケ
アハ タロウ
0312345678


子機の着信データは着信拒否に登録できません。

「トウロクデキマセン」と表示されたとき...電話帳から不要な電話番号を消去してください。(P.44)

留守録着信データを確認する

留守設定中に電話がかかってきたときは留守録着信データが記憶されます。留守録着信データにより、親機や子機で用件を再生するときに相手番号を確認できます。

いったん回線がつながった相手であれば、たとえ応答メッセージが流れている間に相手が電話を切っても留守録着信データは記憶されます。

留守録着信データには次のような制限があります。

- ・用件が消去されると留守録着信データも同時に失われます。

・留守録着信データを使って電話をかけたりファクスを送ることはできません。

・電話帳や着信拒否に登録できません。

親機で留守録着信データを確認する

[留守]または[再生]ボタンを押して録音されている用件を再生すると、ディスプレイに留守録着信データが表示されます。

電話帳に登録されている相手からのときは登録されている名前が表示されます。

日本電気
再生中 1 / 5

電話帳に登録されていない相手からのときは電話番号が表示されます。

0312345678
再生中 1 / 5

子機で留守録着信データを確認する

次の手順で録音された用件を再生すると、録音された用件のあと、時間と相手の電話番号が音声で流れます。

[機能]ボタンを押します。

[]または[]を押して「リモコン ソウサ」を選びます。

[機能]ボタンを押します。

[2]を押します。(または、[]または[]を押して「ヨウケンサイセイ 2」を選び、[機能]ボタンを押します。)

・相手が用件を録音していないときは用件の代わりにビジートーン(話中音)を流し、そのあと時間と相手の電話番号を音声で流します。

また、相手の電話番号が通知されない場合は、その理由を音声で流します。



留守設定時にかかってきた電話の着信データは通常と同様に本機に記憶されます。電話帳や着信拒否への登録および、かけてきた相手に電話をかける際には着信データを使用してください。

(P.131、P.132)

留守録の用件を消去すると留守録着信データは消去されますが、着信データは残ります。(P.130)

子機のディスプレイには留守録着信データは表示されません。

外線リモート(P.85)で用件を聞いたときは電話番号を音声で流します。


設定による使い分け


プライベートコールと着信鳴り分けの設定

電話をかけてきた相手が電話帳に登録してあるときは、親機だけを呼び出したり、子機だけを呼び出したりすることができず(プライベートコール)。また、ベルの音色/メロディを変えることができます(着信鳴り分け)。


お買い上げのとき...プライベートコールは「全て」に設定されています。着信鳴り分けは「指定なし」(「ベルの音色/メ

ロディを変える(P.59)で設定したベルが鳴る)に設定されています。


1 ダストカバーを開け、を押します。

9 を押します。



着信鳴り分け指定
指定なし
<>で選択

2 の▼を5回押します。


登録モード
留守電機能
ナンバーディスプレイ

10 の<または>を押してベルの音色/メロディの種類を選びます。


- ・指定なし: 「ベルの音色/メロディを変える(P.59)で設定したベルが鳴る
- ・ベル(標準): 通常の音色
- ・ベル(鳴り分け): 「標準」とは違う音色
- ・アイネ クライネ ナハト ムジーク
- ・春
- ・トルコ行進曲
- ・オリジナルメロディ(P.60)
- ・(えらんでメロディで取り込んだ曲(P.109)
-ALPHA5サービスにより着信メロディを取り込んでいないときは、(えらんでメロディで取り込んだ曲)は表示されません。

3 を押します。
このとき の下にカーソルがあること確認してください。


ナンバーディスプレイ
— x


4 を押します。

プライベートコール指定
とくいでコール
番号リクエスト

5 を押します。
電話帳に何も登録されていないと「電話番号が登録されていません」と表示されます。

日本電気
0312345678
で選択


6 の▼または▲を押してプライベートコールに設定したい相手を電話帳の中から選びます。


11 を押します。
設定を続ける場合は、[< または >] を押して > 継続 を選び、[電話帳登録/セット] ボタンを押して手順6へ戻ります。

設定しました


設定を続けますか?

終了< 継続


12 の<または>を押して「終了<」を選びます。

7 を押します。


プライベートコール指定
全て
<>で選択

13 を押します。

プライベートコール指定
とくいでコール
番号リクエスト

8 の<または>を押してベルを鳴らす電話機を選びます。

- ・全て
- ・内線1(親機)
- ・内線2(子機)
- ・子機を増設すると「内線3(子機)」「内線5(子機)」まで表示されます。
- ・着信鳴り分けのみ設定したい場合は「全て」を選びます。

14 を押します。

! ドアホン通話中の場合、「受信エラー」と表示され、着信鳴り分けの設定ではなく、「ベルの音色/メロディを変える(P.59)で設定した音が鳴ります。

電話帳に登録されている番号に、*、#、-(ポーズ)が含まれていたり、市外局番が登録されていないと、着信鳴り分けなどの機能が正常にはたらかません。電話帳への登録の際はご注意ください。(P.39)



? オリジナル着信メロディを登録していないとき...オリジナル着信メロディを選択すると、「ドレミファソラシド」が鳴ります。



電話がかかってきたとき...ベルの鳴っていない親機や子機でも電話に出ることができます。


とくていコールの設定


おやすみモードにしたときは電話がかかってきてもベルが鳴りません。(P.89)これを、電話帳に登録してある相手からかかってきたときはベルを鳴らすように設定できます。


電話帳に登録してある人からの電話だけ受けたい、知らない人からの電話には出たくない、などというときにご利用ください。
公衆電話や圏外からかかってきた電話もベルが鳴るように、とくていコールに追加することができます。
とくていコールによって鳴るベルは、電話帳に登録されている相手の場合は「ベルの音色/メロディを変える」(P.59)または「着信鳴り分け」(P.134)で設定した音色、公衆電話や圏外の相手の場合は「ベル(標準)」の音色となります。
お買い上げのとき...とくていコールは「する」、「追加なし」に設定されています。



- 1 ダストカバーを開け、を押します。
 - 2 の▼を5回押します。



登録モード
留守電機能
ナンバーディスプレイ
 - 3 を押します。
このとき「」の下にカーソルがあること確認してください。

ナンバーディスプレイ
— x
 - 4 を押します。



プライベートコール指定
とくていコール
番号リクエスト
 - 5 の▼を押します。

プライベートコール指定
とくていコール
番号リクエスト
 - 6 を押します。

とくていコール
— x
 - 7 の<または>を押してカーソルを移動します。
— x : とくていコールをする
x : とくていコールをしない
「とくていコールをしない」に設定したときは、手順10に進んでください。
 - 8 を押します。

とくていコール追加なし
<>で選択
 - 9 の<または>を押してとくていコールに追加したい相手を選択します。
公衆電話： 相手が公衆電話の場合もベルが鳴ります。
圏外： 相手が表示圏外の場合もベルが鳴ります。
公衆電話 + 圏外： 相手が公衆電話または表示圏外の場合もベルが鳴ります。
なし： 追加しません。
 - 10 を押します。



設定しました



 - 11 を押します。
-  子機は親機より遅れてベルが鳴り始めるため、「トールセイバする」(P.91)に設定して留守番電話の用件が録音されている場合、子機が鳴らないことがあります。


番号リクエストの設定


非通知の相手からかかってきたときに、ベルを鳴らせずに『おかけなおしください』という内容のメッセージを流してから自動的に電話を切ることができます。


非通知の相手に流すメッセージ...『番号を通知しておかけなおしください。また、回線ごと非通知の方は番号の前に186をダイヤルしておかけなおしください(固定) お買い上げのとき...番号リクエストは「しない」に設定されています。



- 1 ダストカバーを開け、を押します。
 - 2 の▼を5回押します。

登録モード
留守電機能
ナンバーディスプレイ
 - 3 を押します。
このとき「」の下にカーソルがあること確認してください。



ナンバーディスプレイ
— x
 - 4 を押します。

プライベートコール指定
とくていコール
番号リクエスト
 - 5 の▼を2回押します。

プライベートコール指定
とくていコール
番号リクエスト
 - 6 を押します。

番号リクエスト
x
 - 7 の<または>を押してカーソルを移動します。
— x : 番号リクエストをする
x : 番号リクエストをしない
 - 8 を押します。

設定しました

 - 9 を押します。
-  番号リクエストを「する」に設定すると、留守設定時にも、非通知の相手からの電話は留守録音、ファクス受信ができません。

応答メッセージの選択設定


留守設定時、電話帳に登録してある相手にだけ自作応答メッセージを流し、それ以外は固定応答メッセージを流すようにできます。

知っている人には自分の声で、知らない人には機械の声で応答メッセージが流れます。


相手に流す自作応答メッセージ...留守設定のときと同じメッセージです。(P.83)

お買い上げのとき...「すべての相手に自作応答メッセージを流す」に設定されています。

1 ダストカバーを開け、^{機能}を押します。


2  の▼を5回押します。

登録モード
留守電機能
ナンバーディスプレイ


3 ^{電話帳登録セカ}  を押します。

ナンバーディスプレイ
— x


このとき「」の下にカーソルがあること確認してください。

4 ^{電話帳登録セカ}  を押します。


プライベートコール指定
とくていコール
番号リクエスト

5  の▼を4回押します。


着信拒否
応答メッセージ選択
キャッチホン

6 ^{電話帳登録セカ}  を押します。


応答メッセージ選択
x

7  の<または>を押してカーソルを移動します。

— x : 電話帳登録者へのみ自作応答メッセージを流す
x : すべての相手に自作応答メッセージを流す

8 ^{電話帳登録セカ}  を押します。

設定しました

9 ^{ストップ}  を押します。

! 自作応答メッセージを録音していない場合は、留守設定のとき流れるのは固定応答メッセージになります。


キャッチホン・ディスプレイの設定

NTT東日本またはNTT西日本のキャッチホン・ディスプレイを契約したときに設定します。キャッチホンの相手の電話番号も表示できるようになります。


お買い上げのとき...「キャッチホン・ディスプレイを利用しない」に設定されています。

「キャッチホン・ディスプレイを利用する」と設定する場合は必ず「ナンバー・ディスプレイを利用する」(P.29)に設定します。

1 ダストカバーを開け、^{機能}を押します。


2  の▼を5回押します。

登録モード
留守電機能
ナンバーディスプレイ


3 ^{電話帳登録セカ}  を押します。

ナンバーディスプレイ
— x


このとき「」の下にカーソルがあること確認してください。

4 ^{電話帳登録セカ}  を押します。


プライベートコール指定
とくていコール
番号リクエスト

5  の▼を5回押します。


着信拒否
応答メッセージ選択
キャッチホン

6 ^{電話帳登録セカ}  を押します。


キャッチホン
x

7  の<または>を押してカーソルを移動します。

— x : キャッチホン・ディスプレイを利用する
x : キャッチホン・ディスプレイを利用しない

8 ^{電話帳登録セカ}  を押します。

設定しました

9 ^{ストップ}  を押します。

! 周囲の雑音が大きいとき、または話をしている状態によっては相手の電話番号を表示できない場合があります。


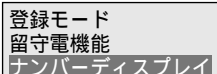
着信拒否の設定

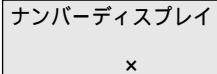
着信拒否に登録してある電話の相手からかかってきたときに、ベルを鳴らさずにメッセージだけを流して電話を切ることができます。

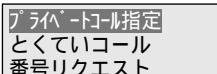
着信拒否の相手に流すメッセージ...『申し訳ありませんがお取り次ぎできません』(固定)
着信拒否に登録するには...P.132またはP.138を参照してください。


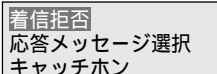
お買い上げのとき...着信拒否は「する」に設定されています。

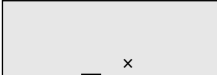
1 ダストカバーを開け、^{機能} を押します。


2  の▼を5回押します。 

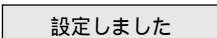
3 ^{電話帳登録セカ} を押します。  このとき「」の下にカーソルがあること確認してください。

4 ^{電話帳登録セカ} を押します。 

5  の▼を3回押します。 

6 ^{電話帳登録セカ} を押します。 

7  の<または>を押してカーソルを移動します。
— x : 着信拒否をする
_ x : 着信拒否をしない

8 ^{電話帳登録セカ} を押します。 

9 ^{ストップ} を押します。

! 着信拒否を「する」に設定すると、留守設定時も、着信拒否に登録されている相手からの電話は留守録音、ファクス受信ができません。


着信拒否の登録 / 変更 / 消去



着信拒否したい相手の電話番号は、相手からかかってくる前に着信拒否へ登録しておくことができます(10件まで)。また、着信拒否に登録されている電話番号は変更および消去できます。


かかってきた相手を着信拒否に登録するには...P.132を参照してください。


着信拒否を利用するには...前ページの手順により「着信拒否をする」に設定してください。


1 ダストカバーを開け、を押します。

2 の▼を5回押します。
登録モード
留守電機能
ナンバーディスプレイ

3 を押します。
このとき「」の下にカーソルがあること確認してください。
ナンバーディスプレイ
_ x


4 を押します。
プライベートコール指定
とくいでいコール
番号リクエスト

5 の▼を6回押します。
着信拒否リスト編集

6 を押します。
着信拒否リスト
登録 < 編集


登録する _____

7 の<または>を押して「登録<」を選択します。

8 を押します。
すでに着信拒否に10件登録されているときは、「全て登録済みです」と表示されたあと、上記手順6の表示になります。
着信拒否リスト登録
01)


9 相手の電話番号を入力します。
市外局番から入力してください。


10 を押します。
登録しました


11 を押します。


変更 / 消去する _____


7 の<または>を押して「>編集」を選択します。

8 を押します。
着信拒否リストに1件も登録されていないときは、「着信拒否リスト未登録」と表示されたあと、手順6の表示に戻ります。
着信拒否リスト
01)
0312345678

9 の▼または▲を押して消去 / 変更する相手を表示します。


10 を押します。
着信拒否リスト
消去 < 変更

11 の<または>を押して「消去<」または「>変更」を選択します。


12 を押します。
「消去<」を選択選択した場合は、約2秒間「消去しました」が表示されます。手順15へ進んでください。
着信拒否リスト
消去 > 変更

「>変更」を選択選択した場合は、変更する電話番号とカーソルが表示されます。
着信拒否リスト変更
01)
0312345678

13 電話番号を変更します。

14 を押します。
変更しました

15 を押します。

 着信拒否に登録する場合、既に登録されているリストの番号の次の番号に登録されます。


① キャッチホンを利用する

キャッチホンサービス(通話中着信サービス)はNTT東日本またはNTT西日本のサービスです。通話中に別の人から電話があると、音で通知され、その電話に出ることができます。


キャッチホンを利用するにはNTT東日本またはNTT西日本との契約が必要です(有料)

親機で利用する



- 1 通話中です。
- 2 キャッチホンの着信音「プルルー・プップ」が聞こえます。
- 3 着信データ/キャッチ  を押します。
あとからかけてきた人と話ができます。はじめに話していた人との電話は保留になります。

もう一度はじめの人と話をする

- 4 着信データ/キャッチ  を押します。
はじめに話していた人と話ができます。あとからかけてきた人との電話は保留になります。

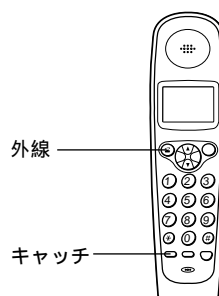
両方の話が終わったら


- 5 受話器を戻します。

! ファクスの送信中や受信中にキャッチホンが入ると、ファクスの画像が乱れたり、送信や受信が中断されることがあります。


? キャッチホン・ディスプレイを利用している場合...ディスプレイに相手の電話番号が表示されます。(P.129)

子機で利用する



- 1 通話中です。
- 2 キャッチホンの着信音「プルルー・プップ」が聞こえます。
- 3  を押します。
あとからかけてきた人と話ができます。はじめに話していた人との電話は保留になります。

もう一度はじめの人と話をする

- 4  を押します。
はじめに話していた人と話ができます。あとからかけてきた人との電話は保留になります。

両方の話が終わったら

- 5 充電器に戻します。
(または  を押します。)

キャッチホンが入っていないときに「着信データ/キャッチ【親機】または「キャッチ【子機】ボタンを押すと電話が切れてしまいます。

通話中にキャッチホンサービスにより割り込まれた相手がファクスの場合...「ポー・ポー...」という音が聞こえているときに「スタート/コピー」ボタン(子機の場合は「内線」ボタンを押した後「6」を押すと、ファクスの受信が開始されます。なお、この場合は最初に通話していた相手には電話を切ってもらうことをお勧めします。また、「スタート/コピー」ボタン(子機の場合は「内線」ボタンを押した後「6」を押すタイミングによっては、ファクスを受信できない場合もあります。

① Fネットを利用する(ファクシミリ通信網)

Fネットは、NTTコミュニケーションズのファクシミリ通信網のことです。遠くの相手とひんぱんに通信をする場合に経済的です。

Fネットを利用する場合は、NTTコミュニケーションズとの契約が必要です。

契約したあと以下の手順で本機の設定が必要です。

Fネットには次のようなサービスがあります。詳しくは、NTTコミュニケーションズにお問い合わせください。

- ・一斉同報通信
- ・自動再送信
- ・無鳴動自動受信
- ・発信者電話番号などの自動記載
- ・再コール
- ・送達通知
- ・不達通知
- ・ファクシミリ案内サービス
- ・ファクシミリボックス
- ・短縮ダイヤル
- ・親展通信
- ・閉域接続
- ・着信課金



契約の際は「G3サービス」「無鳴動自動受信(1300Hz)」と指定してください。なお、ISDN回線で(ターミナルアダプタに本機を接続して)ご使用の場合は、「無鳴動自動受信(1300Hz)」は指定できません。


Fネットに加入してファクス送信すると、相手機にIDが表示されます。ID表示は自分の電話番号の前に「81」が付いたものになります。



例：電話番号が 03 - 1234 - 5678 のとき
表示 「81 31234 5678」

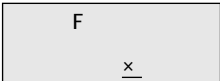
お買い上げのとき、「Fネットを利用しない」に設定されています。

1 ダストカバーを開け、^{機能}●を押します。

2  の▼を2回押します。  リストプリント
受信設定
設定モード


3 ^{電話帳登録セカ}●を押します。  読み取り濃度
発信元記録
海外通信

4  の▼を6回押します。  Fネット
ドアホン接続
ボイスコール

5 ^{電話帳登録セカ}●を押します。  Fネット
x

6  の<または>を押してカーソルを移動します。

- x : Fネットを利用する
- x : Fネットを利用しない

7 ^{電話帳登録セカ}●を押します。  設定しました

8 ^{ストップ}●を押します。

① ダイヤルインサービスを利用する

ダイヤルインサービスについて

NTT東日本またはNTT西日本とダイヤルインサービスを契約(有料)することによって、1つの回線で2つ以上の電話番号を使用することができます。増えた電話番号は、登録設定によって本機専用、ファクス専用、子機専用などに使い分けて利用できます。

NTT東日本またはNTT西日本との契約が必要です。(有料)
ダイヤルインサービスが始まっていないときにダイヤルインの登録操作をすると、電話が使えなくなります。

お買い上げのとき...「ダイヤルインを利用しない」に設定されています。

ダイヤルインサービスを契約するとき

契約時に次の内容をNTT東日本またはNTT西日本へ連絡してください。 窓口：116(無料)

電話番号は下4桁と指定

「電話番号(送出番号)は下4桁」とご指定ください。下4桁を指定しないと現在お使いの電話番号が変わることがあります。また、サービスの開始日時も確認してください。

契約番号の指定

電話専用番号または親機専用番号は、必ず電話を取り付けたときNTT東日本またはNTT西日本と契約した番号(契約番号)を指定してください。契約番号の指定が適切でないと、Fネットサービスや -ALPHA5などの機能が働きません。

ダイヤルインを契約すると

今までお使いの電話番号が変わることがあります。また、一部の地域ではダイヤルインサービスを利用できない場合があります。詳しくは、NTT東日本またはNTT西日本の窓口等へお問い合わせください。

ダイヤルインサービスを契約すると、次のNTT東日本またはNTT西日本のサービスは利用できません。

・キャッチホン、トリオホン、転送電話、電話会議、トーカー案内

ナンバーディスプレイを同時に利用するときは

ナンバー・ディスプレイを契約したときは必ず「ナンバー・ディスプレイを利用する」に設定し(P.29)、ダイヤルインはモデム方式を利用したモデムダイヤルインサービスをご契約ください。

電話帳に登録してある相手からかかってくると...プライベートコールの設定が優先されます。かけてきた相手が望む親機または子機のベルが鳴らないことがあります。(P.134)

ダイヤルイン利用時の注意事項

モデムダイヤルインではないとき...必ず「ナンバー・ディスプレイを利用しない」に設定してください。(P.29)お買い上げ時は「ナンバー・ディスプレイを利用する」に設定されています。

モデムダイヤルインのみを契約したとき...必ず「ナンバー・ディスプレイを利用する」に設定してください。

複数の電話番号は同時に使えません...使用する電話回線は1本です。同時に2つ以上の電話番号にかけることはできません。

ブランチ接続では使えません...ダイヤルインが正しく動作しません。

電話用の番号にファクスが送られたとき(「ポー・ポー・ポー...」という音が聞こえた時)...[スタート/コピー]ボタン(子機では[グループ/ドアホン/内線]ボタンを押してから[6]を押してください)。

ファクス用の番号に電話がかかってきたとき...自動的に受信動作を開始しますので通話できません。着信ベルも鳴りません。

停電のとき...電話もファクスも使用できません。

ISDN回線を利用しているとき...ターミナルアダプタの取扱説明書に従って設定してください。ターミナルアダプタの機種または設定によっては本機でのダイヤルインが使用できない場合があります。(P.160)その場合は本機を「ダイヤルインを利用しない」と設定してください。(P.143)

留守設定時の注意事項

電話用の番号にかかってきたとき...留守番動作をします(用件録音、ファクス受信とも可)。(P.80)

ファクス用の番号にかかってきたとき...ベルを鳴らさずに自動的に受信します(用件録音は不可)。

子機用の番号にかかってきたとき...子機もベルが鳴り、親機が用件を録音します。

ダイヤルインの利用例

ダイヤルインサービス契約と本機の登録設定の組み合わせによって、いろいろな使い分けができます。ここでは、AさんとBさんを例に、2つ以上の番号を利用する際の使用方法を説明します。

Aさんの場合

電話とファクスを別々の番号にしたい。
電話用の番号は1つで親機 / 子機共通にしたい。

1 NTT東日本またはNTT西日本とダイヤルインサービスの契約をします。

Aさんの契約例

- XXX-aaaa 契約者回線番号
(これを電話番号とします)
- XXX-bbbb ダイヤルイン追加番号1
(これをファクス番号とします)

Bさんの場合

子機を1台増設して親機と子機2台を全て別の番号にしたい。
ファクス専用の番号は特に必要ない。

Bさんの契約例

- XXX-cccc 契約者回線番号
(これを親機の番号とします)
- XXX-dddd ダイヤルイン追加番号1
(これを付属の子機の番号とします)
- XXX-eeee ダイヤルイン追加番号2
(これを増設した子機の番号とします)

2 サービスが始まってから、本機の登録設定をします。(P.143)

Aさんの登録例

- ダイヤルイン = (利用する)
- ファクス専用 = (登録する)
- ファクス番号 = bbbb
- 内線番号：内線1 = aaaa
- 共通鳴動 = (する)
親機に電話がかかってきたときに、
子機のベルを鳴らす

Bさんの登録例

- ダイヤルイン = (利用する)
- ファクス専用 = × (登録しない)
- 内線番号：内線1 = cccc
- 共通鳴動 = × (しない)
親機に電話がかかってきたときに、
子機のベルを鳴らさない
- 内線番号：内線2 = dddd
- 内線番号：内線3 = eeee

3 ダイヤルイン番号で電話やファクスを受けます。

上記契約と登録を行った結果、AさんとBさんはそれぞれ下記の番号になります。

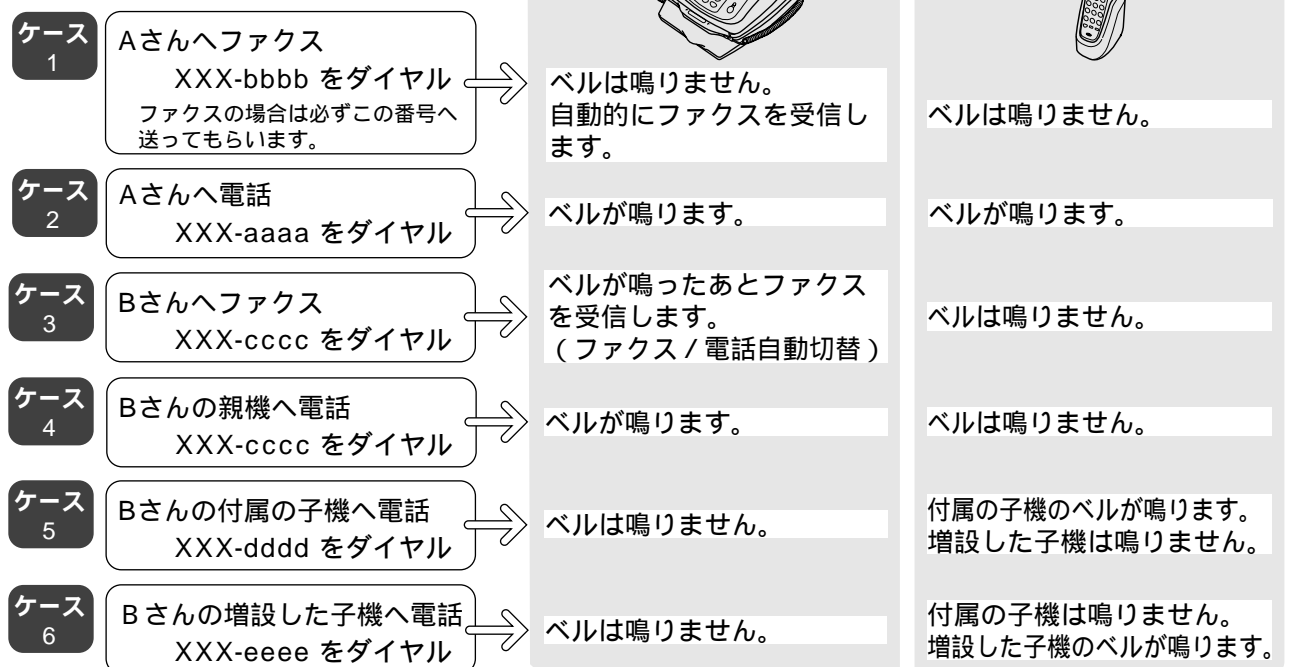
Aさん

- 電話番号 XXX-aaaa
- ファクス番号 XXX-bbbb

Bさん

- 親機の番号 XXX-cccc
- 付属の子機の番号 XXX-dddd
- 増設した子機の番号 XXX-eeee

相手は目的に合わせてダイヤルイン番号を使い分けます。



ダイヤルインの登録

ダイヤルインサービスが開始されたことを確認した後、ファクス用の電話番号と電話用の電話番号の登録をします。

サービス開始前に登録を行うと(「ダイヤルインを利用する」に設定すると)電話が繋がらなくなります。

-ALPHA5をご利用の場合は、ファクス用の電話番号は契約番号を登録されることをおすすめします。オンライン通信ができます(P.105)。契約番号については、NTT東日本またはNTT西日本にお問い合わせください。

1 ダストカバーを開け、^{機能} を押します。

2 の▼を3回押します。 登録モード
留守電機能
ナンバーディスプレイ

3 ^{電話帳登録セカ} を押します。 オリジナルメロディ
自分の電話番号
発信元

4 の▼を6回押します。 ダイヤルイン
時刻設定
電話帳転送

5 ^{電話帳登録セカ} を押します。 ダイヤルイン
x

6 の<または>を押してカーソルを移動します。
— x : ダイヤルインを利用する
— x : ダイヤルインを利用しない
「利用しない」にしたときは手順17へ進んでください。

7 ^{電話帳登録セカ} を押します。 ファクス専用
— x

8 の<または>を押してカーソルを移動します。
— x : ファクス専用番号を登録する
— x : ファクス専用番号を登録しない
「登録しない」にしたときは手順11へ進んでください。

9 ^{電話帳登録セカ} を押します。 ファクス番号入力
—

10 ファクス用の電話番号(局番なしの下4桁)を入力します。

11 ^{電話帳登録セカ} を押します。 内線番号入力
内線1 = _
「内線1」は親機です。

12 親機に対して電話用の電話番号(局番なしの下4桁)を入力します。
ご契約時の電話番号を入力してください。

13 ^{電話帳登録セカ} を押します。 共通鳴動
x

14 の<または>を押してカーソルを移動します。
— x : 共通鳴動する
(親機に電話がかかってきた場合、子機のベルを鳴らす)
— x : 共通鳴動しない
(親機に電話がかかってきた場合、子機のベルを鳴らさない)

15 ^{電話帳登録セカ} を押します。 内線番号入力
内線2 = _
「内線2」は子機です。

16 子機に対して電話用の電話番号(局番なしの下4桁)を入力します。

17 ^{電話帳登録セカ} を押します。 設定しました
増設子機使用時は次の子機の電話番号登録の表示になります。手順16から登録が続けられます。

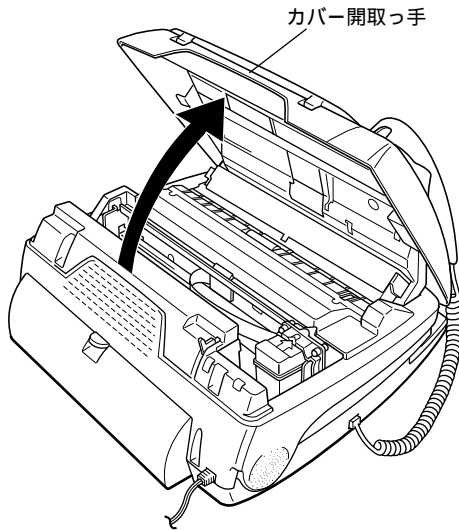
18 ^{ストップ} を押します。

? 電話番号を変更したいとき...同じ手順で登録しなおしてください。

? 原稿がつまったとき

コピーやファクス送信中に原稿がつまったら、「原稿確認」の表示が出ます。

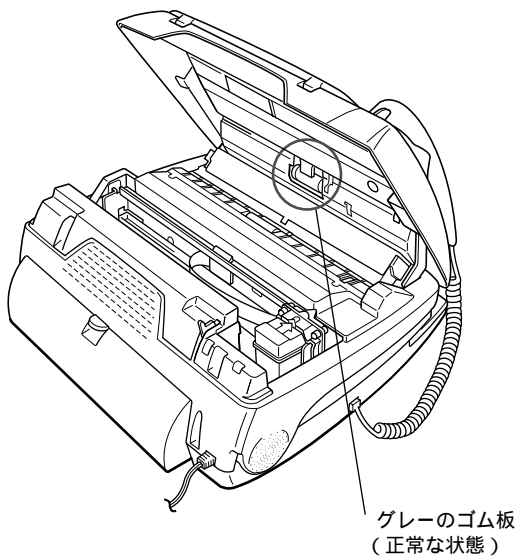
1 カバー開取っ手を上げてカバーを開けます。



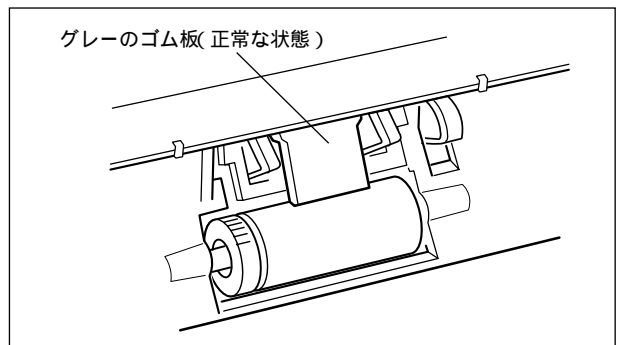
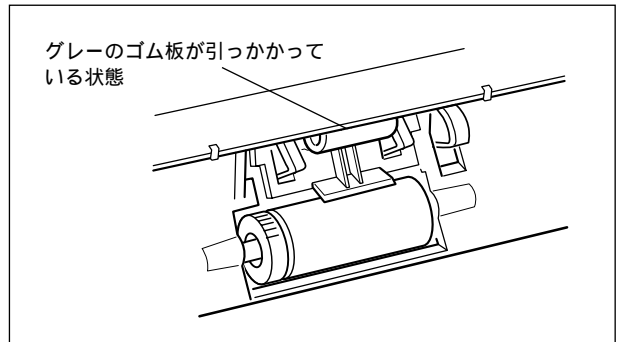
2 原稿を取り除きます。

3 原稿を、セットする側から取り除いたときは、内部のグレーのゴム板の状態を確認します。

原稿を排出する側から抜いたときは手順4へ進んでください。

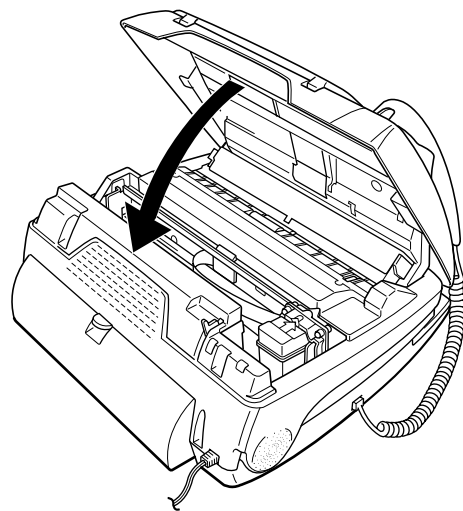


図のように引っかかっていたら、グレーのゴム板に指を引っかけて戻してください。



4 カバーを閉じます。

ダストカバー中央部を矢印の方向にカチッと音がするまで押し込みます。



カバーはきちんと閉じてください。カバーがきちんと閉じていないと原稿ぶまりの原因となります。

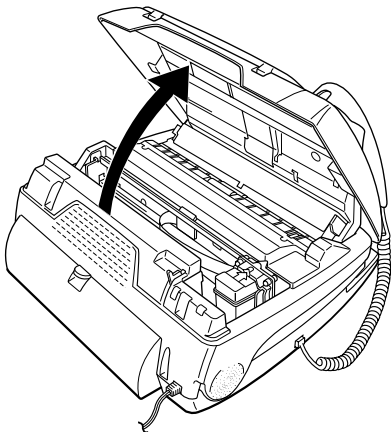


「原稿確認」と「ローラを清掃して下さい」が交互に表示されたとき... P.162を参照の上、原稿送り用ローラを清掃してください。

? 「記録紙が詰まりました」と表示されたとき

「記録紙が詰まりました」「カバーを開けて下さい」と交互に表示される場合は、記録紙が詰まったか、または記録紙の給紙不良が考えられます。

まずカバーを開け、記録紙が詰まっているか確認してください。



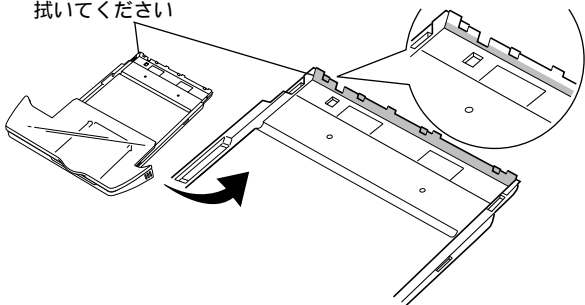
記録紙が詰まっていなかった場合

この場合は給紙不良です。記録紙カセットと記録紙給紙用ローラを清掃してください。

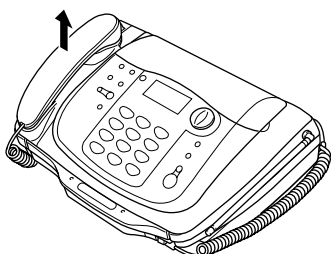
- 1 カバーを閉じ、電源プラグを抜きます。
- 2 記録紙カセット、カセットのカバーを取り外し、記録紙を取り出します。(P.148)
- 3 記録紙カセット奥側斜面を拭きます。

水に浸した布を固く絞り、記録紙カセット奥側斜面全体を拭きます。(アルコール、ベンジン、シンナーなどの薬品は使用しないでください。)
斜面に傷を付けないよう柔らかい布を使用して拭いてください。

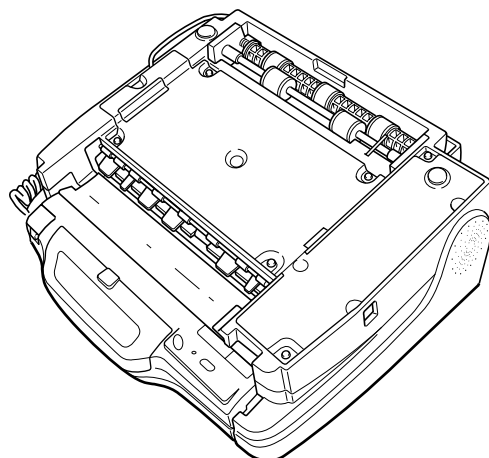
特に斜面の下側に拭き残しが無いように、斜面全体を拭いてください



- 4 受話器を取り外します。



- 5 本体を裏返します。

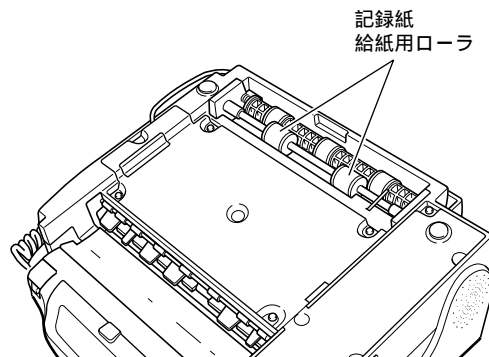


△注意

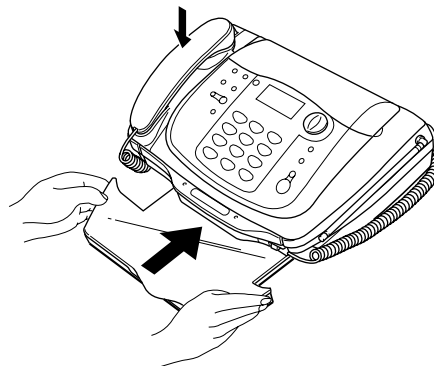
本体を裏返したとき、操作パネルに傷がつかないようにやわらかい布等を敷いてください。

- 6 記録紙給紙用ローラを拭きます。

水に浸した布を固く絞り、記録紙給紙用ローラを手で回しながら、記録紙給紙用ローラの表面全体を拭いてください。



- 7 記録紙カセットに記録紙をセットし、カバーを取り付けます。(P.148)
- 8 本体をもとに戻し、記録紙カセットと受話器を取り付けます。

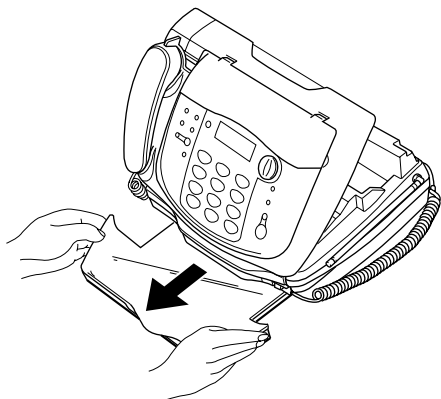


- 9 電源プラグを差し込みます。

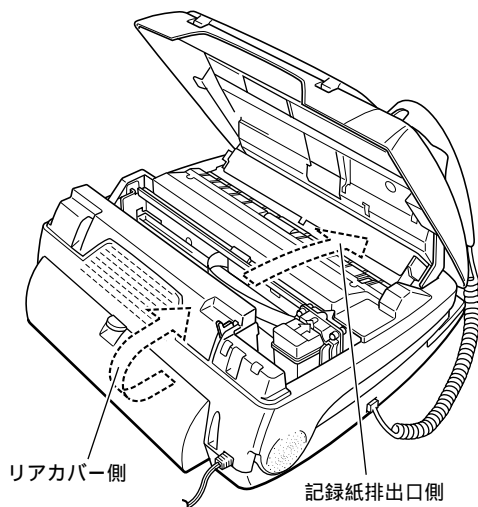
記録紙が詰まっていた場合

この場合は詰まった記録紙を取り除きます。

1 記録紙カセットを取り外します。

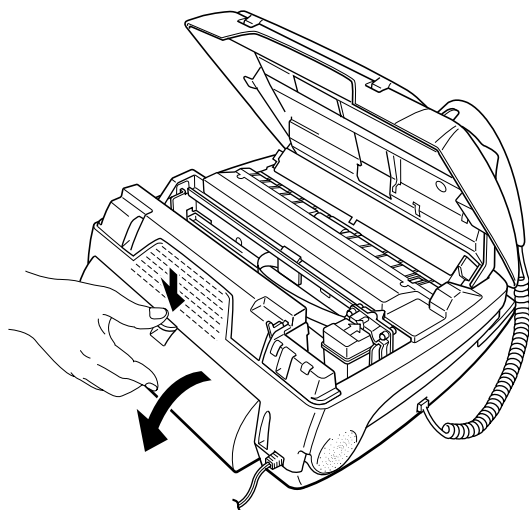


2 記録紙がリアカバー側か記録紙排出口側のどちらに詰まっているかを確認します。



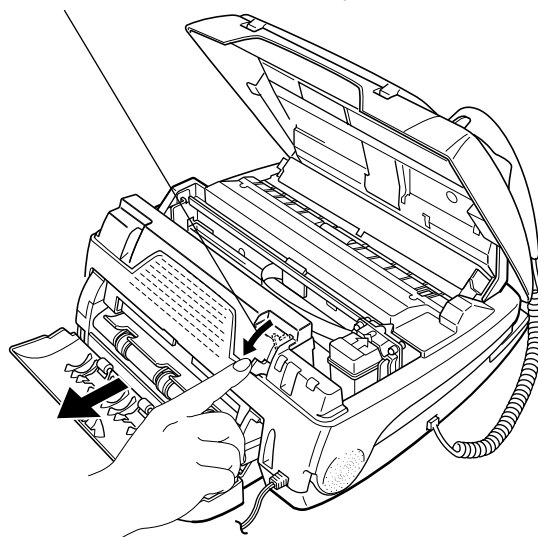
リアカバー側で詰まっているとき

3 リアカバー開レバーを下に押しリアカバーを開けます。

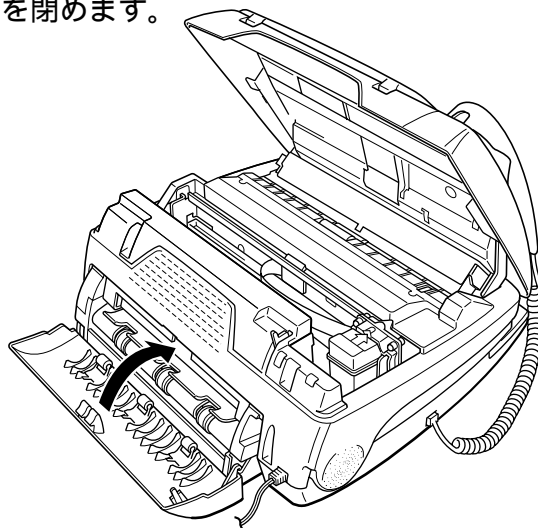


4 記録紙を取り除きます。

上の方で記録紙が詰まっているときは、緑色の解除レバーを下に押し取り除いてください。



5 緑色の解除レバーを上げてからリアカバーを閉めます。

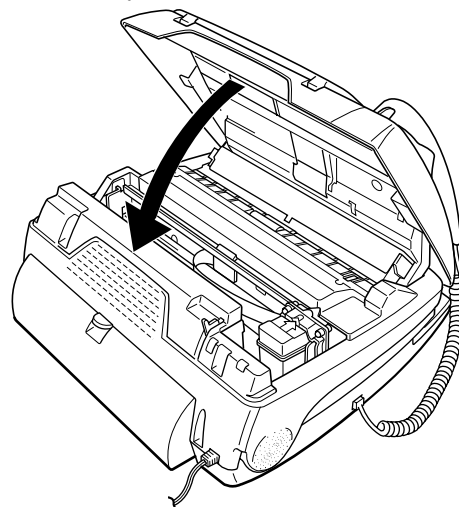


△注意

リアカバーを閉めるときは、リアカバー開レバーがロックされるまで確実に押し込んでください。

6 カバーを閉じます。

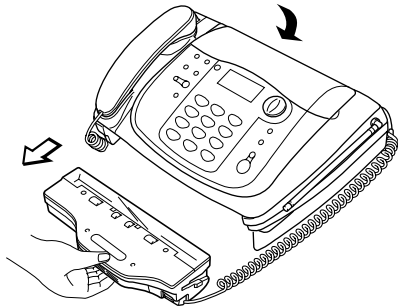
ダストカバー中央部に矢印の方向にカチッと音がするまで押し込みます。



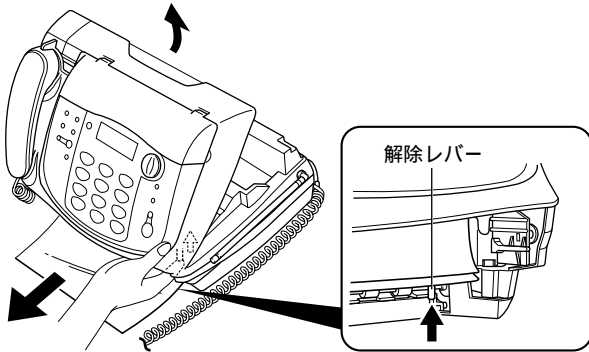
記録紙排出口側でつまっているとき

3 カバーをいったん閉じ、ハンドスキャナを外します。

原稿読み取り面にはさわらないようご注意ください。

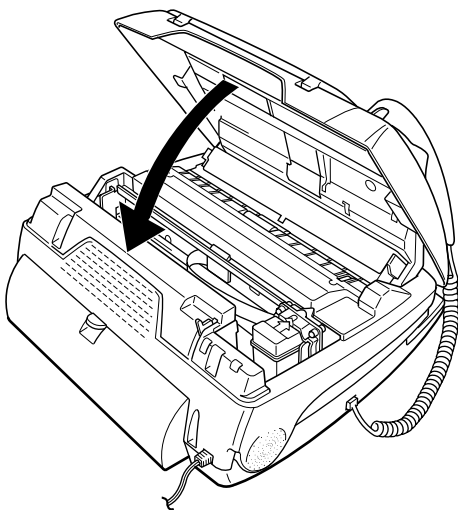


4 カバーを開け、緑色の解除レバーを上押ししながら、記録紙を取り除きます。



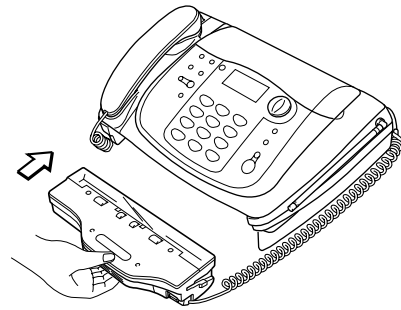
5 カバーを閉じます。

ダストカバー中央部に矢印の方向にカチッと音がするまで押し込みます。

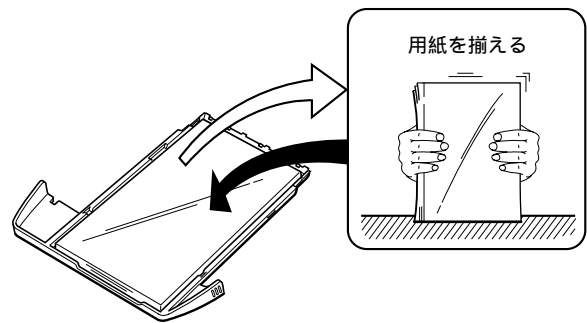


6 ハンドスキャナを戻します。

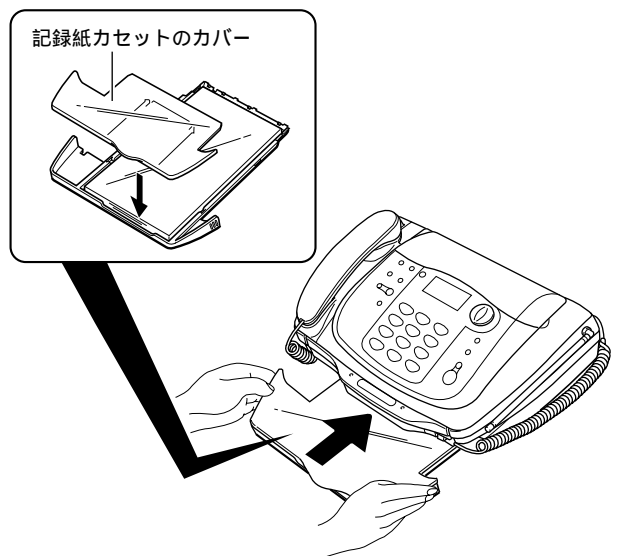
原稿読み取り面を上に向けて本体に押し込みます。



7 記録紙カセットのカバーを取り外してから、記録紙をいったん取り出し、揃えて入れなおします。



8 記録紙カセットのカバーを取り付け、本体に取り付けます。



記録紙は破れないように静かに取り除いてください。取り除く途中で記録紙が破れたときは、紙片を本機の中に残さないようにすべて取り除いてください。

カバーおよびリアカバーがきちんと閉まっていないと、ディスプレイに「カバー確認」または、「リアカバー確認」と表示され、本機が使用できなくなります。カバーおよびリアカバーはきちんと閉めてください。

「記録紙が詰まりました」と繰り返し表示される場合は、記録紙カセットの奥側斜面と記録紙給紙用ローラを清掃してください。(P.162、P.163)

? 記録紙をセットするとき

記録紙は推奨紙のご使用をお勧めします。

推奨紙以外の記録紙をお使いになる場合も、A4サイズ、紙質55kg～70kg(紙厚0.08mm～0.1mm)で表面にオーバーコート等の処理をしていない普通紙をお使いください。

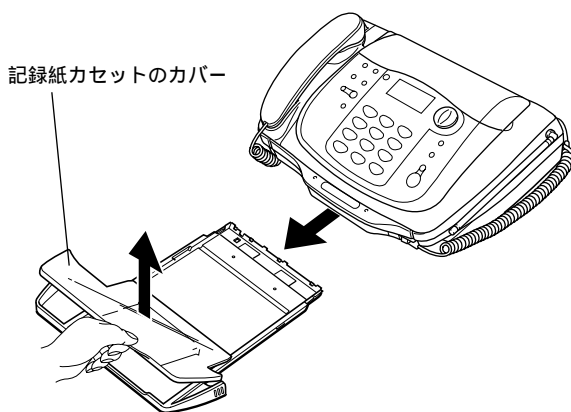
* このページの紙の厚さは約0.09mmです。

推奨紙

- ・サンワサプライインクジェットプリンタ用紙 JP-100A(モノクロ用・100枚)

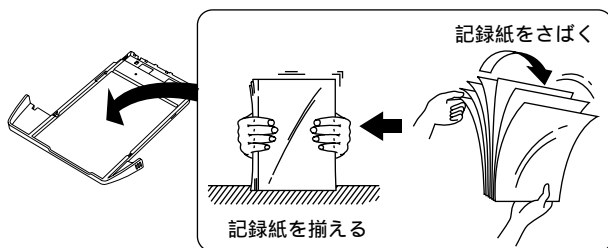
記録紙がなくなると、「記録紙がありません」の表示が出ます。

1 記録紙カセットを取り外し、カバーを取り外します。

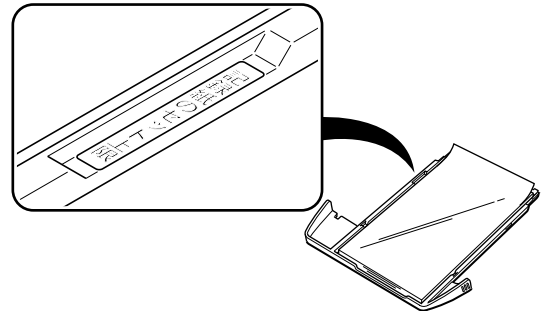


2 記録紙をさばき、記録紙カセットに入れます。(下面にプリントされます。)

印刷する面を「ウラ向き」にセットしてください。セットできる枚数は30枚までです。それ以上セットすると記録紙づまりの原因となります。記録紙をさばかずセットすると、一度に複数枚の記録紙が送られる場合があります。

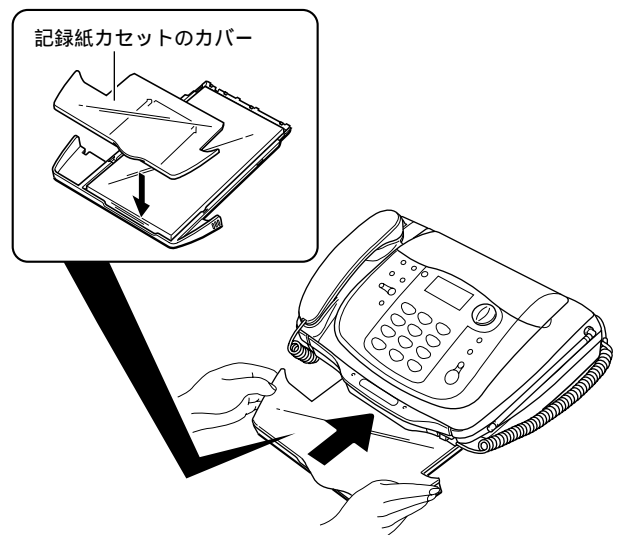


記録紙が30枚以下でも、「記録紙のセット上限」を越えている場合や、記録紙がカールして記録紙カセットのカベより高く浮き上がる場合は、枚数を減らすかカールを取り除いてください。記録紙づまりの原因となります。



3 記録紙カセットのカバーを取り付け、本体に取り付けます。

記録紙カセットのカバーは必ず取り付けてください。取り付けずにご使用になると記録紙づまりの原因となります。記録紙カセットは本体設置底面に置いた状態で、平行にしっかり奥まで差し込んでください。記録紙づまりの原因となります。



記録紙は記録紙カセットに長期間セットしたままにしたり、湿気を含むと品質が劣化し、先端が波打った状態になります。

このままでご使用になると記録紙給紙不良の原因になるので、すみやかに記録紙を交換してください。記録紙の種類によっては記録紙給紙不良になる場合があります。特に表面がオーバーコートされた記録紙や、厚い記録紙を使用すると、記録紙給紙不良の原因となります。

しわ、折れのある紙、湿っている紙、一度プリントした紙の裏面などは使用しないでください。記録紙給紙不良、記録紙づまりの原因となります。

紙面に光沢のある紙やOHPフィルムは使用できません。記録紙の品質はメーカーにより異なります。記録紙の品質によって画像の品位が変わる場合がありますので、記録紙を大量に購入される前に一度テストプリントをすることをお勧めします。

記録紙は日光の当たる場所、湿気の多い場所、高温になる場所を避けて保管してください。

記録紙はセットした分を使い切ってから補充してください。途中で追加すると記録紙づまりや記録紙給紙不良の原因となります。

プリント中に記録紙カセットを取り外さないでください。

? 停電したとき

停電したときや電源プラグをコンセントから抜いたときは、親機、子機ともに使用できません。

停電時、消えてしまう情報と消えない情報があります。

消えてしまう情報	消えない情報
<ul style="list-style-type: none">・ おまかせ送信時のメモリに記憶されている文書(P.69)・ コードを付けたままのハンズキャナ送信時のメモリに記憶されている文書(P.95)・ リダイヤルに記憶されている電話番号(P.37)・ 時計のデータ(停電が36時間以上続いたとき)(P.27、P.30)・ ナンバー・ディスプレイ利用時の着信データ(P.130)・ (送信前の) -Eメールの送信文書(P.115)	<ul style="list-style-type: none">・ メモリ代行受信文書(P.72)・ メモリ受信文書(おやすみモード設定時に受信した文書)(P.89)・ 留守番電話に録音した応答メッセージ(P.83)・ 留守番電話に録音された用件(P.82)・ 通話録音した内容(P.56)・ 登録した電話番号や各種の設定値・ ハンズキャナをコードレスで使用している場合の、ハンズキャナのメモリに記憶されている文書(P.97、P.98、P.99)・ -Eメールの受信文書(P.119)・ -MAILの受信メッセージ(P.111)

停電が復旧すると

停電が復旧すると、本機は自動的に使用できる状態に戻ります。消えてしまった情報があるときは、停電が復旧した時にメモリクリアレポートが自動的に出力されます。停電が36時間以上続いたときは、時計が初期化されます(2000年1月1日0時0分になります)。この場合は、時刻セット(P.30)を行ってください。

-ALPHA5ランプ(P.106)緑点灯時に停電が36時間以上続いたときは、電源復旧後1分後に本機が自動的にDDIに電話をかけ、その後データ送信が行われ使用可能となります。

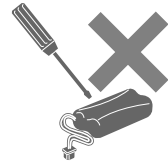
メモリクリアレポートのプリント例

メモリクリア レポート					
NEC					
以下の内容が、停電により クリアされました。					
メモリ 送信文書					
受け付け日時	通信時間	相手先	モード	枚数	通信結果
2月 1日 18時48分	00秒	0120200940	ECM	18	停電

? 電池を交換するとき

△ 警告

電池パックのビニールカバー(チューブ)ははがさないでください。
電池パックは、水や火の中に入れて、加熱や分解をしたりしないでください。
電池パックのコードはショートさせないように注意してください。
指定以外の電池パックを使用しないでください。
電池パックから液もれしたり異臭がしたりするときは、ただちに火気より遠ざけてください。
万一、電池パックが液もれして、液が目に入ったときは、こすらずにすぐにきれいな水でよく洗ったのち、ただちに医師の治療を受けてください。目に障害を与える恐れがあります。また、もれた液が皮膚や衣服についたときは、きれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となります。
電池パックを使用中や充電中、または保管中に異臭を発生したり、発熱したり、変色・変形その他、今までと異なることに気がついたときは、子機から電池パックを取り出し使用を中止してください。



子機の電池パックの交換

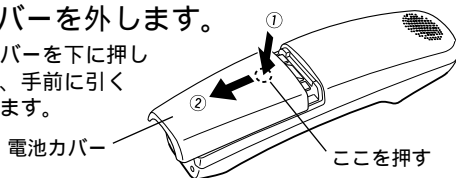
充電しても通話中にすぐに電池がなくなり、通話できないようになったら、新しい電池パックと交換してください。

電池パックの寿命は通常の使用で約2年です。
電池パックを交換しても電話帳に登録した電話番号は消去されません。

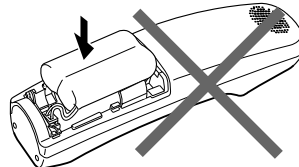
ご注意
電池パックを入れていない状態で、子機を充電器に置かないでください。

1 電池カバーを外します。

電池カバーを下に押しながらか、手前に引くと外れます。



次のような取り付け方はしないでください



△ 注意

電池パックを上から無理に押し込まないでください。取り付け先のツメが壊れる原因となります。

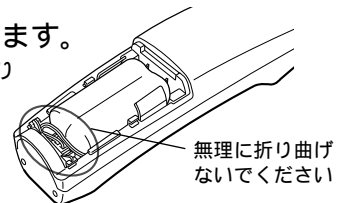
2 古い電池パックを外します。

電池パック接続用のコードを強く引っばらないでください。故障の原因となります。



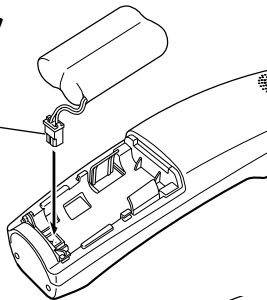
5 コードを収納します。

コードを無理に折り曲げないように注意してください。



3 電池パックのコネクタを差し込みます。

コネクタの向きが違っていると差し込めません

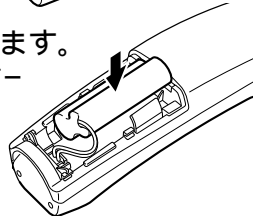


△ 注意

コードをきちんと収納してから電池カバーを取り付けてください。コードをはさんだまま電池カバーを取り付けるとコードが傷つき、断線・故障の原因となります。電池パックの取り付けは充電器に置いたままでは行わないでください。故障の原因となります。

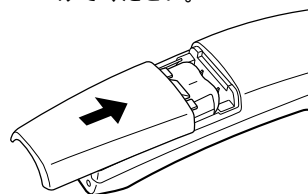
4 電池パックを取り付けます。

電池パックのビニールカバーは、はがさないでください。電池パックを図のように斜めに差し込み、上から押して取り付けてください。



6 電池カバーを取り付けます。

電池カバーを子機の溝に合わせて奥に押し込み、取り付けてください。



△ 注意

電池パックのコードを子機と電池カバーの間にはさまないようにしてください。断線・故障の原因となります。

子機の電池パックについて

電池パックは、必ず本機専用のもの(SP-N1)をお使いください。(P.172)
電池パックの購入については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
新しい電池パックは充電されていません。電池パックを交換したら、子機を充電器に置いて、9時間以上充電してください。

電池パックにはニカド電池を使用しています。ニカド電池は貴重な資源です。交換した電池パックはもちろん、本機を廃棄する際には電池パックを取り出し、お買い上げいただいた販売店、またはお近くの「ニカド電池リサイクル協力店」へお持ちください。



Ni-Cd

電池仕様 : SP-N1、2.4V、600mAh、NEC

ハンズキャナの電池パックの交換

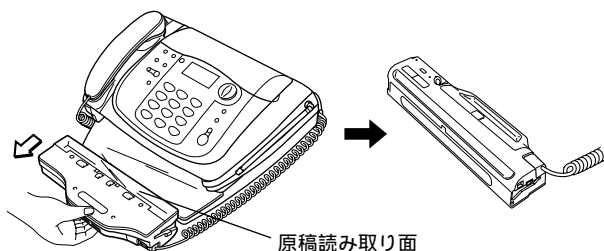
コードを外してハンズキャナを使用するとき、電池パックが充電されていてもすぐに電池がなくなるとなったら、新しい電池パックと交換してください。

電池パックの寿命は通常の使用で約2年です。
交換時は必ず電池パックを2つとも同時に交換してください。

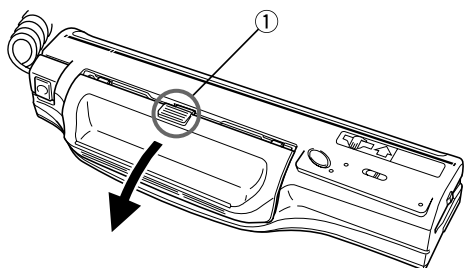
電池パックを交換しても読み取った原稿は消去されません。

必ず本体の電源プラグを電源コンセントから外した状態で行ってください。

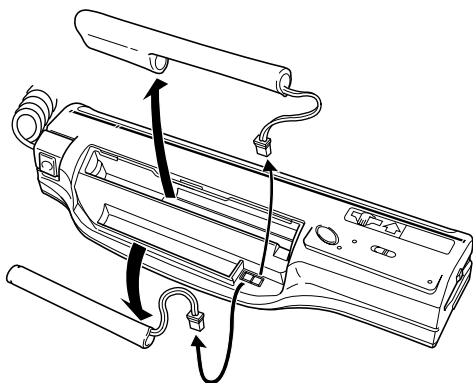
- 1** ハンズキャナを外して裏返します。
原稿読み取り面にはさわらないようご注意ください。



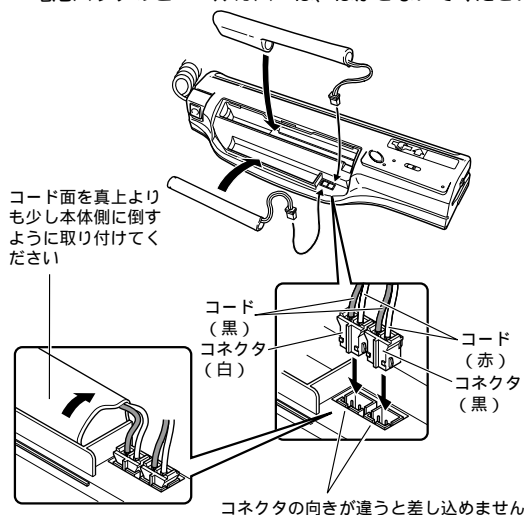
- 2** 電池カバーを取り外します。
この部分を押しながら矢印方向へスライドさせて、カバーを取り外します。



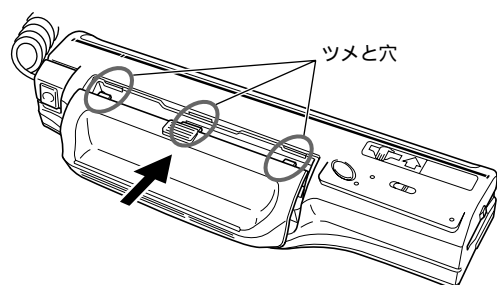
- 3** 古い電池パックを外します。
電池パック接続用のコードを強く引っばらないでください。故障の原因となります。



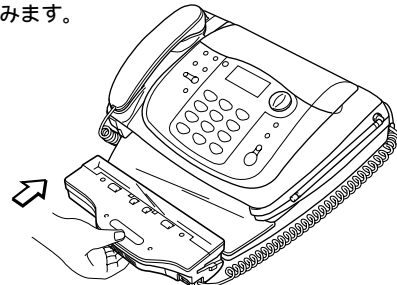
- 4** 新しい電池パックを取り付けます。
電池パックのコネクタを奥まで確実に差し込んでから入れます。コードをはさまないように注意してください。電池パックのビニールカバーは、はがさないでください。



- 5** 電池カバーを取り付けます。
ツメを穴に合わせ、矢印方向にスライドさせてカバーを取り付けます。コードをはさまないように注意してください。



- 6** ハンズキャナを戻します。
原稿読み取り面を上に向けて本体に押し込みます。



ハンズキャナの電池パックについて

電池パックは、必ずハンズキャナ専用のもの(NB-R72S)をお使いください。(P.172)

電池パックの購入については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

新しい電池パックは充電されていません。ハンズキャナ用コードを付けたままだと、充電されていなくてもハンズキャナを使用することができますが、ハンズキャナをコードレスで使用する場合は、ハンズキャナ用コードを取り付け、本体に取り付けた状態で、6時間以上充電してください。

電池パックにはニカド電池を使用しています。ニカド電池は貴重な資源です。交換した電池パックはもちろん、本機を廃棄する際には電池パックを取り出し、お買い上げいただいた販売店、またはお近くの「ニカド電池リサイクル協力店」へお持ちください。



Ni-Cd

電池仕様 : NB-R72S、2.4 V、250mAh、NEC
: NB-R72S、4.8 V、250mAh、NEC

? プリントカートリッジを交換するとき

⚠ 警告

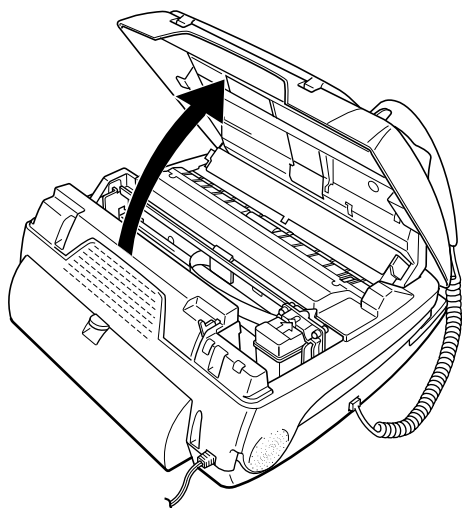
プリントカートリッジは絶対に火の中に投じないでください。爆発したり激しく燃えて、火災ややけどなどの原因となることがあります。
使用後のプリントカートリッジは、ビニール袋などに入れて燃えないゴミとして処理してください。

交換用のプリントカートリッジは、指定のもの(PR101 / J100L-01A)を使用してください。

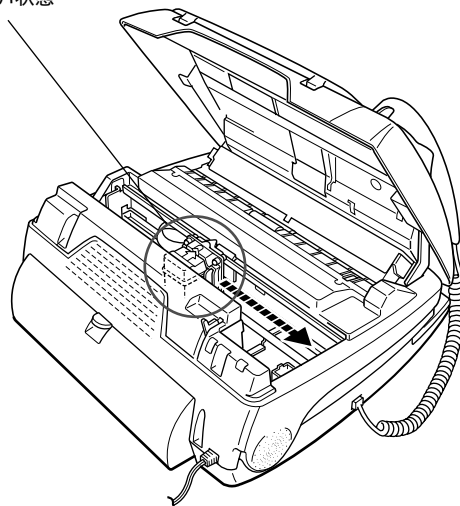
プリントカートリッジのインクがなくなると、「インク交換して下さい」の表示が出ます。

プリントカートリッジが、ホームポジションにない場合は手でホームポジションまで移動してください。ホームポジションにない状態で無理に取り外すと破損の原因になります。

1 カバーを開けます。

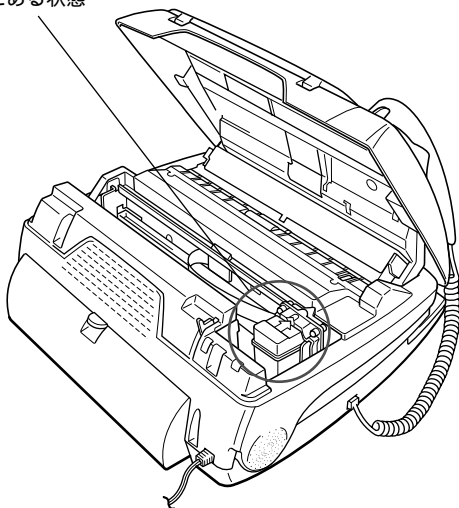


プリントカートリッジがホームポジションにない状態

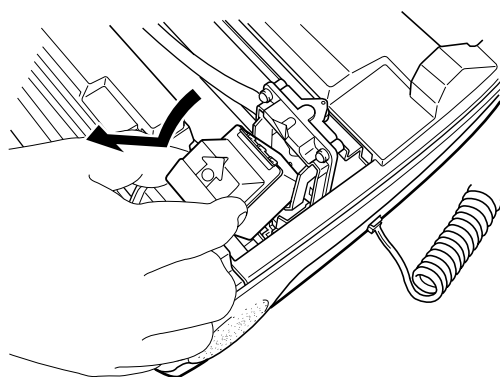


2 プリントカートリッジがホームポジションにあることを確認します。

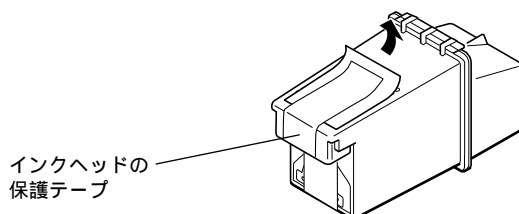
プリントカートリッジがホームポジションにある状態



3 古いプリントカートリッジを取り外します。プリントカートリッジを矢印方向に動かし、引き抜きます。

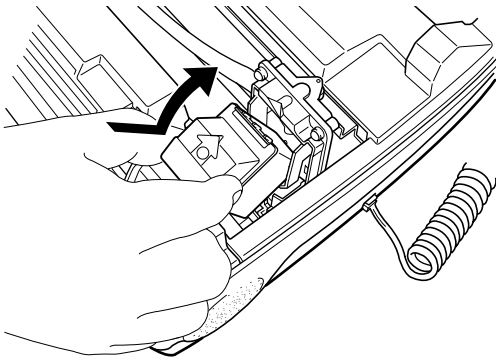


4 新しいプリントカートリッジを用意します。インクヘッドの保護テープをはがします。



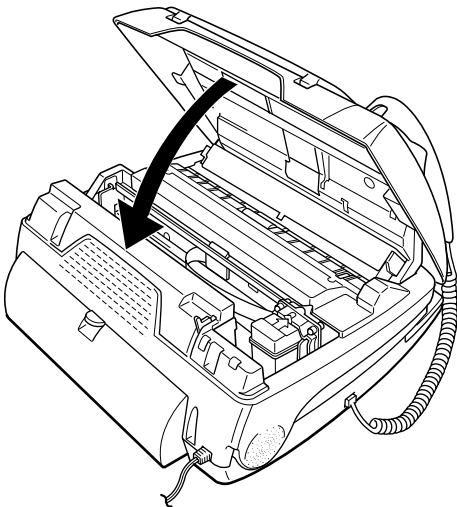
5 プリントカートリッジを取り付けます。

ガイドに沿ってプリントカートリッジを差し込み、矢印方向に押し込みます。



6 カバーを閉じます。

ダストカバー中央部に矢印の方向にカチッと音がするまで押し込みます。



プリント可能枚数のめやす

プリントカートリッジ1個でプリントできる枚数は、次のとおりです。

- ・お買い上げ時に添付のカートリッジ：約500枚 *
- ・消耗品(P.172)のカートリッジ：約750枚 *

* A4サイズ1枚に700字程度をプリントした場合(プリント内容により枚数は変わります)。



プリントカートリッジの先端部には手を触れないでください。画質異常の原因となります。

プリントカートリッジは改造やインクの補充をしないでください。インク漏れなどの故障の原因となります。

開封したプリントカートリッジはすぐに本機に取り付けてください。そのまま放置しておくと、インクが固まってプリントできなくなったり、インクが漏れる場合があります。

プリントカートリッジを交換したら、テストプリント(P.155)を行い、正常にプリントされるか確認してください。

新しいプリントカートリッジに交換してもインクが供給されるまでかすれや「インク交換して下さい」と表示されることがあります。このようなときにはなるべく文字や絵の多い原稿をコピーしてみてください。数枚コピーすることでインクが供給され、改善されます。それでも改善されない場合は、プリントカートリッジの清掃をしてみてください。(P.165)

カバーはきちんと閉めてください。カバーがきちんと閉まっていないと、ディスプレイに「カバー確認」と表示され、本機が使用できなくなります。また、インクが固まる原因となります。

プリントカートリッジを保管するときは、次のことに注意してください。

- ・開封して放置しない

- ・0 ~ 35 内の温度で保管する

取付け期限が過ぎているプリントカートリッジは使用しないでください。(プリントカートリッジの取付け期限はプリントカートリッジの梱包箱の外側に記載されています。ただし、プリントカートリッジを本機に取り付けてから半年を経過した場合は記録がかすれたり、汚れたりする場合があります。

プリントカートリッジの購入については、P.172をご覧ください。

? エラーコードが表示されたとき

ファクスの送信中や受信中に異常があると、ディスプレイに「通信異常 xx」と表示されたり、不達レポートに「xx」とプリントされます。「xx」はエラーコードで、その内容と対処方法を示します。

エラーコード	内容と対処方法	参照ページ
00	原稿が正しくセットされていないため、送信できませんでした。原稿を正しくセットして、もう一度送りなおしてください。	P.64
40	記録紙がなくなりました。記録紙を入れてください。	P.148
41	記録紙がつまりました。取り除いてください。	P.145
46	原稿がつまりました。セットしなおしてください。	P.144
47	カバーが開いています。カバーを閉めてください。	P.144
71	相手先から応答がないため、送信できませんでした。相手先に確認してください。	-
74, 75	電話回線に雑音が多くて送信できませんでした。もう一度送りなおしてください。	-
76, 77	送信の途中で相手先が受信を終了してしまいました。相手機の記録紙がなくなった、もしくは、記録紙が詰まった可能性があります。相手先に確認してください。	-
92, 96, 97, 98	受信の途中で相手先が送信を終了してしまいました。相手先で原稿が詰まった可能性があります。相手先に確認してください。	-

70番以降のコードは、電話回線または相手機種関係の異常の場合です。再度送信してみてください。
上記以外のエラーコードについては、NECサービスステーションにお問い合わせください。(P.173)

? 設定・登録・カートリッジの状態を確認するとき

親機の電話帳の登録内容(電話番号リスト)、親機の着信データ(着信データリスト)、登録されているオリジナル着信メロディ、本機の設定状態(システムリスト)をプリントして確認することができます。また、受信したファクスやコピーに白いすじが入ったり、かすれているなど、正常にプリントされないときは、テストプリントをしてプリントカートリッジの状態を確認することができます。

電話番号リストをプリントするとき

- 登録されている相手先名がプリントされます。(プリントされる順番は、読み仮名で、空白+文字 数字 カナ(50音順) アルファベット 記号 名前を登録していない電話番号の順です。)
- 電話番号リストは1ページに50件までプリントされます。51件以降は2ページ目以降にプリントされます。
- DIAL(P.112)によってTalkin'ダイヤルと公共施設の電話番号を登録した場合、それもプリントされます。
- 子機の電話帳の登録内容はプリントできません。

着信データをプリントするとき

- ナンバー・ディスプレイサービスを利用していないときは、着信データは記憶されません。
- 子機に記憶された着信データはプリントできません。テストプリントが正常にプリントされた場合...プリントカートリッジの状態に異常はありません。プリントの不具合にはその他の原因が考えられます。「困ったときは(Q&A)(P.166)をご覧ください。テストプリントが正常にプリントされない場合...プリントカートリッジのインクが固まっているか、インクが切れていることが考えられます。プリントカートリッジの清掃(P.165)または交換(P.152)を行ってください。

1 ダストカバーを開け、機能 を押します。

リストプリント
受信設定
設定モード

4 を押します。プリントが開始されます。

レポートプリント中
または
テストプリント中

2 を押します。

電話番号リスト
着信データリスト
オリジナルメロディ

3 の▼を押してプリントするものを選択します。

電話番号リスト
着信データリスト
オリジナルメロディ

電話番号リスト
着信データリスト
オリジナルメロディ

電話番号リスト
着信データリスト
オリジナルメロディ

システムリスト
テストプリント

システムリスト
テストプリント

? 電話帳に登録されていない場合...ディスプレイに「電話帳に登録されていません」と表示され、プリントされません。着信データが記憶されていない場合...ディスプレイに「データはありません」と表示され、プリントされません。オリジナル着信メロディが登録されていない場合...ディスプレイに「オリジナルメロディが登録されていません」と表示され、プリントされません。途中でプリントをやめるとき..[ストップ]ボタンを押してください。

プリント例

電話番号リスト

(注)本リストはナンバー・ディスプレイ契約時の一例です。

相手先	電話番号	着信鳴り分け	プライベートコール
伊藤	0312345678	指定なし	内線2(子機)
加藤	0387654321	ベル(標準)	全て
佐藤	0633334444	アイネ クライネ ナハト ムジーク	内線1(親機)
田中	0655556666	ベル(鳴り分け)	全て
山本	0377778888	オリジナルメロディ	全て
和田	0451112222	ベル(標準)	全て

着信データリスト

着信データ リスト			
2000年 2月 1日 17時30分			
NEC			
No.	着信日時	着信データ	相手先
1	1月31日 0時57分	0312345678	日本電気
2	1月31日 0時39分	非通知	
3	1月31日 0時15分	公衆電話	
4	1月29日 15時35分	表示圏外	
20	1月15日 12時36分	受信エラー	

オリジナル着信メロディリスト

オリジナルメロディ リスト						
テコ: 120						
1:ド 4分	2:レ 4分	3:ミ 4分	4:ファ 4分	5:ソ 4分	6:ラ 4分	7:シ 4分
1	2	3	4	5	6	7
8:ド 4分	9:レ 4分	10:ミ 4分				
111	222	333				

システムリスト

システム リスト	
2000年 2月 1日 12時10分	
NEC	
項目	内容
無鳴動着信	しない
音声メッセージ	流さない
着信ベル回数	6 回
呼出ベル回数	10 回
ファクス専用	しない
ベル音・メロディ	アイネ クライネ ナハト ムジーク
読み取り濃度	薄く
発信元記録	する
海外通信	しない
ファクスかんたん受信	する
保留メロディ	茶色の小瓶
回線種別	DP20
Fネット	しない
ドアホン1	なし
ドアホン2	なし
ボイスコール	する
子機の受話音量	大きい
子機の送話音量	標準
省エネルギー	する
自分の電話番号	0120200940
発信元	NEC
おやすみ オン 時刻	22:59
おやすみ オフ 時刻	5:58
リモート操作	する リモートパスワード = 0000
用件転送	する 転送先 0312345678 転送回数 10 回
ダイヤルイン	する 内線指定番号 ファクス = 1234 内線1 = 5678 (共通鳴動 = する) 内線2 = 9012 内線3 = 内線4 = 内線5 =
トールセイバ	しない
ナンバーディスプレイ	する
とくいでコール	する 電話帳 + 公衆電話
番号リクエスト	しない
着信拒否	する
応答メッセージ選択	する
キャッチホン	しない
アルファ設定	
自分の電話番号	0345678901
郵便番号	108-8001
アルファSW	しない
料金表示	する 親機
内線2	あり
内線3	なし
内線4	なし
内線5	なし
定型受信	する
定型コピー	しない
印字範囲 広い	しない
ハントスキャナ	
読み取り記録幅	A4 -- A4
メロディハントスキャナ	する

テストプリント結果

48 47 46 45 44 43 42 41 40 39 38 37 36 35 34 33 32 31 30 29 28 27 26 25 24 23 22 21 20 19 18 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1
--

? ドアホンを使うとき

本機をドアホンと接続して、ドアホンと通話したり、ドアホンをモニタすることができます。

ドアホンは2台まで接続できますが、2台と同時に通話することはできません。

ドアホンの呼出音はドアホン1と2で異なります。

・親機の場合

ドアホン1：ピーンポーン、ピーンポーン

ドアホン2：ピンポンピンポーン、ピンポンピンポーン

・子機の場合

ドアホン1：「ピポピポピポピ」が3回





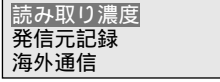

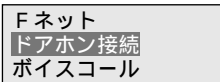

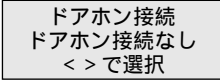


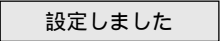

ドアホン2：「ピポピポピポピポピポピポピ」が3回
親機または子機からドアホン呼び出すことはできません。

ドアホンを接続するには、ドアホン線と電話回線の接続工事が必要です。接続工事には工事担任者資格が必要です。接続できるドアホンの種類と接続工事については、お近くのNECサービスステーションにご相談ください(P.173)。(ドアホンとドアホンユニットをNTT東日本またはNTT西日本よりご購入していただく必要があります。)

お買い上げのとき「ドアホン接続なし」に設定されています。ご使用の際は必ず以下の操作で設定をしてください。

ドアホン接続の設定

ドアホンを利用するために、接続工事終了後、次の設定をします。

- 1 ダストカバーを開け、 を押します。
- 2  の▼を2回押します。

- 3  を押します。

- 4  の▼を7回押します。

- 5  を押します。
それまでのドアホン接続状態が表示されます。

- 6  の<または>を押して接続状態を選びます。
ドアホン1接続 : ドアホン1接続のとき
ドアホン2接続 : ドアホン2接続のとき
ドアホン1 & 2接続 : ドアホン1、2接続のとき
ドアホン接続なし : ドアホン未接続のとき
- 7  を押します。

- 8  を押します。

ドアホンから呼び出しがあったとき

親機で応答する場合

- 1 ドアホンの呼出音が鳴ります。
[おやすみ] ボタンが約20秒間点滅します。
ドアホン1着信中
- 2 受話器をとります。
[おやすみ] ボタンが点滅している間にとってください。
ドアホン1と通話中
- 3 ドアホンと話をします。
- 4 話が終わったら受話器を戻します。

子機で応答する場合

- 1 ドアホンの呼出音が鳴ります。
[グループ/ドアホン/内線] ボタンが約20秒間点滅します。
ドアホンチャクシン
- 2 充電器からとります。
(充電器に置いていないときは
グループ
ドアホン
内線 を押します。)
[グループ/ドアホン/内線] ボタンが点滅している間にとってください。
- 3 ドアホンと話をします。
- 4 話が終わったら充電器に戻します。
(または グループ
ドアホン
内線 を押します。)



ワイワイトークでドアホンと通話することはできません。
ドアホン通話を[保留/クリア] ボタンを押して保留することはできません。
ドアホン通話を転送することはできません。
ドアホン通話中は内線通話はできません。
ファクス通信中にはドアホンからの呼び出しに応答できません。
留守設定中やおやすみモード中でもドアホンの呼出音が鳴ります。

ドアホンの呼出音が鳴ってから20秒経つと、呼び出しに応答できません。

ドアホン通話中に外線のベルが鳴ったら、ドアホンとの通話を終了してから外線に出てください。ただし、ダイヤルインサービスをご利用の場合は、ドアホンと通話中には外線を受けられません。

親機のドアホンの呼出音の大きさは、ベル音量(P.58)の設定に従います(ただし、「切」でも呼出音は鳴ります)。なお、おやすみモード中では、音量は「小」で鳴ります。子機は普通の音量で鳴ります。




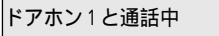

受話音量を調整したいとき..[音量] ボタンを押してください。

通話中にドアホンから呼び出しがあったとき

外線通話中でも、ドアホンの呼び出しに回答することができます。
子機で外線通話中のときは、ドアホンの呼び出し音が受話口から聞こえます。




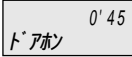


親機で応答する場合


外線通話中です。

- 1 ドアホンの呼出音が鳴ります。
[おやすみ]ボタンが点滅します。
- 2  を押します。
通話中の外線が保留になります。

- 3 ドアホンと話をします。
- 4 話が終わったら  を押します。
保留していた外線と通話できます。


子機で応答する場合

外線通話中です。

- 1 ドアホンの呼出音が受話口から聞こえます。
[グループ/ドアホン/内线]ボタンが点滅します。

- 2   を押します。
通話中の外線が保留になります。
[外線]ボタンが点滅します。

- 3 ドアホンと話をします。
- 4 話が終わったら   を押します。
保留していた外線と通話できます。

 子機で外線通話中にドアホンの呼び出しがあった場合、親機の呼び出し音も鳴りますが、親機でドアホンに回答することはできません。





親機で外線通話中にドアホンの呼び出しがあった場合、子機呼び出し音は鳴りません。

 内线通話中にドアホンから呼び出しがあったとき...
内线通話を切ってからドアホンに回答してください

い。内线通話を保留してドアホンに回答することはできません。

ドアホンでモニタする

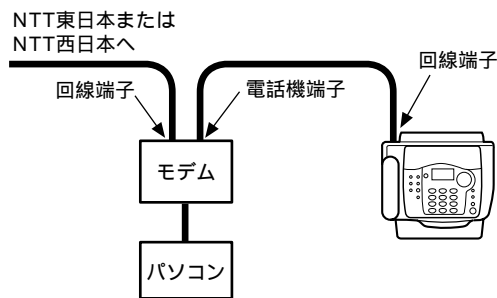
ドアホン周辺の音を聞いたり、外の人と話したりできます。
子機ではモニタすることはできません。

- 1 次のボタンを押します。
ドアホン1:  
ドアホン2:  
- 2 受話器をとってドアホン周辺の音を聞きます。
外の人と話すこともできます。
- 3 受話器を戻します。

? いろいろな機器を接続するとき

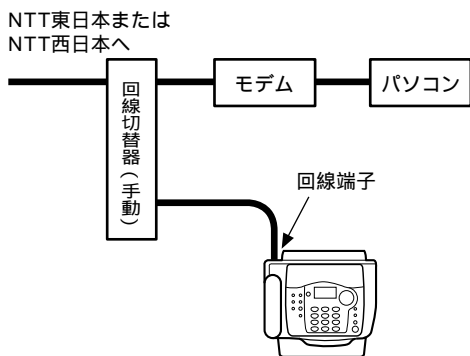
パソコンやモデムとの接続

モデムやモデム内蔵のパソコンで電話を受けるようにするときは、モデムの電話機端子に本機を接続します。このときモデムやモデム内蔵のパソコン側の設定を、ファクス/電話自動切替する(自動的に回線を接続する前に着信するようにしてください。)
モデムやモデム内蔵のパソコンの接続方法や設定方法の詳細については各々の説明書を参照してください。



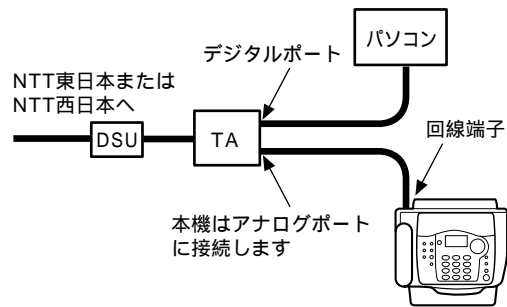
! モデムやモデム内蔵のパソコンと接続した場合、回線種別は手で設定してください。(P.30)
モデムやモデム内蔵のパソコンで通信中は、本機を使用できません。
通話中やファクスの通信中にモデムやモデム内蔵のパソコンを操作すると、通話やファクスがただちに切断されます。本機が使用中でないことを確認してから、モデムなどを操作してください。

<参考：回線切替器を利用する場合>



ISDNターミナルアダプタ(TA)との接続

インターネットやパソコン通信にNTT東日本またはNTT西日本のISDN回線(INSネット64)を利用する場合は、ISDNターミナルアダプタ(以下TA)を用いて本機とパソコンの両方を接続することができます。
ISDN回線を利用するには、NTT東日本またはNTT西日本へ申し込みが必要です。



! ナンバー・ディスプレイを利用するときは、ナンバー・ディスプレイ対応のTAを使用してください。
TAとISDN回線間の接続には、デジタルサービスユニット(DSU)が必要です。あらかじめご用意ください。なお、TAによっては、DSUが内蔵されている機種もあります。詳しくはTAの説明書をご覧ください。
本機の手回し種別はプッシュ回線(PB)に設定してください。(P.30)
電話番号の前に0077などの番号を付けてかける場合、ターミナルアダプタの設定(桁間タイム等)によっては電話がかけれない場合があります。
ダイヤルインサービスをご利用の場合、TAの取扱説明書に従って設定してください。TAの機種または設定によっては本機でのダイヤルインが使用できない場合があります。その時は本機を「ダイヤルインを利用しない」と設定してください。(P.143)


? 省エネルギーモードで使うとき

待機時(使用していない状態)の消費電力を少なくすることができます。


省エネルギーモードにすると待機時の消費電力を約60%節約できます。(P.175)

お買い上げのとき...「省エネルギーモードにする」に設定されています。


1 ダストカバーを開け、^{機能} を押します。

2  の▼を2回押します。 リストプリント
受信設定
設定モード

3 ^{電話帳登録セカ} を押します。 読み取り濃度
発信元記録
海外通信

4  の▼を11回押します。 子機の受話音量
子機の送話音量
省エネルギー

5 ^{電話帳登録セカ} を押します。 省エネルギー
_ x

6  の<または>を押してカーソルを移動します。

— x : 省エネルギーモードにする
x : 省エネルギーモードにしない

7 ^{電話帳登録セカ} を押します。 設定しました

8 ^{ストップ} を押します。



以下の場合「省エネルギーモードにする」に設定しても省エネルギー機能は働きません。

- ・「Fネットを利用する」に設定した場合(P.140)
- ・メモリ代行受信の文書がある場合(P.72)
- ・記録紙がない、カバーが開いているなどで、アラーム表示が出ている場合
- ・ハンズキャナ充電中(P.24)
(ハンズキャナは以下の場合に充電中になります。
 - ・お買い上げ後、電源を接続してから約6時間
 - ・ハンズキャナをコードレスで使用後、その使用時間によりコード接続後20分~6時間))

「省エネルギーモードにする」に設定した場合、ファクスやコピーの際の原稿セット時に、原稿を自動的に引き込むのが3秒程度遅くなります。(「しばらくお待ち下さい」と表示後に原稿が引き込まれます。)

? お手入れのしかた

本体の清掃

装置表面の汚れは、薄めた台所用中性洗剤に浸した布を固く絞って拭き取り、最後に乾いた柔らかい布で拭いてください。

水拭きをする場合は布を固く絞ってから拭いてください。



ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、アルコールは、絶対に使用しないでください。変形や変色の原因となります。

ハンズキャナの清掃

原稿を読み取る部分のガラス面が汚れると、コピーや相手の記録画に汚れが出てしまいます。原稿読み取り面は、定期的に(月に1回程度)清掃し、いつもきれいにしておいてください。

1 ハンズキャナを外します。

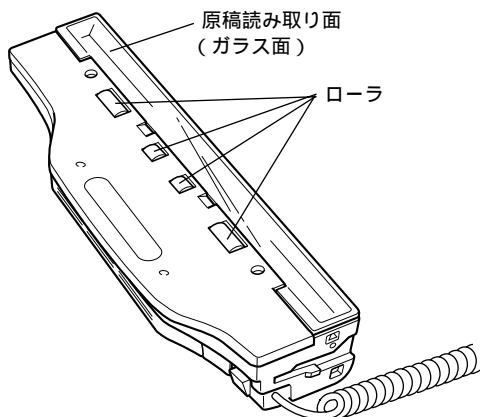
矢印の方向に引き抜きます。



2 ガラス面を柔らかい布で拭きます。

3 ローラを拭きます。

水に浸した布を固く絞って拭いてください。



4 ハンズキャナを戻します。

原稿読み取り面を上に向けて本体に押し込みます。

記録紙カセットの清掃

記録紙カセットが汚れると、記録紙給紙不良の原因となります。記録紙カセットは定期的に(月に1回程度)清掃してください。

1 記録紙カセット、カセットのカバーを取り外し、記録紙を取り出します。(P.148)

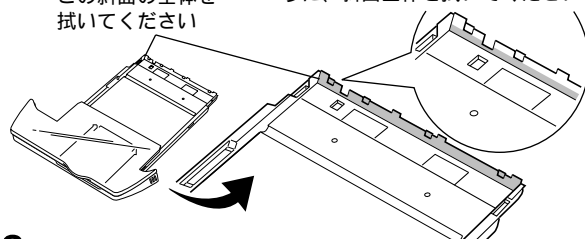
2 記録紙カセット奥側斜面を拭きます。

水に浸した布を固く絞り、記録紙カセット奥側斜面全体を拭きます。(アルコール、ベンジン、シンナーなどの薬品は使用しないでください。)

斜面に傷を付けないよう柔らかい布を使用して拭いてください。

特に斜面の下側に拭き残しが無いように、斜面全体を拭いてください

この斜面の全体を拭いてください



3 記録紙をセットし、記録紙カセットのカバーを取り付け、記録紙カセットを本体に取り付けます。(P.148)

原稿送り用ローラの清掃

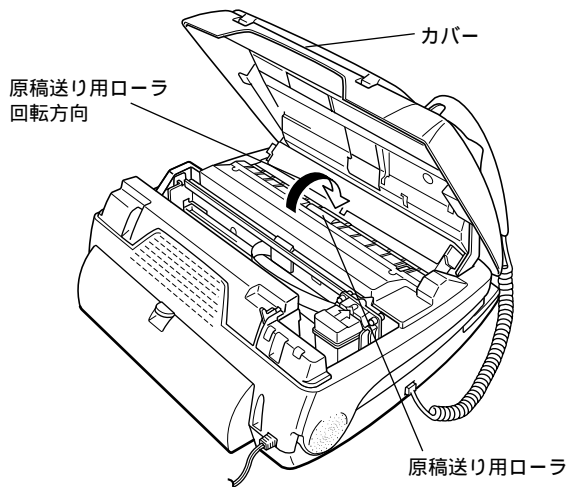
原稿送り用ローラが汚れると原稿づまりの原因となります。ハンズキャナとともに原稿送り用ローラも清掃してください。

1 電源プラグを抜きます。

2 カバーを開けます。(P.144)

3 原稿送り用ローラを拭きます。

水に浸した布を固く絞り、原稿送り用ローラを手で回しながらローラの表面全体を拭きます。



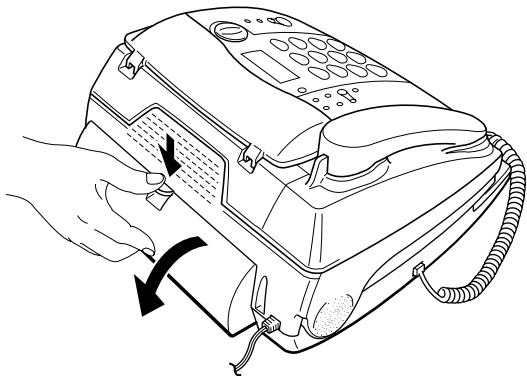
4 カバーを閉じます。

5 電源プラグを差し込みます。

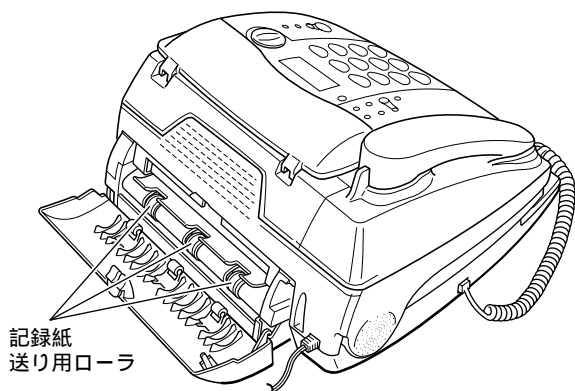
記録紙送り用ローラの清掃

記録紙送り用ローラが汚れると、記録紙づまりの原因になります。記録紙送り用ローラは定期的に(月に1回程度)掃除してください。

- 1 電源プラグを抜きます。
- 2 リアカバー開レバーを下に押し、リアカバーを開けます。

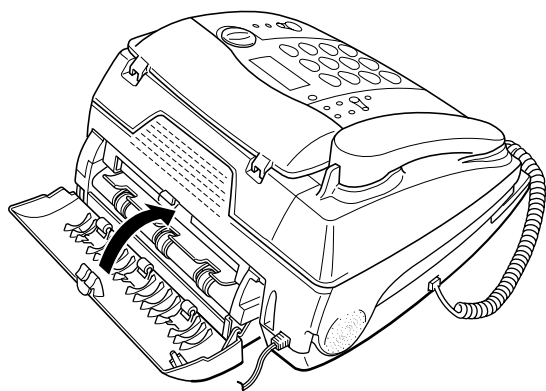


- 3 記録紙送り用ローラを拭きます。
水に浸した布を固く絞り、記録紙送り用ローラを手で回しながら、記録紙送り用ローラの表面全体を拭いてください。



△注意
掃除の際、白いローラにさわらないようにしてください。

- 4 リアカバーを閉めます。

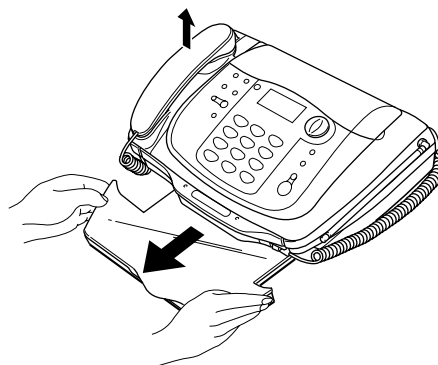


- 5 電源プラグを差し込みます。

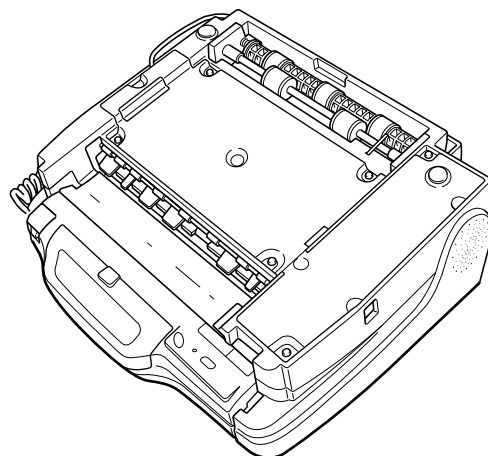
記録紙給紙用ローラの清掃

記録紙給紙用ローラが汚れると記録紙給紙不良の原因になります。記録紙給紙用ローラは定期的に(月に1回程度)掃除してください。

- 1 電源プラグを抜きます。
- 2 記録紙カセットと受話器を取り外します。

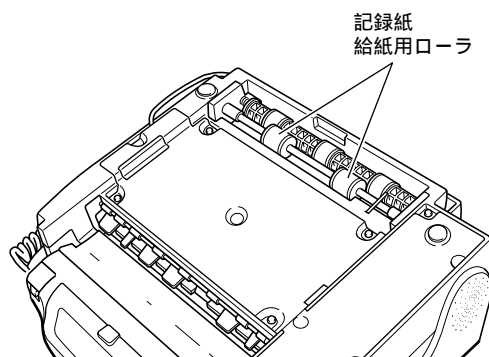


- 3 本体を裏返します。

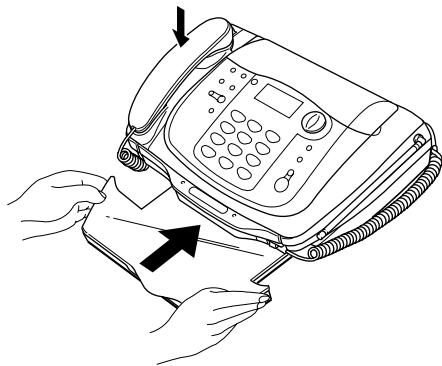


△注意
本体を裏返したとき、操作パネルに傷がつかないようにやわらかい布等を敷いてください。

- 4 記録紙給紙用ローラを拭きます。
水に浸した布を固く絞り、記録紙給紙用ローラを手で回しながら、記録紙給紙用ローラの表面全体を拭いてください。



- 5 本体をもとに戻し、記録紙カセットと受話器を取り付けます。



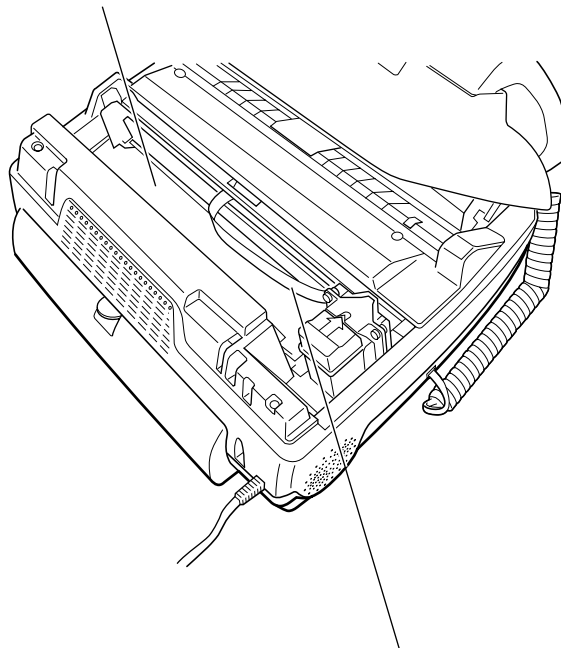
- 6 電源プラグを差し込みます。

プリンタ部の清掃

記録紙がつまるとプリンタ部がインクで汚れてしまい、記録紙の裏面が汚れる原因となります。そのようなときはプリンタ部を清掃します。

- 1 電源プラグを抜きます。
- 2 カバーを開けます。(P.144)
- 3 プリンタ部を乾いた布で拭きます。

プリンタ部 (プリントカートリッジが往復する部分)
この部分を乾いた布で拭く



△注意

フレキシブルケーブルには触れないようにしてください。故障の原因となります。

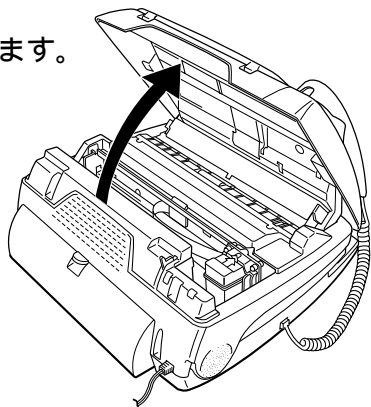
- 4 カバーを閉じます。
- 5 電源プラグを差し込みます。

プリントカートリッジの清掃

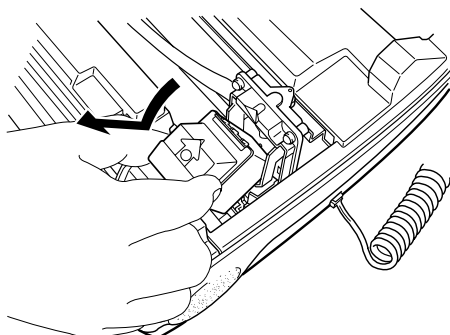
ファクスやコピーがかすれる、白いすじが入る、印字されないなどの症状が出た場合には、プリントカートリッジの接点部が汚れていたり、インクが固まっていることが考えられます。テストプリント(P.155)をしても同じような症状が出る場合は、プリントカートリッジの清掃を行ってみてください。

接点部の清掃

1 カバーを開けます。

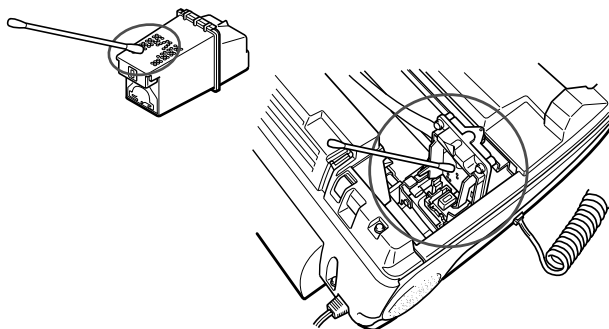


2 プリントカートリッジを取り外します。 プリントカートリッジを矢印方向に動かし、引き抜きます。

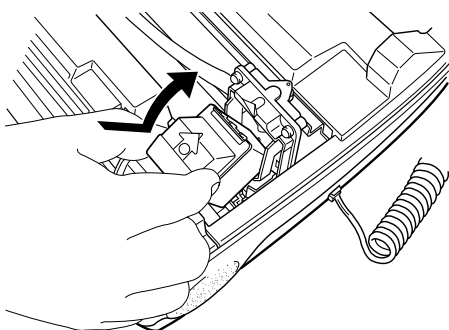


3 プリントカートリッジと本体内部の接点部を拭きます。

綿棒で図の部分を拭きます。

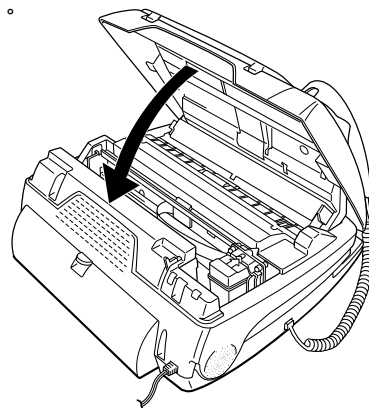


4 プリントカートリッジを取り付けます。 ガイドに沿ってカートリッジを差し込み、矢印方向に差し込みます。



5 カバーを閉じます。

ダストカバー中央部を矢印の方向にカチッと音がするまで押し込みます。



カバーはきちんと閉めてください。カバーがきちんと閉まっていないと、ディスプレイに「カバー確認」と表示され、本機が使用できなくなります。また、インクが固まる原因となります。

1日程度プリント動作をしなかった場合、本機時計の午前10時に自動的にクリーニング動作を行います。(約10秒間)この動作中は「ヘッドクリーニング中」と表示され、プリントカートリッジの動く音がします。

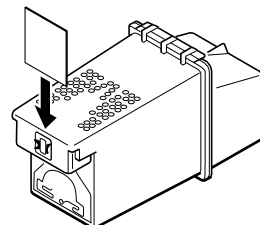
インクヘッドの清掃

プリントカートリッジを開封した状態で長期間放置しておくと、インクが固まって印字できなくなることがあります。そのようなときは固まったインクを取り除きます。

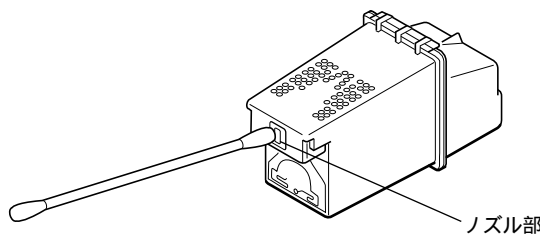
1 カバーを開けます。

2 プリントカートリッジを取り外します。

3 名刺などの硬い紙を使って、乾いたインクを取り除きます。



4 きれいな布または綿棒を水で少しぬらし、ノズル部を軽く拭き取ります。



? 困ったときは(Q & A)

	こんなときは	内 容	参照 ページ
待 機 中	ディスプレイに何も表示されない	・電源プラグは電源コンセントに差し込んでありますか？	P.27
	「カバー確認」と表示が出た	・カバーが開いています。	-
	「リアカバー確認」と表示が出た	・リアカバーが開いています。	-
	「記録紙がつまりました」カバーを開けて下さい」と交互に表示が出た	・記録紙がつまっていませんか？ ・記録紙がつまっていない場合は、記録紙の給紙不良です。記録紙カセットと記録紙給紙用ローラを清掃してください。 ・記録紙がつまっている場合は、カバーを開けて記録紙を取り除いてください。	P.145 P.146
	「記録紙がありません」と表示が出た	・記録紙がなくなっています。 ・記録紙カセットがはずれていませんか？	P.148
	「プリントカートリッジ確認」と表示が出た	・プリントカートリッジがセットされていません。	P.152
	「インク交換して下さい」と表示が出た	・プリントカートリッジを取り外してインクの残量を確認してください。 インクの残りが少ない場合は新しいプリントカートリッジと交換してください。 インクが十分に残っている場合はプリントカートリッジを清掃してください。	P.152 P.165
	「プリンタ確認」と表示が出た	・プリントカートリッジがずれていませんか？ ・プリントカートリッジの周辺に異物がはさまっていませんか？ 異物がある場合は取り除いてください。	-
「ヘッドクリーニング中」と表示が出てプリントカートリッジが動く音がする	・インクヘッドの自動クリーニングを行っています。	P.165	
電 話 (親 機 / 子 機	受話器から何も聞こえない	・電源プラグは電源コンセントに差し込んでありますか？ ・電話回線が接続されていますか？ ・受話器のコードは接続されていますか？	P.27 P.28 P.22
	電話を受けられるが、かけることができない	・回線種別の設定が合っていますか？ ・ターミナルアダプタを使用していませんか？	P.30 P.160
	電話をかけることはできるが、受けることができない	・ナンバー・ディスプレイの設定を「利用しない」にしてください。 ・ターミナルアダプタを使用していて、ターミナルアダプタ側でダイヤルインの設定をしている場合は、ダイヤルインの設定を「しない」にしてください。	P.29 P.143
	ベルが鳴らない	・ベルの音量調整が「切」になっていませんか？ ・おやすみモードになっていませんか？ ・着信ベルに、休符のみのオリジナル着信メロディを設定していませんか？	P.58 P.89 P.60
	[おやすみ]ボタンが点滅する	・電話がかかってくると、[おやすみ]ボタンは点滅します。故障ではありません。	P.36
	ベルの音が小さい(大きい)	・ベルの音量を調整してください。	P.58
	ベルが鳴り、電話をとったが何も聞こえない	・相手がファクスかもしれません。[スタート/コピー]ボタン(子機では[グループ/ドアホン/内線]ボタンを押したあと[6])を押してみてください。	P.34
	相手の声が聞き取りにくい	・音量調整をしてください。	P.58
	ワイワイトークで相手の声が聞き取りにくい	・音量調整をしてください。 ・装置の左側面のスピーカがふさがっていませんか？	P.58 P.14
	ワイワイトーク中「ピー」、「キー」等の異常音ハウリング音が聞こえた	・P.48をご覧ください。	-
	トーン(プッシュ)信号の送出しがたは？	・P.38をご覧ください。	-
	着信ベル/呼出ベルの意味がわからない	・P.34をご覧ください。	-
	公衆電話で電話をかけた相手から、応答もしないのに通話料金がかかると言われた また、呼出音が少しおかしいと言われた	・P.34をご覧ください。	-
	電話をかけた時、相手に自分の電話番号が表示されるのか？	・相手がNTT東日本またはNTT西日本のナンバー・ディスプレイを契約している場合、自分の電話番号を通知したときに表示されます。 ・ファクス送信のときは、お客様が自分の電話番号を登録していたら、その番号が相手機に表示されます。	P.20 P.31
	海外に電話をかけるとき、ダイヤルボタンを押してダイヤルした時はつながるが、電話帳ではつながらない	・P.39をご覧ください。	-
	親機から子機を呼び出せない 親機に「電波使用中」と表示が出た 親機に「子機応答ありません」と表示が出た	・子機を親機に近づけてみてください。 ・親機のアンテナの向きを変えてみてください。 ・テレビやラジオなどの電気機器から離れてみてください。 ・近くで別のコードレス電話機を使用していませんか？ ・子機の電池残量を確認してください。	P.7

	こんなときは	内容	参照ページ
電話(子機)	電話がかけれない(「ツー」という音が聞こえない)	<ul style="list-style-type: none"> 親機の電源プラグは電源コンセントに差し込んでありますか? 子機は充電されていますか? 電話回線が接続されていますか? 親機から離れすぎています。親機に近づいてください。 	P.27 P.23 P.28 P.7
	電話をかけようとしたら「ピー・ピー・ピー」という音がした	<ul style="list-style-type: none"> 親機が通話中、またはファクスの送信/受信、コピーをしていますか? 	P.35
	ベル呼出音が鳴らない	<ul style="list-style-type: none"> ベルの音量調整が「OFF」になっていませんか? 親機に近づいてみてください。 親機のアンテナの向きを変えてみてください。 子機は充電されていますか? おやすみモードになっていませんか? 親機が動作中(コピー中等)ではないですか? 着信ベルに、休符のみのオリジナル着信メロディを設定していませんか? 	P.58 P.7 P.23 P.89 P.35 P.60
	相手の声が聞き取りにくい	<ul style="list-style-type: none"> 音量調整をしてください。 いつも聞き取りにくいときは、受話音量を全体的に大きく設定してください。 	P.58 P.63
	相手からこちらの声が聞き取りにくいと言われる	<ul style="list-style-type: none"> 送話音量を全体的に大きく設定してください。 	P.63
	通話中に声がとぎれたり雑音が入る	<ul style="list-style-type: none"> 親機に近づいてみてください。 親機のアンテナの向きを変えてみてください。 テレビやラジオなどの電気機器から離れてみてください。 蛍光灯が近くにあったら離してみてください。 子機の近くに携帯電話などの充電器があったら離してみてください。 	P.7
	通話中に「ピッピッピッピッピッピッ」という音が鳴り出した	<ul style="list-style-type: none"> 電池の充電残量が少なくなっています。充電をしてください。 	P.23
	通話中にすぐに電池がなくなる	<ul style="list-style-type: none"> 電池パックを交換してください。 	P.150
	充電器に置いたとき、[外線]ボタンと[内線]ボタンが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> 充電器に正しく置いてください。 	P.23
	他のファクシミリの子機をspeaxJ226の子機として使えるのか? 増設子機が使えない	<ul style="list-style-type: none"> 使えません。子機を増設する場合は指定の増設コードレス電話機セットをお買い求めください。 増設子機に対する識別番号(IDコード)の登録が必要です。お買い求めの販売店にご相談ください。 	P.28 P.28
ファクス(コピー)	コピーが白紙になる	<ul style="list-style-type: none"> コピーする面を下に向けて原稿をセットしましたか? プリントカートリッジのインクが切れていませんか? プリントカートリッジを清掃してみてください。 	P.64 P.155 P.165
	コピー中に「ピー」という音が鳴り続けた	<ul style="list-style-type: none"> [ストップ]ボタンを押すと、「ピー」という音が止まります。 原稿がつかまっています。 記録紙の給紙不良です。 記録紙がつかまったか、なくなっています。 	P.144 P.145 P.146, P.148
	コピーがかすれた コピーがうすい	<ul style="list-style-type: none"> 原稿読み取り濃度を濃くして、もう一度コピーをとってください。 プリントカートリッジを掃除してみてください。それでもなおならない場合は、インクが残り少なくなっている可能性があります。新しいカートリッジに交換してください。 推奨環境(温度: 15~30、湿度: 35~70%)でお使いください。 	P.66 P.165 P.152
	コピーが鮮明でない	<ul style="list-style-type: none"> 原稿読み取り部を清掃してください。 当社推奨の記録紙を使用してください。 	P.162 P.172
	コピーの後端が欠ける	<ul style="list-style-type: none"> 「定型コピーする」に設定してご利用ください。 「印字範囲を広くする」に設定してご利用ください。 	P.77 P.76
	コピー画の左端が欠ける	<ul style="list-style-type: none"> A4の原稿のとき、原稿セットガイドをB4の位置のままで、原稿をガイドの右側に合わせてコピーをすると左側約2~3cmが欠けます。原稿セットガイドは必ず合わせてください。 	P.64
	記録紙の裏面が汚れる	<ul style="list-style-type: none"> プリンタ部を清掃してください。 	P.164
	原稿をセットすると「原稿確認」の表示が出る	<ul style="list-style-type: none"> いったんカバーを開け、カバーを閉じてください。 	P.144
	原稿をセットしたのに「原稿がありません」の表示が出た 原稿が送り込まれていかない	<ul style="list-style-type: none"> 原稿が自動的に引き込まれるまで軽く差し込んでください。 原稿が厚すぎます。(ハンドスキャナを使って送信してください。) 原稿が薄すぎます。(ハンドスキャナを使って送信してください。) 原稿が小さすぎます。(ハンドスキャナを使って送信してください。) 装置カバーの内側にあるグレーのゴム板が原稿セット台に引っかかっているか確認してください。引っかかっていたら戻してください。 原稿送り用ローラを清掃してください。 	P.64 P.95 P.144
	原稿が斜めに入った	<ul style="list-style-type: none"> 原稿を取り除き、もう一度やりなおしてください。 原稿セットガイドを原稿の幅に合わせてください。 原稿送り用ローラを清掃してください。 	P.64 P.162
原稿の読み取り中に「ピー」という音がして止まってしまう、「原稿確認」と「ローラを清掃して下さい」という表示が交互に出た	<ul style="list-style-type: none"> 原稿を取り除き、もう一度やりなおしてください。 原稿送り用ローラを清掃してください。 	P.64 P.162	

	こんなときは	内 容	参照 ページ
ファクス(送信)	原稿が送られず、「相手先無応答」と表示が出た	<ul style="list-style-type: none"> 相手先の電話番号を確認してください。 相手先が電話に出ません。しばらくしてから、もう一度かけなおしてください。 相手先のファクスが受信できない状態になっています。相手先に確認して、もう一度送りなおしてください。 	-
	原稿が送られず、「相手先話し中」と表示が出た	<ul style="list-style-type: none"> 相手先が話中です。しばらくしてから、かけなおしてください。 回線が混み合っています。しばらくしてから、かけなおしてください。 	-
	何回送信しても「再発呼待ち」になる	<ul style="list-style-type: none"> 相手が話中です。 電話がかけられるかを確認してください。 手動で送信してみてください。(手動とは、電話をかけて話をして、その後に双方がファクスを送る/受ける操作をする方法です。) 	P.69 P.35 P.68
	送信中に「ピーピーピーピー」という音が鳴り出した	<ul style="list-style-type: none"> 相手のファクスに記録紙切れ等が起きたため、送信が中断されました。相手先に確認して、もう一度送りなおしてください。 	-
	「通信異常 ××」と表示が出た(××は2桁の英数字)	<ul style="list-style-type: none"> エラーコード表を参照して対処してください。 	P.154
	送信に時間がかかる	<ul style="list-style-type: none"> 画質モードの設定が「細い」、「写真」のときは、「ふつう」や「小さい」のときに比べ、送信に時間がかかります。 原稿に黒い部分が多いときや原稿の裏に印刷があるときは、送信に時間がかかります。 回線の状態が悪い場合は、送信に時間がかかることがあります。 	P.65
	海外への送信ができない	<ul style="list-style-type: none"> 海外へ送信する時は、国内と違い接続に時間がかかります。手動で送信するのが確実です。(手動とは、受信番号「ピーヒョロヒョロ」と聞こえてから送る方法です。) 電話帳を使う場合、例えば001の後にポーズを入れて交換機の待ち時間を作ってください。 海外通信の設定をすると、エコキャンセルや、ファクス信号を長く送出するため、海外との通信がしやすくなります。 	P.68 P.39 P.66
	送ったファクスが縮小された	<ul style="list-style-type: none"> 相手機(受信側)がA4サイズの記録紙を使用している場合、B4サイズの原稿を送ると自動的にA4サイズに縮小して送信されます。 A4の原稿のとき、原稿セットガイドをB4の位置のまま、原稿をガイドの左側に合わせて送信すると縮小して送信されます。 	P.64
	送受信でサイズが違う	<ul style="list-style-type: none"> ファクスの場合は、送受信で若干の差がでます。原稿/記録紙の送り誤差(原稿読み取りおよび受信画の伸び縮み)があります。 1つ上の項目も参照してください。 	-
	送信した原稿が相手先で白紙になる	<ul style="list-style-type: none"> 原稿を表裏逆にセットしませんでしたか? 送る面を下に向けてセットして、もう一度送りなおしてください。 相手先の記録紙の向き(表裏)が正しくないかもしれません。相手先に確認してもう一度送りなおしてください。 	P.64
	相手先で受信した記録がかすれた 相手先で受信した記録がうすい	<ul style="list-style-type: none"> 原稿読み取り濃度を濃くして、もう一度送りなおしてください。 	P.66
	相手先で受信した記録の状態が鮮明でない	<ul style="list-style-type: none"> 本機でコピーをとってください。コピーが鮮明でないときは、原稿読み取り部を清掃してください。コピーが鮮明なときは、回線または相手側に原因があると思われます。もう一度送りなおしてください。 通信中にキャッチホンが入ると画像が乱れることがあります。もう一度送りなおしてください。 画質モードを変えて送ってみてください。 	P.78 P.162 P.139 P.65
	相手先で受信した記録に黒いすじが入る	<ul style="list-style-type: none"> 本機でコピーをとってください。コピーにも黒いすじが入るときは、原稿読み取り面を清掃してください。コピーが正常なときは、相手側に原因があると思われます。もう一度送りなおしてください。 	P.78 P.162
	ファクス(受信)	「しばらくお待ち下さい」と表示が出たままになった	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグを入れたまま、しばらく使用を控えてください。
「通信異常 ××」と表示が出た(××は2桁の英数字)		<ul style="list-style-type: none"> エラーコード表を参照して対処してください。 	P.154
「カバー確認」と表示が出た		<ul style="list-style-type: none"> カバーが開いています。 	-
「リアカバー確認」と表示が出た		<ul style="list-style-type: none"> リアカバーが開いています。 	-
「記録紙がつまりました」と表示が出た		<ul style="list-style-type: none"> 記録紙の給紙不良です。 記録紙がつまっています。 	P.145 P.146
「記録紙がありません」と表示が出た		<ul style="list-style-type: none"> 記録紙がなくなっています。 	P.148
「プリントカートリッジ確認」と表示が出た		<ul style="list-style-type: none"> プリントカートリッジがセットされていないか、またはずれていませんか? 	P.152
	インクがまだ残っているのに「インク交換して下さい」と表示が出た	<ul style="list-style-type: none"> プリントカートリッジを清掃してみてください。 	P.165

	こんなときは	内容	参照ページ
ファクス(受信)	ベルが鳴り続けて、自動的に受信できない	<ul style="list-style-type: none"> ・受信したファクスをプリント中は受信できません。 ・コピー中や登録中のときは、[ストップ]ボタンを押して、コピーや登録をやめてください。 ・相手先がファクス信号を出さないタイプのときは自動受信できません。 ・着信ベル回数が10回以上に設定されている場合、相手が自動送信のファクスのときは受信できません。 ・電話モードに設定しているときは自動受信できません。 ・留守番電話などで、録音された用件や受信したEメールなどによってメモリがいっぱいのときは、ベルが鳴り続けて受信できません。 	P.73 P.74 P.82,P.120
	受信中に「ピーピーピー」という音が鳴り出した	<ul style="list-style-type: none"> ・相手のファクスに原稿づまり等が起きたため、受信が中断されました。相手先に確認して、もう一度送りなおしてもらってください。 	-
	受信中に「ピー」という音が鳴り続けた	<ul style="list-style-type: none"> ・[ストップ]ボタンを押すと、「ピー」という音が止まります。 ・記録紙の給紙不良です。 ・記録紙が詰まったか、なくなっています。 	P.145 P.146,P.148
	受信した記録紙が白紙になる	<ul style="list-style-type: none"> ・プリントカートリッジを清掃してみてください。 ・相手先が原稿を表裏逆にセットしたかもしれません。相手先に確認してください。 ・相手先から後端部分が白い(文字が書かれていない)原稿が送られてきた場合に記録紙が2枚に分かれ、2枚目が白紙になることがあります。 	P.165
	受信した画像が鮮明でない	<ul style="list-style-type: none"> ・通話中にキャッチホンが入ると画像が乱れることがあります。もう一度送りなおしてもらってください。 ・本機でコピーをとってください。コピーが鮮明なときは、回線または送信側の異常です。相手先に連絡して、もう一度送りなおしてもらってください。 	P.139 P.78
	受信した記録紙に黒いすじが入る	<ul style="list-style-type: none"> ・本機でコピーをとってください。コピーに黒いすじが入らないときは、回線または相手側に原因があると思われます。相手先に連絡してもう一度送りなおしてもらってください。 ・コピーに黒いすじが入るときは、NECサービスステーションにご連絡ください。 	P.78 P.173
	受信した記録紙がかすれたり、白いすじが入る	<ul style="list-style-type: none"> ・プリントカートリッジを掃除してみてください。それでもなおらない場合は、インクが残り少なくなっている可能性があります。新しいカートリッジに交換してください。 ・推奨環境(温度:15~30、湿度:35~70%)でお使いください。 	P.165 P.152
	記録紙がひんぱんにつまる	<ul style="list-style-type: none"> ・当社推奨の記録紙を使用してください。 ・セットできる枚数は30枚までです。 ・記録紙は使い切ってから入れてください。 ・しわ、折れのある紙、湿っている紙などは使用しないでください。 ・記録紙給紙用ローラ、記録紙送り用ローラを掃除してください。 ・記録紙カセットの奥側斜面を水拭きしてください。 	P.172 P.148 P.163 P.162
	記録紙の裏面が汚れる	<ul style="list-style-type: none"> ・プリンタ部を清掃してください。 	P.164
	ファクスの送信はできるが、受信ができない	<ul style="list-style-type: none"> ・おやすみモードになっていて、メモリに受信していませんか? ・同じ回線にモデムが接続されていませんか?モデムの電源をOFFにしてテストしてください。 ・メモリがいっぱいのときは受信できません。 	P.89 P.160 P.72
	相手先から正常にファクスを送ったと言われたが、受信していない	<ul style="list-style-type: none"> ・おやすみモードでメモリに受信していませんか? 	P.89
	海外からの受信ができない	<ul style="list-style-type: none"> ・国によってはかなり回線状態が悪い場合があり、受信できないことがあります。 ・ファクス信号を出さない装置からの場合、留守設定にしてください。無音検出機能で受信できます。 ・コールバックサービスをご利用の時は、送受信の手順等が違う場合があります。サービス提供会社等にお問い合わせください。 	-
	海外からファクスを受けるときは、常に「海外通信する」に設定しておく方がよいのか?	<ul style="list-style-type: none"> ・海外通信の設定は、ファクスを送る時の機能です。ファクスを受けるときは関係ありません。 	-
	コンビニエンスストアからのファクス受信ができない	<ul style="list-style-type: none"> ・P.36をご覧ください。 	-
	ファクスかんたん受信ができない	<ul style="list-style-type: none"> ・「ファクスかんたん受信をする」に設定されていますか? ・受話器から『ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください』というメッセージを聞いてから、受話器を戻してください。メッセージが流れる前に受話器を戻すと回線が切断されます。 ・周囲に騒音などはありませんか? ・相手先がファクス信号を出さない機種の場合は、ファクスかんたん受信はできません。[スタート/コピー]ボタンを押してください。 ・受信したファクスをプリント中は受信できません。 	P.75

	こんなときは	内 容	参照 ページ	
ファクス (受信)	A4の原稿を受信しているが、縮小されてしまう	・ 相手先(送信側)で原稿の大きさにきちんと原稿セットガイドを合わせて送ったか確認してみてください。	-	
	記録紙がなくなったときはどうなるのか?	・ 記録紙がなくなったページからメモリ代行受信します。	P.72	
	ファクス専用モードにならない	・ 電話モードに設定されているとファクス専用モードの設定は無効になります。電話モードの設定を解除してください(着信ベル回数 の設定を1~19回にしてください)。	P.74	
	ファクス情報サービスの取り出しかたは? 子機で出たときのファクスの受信方法は?	・ P.79をご覧ください。 ・ P.71をご覧ください。	- -	
留守番電話	留守設定ができない	・ 用件がいっぱいです。不要な用件を消去してください。	P.82	
	『メモリ残量が少なくなっています。不要 な用件を消去してください』と聞こえた	・ 用件がすぐいっぱいになります。不要な用件を消去してくだ さい。	P.82	
	留守設定しているのに留守番電話が応答し ない	・ 「電話モード」でお使いの場合、「トールセイバしない」に設定する と、留守番電話が応答しません。「トールセイバする」に設定してく ださい。	P.91	
	留守設定にしているが、ベル回数を常に一 定にしたい	・ 「トールセイバしない」に設定すると、設定した回数だけ着信ベルが 鳴ります。	P.91 P.73	
	留守番電話の内容が聞こえなくなってい ました(用件件数は表示されている)	・ モニタスピーカ音量が「切」になっています。	P.58	
	留守設定時に自動送信で送られたファクス を受信できない	・ 着信ベル回数を10回以下に設定してください。	P.73	
	留守設定にしているとファクスがメモリに 入ってしまう	・ 記録紙がなくなっていますか? ・ おやすみモードになっていませんか?	P.72 P.89	
	外出先から操作(リモート操作)できない	・ 留守設定にしていますか? ・ パスワードは登録しましたか? ・ プッシュ信号の出せる電話機で操作していますか? ・ 「リモート操作する」に設定していますか?	P.86 P.85 P.85	
	用件転送は6秒以上メッセージが録音され ないと転送されないのか?	・ 転送されません。内容のない用件が転送されるのを防止していま す。	P.88	
	おやすみモードがタイマ切替で解除されて も、留守設定の状態となる	・ おやすみモードの間に用件を録音したときは、このことをお知ら せするために留守ボタンを点滅させています。 ・ 留守設定にしてからおやすみモードにしていますか?	P.90	
	おやすみモードのタイマ切替を使用したと きにいったメモリの内容と用件はいつプリ ントまたは再生されるのか?	・ メモリされた受信文書は、おやすみモードを解除した時にプリン トされます。録音された用件は、「再生」ボタンを押した時、また は留守設定を解除した時に再生されます。	P.81 P.82 P.89	
	ハン ドス キャ ナ	「ハンドスキャナ確認」と表示が出た	・ ハンドスキャナを取り外し、もう一度セットしてください。	P.92
		ハンドスキャナでコピーできない	・ 普通に原稿をセットしてコピーできますか? ・ 凹凸のある原稿を読み取っていませんか?	P.78 P.93
		読み取り中にピピピピという音がした	・ 読み取りが速すぎます。ゆっくり動かしてください。	P.94
記録位置がズれる		・ 原稿を基準線と読み取りマークに合わせてください。	P.93	
ハンドスキャナで読み取ると、拡大または 縮小コピーになる		・ 拡大/縮小の設定を確認してください。	P.100	
「スキャナのコードを 接続して下さい」と 表示が出た		・ ハンドスキャナ用コードを接続してからハンドスキャナをセット してください。	P.92	
コードレスで使用時、電池ランプが点灯し ない		・ 電池が正しく入っていますか? 電池が正しく入っているか確認してください。 ・ 電池の容量がありません。 ハンドスキャナ用コードを接続してください。	P.24 P.92	
コードレスで使用時、メモリランプが点滅 している		・ ハンドスキャナのメモリがいっぱいです。 メモリに記憶されている原稿を消去してください。	P.99	
コードレスで使用時、長時間充電してもす ぐに電池ランプが点滅する		・ ハンドスキャナの電池パックを新しいものと交換してください。	P.151	

	こんなときは	内 容	参照ページ
いろいろなサービス	ボケベル呼び出しができない	・ 用件転送がセットされていますか？	P.88
	キャッチホンの操作は？ キャッチホンサービスを受けた場合のファクスの使用上の問題点は？	・ P.139をご覧ください。	-
	停電時にダイヤルイン機能は使用できるか？	・ 使えません。	P.141
	ダイヤルインサービスを利用しているが、用件転送はできるか？	・ 用件転送はできます。	-
	NTT東日本またはNTT西日本のボイスワープ(転送サービス)に加入したが、電話への転送ができるか？	・ 無鳴動着信に設定していると転送できません。着信ベル回数は、ボイスワープ(転送)するまでに鳴らすベル回数より多い回数に設定してください。つまり、本機が自動的に回線を接続する前にボイスワープ(転送)するようにしなければなりません。 ・ ボイスワープに加入すると、相手が電話の場合もファクスの場合も転送されるので、ファクスの自動受信はできません。	P.74
	ナンバー・ディスプレイに加入し、使用しているが、子機にかかってきた電話が子機の着信データとして記憶されない	・ 子機が親機の電波の届かない場所に置かれていませんか？子機を親機に近づけてみてください。	P.130
接続方法	ホームテレホンまたはビジネスホンにファクスを接続できるか？	・ 接続できません。	-
	パソコンと接続しているが、ファクスの受信ができない	・ P.160をご覧ください。	-
	パソコンと接続しているが、時々ファクスが動作し、パソコン通信ができない	・ パソコン、モデムの雑音電波で、ファクスが誤動作しています。装置を離して置いてみてください。 ・ パソコン通信の信号の影響でファクスが誤動作しています。切替器により装置を分離してください。	P.160
その他	回線種別の設定のしかたは？	・ P.30をご覧ください。	-
	発信元登録のしかたは？	・ P.32をご覧ください。	-
	音量調整のしかたは？	・ P.58をご覧ください。	-
	「原稿確認」と表示されるが、原稿が取れない	・ カバーを開け、原稿をゆっくりと引き抜いてください。	P.144
	発信元登録で電話番号を入れたが、登録されない	・ 数字は文字表に従って入力してください。ダイヤルボタンの数字ではありません。	P.33
	スピークスのどのボタンを押しても何も反応しない	・ 親機の場合は、電源プラグを電源コンセントからいったん抜いて、再度差し込んでください。 ・ 子機の場合は、電池パックのコネクタをいったん抜いて、再度取り付けてください。	P.27 P.150

ご使用の前に

設置

電話

ファクス/コピー

留守番

ハンズスキャナ

・ALPHAS

・Eメール

ナンバーディスプレイ

キャッチホン/ネットノダイヤルイン

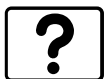
こんなときは



ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの【必ずお読みください】「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。



ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの

【必ずお読みください】「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご使用の前に

設置

電話

ファクス/コピー

留守番

ハンドスキャナ

・ALPHA5

・Eメール

ナンバーディスプレイ

キャッチホン/ネットワークダイヤル

こんなときは

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの【必ずお読みください】「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

? 仕様

ファクシミリ

原稿サイズ	最大：257(幅)×1000(長さ)mm 最小：128(幅)×128(長さ)mm
記録紙サイズ	A4普通紙：210mm×297mm(A4サイズ、 紙質55kg～70kg(厚さ0.08mm～0.1mm)、 上質紙または再生紙)
有効読取幅	250mm(B4) 208mm(A4)
有効記録幅	203mm
走査方法	CCDによる原稿移動型平面走査またはハンドス キャナ移動による平面走査
走査線密度	主走査：8ドット/mm 副走査：15.4 line/mm(細かい) 7.7 line/mm(小さい) 3.85 line/mm(普通)
通信モード	G3/ECM
通信速度	9600/7200/4800/2400 bps
電送時間*1	G3 約20秒、ECM 約10秒
記録方式	インクジェットヘッドによる普通紙記録
適用回線	一般電話回線 ファクシミリ通信網(1300Hz) G3サービス) ダイヤルイン回線 NCC回線
自動受信	有(ファクス/電話自動切替機能内蔵)
電源	AC 100±10V 50/60Hz
消費電力	待機時：省エネルギーモードON時 約2.1W 省エネルギーモードOFF時 約6.0W 送信時：約16W(標準的原稿) 受信時：約13W(標準的原稿) コピー時：約20W(標準的原稿) 最大時：約42W
直流抵抗	91 (20mA)
外形寸法	約350(横幅)×330(奥行き)×155(高さ)mm (突起部を除く)
質量	約4.9kg(記録紙、プリントカートリッジ、 ハンドスキャナ用電池パックを除く)
使用環境	温度：5～35 湿度：35～85%
推奨環境	温度：15～30 湿度：35～70%
ハンドスキャナ メモリ容量	A4に約700文字の原稿(文字モード時)：約12枚 A4に写真原稿(写真モード時)：約1枚
ハンドスキャナ充電時間	約6時間
ハンドスキャナ使用時間	約1時間(フル充電)

コードレス電話

使用可能距離	見通し距離約100m
使用周波数帯	250MHz/380MHz帯
送信出力	10mW(FM)
電波のチャンネル数	89チャンネル 通話：87チャンネル 制御：2チャンネル
子機	
電源	DC 2.4V(専用ニカド電池使用)
電池充電時間	約9時間
電池持続時間	連続待受時：約200時間*2 連続通話時：約7時間
外形寸法	約48(横幅)×44(奥行き)×180(高さ)mm (突起部を除く)
質量	約190g(電池パックを含む)

子機充電器

外形寸法	約67(横幅)×108(奥行き)×102(高さ)mm
質量	約130g(子機充電器用ACアダプタを除く)
消費電力	約1.0W(充電時)
電源	AC 100V 50/60Hz (子機充電器用ACアダプタを使用)

留守番電話

録音方式	DSP方式
最大録音時間	1件につき3分
合計録音時間	約30分(標準音声)
最大録音件数	30件
応答メッセージ	自作：2 固定：1

*1 電送時間は、A4判700字程度の原稿を標準的画質(8×3.85 line/mm)で高速モード(9600bps)で送ったときの速さです。これは画像情報だけの電送速度で通信の制御時間は含まれておりません。なお、実際の通信時間は、原稿の内容、相手機種、回線の状態により異なります。

*2 待受時とは、充電が完了した後子機を充電器から外して一度も通話しない状態のことです。通話したり、着信してベルが鳴ったりした場合には、待受時の電池持続時間は短くなります。

本機を設置する場所がNTT東日本またはNTT西日本の支店・営業所(交換機)から遠距離の場合、お使いになれないことがありますのでNECサービスステーションにご相談ください。
外観、仕様などは改良のため予告なく変更することがあります。

ご使用の前に

設置

電話

話

留守番

ファクシミリ

留守番

ハンドスキャナ

ALPHA5

Eメール




ナンバーディスプレイ























































キャッチホン/ネットフ
ダイヤルイン






こんなときは

操作早わかりガイド

親機

 : 受話器をとる  : 受話器を戻す  : ボタンを押す

電話をかける	 → 相手先の番号 → 通話 →  ワイワイトーク  → 相手先の番号 →  → 通話 → 
電話を受ける	着信音 →  → 通話 → 
リダイヤルする	 →  → 通話 → 
トーン(プッシュ)信号送出	電話をかける →  (以後のダイヤルはトーン信号が送出される)
電話帳を使って電話をかける	▲ / ▼ 相手先を選ぶ → 
ワイワイトーク(ハンズフリー通話)	ワイワイトーク  → 相手先の番号 → 通話 →  ワイワイトーク
保留する もう一度話す 子機で話す	通話中 →  →  保留中 →  (または ) → 通話 保留中 → (受話器を戻していないとき ) → 子機  (または ) → 通話
転送(外線の子機へ転送する) 転送される側: 子機	通話中 →  → 内線番号(注) → (ボイスコール) → 子機と話す →  子機が出ないときは  を押す 呼出音 → (メッセージを聞く) →  (または ) → 親機と話す → 外線と通話
内線通話(子機を呼ぶ) 子機	内線  → 内線番号(注) → (ボイスコール) → 通話 () →  呼出音 → (メッセージを聞く) →  (または ) → 通話 →  (または )
通話録音(通話中の会話を録音する)	受話器で通話中 →  → 留守 →  → 録音 →  → ストップ
通話録音した内容を聞く	▶再生 → 再生 →  → ストップ
留守番電話に録音された用件や通話録音した内容を相手に聞かせる	受話器で通話中 → ▶再生 → 再生 →  → ストップ
音量調整	ベル音量 待機中 →  切 小 中 大 受話音量 受話器で通話中 →  小 中 大 ワイワイトーク音量 ワイワイトーク中 →  1 2 3 4 5 6 モニタスピーカ音量・留守番電話の再生音量 用件再生中 →  切 小 中 大
キャッチホンの利用	通話中 → 「ブルルー・プップ」 →  → 着信データキャッチ → 後の人と通話 →  → 着信データキャッチ → はじめのひとと通話
ドアホンとの通話	呼出音 →  → 通話 →  外線と通話中のとき 外線と通話中 → 呼出音 →  → ドアホンと通話 →  → 外線と通話 内線と通話中のとき 内線と通話中 → 呼出音 →  →  → ドアホンと通話 →  ドアホンでモニタする  → ドアホン番号 →  → モニタ(通話) →  (ドアホン1: [8], ドアホン2: [9])




(注) 付属の子機(内線2): 、増設子機(1台目)(内線3): 、増設子機(2台目)(内線4): 、増設子機(3台目)(内線5): 、子機一斉:  P.50




































































ファクス	画質モード	画質 ● 「ふつう 小さい 細かい 写真」
	自動送信	原稿セット → 相手先の番号 → ◇ (スタート/ストップ)
	電話帳で送信	原稿セット → ▲ / ▼ 相手先を選ぶ → ◇ (スタート/ストップ)
	手動送信	原稿セット → 電話機 → 相手先の番号 → 通話 → 相手が受信操作 → ◇ (スタート/ストップ) → 電話機
	おまかせ送信	原稿セット → 相手先の番号 → おまかせ送信 ●
	ファクスを手動で受ける	電話機 → 「ポー・ポー・ポー...」 → 『ファクシミリを受信します...』 → 電話機 電話機 → 「ポー・ポー・ポー...」 → ◇ (スタート/ストップ) → 電話機 通話中 → 相手が送信操作 → ◇ (スタート/ストップ) → 電話機
	コピー	シングルコピー
マルチコピー		原稿セット → ◇ (スタート/ストップ) → コピー部数入力 → ◇ (スタート/ストップ)
留守番	留守セット/解除	留守 ●
	用件の再生	▶再生 ● → 再生
	特定の用件だけを消去する	消去したい用件を再生中 → ● 消去 → ● ストップ
	用件を聞いてから一度に消去する	用件を再生 → 『用件は以上です』 → 「***...」 → ● 消去
	おやすみモードのセット/解除	おやすみ ●
ハンドスキャナ	コードを付けたままでコピーする	ハンドスキャナを外す → 画質選択 → 原稿の上に置く → ● または ◇ (スタート/ストップ) → 原稿を読み取る → ● または ● ストップ → ハンドスキャナを戻す
	コードレスでコピーする	ハンドスキャナを外す → コードを外す → 画質選択 → 原稿の上に置く → ● または ● ストップ → 原稿を読み取る → ● → コードをつなぐ → ハンドスキャナを戻す
	コードを付けたままで送信する	ハンドスキャナを外す → 画質選択 → 相手先の番号 → 原稿の上に置く → ◇ (スタート/ストップ) → 原稿を読み取る → ● または ● ストップ → 1 → ハンドスキャナを戻す
	メモリに記憶されている原稿を送信する	原稿をコピー → ● 機能 → ▼ を7回 → ● 電話帳登録セタ を2回 → ▲ / ▼ → ● 電話帳登録セタ (→ ページ指定 → ●) → < / > [送信を選択] → ● 電話帳登録セタ → 相手先の番号 → ◇ (スタート/ストップ)
	メモリに記憶されている原稿をプリントする	原稿をコピー → ● 機能 → ▼ を7回 → ● 電話帳登録セタ を2回 → ▲ / ▼ → ● 電話帳登録セタ (→ ページ指定 → ●) → < / > [プリントを選択] → ● 電話帳登録セタ
メモリに記憶されている原稿を消去する ハンドスキャナ 親機	画質選択/消去スイッチを「消去」 → ● → (「ピッ」、「ピー」と鳴るまで押し続ける) → ● ストップ ● 機能 → ▼ を7回 → ● 電話帳登録セタ → ▼ → ● 電話帳登録セタ → ● 電話帳登録セタ	

(注) ファクス自動受信 P.70、原稿/記録紙が詰まったとき P.144, P.145、記録紙のセット P.148

ハンドスキャナでコピーしてご利用ください

子機

 : 充電器からとる  : 充電器に戻す  : ボタンを押す

電話をかける	 → 相手先の番号 → 通話 →   → 相手先の番号 → 通話 → 
電話を受ける	着信音 →  → 通話 →  着信音 →  → 通話 → 
リダイヤルする	 →  →  → 通話
トーン（プッシュ）信号送出	電話をかける →  （以後のダイヤルはトーン信号が送出される）
電話帳を使って電話をかける	 →  →  /  相手先を選ぶ → 
グループで探して	 →  →  →  グループを選ぶ →  /  相手先を選ぶ → 
素早く探して	 →  →  → 相手の頭文字のダイヤルボタン →  /  相手先を選ぶ → 
ワイワイトーク（ハンズフリー通話）	 → 相手先の番号 → 通話 →  （または  ）
保留する	通話中 →  / 
もう一度話す	保留中 →  （または  ） → 通話
親機で話す	保留中 → （充電器に戻していないとき  ） → 親機  → 通話
転送 （外線を親機へ転送する）	通話中 →  → ① → （ボイスコール） → 親機と話す →  （または  ） 親機が出ないときは  を押す
転送される側：親機	呼出音 → （メッセージを聞く） →  → 子機と話す → 外線と通話
（外線を他の子機へ転送する）	通話中 →  → 内線番号（注） → メッセージを言う →  （または  ） 子機が出ないときは  を押す
転送される側	呼出音 →  （または  ） → メッセージを聞く → 外線と通話
内線通話 （親機を呼ぶ）	 →  →  → ① → （ボイスコール） → 通話 →  （または  ） 呼出音 → メッセージを聞く → 通話（呼出音 →  → 通話 →  ）
通話録音 （通話中の会話を録音する）	子機をとって通話中 →  →  [リモコン ソウサを選ぶ] →  → ⑤ → 録音 →  → 
通話録音した内容を聞く	待機中 →  →  [リモコン ソウサを選ぶ] →  → ② → 再生 →  （または  ）

（注）付属の子機（内線 2）：②、増設子機（1 台目）（内線 3）：③、増設子機（2 台目）（内線 4）：④、
増設子機（3 台目）（内線 5）：⑤、子機一斉：* P.50

電 話	留守番電話に録音された 用件や通話録音した内容を 相手に聞かせる	子機をとって通話中 → → [リモコン ソウサを選ぶ] → → ② → 再生 → →
	音量調整 受話音量 ワイワイ トーク音量 ベルの ON/OFF	(または) → [標準 大] → (または) ワイワイトークで通話中 → [標準 大] 待機中 → を2秒以上押す [鳴る 鳴らない]
	キャッチホンの利用	通話中 → 「ブルルル・プップ」 → → 後の人と通話 → → はじめの人と通話
	ドアホンとの通話 外線と通話中のとき	呼出音 → (または) → 通話 → (または) 外線と通話中 → 受話口から呼出音 →) → ドアホンと通話 →) → 外線と通話
ファ クス	ファクスを手動で受ける	→ 「ポー・ポー・ポー...」 → 『ファクシミリを受信します...』 → → 「ポー・ポー・ポー...」 →) → ⑥ 通話中 → 相手が送信操作 →) → ⑥
留 守 番	留守セット	待機中 → → [リモコン ソウサを選ぶ] → → ⑦ →) → (または)
	留守解除	待機中 → → [リモコン ソウサを選ぶ] → → ⑨ →) → (または)
	用件の再生	待機中 → → [リモコン ソウサを選ぶ] → → ② → 再生 →) → (または)
	特定の用件だけを 消去する	消去したい用件を再生中 → ⑧
	用件を聞いてから一度に 消去する	用件を再生 → 『用件は以上です』 → 「ピッピッピッ...」 → ⑧

外線リモート(外出先の電話機)

電話をかける → # [パスワード] # → 操作コード
(プッシュ信号)

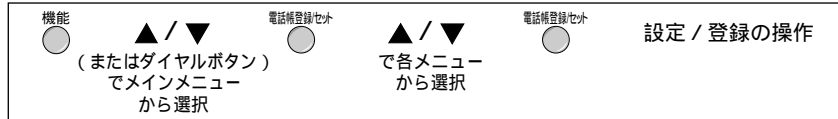
巻き戻し	# 1 #	留守設定	# 7 #
用件再生	# 2 #	用件消去	# 8 #
早送り	# 3 #	留守設定解除	# 9 #
用件転送設定	# 6 1 #		
用件転送解除	# 6 2 #		

ハンスキャナでコピーしてご利用ください



機能設定 / 登録早見表

設定 / 登録の手順



メニューと設定 / 登録内容

		設定 / 登録内容 ([] は、お買い上げ時の状態です)					
①	メインメニュー リストプリント	リストプリントメニュー					
		電話番号リスト	電話帳のプリント P.155				
		着信データリスト	親機に記憶された着信データのプリント P.155				
		オリジナルメロディ	オリジナル着信メロディのプリント P.155				
		システムリスト	各種設定内容のプリント P.155				
		テストプリント	プリントカートリッジの状態確認 P.155				
		②	受信設定	受信設定メニュー			
				無鳴動着信	(する)、 <input type="checkbox"/> (しない) P.74		
				音声メッセージ	(流す)、 <input type="checkbox"/> (流さない) P.74		
				着信ベル回数	1 ~ 19回、* * (無制限)、6回 P.73		
呼出ベル回数	1 ~ 19回、10回 P.73						
ファクス専用	(する)、 <input type="checkbox"/> (しない) P.75						
ベル音・メロディ	ベル (標準)、ベル (鳴り分け)、メロディ (3種類)、オリジナルメロディ、えらんでメロディで取り込んだ曲 P.59						
③	設定モード			設定モードメニュー			
				読み取り濃度	(薄く) ~ (濃く) P.66		
				発信元記録	(させる)、 <input type="checkbox"/> (させない) P.32		
		海外通信	(する)、 <input type="checkbox"/> (しない) P.66				
		ファクスかんたん受信	(する)、 <input type="checkbox"/> (しない) P.75				
		保留メロディ	聖者の行進、茶色の小瓶 P.59				
		回線種別	20P、10P、PB P.30				
		Fネット	(する)、 <input type="checkbox"/> (しない) P.140				
		ドアホン接続	ドアホン1、ドアホン2、ドアホン1&2、 <input type="checkbox"/> (ドアホンなし) P.157				
		ボイスコール	(する)、 <input type="checkbox"/> (しない) P.62				
子機の受話音量	標準、大きい P.63						
子機の送話音量	標準、大きい P.63						
省エネルギー	(する)、 <input type="checkbox"/> (しない) P.161						
④	登録モード	登録モードメニュー					
		オリジナルメロディ	オリジナル着信メロディを登録する P.60				
		自分の電話番号	自分の電話番号 P.31				
		発信元	自分の名前 P.32				
		おやすみタイム切替	おやすみモードの開始 / 終了時刻 P.90				
		リモート操作	(する)、 <input type="checkbox"/> (しない)、リモートパスワード P.85				
		用件転送	(する)、 <input type="checkbox"/> (しない)、用件転送先電話番号、転送回数 P.87				
		ダイヤルイン	(する)、 <input type="checkbox"/> (しない)、ファクシミリと電話の番号 P.143				
		時刻設定	共通鳴動 (する)、 <input type="checkbox"/> (しない) P.30				
		電話帳転送	年月日、時刻、親機の電話帳を子機に転送する (一斉、個別) P.45				
⑤	留守電機能	留守電機能メニュー					
		全用件消去	全ての用件を消去する P.82				
		応答メッセージ録音	応答メッセージの録音 (応答メッセージ1、応答メッセージ2) P.83				
		応答メッセージ消去	応答メッセージの消去 (応答メッセージ1、応答メッセージ2) P.83				
		トールセイバ	(する)、 <input type="checkbox"/> (しない) P.91				
		⑥	ナンバーディスプレイ	ナンバーディスプレイメニュー			
				ナンバーディスプレイ	(する)、 <input type="checkbox"/> (しない) P.29		
				プライベートコール指定	相手先指定、プライベートコール指定 (全て、内線番号)、着信鳴り分け指定 (指定なし、ベル (標準)、ベル (鳴り分け)、メロディ (3種類)、オリジナルメロディ、えらんでメロディで取り込んだ曲) P.134		
				とくいでコール	(する)、 <input type="checkbox"/> (しない)、公衆電話、圏外、公衆電話 + 圏外 <input type="checkbox"/> (なし) P.135		
				番号リクエスト	(する)、 <input type="checkbox"/> (しない) P.135		
着信拒否	(する)、 <input type="checkbox"/> (しない) P.137						
応答メッセージ選択	(する)、 <input type="checkbox"/> (しない) P.136						
キャッチホン	(する)、 <input type="checkbox"/> (しない) P.136						
着信拒否リスト編集	着信拒否リストの登録 / 編集 P.138						
⑦	アルファ設定			アルファ設定メニュー			
		電話・郵便番号	自分の電話番号、郵便番号、-ALPHA5の登録 P.104				
		アルファSW	(する)、 <input type="checkbox"/> (しない) P.105				
		料金表示	(する)、 <input type="checkbox"/> (しない)、(親機、親機 + 子機) P.107				
		⑧	ハンドスキャナ	ハンドスキャナメニュー			
				メモリ出力	記憶データのプリント / 送信 (新規データ、全データ、指定データ) P.97, P.98		
				メモリ消去	記憶データの消去 P.99		
				⑨	プリント設定	定型受信	(する)、 <input type="checkbox"/> (しない) P.77
						定型コピー	(する)、 <input type="checkbox"/> (しない) P.77
						印字範囲	(する)、 <input type="checkbox"/> (しない) P.76
⑩	ファクス情報サービス					ファクス情報サービスの利用 (ポーリング受信) P.79	
						ハンドスキャナを外したとき	
						読み取り記録幅	B4 A4、A4 A4、B5 A4、A5 A4 P.100
						メロディディスク	(流す)、 <input type="checkbox"/> (流さない) P.100



索引

ア

アース接続	3, 27
アース端子	14, 27
ISDNターミナルアダプタ(TA)との接続	160
IDコード	28
アドレス帳	122
アフターサービス	172
-Eメール	113
アルファスタート	103
-DIAL	112
-NEWS	108
-ALPHA5(アルファファイブ)	101
-ALPHA5ランプ	15, 106
-MAIL	110, 111
安全に正しくご使用いただくために	2
アンテナ	14
居留守モニタ	80
色がついた原稿	66
印字範囲	76
インフォメーションサービス	173
NECサービスステーション	173
Fネット	140
エラーコード	154
えらんでメロディ	109
応答メッセージ	80
応答メッセージの選択設定	136
応答メッセージを消去する	83
応答メッセージを録音する	83
オートリダイヤル	67, 69, 95
同じ相手にもう一度かける	37
オプション品	172
おまかせ送信	69
おやすみモード	89
おやすみモードのタイマ切替	90
オリジナル着信メロディ	60
音声メッセージ	74
オンライン通信	105
音量調整	58

カ

カーソル	27
海外へファクスを送るとき	66
外出先で留守番電話の用件を聞く	86
外出先で留守番電話を操作する	85
回線種別の手動設定	30
回線種別を自動設定する	31
回線端子	14, 28
外線リモート	85
拡大	100
確認ダイヤル	35
画質モード	65
壁掛け(子機充電器を壁掛けする場合)	23
漢字変換	33, 40
かんたん時刻セット	27

かんたん受信	
ファクスかんたん受信	34, 75
かんたん登録	
着信データを登録する	132
カンタン登録	
受信したメールの相手のアドレスを登録する	122
キータッチトーン	63
キャッチホン	139
キャッチホン・ディスプレイ	128, 129, 136
Q&A	166
共通鳴動	142, 143
記録紙	20
「記録紙がつもりました」と表示されたとき	145
記録紙のセット	26, 148
記録紙の保管について	172
記録紙送り用ローラ	163
記録紙カセット	14, 162
記録紙給紙用ローラ	163
記録紙スタッカ	14
記録紙排出口	14
クリアレポート	149
グループ	42
原稿	
色がついた原稿や文字がうすい原稿	66
原稿がつまったとき	144
原稿セットのしかた	64
原稿のサイズおよび厚さ	64
写真や小さい文字の原稿	65
ハンドスキャナを使った原稿の読み取り	93
読み取りできる原稿とできない原稿	64
原稿送り用ローラ	162
原稿セットガイド	14, 64
原稿挿入口	14
原稿排出口	14
原稿読み取り面	16, 162
コードレスでコピーする	96
コールバック	131
子機充電器	17
子機充電器の取り付け	23
子機充電器用ACアダプタ	13, 17, 23
子機充電器を壁掛けする場合	23
子機使用上のご注意	7
子機で留守番電話を操作する	84
子機の充電	23
子機の使用可能時間	23
子機の増設	28
子機の通話範囲について	7
子機の電池パックの交換	150
子機の電池パックの取り付け	22
子機のベルを優先して鳴らす	62
子機優先着信	62
子機を持たずに話をする	48
国際ダイヤル通話	66
国際電話を利用するとき	39
固定応答メッセージ	80

コピー	78
コードレスでコピーする	96
コードを付けたままでコピーする	94
コピーしてはいけないもの	78
定型コピー	77

サ

サービスステーション	173
再生(用件の再生)	82, 84
サインアップ	126
識別番号の登録	28
時刻セット	30
システムリスト	155
自動送信	67
自動プリント	96
自分の電話番号の登録	31
自分の名前や電話番号等を登録する	32
写真や小さい文字の原稿のとき	65
自由定型文	124
充電	
子機の充電	23
充電残量	7
ハンズキャナの充電	24
修理を依頼されるときは	172
縮小	100
受信	
-Eメール	119
-MAIL	111
定型受信	77
ファクスかんたん受信	34, 75
ポーリング受信	79
メモリ代行受信	72
手動送信	68
受話音量	58, 63
受話器	13, 14
受話器の取り付け	22
受話器用コード	14
仕様	175
省エネルギーモード	161
消耗品	172
スピーカ(モニタスピーカ)	14
清掃	162
接続	
アース接続	3, 27
ISDNターミナルアダプタ(TA)との接続	160
電源の接続	27
電話回線の接続	28
ドアホン接続	157
パソコンやモデムとの接続	160
設置スペース	21
設定	
-Eメールのユーザ設定	127
印字範囲	76
Fネット	140
応答メッセージの選択	136
おやすみモード	89
おやすみモードのタイマ切替	90

音声メッセージ	74
海外通信	66
回線種別(自動設定)	31
回線種別(手動設定)	30
拡大/縮小	100
画質モード	65
キータッチトーン	63
キャッチホン・ディスプレイ	136
子機の受話音量	63
子機の送話音量	63
子機優先着信	62
時刻(再設定)	30
省エネルギーモード	161
着信拒否	137
着信鳴り分け	134
着信ベル回数	73
定型コピー	77
定型受信	77
添付ファイル自動受信	124
電話モード	74
ドアホン接続	157
トールセイバ	91
とくていコール	135
ナンバー・ディスプレイ	29
発信元記録	32
番号リクエスト	135
ファクスかんたん受信	75
ファクス専用モード	75
プライベートコール	134
ベルの音色/メロディ	59
ボイスコール	62
保留メロディ	59
無鳴動着信	74
メロディハンズキャナ	100
呼出ベル回数	73
読み取り濃度	66
リモート操作	85
料金表示	107
留守設定	81, 84
設定を確認するとき	155

操作パネル	15
操作を間違えたとき	19
送信	
-Eメール	115
-MAIL	110
おまかせ送信	69
コードを付けたままで送信する	95
自動送信	67
手動送信	68
メモリに記憶されている原稿を送信する	97
送信できなかったときは	69
増設(子機の増設)	28
相談窓口(お客様ご相談窓口)	173
送話音量(子機)	63

タ

ターミナルアダプタとの接続	160
代行受信(メモリ代行受信)	72
タイマ切替(おやすみモード)	90
ダイヤルイン	141

ダイヤル回線	30
ダストカバー	14
端子	
アース端子	14, 27
回線端子	14, 28
ハンズキャナ用コード端子	16
小さい文字の原稿	65
着信拒否の設定	137
着信拒否の登録/変更/消去	138
着信データの相手へ電話をかける	131
着信データリスト	155
着信データを見る/消す	130
着信鳴り分け	134
着信ベル	34, 70, 73
着信メモディ	59, 60, 109
通風孔	14
通話圏外	7
通話時間表示	20
通話範囲	7
通話録音	56
DDI市外電話自動選択機能	106
定型コピー	77
定型受信	77
ディスプレイ	15
停電したとき	149
手入れ	162
電源コード	14
電源の接続	27
転送	50
転送(電話帳)	45
電池パック	13, 150, 151
電池パックの取り付け	22, 24
電池ランプ	16
電池を交換するとき	150, 151
添付ファイル自動受信	119, 124
電話回線	
電話回線接続コード	13
電話回線の接続	28
電話コンセント	21
電話帳	39
電話番号の登録	31
電話番号リスト	155
電話モード	70, 74
ドアホンを使うとき	157
登録	
アドレス帳	122
-Eメール	114
-ALPHA5	103, 104
親機の電話帳	39
子機の電話帳	42
自分の電話番号	31
自分の名前等	32
自由定型文	124
ダイヤルイン	143
着信拒否	138
着信データ	132
メールアドレスの追加	126

用件転送先	87
リモートパスワード	85
登録内容を確認するとき	155
Talkin' ダイヤル	112
トールセイバ	80, 91
トーン信号	38
とくていコール	135
取り付け	22

ナ

内線通話	53
内線番号について	53
内線ベルの鳴りかた	53
名前や電話番号等を登録する	32
ナンバー・ディスプレイ	20, 29, 128

ハ

ハウリング音	48
パスワード(リモートパスワード)	85
パソコンやモデムとの接続	160
発信元を相手の記録紙にプリントさせる	32
早わかりガイド(操作早わかりガイド)	176
番号リクエスト	135
ハンズフリー通話	48
ハンズキャナ	92
ハンズキャナの充電	24
ハンズキャナの清掃	162
ハンズキャナの電池パックの交換	151
ハンズキャナの取り外しと取り付け	92
ハンズキャナへの電池の取り付け	24
ハンズキャナ用コード	14
ハンズキャナ用コード端子	16
ハンズキャナを使った 原稿の読み取りについて	93
ピクト表示の見かた	18
ファクシミリ通信網	140
ファクスかんたん受信	34, 75
ファクス情報サービス	79
ファクス専用モード	70, 75
ファクス/電話自動切替	34, 70
不達レポート	69
プッシュ回線	30
プッシュ信号	38
プライベートコール	134
ランチ接続	21
プリント	
アドレス帳	123
-Eメール	120
-MAIL	111
オリジナルメモディリスト	61, 155
システムリスト	155
自動プリント	96
着信データリスト	155
テストプリント	155
電話番号リスト	155
不達レポート	69
メモリクリアレポート	149
メモリに記憶されている原稿をプリントする	98

プリントカートリッジ	13, 172
交換	152
状態の確認	155
清掃	165
取り付け	25
保管	172

ベル

子機のベルを優先して鳴らす	62
着信ベル	34, 70, 73
ベル音量	58
ベルのON/OFF	58
ベルの音色 / メロディ	59
呼出ベル	34, 70, 73
返信(-Eメール)	121

ボイスコール	53, 62
ポーリング受信	79
ポケベルにメッセージを表示させるには	87
補修用性能部品について	172
保証書	13, 172
保留する	49
保留メロディ	49, 59

マ

マルチファンクションボタン	17
無鳴動着信	74
メールアドレス	114, 122, 125, 126
メッセージ	
応答メッセージ	83, 136
音声メッセージ	74
固定応答メッセージ	80
自作応答メッセージ	80, 83
メモリ	
メモリ代行受信	72
メモリに記憶されている原稿を消去する	99
メモリに記憶されている原稿を送信する	97
メモリに記憶されている原稿をプリントする	98
メモリに読み込んでから送る	69
メモリアクリアレポート	149
メモリランプ	16, 99
メロディ	
オリジナル着信メロディ	60
着信メロディ	59
入力のしかた	61
保留メロディ	49, 59
メロディ(ハンドスキャナ)	94
メロディハンドスキャナの設定	100
文字がうすい原稿	66
文字入力表	
-Eメール	117, 118, 126
-MAIL	110
親機	33, 40
子機	43
モデムとの接続	160
モニタ	
居留守モニタ	80

ドアホンでモニタする	159
モニタスピーカ	14
モニタスピーカ音量	58

ヤ

用件

外出先で留守番電話の用件を聞く	86
用件の再生	82, 84
用件の消去	82, 84
留守番電話に録音された用件や 通話録音した内容を相手に聞かせる	57
用件転送	87
読み取り	
原稿の読み取り中に メモリがいっぱいになったとき	69
ハンドスキャナを使った 原稿の読み取りについて	93
読み取りできる原稿とできない原稿	64
読み取り濃度	66
読み取り幅マーク	16, 93
読み取りマーク	16, 93

ラ

らくらく電話帳	39
リアカバー	14
リストのプリント	155
リダイヤル	37
オートリダイヤル	67, 69, 95
リモート	
外線リモート	85
リモート操作コード表	86
リモート操作の設定	85
リモートパスワードの登録	85
留守番リモート	84
料金表示	107
留守セット / 解除	80, 84
留守番電話	
外出先で留守番電話の用件を聞く	86
外出先で留守番電話を操作する	85
子機で留守番電話を操作する	84
留守番電話が入ったら外出先へ通知する	87
留守番電話に録音された用件や 通話録音した内容を相手に聞かせる	57
留守番リモート	84
留守録着信データ	133
レポート	
不達レポート	69
メモリアクリアレポート	149
録音	
応答メッセージを録音する	83
通話録音	56

ワ

ワイワイトーク	48
ワイワイトーク音量	58

